



高崎健康福祉大学

Takasaki University of Health and Welfare

2017

平成 29 年度

シラバス

保健医療学部 看護学科



## 目次

基礎教養ゼミ (教養基礎)	5
日本語表現法 (教養基礎)	7
日本国憲法 (教養基礎)	9
法学 (教養基礎)	11
経済学 (教養基礎)	13
社会学 (共通教養)	15
生涯健康論 (教養基礎)	17
生涯学習概論 (教養基礎)	20
生命と環境の科学 (教養基礎)	22
国際関係論 (教養基礎)	25
体育理論 (教養基礎)	27
体育実技 (教養基礎)	29
キャリア形成論 (教養基礎)	31
哲学 (人間理解)	33
倫理学 (人間理解科目)	35
心理学 (人間理解)	37
文学と人間 (人間理解)	39
芸術論 (人間理解)	41
ボランティア・市民活動論 (人間理解)	43
人権論 (人間理解)	45
人間関係論 (人間理解)	47
ジェンダー論 (人間理解)	49
共生の倫理 (人間理解)	51
チーム医療アプローチ論 (人間理解)	53
国際医療事情 (人間理解)	55
Introduction to Healthcare Sciences (人間理解)	57
囲碁の世界 (人間理解)	59
英語 IA (リテラシー)	61
英語 IB (リテラシー)	63
英語 IC (リテラシー)	65
英語 IIA (リテラシー)	67
英語 IIB (リテラシー)	69
英語 IIC (リテラシー)	71
英語 IIIA (リテラシー)	73
英語 IIIB (リテラシー)	75
英語 IIIC (リテラシー)	77
英語 IVA (リテラシー)	79
英語 IVB (リテラシー)	81
英語 IVC (リテラシー)	83
Integrated English I (リテラシー)	85
Integrated English II (リテラシー)	87

2017年度 保健医療学部看護学科

ドイツ語（リテラシー） .....	89
フランス語（リテラシー） .....	91
ポルトガル語（リテラシー） .....	93
中国語（リテラシー） .....	95
ハンガール語（リテラシー） .....	97
コンピュータ入門Ⅰ（リテラシー） .....	99
コンピュータ入門Ⅱ（リテラシー） .....	101
コンピュータ実習Ⅰ（リテラシー） .....	103
コンピュータ実習Ⅱ（リテラシー） .....	105
論理学（専門教養科目） .....	107
人間発達論（専門教養） .....	108
人間行動学（専門教養科目） .....	110
化学（専門教養科目） .....	112
統計学（専門教養科目） .....	115
生物学（専門教養科目） .....	116
生活科学概論（専門教養科目） .....	118
国際保健医療論（専門教養科目） .....	120
生化学（看護基盤科目群・人間） .....	122
解剖生理学Ⅰ（看護基盤科目群・人間） .....	124
解剖生理学Ⅱ（看護基盤科目群・人間） .....	127
栄養学Ⅰ（看護基盤科目群・人間） .....	129
栄養学Ⅱ（看護基盤科目群・人間） .....	131
臨床心理学(看護基盤科目群・人間).....	133
リスクマネジメント（看護基盤科目群・環境） .....	135
疫学（看護基盤科目群・環境） .....	137
社会調査特論（看護基盤科目群・環境） .....	139
公衆衛生学（看護基盤科目群・環境） .....	141
保健医療福祉行政論（看護基盤科目群・環境） .....	143
医療情報システム論（看護基盤科目群・環境） .....	145
薬理学（看護基盤科目群・健康） .....	147
微生物学（看護基盤科目群・健康） .....	149
病理学（専門基礎科目） .....	151
リハビリテーション概論（看護基盤科目群・健康） .....	153
臨床医学Ⅰ（内科学・外科学）（看護基盤科目群・健康） .....	155
臨床医学Ⅱ（内科学・外科学）（看護基盤科目群・健康） .....	160
臨床医学Ⅲ（老年医学）（看護基盤科目群・健康） .....	163
臨床医学Ⅳ（小児科学）（看護基盤科目群・健康） .....	166
臨床医学Ⅴ(女性医学)（看護基盤科目群・健康） .....	168
臨床医学Ⅵ（精神医学）（看護基盤科目群・健康） .....	170
心の健康（看護基盤科目群・健康） .....	172
リラクセーション概論（看護基盤科目群・健康） .....	174
看護学原論（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学） .....	176
人間関係形成論（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学） .....	178
フィジカルアセスメント（看護専門科目群専門分野Ⅰ・基礎看護学） .....	180
基礎看護技術Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学） .....	182

基礎看護技術Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）	187
看護学方法論Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）	192
看護学方法論Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）	194
看護倫理学Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）	196
基礎看護学実習Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）	198
基礎看護学実習Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）	199
成人看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）	201
成人看護学方法論Ⅰ-A（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）	203
成人看護学方法論Ⅰ-B（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）	205
成人看護学方法論Ⅱ-A（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）	207
成人看護学方法論Ⅱ-B（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）	209
セルフケア論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）	211
感染看護（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・成人看護学）	213
成人看護学実習Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）	215
成人看護学実習Ⅱ（学外・学内）（看護専門科目群・専門分野Ⅱ）	217
老年看護概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・老年看護学）	219
老年看護学方法論Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・老年看護学）	221
老年看護学方法論Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・老年看護学）	223
老年看護学実習（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・老年看護学）	226
小児看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・小児看護学）	228
小児看護学方法論Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・小児看護学）	231
小児看護学方法論Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・小児看護学）	234
小児看護学実習（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・小児看護学）	237
母性看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・母性看護学）	239
母性看護学方法論Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・母性看護学）	241
母性看護学方法論Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・母性看護学）	244
母性看護学実習（専門科目群・専門分野Ⅱ・母性看護学）	246
精神看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・精神看護学）	247
精神看護学方法論Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・精神看護学）	249
精神看護学方法論Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・精神看護学）	251
精神看護学実習（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・精神看護学）	253
在宅看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・在宅看護学）	254
在宅看護学方法論Ⅰ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・在宅看護学）	256
在宅看護学方法論Ⅱ（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・在宅看護学）	258
在宅看護学実習（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・在宅看護学）	260
公衆衛生看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・公衆衛生看護学）	261
公衆衛生看護学方法論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・公衆衛生看護学）	263
地域ケアシステム実習（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・公衆衛生看護学）	265
健康教育論（看護専門科目群・統合分野）	266
ケアネットワーク論（看護専門科目群・統合分野）	267
家族看護論（看護専門科目群・統合分野）	269
看護研究概論（看護専門科目群・統合分野）	271
看護管理学Ⅰ（看護専門科目群・統合分野）	273
看護管理学Ⅱ（看護専門科目群・統合分野）	275
看護倫理学Ⅱ（看護専門科目群・統合分野）	277

2017年度 保健医療学部看護学科

ヘルスカウンセリング (看護専門科目群・統合分野) .....	279
医療コミュニケーション論 (看護専門科目群 統合分野) .....	281
専門看護活動論Ⅰ (クリティカルケア) (看護専門科目群・統合分野) .....	283
専門看護活動論Ⅱ (ターミナルケア) (看護専門科目群・統合分野) .....	285
専門看護活動論Ⅲ (災害看護) (看護専門科目群・統合分野) .....	287
国際看護学(看護基盤科目群・統合分野) .....	289
災害看護学(看護専門科目群・統合分野) .....	291
看護学特論 (看護専門科目群・統合分野) .....	293
チーム医療アプローチ演習 (看護専門科目群・統合分野) .....	295
統合実習 (看護専門科目群・統合分野) .....	297
研究ゼミナール (看護専門科目群・統合分野) .....	298
保健統計学(保健師課程科目) .....	300
公衆衛生看護活動論Ⅰ(保健師課程科目) .....	302
公衆衛生看護活動論Ⅱ(保健師課程科目) .....	304
母子保健論(保健師課程科目) .....	306
産業保健論(保健師課程科目) .....	308
学校保健論(保健師課程科目) .....	310
健康危機管理論(保健師課程科目) .....	312
公衆衛生看護組織論(保健師課程科目) .....	314
公衆衛生看護学実習Ⅰ(保健師課程科目) .....	316
公衆衛生看護学実習Ⅱ(保健師課程科目) .....	317
学校保健(教職に関する科目) .....	318
養護概説(養護に関する科目) .....	320
健康相談Ⅰ(養護に関する科目) .....	322
健康相談Ⅱ(養護に関する科目) .....	324
教師論(教職に関する科目) .....	326
教育基礎論(教職に関する科目) .....	328
教育心理学(教職に関する科目) .....	330
教育制度論(教職に関する科目) .....	332
道徳教育の研究(教職に関する科目) .....	334
教育課程・特別活動論(教職に関する科目) .....	336
教育課程・方法論(教職に関する科目) .....	338
生徒指導論(教職に関する科目) .....	340
教育相談(教職に関する科目) .....	342
養護実習(教職に関する科目) .....	344
教職実践演習(養護教諭)(教職必修) .....	346



	3,4	復習	見学内容、質問への回答、学んだことを整理、まとめておく。	1時間
9	講義内容	早期体験学習(病院見学)		
	該当する到達目標	予習	見学のポイント、質問事項をグループ内で相談し、明らかにしておく。	1.5時間
	3,4	復習	見学内容、質問への回答、学んだことを整理、まとめておく。	1時間
10	講義内容	早期体験学習(病院見学)		
	該当する到達目標	予習	見学のポイント、質問事項をグループ内で相談し、明らかにしておく。	1.5時間
	3,4	復習	見学内容、質問への回答、学んだことを整理、まとめておく。	1時間
11	講義内容	早期体験学習(病院見学)		
	該当する到達目標	予習	見学のポイント、質問事項をグループ内で相談し、明らかにしておく。	1.5時間
	3,4	復習	見学内容、質問への回答、学んだことを整理、まとめておく。	1時間
12	講義内容	病院見学実習(発表)		
	該当する到達目標	予習	見学の目的、指示された内容に合わせて、グループワークを行ない、発表用模造紙と原稿を作成する。	1.5時間
	3,4	復習	他施設、他グループの発表内容を含め、見学から学んだことを、課題に則してレポートを作成する。	1時間
13	講義内容	看護史		
	該当する到達目標	予習	看護(看護師)の歴史について、関連する事柄を1つ以上調べてくる。	1.5時間
	3,4	復習	看護の歴史について整理まとめておく。	1時間
14	講義内容	キャリアデザイン		
	該当する到達目標	予習	自身のこれまでの人生のポイントをしめす品物をあつめ、エピソードを書き留めてくる。	1.5時間
	1,2,3,4	復習	自身のポートフォリオを完成させる。	1時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	自身のポートフォリオを提出できるように完成させる。	1.5時間
	1,2,3,4	復習	大学で何をどのように学ぶか及び自身のキャリアデザインについてレポートを書く。	1時間
備考	<p>オフィスアワー: 火曜日 3・4 限 研究室: 5 号館 412</p> <p>メールアドレス: <a href="mailto:nomoto@takasakiu.ac.jp">nomoto@takasakiu.ac.jp</a></p> <p>・参考文献: 「看護学生のためのよくわかる大学での学び方」前原澄子著(金芳堂)</p> <p>・予習、復習は、病院見学における事前学習や発表のための授業外グループワークで補完する。</p>			

科目名	日本語表現法(教養基礎)			LAB002	講義
担当教員	武藤 洋一				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	日本人の極端な日本語能力低下が問題視されている中で、「書きことば」における表現力を向上させるために、まず自分の「考え」をまとめ「書く」に至るプロセスを理解する。次に日本語の基礎知識の把握と生じやすい表現上のミスを具体的に認識し、「考え」をいかに「文章化」するかを修得する。同時に他者の「考え」を発言や文面から把握、その内容に対する自分の意見を構築、交換、指摘する機会を設け、学士力向上を図る。				
到達目標	1 自分の「考え」をまとめ、意思表示できる。 2 日本語の基礎知識を表現・文法・語彙の三側面から確認し、理解できる。 3 日本語表現の基本的ミスを確認し、理解できる。 4 文章の組み立て方を理解し、習得できる。 5 日本語表現的に正確な文章が書けるようにする。				
学位授与方針との対応	豊かな人間性と教養 専門的知識 問題発見・解決力 多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解) 自律的・意欲的に学習する力				
評価方法	筆記試験(80%)・授業参加度(20%)によって、総合的に評価する。評価方法の基準については、講義時に通達する。				
課題に対するフィードバック	提出した文章の欠点・修正点を謙虚に捉え、新たな文章作成の場に生かし、文章力向上に挑戦する。				
使用教材	『文章表現テクニック』(教育弘報研究所)				
1	講義内容	「考え」をまとめるための5段階			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読み、自分なりの5段階法を考察しておく。	1時間	
		復習	実際に5段階法で文章を書き、文章構成の手法を振り返ってみる。	1時間	
2	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅰ 「公的」と「私的」			
	該当する到達目標	予習	「公的」「私的」の違いを把握し、教科書のテスト1を解いておく。	1時間	
		復習	作文と小論文の違いをノートにまとめ、理解してみる。	1時間	
3	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅱ 慣用句			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト2を解いておく。	1時間	
		復習	「慣用句」についての理解を深めてみる。	1時間	
4	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅲ ことわざ・故事成語			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト3を解いておく。	1時間	
		復習	「慣用句」～「故事成語」についてノートにまとめ、自分でも調べてみる。	1時間	
5	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅳ 四字熟語			
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト4を解いておく。	1時間	
		復習	「四字熟語」の見識を深めるために、日常的に使われている熟語を調べてみる。	1時間	
6	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅴ 比喩法			
	該当する到達目標	予習	比喩法の違いを把握しておく。	1時間	
		復習	比喩法を正確に識別できるか、試してみる。	1時間	
7	講義内容	表現のミスⅠ 主述関係			
	該当する到達目標	予習	主述関係のミスによる例文を考えておく。	1時間	
		復習	主述関係が正確に伝わる文章の条件を、ノートにまとめてみる。	1時間	

8	講義内容	日本語表現のミスⅡ 修飾語・被修飾語		
	該当する到達目標	予習	修飾語・被修飾語についての基本的知識を「文の成分」から学んでおく。	1時間
	2・3・5	復習	修飾関係の乱れを生じさせない条件を、例文を用いてノートにまとめてみる。	1時間
9	講義内容	日本語表現のミスⅢ 重複表現		
	該当する到達目標	予習	重複表現の例を調べておく。	1時間
	2・3・5	復習	重複表現を故意に使用した駄洒落文を作ってみる。	1時間
10	講義内容	日本語表現のミスⅣ 副詞の誤用		
	該当する到達目標	予習	陳述の副詞の誤用例を調べておく。	1時間
	2・3・5	復習	社会の流れによって変わる「誤用」の要因を考えてみる。	1時間
11	講義内容	日本語表現のミスⅤ 日本語表現の誤用		
	該当する到達目標	予習	日常的に使われている誤用を調べておく。	1時間
	2・3・5	復習	オリジナルの誤用を作り出してみる。	1時間
12	講義内容	文章の組み立て方Ⅰ 起承転結		
	該当する到達目標	予習	「起承転結」の意味を調べておく。	1時間
	1・4・5	復習	「起承転結」を使用して400字程度の小論文を書いてみる。	1時間
13	講義内容	文章の組み立て方Ⅱ 5W1H		
	該当する到達目標	予習	テキストを基に、5W1Hの基本知識を習得しておく	1時間
	1・4・5	復習	5W1Hに従いながら文章構成を考え、100字以内の文章を作ってみる。	1時間
14	講義内容	文章の組み立て方Ⅲ キーワード・キーセンテンス		
	該当する到達目標	予習	新聞の社説を利用し、キーワード・キーセンテンスを見つけておく。	1時間
	1・4・5	復習	キーワード・キーセンテンスを選択する際の必要事項をノートにまとめてみる。	1時間
15	講義内容	文章の組み立て方Ⅳ 字数制限		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で配布された課題文の要旨を字数制限に従いまとめておく。	1時間
	1・4・5	復習	800字の文章を200字に、200字の文章を400字に変える訓練を試みる。	1時間
備考	<p>オフィスアワーは前後期・木3、4時限目。場所は2号館2階の学習支援センター。受講には履修登録が必要。予習、復習に必要な最低限の時間を表示しておく。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。※1単位を修得には、演習時間30時間(実質90分×15回)＋自習時間(15時間)が必要。</p>			

科目名	日本国憲法（教養基礎）			LAB003	講義
担当教員	新田浩司				
学年・開講期	2年 後期	必選・単位数	選択・2単位		
講義目標	法規範は、強制力を持つ社会規範であり、憲法は最も重要な法規範である。憲法は国家の根本法ないしは最高法規であり、国家の組織や構造並びに国民の人権を保障する。講義では、この憲法について学ぶ。				
到達目標	1.国家がどのように成立しているか、憲法の各条規は、社会において具体的に生きているのか、等について理解を深める。 2.一般国民も、裁判員制度が始まり、憲法を初め様々な法律に触れる機会が増えているので、憲法や各種の法律の理解を深めることを目標とする。				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	出席状況及び試験成績により評価する（内訳は、出席状況が30%、定期試験70%）				
課題に対するフィードバック	小テスト実施した場合、評価の上返却する。				
使用教材	名雪健二編著『公法基礎入門』八千代出版 2400円＋税				
	講義内容	ガイダンス			
1	該当する到達目標	予習	教科書を事前に読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
	講義内容	憲法の基礎知識（1）			
2	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
	講義内容	憲法の基礎知識（2）			
3	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
	講義内容	憲法の基礎知識（3）			
4	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
	講義内容	日本国憲法の制定過程			
5	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
	講義内容	日本国憲法の基本原理			
6	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
	講義内容	国家の安全保障			
7	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
	講義内容	精神的自由権（1）			
8	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	

9	講義内容	精神的自由権 (2)		
	該当する到達目標 1,2	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
		復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
10	講義内容	経済的自由権		
	該当する到達目標 1,2	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
		復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
11	講義内容	社会権 (1)		
	該当する到達目標 1,2	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
		復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
12	講義内容	社会権 (2)		
	該当する到達目標 1,2	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
		復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
13	講義内容	参政権、国務請求権		
	該当する到達目標 1,2	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
		復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
14	講義内容	統治機構 (1)		
	該当する到達目標 1,2	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
		復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
15	講義内容	統治機構 (2)		
	該当する到達目標 1,2	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1 時間
		復習	教科書を参照しながら講義ノートを完成させる。	1 時間
備考	<p>授業中の私語は厳禁。出席票の代筆厳禁。</p> <p>予習・復習について、試験前後の学習にて補完すること。</p> <p>オフィスアワー 4 限</p>			

科目名	法学（教養基礎）			LAB004	講義
担当教員	新田浩司				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択・2単位		
講義目標	社会のルールである法は、我々が生活する上で不可欠であり、我々が社会人として身につけるべき能力である法的思考(リーガル・マインド)を身に着けることが目標です。				
到達目標	1.社会における法規範の意義について理解する。 2.法的思考を身につけることにより、社会における様々な問題を法的に分析できるようになる。				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	出席状況及び試験成績により評価する(内訳は、出席状況が30%、定期試験70%)				
課題に対するフィードバック	小テスト実施した場合、評価の上返却する。				
使用教材	名雪健二編著『公法基礎入門』八千代出版 2400円＋税				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	教科書を事前に読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	配布資料と教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
2	講義内容	第1章 法と法学			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
3	講義内容	第2章 法と国家			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
4	講義内容	第3章 法と他の社会規範との関係			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
5	講義内容	第4章 法の目的			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
6	講義内容	第5章 法の構造			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
7	講義内容	第6章 法の淵源			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
8	講義内容	第7章 法の分類			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間	
9	講義内容	第8章 法の解釈			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間	

	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間
10	講義内容	第9章 法の適用—法が適用される事実、法を適用する機関		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間
11	講義内容	第10章 法の効力		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間
12	講義内容	第11章 権利と義務		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間
13	講義内容	まとめ(1)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間
14	講義内容	まとめ(2)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間
15	講義内容	まとめ(3)		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書の該当箇所を読んでおくこと。	1時間
	1,2	復習	教科書を参照しながら講義ノートを作成させる。	1時間
備考	<p>授業中の私語は厳禁。出席票の代筆厳禁</p> <p>予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。</p> <p>オフィスアワー 4限</p>			

科目名	経済学(教養基礎)			LAB005	講義
担当教員	町田修三				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	経済に関する知識は一般社会や国際社会において極めて重要であるものの、多くの学生は十分な知識を持っていない。選挙権が与えられても経済知識なしで投票に行くのは危険である。この講義では身近なトピックを通して基礎的経済の知識を習得し、国内外の社会のメカニズムや流れを理解できるようになることを目的とする。レベルとしては、新聞やテレビのニュースがしっかりと理解できるようになることを想定している。また、医療分野を専攻する学生にとっては、医療の経済面からの考察も講義に取り入れるので参考にして理解を深めてほしい。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の経済の現状を説明できる</li> <li>2. 需要と供給、市場メカニズムについて理解を深め、概説できる</li> <li>3. 景気やGDPについて理解を深め、概説できる</li> <li>4. 国の予算や税金制度について説明できる</li> <li>5. お金の流れや物価変動について説明できる</li> <li>6. 経済政策について理解を深め、他者に説明できる</li> <li>7. 為替レートの変動と貿易の実態について概説できる</li> <li>8. 新聞やテレビのニュースが理解でき、他者に解説できる</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	学期末試験 80%、毎回の授業の最後に提出するコメントカード、その他の提出物(クイズ、小レポートなど) 20%				
課題に対するフィードバック	コメントカードに記載された質問事項、疑問点等に関しては、次回の講義で回答する。クイズについても次回の講義で解説する。小レポートにはコメントを付して返却する				
使用教材	必修テキストはない。推薦テキストは多数あるので、講義の中で必要に応じて紹介する。講義では毎回資料、データを配布する				
1	講義内容	イントロダクション(一部AL[アクティブラーニング]実施)			
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく		1時間
	8	復習	ニュースに触れる習慣(新聞、テレビ、ネット)を開始する		1時間
2	講義内容	日本経済の流れ(世界との比較のなかで)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习		1.5時間
3	講義内容	経済政策の2大潮流—マーケット or ケインズ(一部AL実施)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习		1.5時間
4	講義内容	需要と供給(需要曲線の意味)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习		1.5時間
5	講義内容	市場メカニズムと価格(どうして水よりもダイヤモンドのほうが高いんだろう?)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく		1時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学习		1.5時間

6	講義内容	価格の変動(どうして缶コーヒーやペットボトルのお茶は、どれも同じ値段なんだろう?)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5時間
7	講義内容	国民所得 I (国の経済力はどう測るんだろう? GDPって何?)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5時間
8	講義内容	国民所得 II (あなたが1万円使うとGDPはいくら増える?)(一部AL実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5時間
9	講義内容	財政(日本の借金は大丈夫?消費税は何%に?)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1時間
	1,4,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5時間
10	講義内容	景気と失業(不景気で学生の就職はどうなる?)(一部AL実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5時間
11	講義内容	金融(日本銀行は何をすところ?)(一部AL実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1時間
	1,5,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5時間
12	講義内容	経済政策のしくみ(アベノミクスは何をした?)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1時間
	1,6,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5時間
13	講義内容	為替レートのメカニズム(円高、円安ってどうして起こるの?)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1時間
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5時間
14	講義内容	世界と日本(日本の貿易は黒字?赤字?)(一部AL実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1時間
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5時間
15	講義内容	まとめと確認のためのテスト		
	該当する到達目標	予習	これまで学習した事項について目を通し、理解を深めておく	3時間
	1~8	復習	期末試験の出題意図、講義の理解度の再確認と今後の学習の方向性を考える	1.5時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日4限目、金曜日2限目      研究室: 1号館6階603</p> <p>メールアドレス: <a href="mailto:machida@takasaki-u.ac.jp">machida@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>AL(アクティブラーニング)は、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョン、ペアワーク、グループワークなど</p> <p>予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	社会学(共通教養)			LAB006	講義
担当教員	安達 正嗣				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	社会学的なものの方とは、どういうものか、社会学的にもの考えるときに使用する専門的概念には、どのようなものがあるのかなどといった社会学の基本的理解を目指す。使用教材を中心にしながら、日常の具体的な事例から解説することによって、基本的な社会学の考え方を身につける。				
到達目標	①大学生として社会学の基本的な考え方を身につけることができる。 ②社会学を通じて、豊かな人間性と倫理観を身につけることができる。 ③日常の人間関係を理解することによって、コミュニケーション能力を身につけることができる。 ④社会の仕組みを理解して、現代社会における自分自身の立ち位置を知ることができる。 ⑤現代社会の社会問題を認識して、その解決を探る能力を身につけることができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	平常点(毎回、提出してもらうアクションペーパーについては、第1回目の講義で説明します)50%、学期末試験 50%です。				
課題に対するフィードバック	各受講生の提出したアクションペーパーに書かれた質問、意見、要望などに対して、つぎの講義の前にリプライを実施する。場合によって、担当教員と受講生、あるいは受講生同士のディスカッションをおこなうことを通じて、社会学の理解を深める。				
使用教材	篠原清夫・栗田真樹編著『大学生のための社会学入門』晃洋書房。				
1	講義内容	オリエンテーション、第1章社会学とは何か(1~12頁)について解説する。			
	該当する到達目標	予習	第1章を読んでおくこと。1頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間
	1,2,3,4	復習	第1章の内容を理解しておくこと。9頁の課題をしておくこと。		1.5時間
2	講義内容	第2章 社会を観察する方法(13~24頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第2章読んでおくこと。13頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間
	1,2,3	復習	第2章の内容を理解すること。22頁の課題をしておくこと。		1.5時間
3	講義内容	第3章 社会で生きる「私」(25~35頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第3章を読んでおくこと。25頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間
	1,2,3	復習	第3章の内容を理解すること。34頁の課題をしておくこと。		1.5時間
4	講義内容	第4章 変容する家族のかたち(36~47頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第4章を読んでおくこと。36頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間
	1,2,3	復習	第4章の内容を理解すること。47頁の課題をしておくこと。		1.5時間
5	講義内容	第5章 性の多様なあり方を考える(48~59頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第5章を読んでおくこと。48頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間
	1,2,3	復習	第5章の内容を理解すること。57頁の課題をしておくこと。		1.5時間
6	講義内容	第6章 「現実を生きる」ための社会学—労働・産業・消費—(60~72頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第6章を読んでおくこと。60頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間
	1,2,3,4	復習	第6章の内容を理解すること。70頁の課題をしておくこと。		1.5時間
7	講義内容	第7章 日本で進展する環境・災害社会学(73~86頁)を解説する。			
	該当する到達目標	予習	第7章を読んでおくこと。73頁の予習課題をしておくこと。		1.5時間
		復習	第7章の内容を理解すること。84頁の課題をしておくこと。		1.5時間

8	講義内容	第8章 社会学から医療を見つめる(87～97頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	第8章を読んでおくこと。87頁の予習課題をしておくこと。	1.5時間
		復習	第8章の内容を理解すること。96頁の課題をしておくこと。	1.5時間
9	講義内容	第9章 社会学は教育とどう向き合うのか(98～109頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	第9章を読んでおくこと。98頁の予習課題をしておくこと。	1.5時間
		復習	第9章の内容を理解すること。108頁の課題をしておくこと。	1.5時間
10	講義内容	第10章 逸脱行動と社会問題(110～121頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	第10章を読んでおくこと。110頁の予習課題をしておくこと。	1.5時間
		復習	第10章の内容を理解すること。119頁の課題をしておくこと。	1.5時間
11	講義内容	第11章 「格差」の社会学(122～134頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	第11章を読んでおくこと。122頁の予習課題をしておくこと。	1.5時間
		復習	第11章の内容を理解すること。132頁の課題をしておくこと。	1.5時間
12	講義内容	第12章 生活空間としての地域社会(135～149頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	第12章を読んでおくこと。135頁の予習課題をしておくこと。	1.5時間
		復習	第12章の内容を理解すること。144頁の課題をしておくこと。	1.5時間
13	講義内容	第13章 グローバル社会とエスニシティ(150～162頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	第13章を読んでおくこと。150頁の予習課題を読んでおくこと。	1.5時間
		復習	第13章の内容を理解すること。162頁の課題をしておくこと。	1.5時間
14	講義内容	第14章 宗教から社会を捉える(163～176頁)を解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	第14章を読んでおくこと。163頁の予習課題をしておくこと。	1.5時間
		復習	第14章の内容を理解すること。173頁の課題をしておくこと。	1.5時間
15	講義内容	全講義を振り返り、社会学の考え方についてまとめる。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	教科書とノートを読み直して、全講義の理解の確認をしておくこと。	3時間
		復習	全講義の内容と概念について、再確認をしておくこと。	3時間
備考	各受講生が、毎回の講義内容を自分自身の身近な具体的な状況のなかで理解することによって、社会学の考え方を深めることができるので、そうした観点から意欲的に講義に臨んでほしい。 オフィスアワー:火曜日5限・水曜日3限			

科目名	生涯健康論(教養基礎)			LAB007	講義
担当教員	鈴木 忠				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	生涯を幸せで豊かに過ごすための基本は健康である。日本人は世界有数の長寿を誇っているが、自立して生活を送る健康寿命は、平均寿命より約10年も短い。本講義では、健康寿命の延伸のための生涯にわたる健康増進法について理解し、人々の健康寿命延伸に健康支援チームの一員として参加できる基礎能力を身に着けることを目的としている。				
到達目標	1.健康の定義と集団の健康評価指標を理解する。 2.個体の健康を維持するため生体の調節機構について理解する。 3.環境・生活習慣の変容と疾病発症の関連について理解する。 4.健康寿命延伸にむけた取り組みについて理解する。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度(課題に対する回答等)およびレポート:60点、期末試験:40点で総合60点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートに対しコメントする。				
使用教材	テキストは使用せず、配布資料及び視聴覚資料を使用する。 参考書として、厚生統計協会刊の「国民衛生の動向」を利用する。				
1	講義内容	健康の定義と健康評価指標 WHOの提唱した健康の定義を知る。集団の健康評価の指標として最もよく使われるのが平均寿命であるが、寿命には、〈平均寿命〉、〈平均余命〉、〈健康寿命〉、〈最長寿命〉などの呼び方があり、これから重要なのは、健康寿命であることを理解する。			
	該当する到達目標 1	予習	「国民衛生の動向」より健康評価諸指標の年代推移を把握する。		1.5時間
		復習	健康の定義と健康評価指標の理解を深める。		1.0時間
2	講義内容	健康を維持するための構造と働き 健康を維持するための主たる生理機構は、〈物質代謝〉である。物質代謝に関わる体の構造とその働きについて理解する。			
	該当する到達目標 2	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。		1.5時間
		復習	物質代謝を理解し関わる体の構造とその働きについて理解を深める。		1.0時間
3	講義内容	恒常性維持システムの役割と相互作用 物質代謝に関連する構造がバランスよく正常に機能するように統括する恒常性維持(ホメオスタシス)システムは、脳神経系、内分泌系及び免疫系で構成される。その働きと相互作用について理解する。			
	該当する到達目標 2	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。		1.5時間
		復習	生体の恒常性(ホメオスタシス)維持機構について理解する。		1.0時間
4	講義内容	食物と健康 物質代謝のスタートは食物からの栄養摂取である。食物には健康に欠かすことのできないエネルギー源〈栄養素〉だけでなく、生体調節機能を有する成分が含まれることを理解し、食生活が健康維持に密接に関連することを学習する。			
	該当する到達目標 2.3.4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。		1.5時間
		復習	食物の代謝過程を理解するとともに、食生活と健康との関連を学習する。		1.0時間

5	講義内容	運動と健康 運動には、健康維持のための恒常性維持システムを正常に働かせるための運動と筋力を鍛えるための運動がある。ここでは、恒常性維持のための運動とその役割及び自立生活を支え、健康寿命を延ばすための筋力を鍛える運動について理解する。		
	該当する到達目標 2.3.4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	健康維持における運動の生理学的意義と健康寿命延に伸向けた運動について理解する。	1.0 時間
6	講義内容	ストレスと生活環境 現代の社会・生活環境は個体にとって多くのストレスを生む。ストレスが、恒常性維持システムのバランスに悪影響を及ぼし、健康を害するメカニズムを理解し、ストレスを解消するための心のケアが健康維持にいかに重要であるかを理解する。		
	該当する到達目標 2.3	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	ストレスが、健康を害するメカニズムを理解し、その対策について理解する。	1.0 時間
7	講義内容	喫煙による健康障害 たばこが、発がん性だけでなく、血液循環障害や一酸化炭素中毒などの「喫煙と健康障害」のメカニズムについて理解する。「受動喫煙の影響」についても考える。		
	該当する到達目標 2.3.4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	喫煙とその健康障害及び健康障害の機序を理解する。	1.0 時間
8	講義内容	21 世紀における国民健康づくり運動(健康日本 21) 2000 年より、健康寿命の延伸を目指す健康づくり運動がスタートした。①食物・栄養、②運動及び③心の安静を「健康維持の 3 本柱」とし、これまでの早期発見・早期治療による二次予防及び確実な診断と治療・リハビリによる三次予防に対して、病気の発生そのものを防ぐ一次予防を重視する「予防医学」のスタートである。		
	該当する到達目標 1.3.4	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	21 世紀における国民健康づくりと取り組みを理解する。	1.0 時間
9	講義内容	特定健康診断の重要性及びメタリックシンドローム 特定健康診断の結果の値を、発病予防のための健康管理の指標とできることを理解する。さらに、「定期健康診断」によって、疾患の早期発見あるいは疾患前状態を発見することで、二次予防にも繋がることを理解する。また、「内臓脂肪症候群(メタリックシンドローム)」の怖さを理解し、その予防法について考える。		
	該当する到達目標 3.4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	メタリックシンドロームの病態・対策を理解する。	1.0 時間
10	講義内容	生活習慣病の危険因子としての糖尿病 「糖尿病」には、I 型と II 型があり、第 12 回で学習する冠状動脈や脳動脈における血液循環障害発生の危険因子となるのみならず、微小血管循環障害による腎障害、視力障害及び神経障害という「三大合併症」を引き起こす。人工透析が必要となる腎不全及び失明の原因の第 1 位は糖尿病である。危険因子としての糖尿病とその予防法について理解する。		
	該当する到達目標 3.4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生活習慣病の危険因子としての糖尿病 を理解する。	1.0 時間
11	講義内容	生活習慣病(心疾患・脳卒中)と発症を予防する生活習慣 死亡原因の 2 位及び 3 位の「心疾患(狭心症・心筋梗塞症)」及び「脳卒中」は、「血液循環障害」による。これらの疾患の本態を知り、生活習慣との関係を理解し、その予防のための生活習慣を考える。		
	該当する到達目標 3.4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生活習慣病(心疾患・脳卒中)の病態と発症と生活習慣との関連を理解する。	1.0 時間
12	講義内容	ロコモティブシンドローム		

		脳卒中と運動器障害は介護の主要原因となっている。骨粗鬆症・サルコペニア・運動器不安定を特徴とするロコモティブシンドローム対策が健康寿命の延伸に重要である。 ロコモティブシンドロームの早期診断と予防の重要性について理解する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3.4	復習	加齢に伴う運動器障害を理解し、早期診断と予防の重要性について理解する	1.0 時間
13	講義内容	生活習慣病(がん)と発症を予防するための生活習慣 日本人の死亡原因の1位はがん、2位は心疾患、3位は脳卒中であり、いずれも生活習慣に起因する。ここでは、がんという疾患を理解し、がんを発症する生活習慣<(がん発症危険因子)>を知る。また、<がん予防のための生活習慣>及び早期発見・早期治療のための<がん検診>の重要性について理解する。		
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3.4	復習	生活習慣と発がんとの関係を理解し、がん対策基本計画などその対策について学習する。	1.0 時間
14	講義内容	微生物感染症と感染・発症予防 日本人の死亡原因の第4位は肺炎と呼ばれる微生物感染症である。各種保健医療施設においては、入所(入院)者の<院内感染症>発症予防は、最重要課題である。輸血などの医療行為が微生物感染症の発生要因<(医原性感染症)>となる場合があること、感染症発生の予防法について理解する。		
	該当する到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3.4	復習	最近の感染症の動向を理解しその対策について学習する。	1.0 時間
15	講義内容	地域における健康支援チーム構成員とその役割まとめ これまで、健康管理は個人が自分自身の責任で行うとされてきたが、地域における集団での支えあいに重点を置くとされた。地域における健康支援には、本人、家族を中心に、医療専門職者、診療情報管理士、管理栄養士、福祉専門職者、その他多数の職種者からなる<健康支援チームによるチーム医療>が必要である。どのような職種がどのような役割を果たしてチームを構成して健康を支えようとしているのかを理解する。		
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	4	復習	地域包括ケアシステムを理解し、地域における健康づくりチームの構成員としての各人の役割を理解する。:	1.0 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日 12:30~13:30 15:30~16:30 研究室 4号館 2階学部長室 メールアドレス <a href="mailto:suzuki-t@takasaki-u.ac.jp">suzuki-t@takasaki-u.ac.jp</a> 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	生涯学習概論(教養基礎)			LAB008	講義
担当教員	小西 尚之				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	我々の多くは「学校教育」を中心に「教育」を受けてきたが、人間が学ぶ場は学校だけではない。本授業では、「教育」ではなく「学習」の視点から、公民館・博物館・図書館等の社会教育施設における学習など、「生涯学習」について学ぶ。授業の進め方としては、各テーマについての説明を聞くだけでなく、話し合い活動を通じて課題に取り組むことによって理解を深めていく。				
到達目標	1.「生涯学習」や「生涯学習社会」の理念について理解している。 2.社会教育施設等における学びの概要・特徴について理解している。 3.他者と協力しながら課題に積極的に取り組むことができる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	小テストに約70%、日常点(授業への参加、授業態度、課題への取り組み、討論、授業に対する貢献度等)に約30%を配分して総合評価する。				
課題に対する フィードバック	試験前後に出題の意図等を説明する。				
使用教材	教科書: 『新しい時代の生涯学習〔第2版〕』関口礼子他著、有斐閣アルマ、2009年、2,000円(税別)				
1	講義内容	オリエンテーション			
	該当する到達目標	予習	シラバスや教科書のまえがきを読んでおく。		1.5時間
	1	復習	資料を読んで、授業の概要を確認し、生涯学習を学ぶ意味を理解する。		1.5時間
2	講義内容	今なぜ生涯学習がクローズアップされるのか			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章(1~16ページ)を読んでおく。		1.5時間
	1,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5時間
3	講義内容	人は発達段階に応じて何を学ぶか			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章(17~32ページ)を読んでおく。		1.5時間
	1,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5時間
4	講義内容	就職すると人はどのような学習をするのか			
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章(33~54ページ)を読んでおく。		1.5時間
	1,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5時間
5	講義内容	情報からの学習(図書館)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章(55~74ページ)を読んでおく。		1.5時間
	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5時間
6	講義内容	地域社会からみた生涯学習(公民館)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第5章(75~98ページ)を読んでおく。		1.5時間
	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5時間
7	講義内容	「もの」からの学習(博物館)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章(99~116ページ)を読んでおく。		1.5時間
	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。		1.5時間
8	講義内容	教育によらない強力な学習			
	該当する到達目標	予習	教科書の第7章(117~142ページ)を読んでおく。		1.5時間

	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	女性の生涯の変化は男女にどのような学習を求めるか		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章(143～170 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	1,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	人口の高齢化は学習をどう変えるか		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章(171～186 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	1,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	情報技術は学習をどう変えるか		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 10 章(187～202 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	グローバル化は学習をどう変えるか		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 11 章(203～218 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	学校・大学の開放と生涯学習		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 12 章(219～234 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	1,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	生涯学習の方法		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 13 章(235～250 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	1,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	生涯学習の重視は社会の仕組みを変える		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 14 章(251～274 ページ)を読んでおく。	1.5 時間
	1,3	復習	教科書・資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー：  メールアドレス：konishi@takasaki-u.ac.jp  研究室：8号館4階409号室  履修上の注意：学校教育の最終段階である大学で学ぶ皆さんにとって、今後の人生で重要となる「生涯学習」について学ぶ意義は大きいと思います。ただし、少人数や全体での話し合い活動を重視するため、他者と協力しながら積極的に「学ぼう」という意欲が無い人には不向きです。</p>			

科目名	生命と環境の科学(教養基礎)			LAB009	講義
担当教員	奥 浩之				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	毎回、生命科学と環境科学の一つのトピックスについて、現状と問題・将来の課題など、高校までに学んだ知識をもとに、わかりやすく順を追って説明してゆく。具体的な事項を取り上げることで、漠然とした生命と環境についてのイメージを一新してもらうことを目的としている。生命分子の構造学習を行うので、各自で利用できるパソコンのあることが望ましい。(パソコンは持参する必要はなく、自宅で使用できればよい。)				
到達目標	1.地球環境について元素、物質循環、気候変動の観点から説明できる。 2.生命を構成する分子(核酸、タンパク質)について、分子構造、反応機構、応用の観点から説明できる。 3.私たちの生活に関連して、食品、バイオマス、医薬品や医療機器、のトピックスについて説明できる。 4.グローバルな視点から、新しい感染症、ワクチン開発、などのトピックスについて説明できる。 5.様々な文献や資料を参照し、レポート形式または要約・箇条書きの形式でまとめられるようになる。				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	レポート課題 50%、授業参加度 50%				
課題に対するフィードバック	提出されたレポート課題に対しては、コメントを付けて返却または講義時間内に課題の解説を行うことで受講学生へフィードバックする。				
使用教材	使用しない(講義にて用いるスライドを配布予定)				
1	講義内容	生命と環境—地球における化学進化と生命における元素の役割			
	該当する到達目標	1.5	予習	元素周期表( <a href="http://stw.mext.go.jp/series.html">http://stw.mext.go.jp/series.html</a> )を読んでみよう。	1時間
			復習	(1)人体を構成する元素の存在比 (2)主要元素・微量・超微量元素の具体的な元素名 (3)様々な元素の生体または医薬品における役割	1.5時間
2	講義内容	生命と環境—地球における元素の循環			
	該当する到達目標	1.5	予習	ヒトの活動による、水需要の増大、化石燃料の大量燃焼、窒素肥料の大量使用と地球環境への影響について調べてみよう。	1時間
			復習	(1)大気・土壌における物質循環 (2)水循環、窒素循環、炭素循環、硫黄循環、リン循環の特徴 (3)人類の活動による物質循環への影響	1.5時間
3	講義内容	生命と環境—温室効果ガスによる地球温暖化			
	該当する到達目標	1.5	予習	温室効果ガスとは?温室効果は何故起こるか?調べてみよう。	1時間
			復習	(1)地球上での物質循環は気候変動と密接に関連する (大気を暖める要因と冷やす要因) (物質循環の詳細な研究による、地球環境変化の予測) (2)IPCC 第5次報告書(2014年)におけるRCPシナリオ (気候モデルによって予測された21世紀末の世界の気温) (世界全体のCO <sub>2</sub> 累積排出量と気温上昇量は比例する) (3)国連気候変動枠組条約 (日本における温室効果ガス削減目標)	1.5時間
4	講義内容	生命と生体分子…DNA 二重らせんとX線構造解析			

2,5	該当する到達目標	予習	ワトソンとクリックによるDNA二重らせんモデル (1) 当時用いられた分子モデル(ロンドン・サイエンスミュージアム) <a href="http://www.sciencemuseum.org.uk/broughttolife/objects/display?id=6145">http://www.sciencemuseum.org.uk/broughttolife/objects/display?id=6145</a> (2) 1953年の論文 <a href="http://www.nature.com/nature/dna50/watsoncrick.pdf">http://www.nature.com/nature/dna50/watsoncrick.pdf</a> (3) DNA構造について(英文なので、最初は図を見るのがよい) 特に Figure 5 を見て、3種類の二重らせん構造があることに注目しよう <a href="http://www.nature.com/scitable/topicpage/discovery-of-dna-structure-and-function-watson-397">http://www.nature.com/scitable/topicpage/discovery-of-dna-structure-and-function-watson-397</a>	1 時間	
		復習	(1) DNAの分子構造はX線回折法によって求められる (2) ブラッグの回折条件式 (3) DNA繊維写真のX型パターン	1.5 時間	
5	講義内容	生命と生体分子…タンパク質の構造解析における2つの方法			
	該当する到達目標	2,5	予習	(1) タンパク質を構成する 20 種類のアミノ酸とは？ (2) アミノ酸の“光学活性”とは？	1 時間
			復習	(1) アミノ酸 20 種類の分子構造 (2) X線回折測定によるタンパク質の3次元構造解析 (3) NMR測定によるタンパク質の3次元構造解析	1.5 時間
6	講義内容	生命と生体分子…タンパク質の構造と機能			
	該当する到達目標	2,5	予習	(1) 膜タンパク質とは？ (2) アイスクリームの成分について。 (3) 低脂肪アイスクリームの成分がわかったら調べてみよう。	1 時間
			復習	(1) swiss-pdb によってカリウムチャンネルの分子構造を見てみよう (2) 低脂肪アイスクリームにおける不凍タンパク質の機能について	1.5 時間
7	講義内容	生命と生体分子…さまざまなタンパク質			
	該当する到達目標	2,5	予習	(1) 70S リボソームにおけるタンパク質合成 (2) 電子伝達系におけるATP合成 (3) ビタミンB12の役割 (4) マメ科植物における根粒菌とは？	1 時間
			復習	(1) 70S リボソームと tRNA の分子構造(PDB ID: 4v4j) (PDB ID: 2tra) (2) F1-ATPase プロトン濃度勾配によるATP合成 (3) カルモデュリンの分子構造変化(PDB ID: 3cln ) (PDB entry 2bbm)	1.5 時間
8	講義内容	生命と生体分子…酵素・タンパク質の反応機構			
	該当する到達目標	2,5	予習	(1) セリンプロテアーゼによるタンパク質の加水分解機構 (2) 加水分解酵素の活性中心における触媒反応を行うアミノ酸残基について (3) 光合成における二酸化炭素固定反応について	1 時間
			復習	(1) 酵素の活性中心におけるさまざまな金属イオンとその役割について (2) 光合成における RuBisCO (二酸化炭素と水とリブローブス 1,5 ビスリン酸から二分子の3-ホスホグリセリン酸を得る反応を触媒する)の反応機構について。	1.5 時間
9	講義内容	生命と生体分子…ヘム蛋白(Mb, Hb, Cyt c, CYP450)			
	該当する到達目標	2,5	予習	(1) ヘムタンパク質とは？ (2) ミオグロビンとヘモグロビンの違いは？ (3) CYP3A4 とは？	1 時間
			復習	(1) ミオグロビン (PDB ID, 1A6M)	1.5 時間

			(2)チトクローム c (PDB ID, 2B4Z) (3)チトクローム P450 (PDB ID, 1W0E) (4)医薬品の代謝における CYP3A4 の影響について	
10	講義内容	ヒトの活動と環境: 食品の安全確保(加工食品の成分)		
	該当する到達目標	予習	(1)アクリルアミドの分子構造、用途、注意点	1 時間
	3,5	復習	(1)行政(農水省)では加工食品の安全確保についてどのような活動をおこなわれているか?	1.5 時間
11	講義内容	ヒトの活動と環境: バイオマスとバイオリファイナリー		
	該当する到達目標	予習	(1)バイオマスとは? (2)バイオエタノールとは?	1 時間
	3,5	復習	(1)バイオリファイナリーとは? (2)バイオガソリンの成分は? (3)2 種類のバイオプラスチックとは?	1.5 時間
12	講義内容	ヒトの活動と環境: 外科手術用の接着剤		
	該当する到達目標	予習	(1)ポリウレタンの分子構造とは? (2)ポリウレタンはどのような原料から作られるか?	1 時間
	3,5	復習	(1)ウレタンプレポリマーによる血管の吻合メカニズム (2)血管の吻合における瞬間接着剤の欠点は? (3)血管の吻合におけるウレタンプレポリマーの優れている点は?	1.5 時間
13	講義内容	生命と環境...インフルエンザワクチンの成分		
	該当する到達目標	予習	(1)ワクチンによる予防免疫のしくみ	1 時間
	4,5	復習	(1)様々なインフルエンザワクチンについて	1.5 時間
14	講義内容	生命と環境...グローバル化と感染症(ジカ熱、デング熱など)		
	該当する到達目標	予習	(1)蚊によって媒介される感染症とは? (2)グローバル化におけるヒトの移動や経済活動の活発化について	1 時間
	4,5	復習	(1)グローバル化と感染症の拡大はどのように関係するか? (2)ワクチンの開発例について	1.5 時間
15	講義内容	生命と環境 ... 食べると甘い香りが発散するお菓子について		
	該当する到達目標	予習	(1)ワインやコーヒーの香りを分析する装置について調べてみよう(ヘッドスペース装置の付いたガスクロトグラフィー/質量分析計) (2)ヒトにおける薬物代謝のしくみ	1 時間
	4,5	復習	(1)ヒトの体の匂いに関与する成分はどのようにして分析されたか? (2)お菓子を食べてから、体表面から香気成分が発散するまでの経路は?(ヒトにおける薬物代謝から説明してみよう。)	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	国際関係論(教養基礎)			LAB010	講義
担当教員	片桐康夫				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	アメリカのトランプ大統領の誕生によりますます混迷の度を増す今日の世界の基本構造について理解すること。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代世界の理解</li> <li>2. 今日の世界の基本構造の理解</li> <li>3. 国家間の対立要因の理解</li> <li>4. 国家間の相互理解の理解</li> <li>5. 自由主義イデオロギーと社会主義的イデオロギーの理解</li> <li>6. 現代の戦争の理解</li> <li>7. 国家の安全保障の理解</li> <li>8. 核の下の平和の理解</li> <li>9. 国際秩序概念の理解</li> <li>10. 国際テロ、難民、民族や宗教対立発生要因の理解</li> <li>11. 第二次世界大戦後の米軍による日本占領の理解</li> <li>12. 日本の原型の形成の理解</li> <li>13. 戦後日本外交の理解</li> <li>14. 日本に突き付けられた国際貢献問題の理解</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	講義中に行う 3 回程度の試験(60%)と授業に臨む態度(20%)、授業参加度(20%)等により総合評価する。				
課題に対するフィードバック	試験を行った場合には、翌週に採点結果を返却する。その際には、一人一人に論文やレポート用の分の構成、文体、文の修正、誤字脱字等について指導をおこなう。				
使用教材	教科書を用いず、プリントを配布する。				
1	講義内容	授業展開の方法、出席の取り方、試験の方法、成績評価の方法についてガイダンスを行う。			
	該当する到達目標	予習	必要なし。		0 時間
		復習	必要なし。		0 時間
2	講義内容	今日の世界の混迷した状況やトランプ氏当選の背景等について概観する。			
	該当する到達目標	予習	1 週間分の新聞の 1,2 メインの記事に目を通しておくこと。		1 時間
	1,3,7,8,10,	復習	ノートテイキングした部分の加筆、整理と新聞記事の内容を付加すること。		1 時間
3	講義内容	「冷戦の特異性」の意味と大規模な戦争後に起こりやすい先勝同盟国間の対立を理解する。			
	該当する到達目標	予習	プリントのウイーン会議の項を読んでおくこと。		1 時間
	1,2,3,9,	復習	細谷雄一『国際秩序』中公新書の p.115-120、p.282 を読み、内容をノートにまとめること。		1 時間
4	講義内容	先勝同盟国間の対立の典型的事例であるウイーン会議について理解する。			
	該当する到達目標	予習	プリントのウイーン会議の項を読んでおくこと。		1 時間
	2,4,7,	復習	『国際秩序』の p.121-124 を読み、内容をまとめること。		1 時間
5	講義内容	国際コミュニケーションにとって大切な共通の価値観の意味について理解する。			
	該当する到達目標	予習	プリントの共通の価値観の項を読んでおくこと。		1 時間

	3,4,5,	復習	『国際秩序』の p.128-130 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
6	講義内容	ウイーン会議とは反対に共通の価値観の欠如していた米ソ間の体制間対立について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの米ソ間の体制間対立の項を読んでおくこと。	1 時間
	2,3,4,5,8,	復習	『国際秩序』の p.230-241 を読み内容をノートにまとめること。	1 時間
7	講義内容	米ソ間のイデオロギー対立について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントのイデオロギー対立の項を読んでおくこと。	1 時間
	3,5,7	復習	『国際秩序』の p.237-241 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
8	講義内容	米ソ両国間の安全保障観の相違と戦争の性格の変化について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの安全保障観の相違と戦争の性格の変化の項を読んでおくこと。	1 時間
	6,7,8,	復習	戦争の性格の変化についてのDVDを観て、同変化をノートにまとめること	1 時間
9	講義内容	冷戦の定義、それに基づく形で冷戦の起源と終焉について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの冷戦の定義と冷戦の起源と終焉についての項を読んでおくこと。	1 時間
	2,6,7,8,	復習	永井陽之助『冷戦の起源』中央公論社の p.6-10 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
10	講義内容	究極の兵器がもたらした核の下の平和について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの核の下の平和についての項を読んでおくこと。	1 時間
	1,6,7,8,	復習	『国際政治』の p.253-255 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
11	講義内容	冷戦の逆説である長い平和について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントのガディスの逆説についての項を読んでおくこと。	1 時間
	1,7,8,9	復習	『国際政治』の p.22256-260 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
12	講義内容	冷戦終焉と終焉後の世界の不安定性の理由について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの国際秩序維持勢力と国際秩序の喪失の項を読んでおくこと。	1 時間
	1,7,8,9	復習	『国際政治』p.281-285 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
13	講義内容	冷戦後の初の戦争-湾岸戦争の意義、テロ・民族対立・宗教対立・難民発生の理由を理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの湾岸戦争、国際秩序なき時代についての項を読んでおくこと。	1 時間
	6,7,10,	復習	『文明の衝突と 21 世紀の日本』集英社新書の p.21-36 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
14	講義内容	終戦、米国の対日占領政策、天皇制存置、SF 講和、日米安保について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの終戦から SF 講和に至る項を読んでおくこと。	1 時間
	7,11,12,	復習	小此木・赤木共編『冷戦期の国際政治』慶応大学出版会 p.288-306 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
15	講義内容	『「戦後」の克服』の意味、現代の日本外交の課題について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの「戦後」の克服、国際貢献問題等の項を読んでおくこと。	1 時間
	1,10,13,14	復習	講義中に配布する新聞の切抜き記事を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
備考	オフィスアワーは、前期の木曜日、昼休み時間に設ける。場所は講師室。質問等があったら、来てほしい。 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること			

科目名	体育理論(教養基礎)			LAB011	講義
担当教員	入澤孝一				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	医療従事者として基礎的なスポーツ科学、トレーニング理論を身に付ける事、及びスポーツの社会的役割について知識を学ぶことにより、人々が健康に生き生き生活する社会の形成に貢献する人材を育成する。				
到達目標	1.トレーニングの基礎、理論についての知識を習得する。 2.各種の体力要素とトレーニングの関係について知識を習得する。 3.スポーツの果たす社会的役割、教育的役割について理解する				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	毎授業の課題についてレポート提出による評価 60% 授業時の小テストによる評価 40%				
課題に対する フィードバック	課題レポートは評価し、コメントをつけて返却する。 授業時の小テストは、前時の知識の定着度を図る。				
使用教材	自作のパワーポイント資料をプリントして配布する。				
1	講義内容	日本人の健康・体力についての現状を把握する。			
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。		1.5 時間
	1	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	生活習慣病の予防・改善のための運動処方			
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。		1.5 時間
	1	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。		1.5 時間
3	講義内容	子どもの身体活動のためのエクササイズ			
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。		1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。		1.5 時間
4	講義内容	スポーツのトナビリティー			
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。		1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。		1.5 時間
5	講義内容	人の身体の構造と特徴			
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。		1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。		1.5 時間
6	講義内容	スポーツと栄養			
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。		1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。		1.5 時間
7	講義内容	トレーニングの原則			
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。		1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。		1.5 時間
8	講義内容	ウォーミングアップ、クーリングダウン及びオーバートレーニング			
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。		1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。		1.5 時間
9	講義内容	巧みさの向上及び粘り強さの(有酸素)の向上			

	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。	1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。	1.5 時間
10	講義内容	力強さと(筋力)と無酸素トレーニング		
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。	1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。	1.5 時間
11	講義内容	身体のバランス・柔軟性とストレッチング		
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。	1.5 時間
	1,2	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。	1.5 時間
12	講義内容	スポーツ文化・教育・コーチング		
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。	1.5 時間
	3	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。	1.5 時間
13	講義内容	競技力向上対策		
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。	1.5 時間
	3	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。	1.5 時間
14	講義内容	加齢と体力低下及び発育期の障害と予防		
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントに目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業終了後のレポートにより授業内容を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	医療従事者としての心得と社会貢献		
	該当する到達目標	予習	スポーツ・運動を医療従事者としてどう活用すべきかについて考えておく。	1.5 時間
	3	復習	スポーツ・身体活動が、健康な社会に果たす役割を確認する。	1.5 時間
備考	<p>授業後に、次の授業に使う資料を配布する。</p> <p>オフィスアワー: 木曜日1~2 限 健康運動実践指導者 認定試験受験資格</p> <p>メールアドレス: irisawa@takasaki-u.ac.jp</p> <p>3号館 202号室</p>			

科目名	体育実技(教養基礎)			LAB012	実習
担当教員	小山裕史				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	医療従事者として基礎的なスポーツ科学、トレーニング理論及び体力測定について身に付ける。特に新体力テストの測定方法と測定結果に基づいたトレーニングを実施する。中・高齢者が健康に活動するためのスポーツや動きづくりの実技・方法について習得する。				
到達目標	1.新体力テストの測定方法と評価について理解する 2.無酸素・有酸素能力及び身体組成について理論と測定方法について理解する 3.競技者を中心とした基礎的な動きづくりについて習熟する 4.中・高齢者を対象とした初動負荷トレーニングについて習熟する。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業終了時に出したレポート課題の提出による評価 50% 出欠状況、授業態度 20% 最終授業で試験 30%				
課題に対するフィードバック	レポート課題について評価し、コメントをつけて返却する。 正確な動きづくりが自ら出来て、指導できるように練習する。				
使用教材	自作パワーポイント資料のプリント配布 及び著書を利用する。				
1	講義内容	ガイダンス及び新体力テストの概要について			
	該当する到達目標	予習	シラバスについて目をとおしてくる。		1.5 時間
	1	復習	授業内容、評価方法、新体力テストについて確認する。		1.5 時間
2	講義内容	新体力テストの実施			
	該当する到達目標	予習	新体力テストの実施方法を練習してくる。		1.5 時間
	1	復習	新体力テストが正しくできたかを確認する。		1.5 時間
3	講義内容	新体力テストの結果と評価			
	該当する到達目標	予習	自分の測定結果について評価してまとめてくる。		1.5 時間
	1	復習	事故の測定結果、全体の結果の分析について確認する。		1.5 時間
4	講義内容	身体組成の測定			
	該当する到達目標	予習	身体組成について事前に調べてくる。		1.5 時間
	1	復習	自己の測定データについて確認する。		1.5 時間
5	講義内容	有酸素運動の理論			
	該当する到達目標	予習	有酸素運動について調べてくる。		1.5 時間
	2	復習	有酸素運動について確認する。		1.5 時間
6	講義内容	有酸素運動の測定と評価			
	該当する到達目標	予習	予め測定に向け、日常生活で有酸素的な運動を心がけておく。		1.5 時間
	2	復習	測定データを確認する。		1.5 時間
7	講義内容	無酸素運動の理論			
	該当する到達目標	予習	有酸素運動について調べてくる。		1.5 時間
	2	復習	有酸素運動について確認する。		1.5 時間
8	講義内容	無酸素運動の測定と評価			

	該当する到達目標	予習	予め日常生活で無酸素的な運動を心がけておく。	1.5 時間
	2	復習	測定データを確認する。	1.5 時間
9	講義内容	レジスタンストレーニングの基礎理論・留意点		
	該当する到達目標	予習	レジスタンストレーニングについて調べてくる。	1.5 時間
	3	復習	レジスタンストレーニングの理論と留意点について確認する。	1.5 時間
10	講義内容	初動負荷マシンを使ったレジスタンストレーニングの実際 ①		
	該当する到達目標	予習	初動負荷マシンについて調べてくる。	1.5 時間
	3	復習	初動負荷マシンの使い方を確認する。	1.5 時間
11	講義内容	初動負荷マシンを使ったレジスタンストレーニングの実際 ②		
	該当する到達目標	予習	初動負荷マシンの使い方の練習をしてくる。	1.5 時間
	3	復習	初動負荷マシンの使い方を確認する。	1.5 時間
12	講義内容	中・高齢者を対象とした初動負荷マシンのトレーニング ①		
	該当する到達目標	予習	中・高齢者の運動の留意点につて調べてくる。	1.5 時間
	3	復習	初動負荷マシンの使い方を確認する。	1.5 時間
13	講義内容	中・高齢者を対象とした初動負荷マシンのトレーニング ②		
	該当する到達目標	予習	初動負荷マシンの使い方の練習をしてくる。	1.5 時間
	3	復習	初動負荷マシンの使い方を確認する。	1.5 時間
14	講義内容	中・高齢者を対象とした初動負荷マシンのトレーニング ③		
	該当する到達目標	予習	初動負荷マシンの使い方の練習をしてくる。	1.5 時間
	3	復習	初動負荷マシンの使い方を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	トレーニング理論総括		
	該当する到達目標	予習	授業で実施した各種トレーニングの理論について目をとおしてくる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	トレーニングの基礎理論が理解できたかを確認する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー 水曜日 1 時限 4 時限 健康運動実践指導者 認定試験受験資格 小山研究室 3 号館			

科目名	キャリア形成論(教養基礎)			LAB013	講義
担当教員	小泉 英明				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	<p>社会の仕組みはもとより、経済、雇用など私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変わり、仕事の質や内容が大きく変化しています。本講座では、大学生が社会(企業・組織)から求められている「能力」について理解を深め、社会ですぐに役立つ人材となることを目指します。授業ではSGD(スモール・グループ・ディスカッション)を通じてお互いを高め合い、コミュニケーション能力・思考力・問題解決能力を醸成するとともに、様々なケーススタディによって社会・職場適応力を習得します。さらに、本学卒業後、社会人として適切なスタートを切ることができるよう、“自身”の強化プラン策定と目標管理を行いながら、将来のキャリア形成につながる基礎を固めます。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会の出来事を理解し、社会に通用する就業観、勤労観を学ぶ。</li> <li>2. 自己の成長に向けて、自己を正しく理解するとともに、自己効力感を養う。</li> <li>3. 社会人基礎力を理解し、社会適応力を身につける。</li> <li>4. 読む・聞く・書く・話す力の基本を身につけ、コミュニケーション能力を高める。</li> <li>5. 論理を組み合わせる手法を学び、論理的思考力を高める。</li> <li>6. アイデアの出し方を学び、創造的思考力を高める。</li> <li>7. 気づく力を身につけ、問題発見能力を高める。</li> <li>8. 問題解決のスキルと手法を学び、問題解決能力を高める。</li> <li>9. 自己変革のために必要な自身の問題点を探る。</li> <li>10. 自律型人材に向けての目標管理ができる。</li> <li>11. 社会における人間関係を学び、社会適応力を高める。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	最終レポート 60%、授業後の提出課題 30%、授業参加度・授業態度 10% それぞれの評価基準については初回授業で説明します。総合評価 60%以上を合格とします。				
課題に対するフィードバック	授業後の提出課題については、随時コメントをつけてフィードバックします。 最終レポートの後に、出題テーマの意図を掲示によって示します。				
使用教材	講義内容を随時プリントして配布します。				
1	講義内容	ガイダンス／キャリア形成に必要なこと			
	該当する到達目標	予習	新聞、テレビなどのニュースから、社会の出来事を理解して臨む。		1.5 時間
	1	復習	社会が求めていること、キャリア形成に必要なコアコンピタンスを理解する。		1.5 時間
2	講義内容	先行きの予測が困難な時代／社会が求める人材			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第2回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。		1.5 時間
	1,3	復習	キャリア形成に必要な「社会人基礎力」について理解を深める。		1.5 時間
3	講義内容	自己の理解			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第3回講義プリントを読む。自己理解シートに記入する。		1.5 時間
	2	復習	自己理解と、自己効力感を理解する。自分のパーソナリティを確認する。		1.5 時間
4	講義内容	コミュニケーション力			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第4回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。		1.5 時間
	3,4	復習	コミュニケーション力チェックシートで、自身の力を客観的につかむ。		1.5 時間

	講義内容	実践コミュニケーション力		
5	該当する到達目標	予習	事前に配布する第5回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5時間
	3,4	復習	ディスカッションを振り返り、自身のストロング・ウィークポイントを知る。	1.5時間
	講義内容	気づく力		
6	該当する到達目標	予習	事前に配布する第6回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5時間
	3,7	復習	事例研究課題に取り組む。	1.5時間
	講義内容	考える力Ⅰ(ロジカルシンキング・クリティカルシンキング)		
7	該当する到達目標	予習	事前に配布する第7回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5時間
	3,5	復習	事例研究のワークシートに取り組む。(課題→第9回のBSで使用)	1.5時間
	講義内容	考える力Ⅱ(クリエイティブシンキング)		
8	該当する到達目標	予習	事前に配布する第8回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5時間
	3,6,7,8	復習	クリエイティブシンキングを阻むものについて理解を深める。	1.5時間
	講義内容	創造力を伸ばす(BS 演習ほか)		
9	該当する到達目標	予習	事前に配布する第9回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5時間
	3,6,7,8,9	復習	ブレインストーミングをはじめ、創造力を伸ばす技法の理解を深める。	1.5時間
	講義内容	問題解決能力Ⅰ(問題点を探る・WHY ツリー)		
10	該当する到達目標	予習	事前に配布する第10回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5時間
	3,7,8,9	復習	自身の問題の「問題点」を WHY ツリーで探る。(課題→提出)	1.5時間
	講義内容	働く意味/「仕事力」と「就業力」		
11	該当する到達目標	予習	事前に配布する第11回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5時間
	1,3	復習	「仕事観」「就業観」を理解し、レポートを書く。(課題→提出)	1.5時間
	講義内容	問題解決能力Ⅱ(問題解決の手法・HOW ツリー/目標設定・キャリアマニフェスト)		
12	該当する到達目標	予習	事前に配布する第12回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5時間
	3,8,9,10	復習	自身の課題を解決するため、目標設定と計画立案を行う。(課題→提出)	1.5時間
	講義内容	社会における人間関係		
13	該当する到達目標	予習	事前に配布する第13回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5時間
	3,11	復習	人との接し方と、よりよい人間関係を築く方法を理解する。	1.5時間
	講義内容	自己の確立(内面のコントロール)		
14	該当する到達目標	予習	事前に配布する第14回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5時間
	3,10	復習	将来のキャリア形成に向けて、自己を確立することの重要性を理解する。	1.5時間
	講義内容	ストレスマネジメント		
15	該当する到達目標	予習	事前に配布する第15回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5時間
	3,11	復習	ストレス対処法を理解し、ストレスに対する耐性力に高める。	1.5時間
備考	<p>オフィスアワー: 木曜日(12~17時)</p> <p>事前に配布するプリントをもとに予習して授業に臨んでください。配布プリントはファイリングし、毎回持参してください。授業は積み上げ方式で進めていくので、授業後は必ず復習してください。新聞やテレビなどのニュースには常に関心を持ち、社会の出来事を理解し授業に臨んでください。</p> <p>[看護師・保健師・養護教諭に求められる基本的な資質]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 看護師・保健師・養護教諭として、人の役に立つという心構え</li> <li>② 患者・生活者本位の視点</li> <li>③ コミュニケーション能力</li> <li>④ チーム医療への参画</li> <li>⑤ 自己研鑽</li> </ol>			

科目名	哲学(人間理解)			LAH001	講義
担当教員	大石 桂子				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	「他者とどう関わっていけばよいか」「正しいと信じられていることは、なぜ正しいと言い切れるのか」「病気や“弱さ”とどう向き合うか」。普段は漠然と理解しているように感じることに、改めて疑問を持ち探究するのが哲学である。本講義では、共生社会、健康と病、技術者の社会的責任など、医療に従事するものとして考えておきたいトピックを取り上げる。哲学者たちの思想も手引きとして、みずから論理的に思考し、適切に表現することを目標とする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人と人、個人と社会のあり方について、多様な視点から理解し、説明できる。</li> <li>2. 平等性やノーマライゼーションなど、共生社会の実現に必要な概念を理解し、説明できる。</li> <li>3. 医療技術や医薬品が多様な目的で使用・研究されること、その社会的影響を理解し、説明できる。</li> <li>4. 医療技術者など専門家のもつ社会的責任を理解し、説明できる。</li> <li>5. 各テーマについて自分の考えをもち、それを適切な表現で他者に伝えることができる。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験(60%)、予習課題・ミニレポート(40%)に、講義への参加態度等を加えて総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	レポート課題については、コメントを添えて講義中に紹介する。				
使用教材	河上正秀・小林秀樹編著『変容する社会と人間——実存のトポスを求めて』北樹出版 その他、講義中にプリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容をよく読み、講義の目標や取り扱う内容を理解する。		1時間
		復習	「哲学」の目標、学ぶ意義について理解する。		1時間
2	講義内容	自分と他者(1)人間は人から認められたいのか——ヘーゲル			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。		1時間
	1,5	復習	ヘーゲルのいう「承認への欲求」を理解する。		1.5時間
3	講義内容	自分と他者(2)本当の自分とは——キルケゴール			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。		1時間
	1,5	復習	キルケゴールの「大衆と実存」を理解し、ヘーゲルの人間像と比較する。		1.5時間
4	講義内容	平等と共生(1)誰もが信じられる正しさはあるか——ロールズ			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。		1時間
	2,5	復習	「機会の平等」と「結果の平等」を理解する。		1.5時間
5	講義内容	平等と共生(2)隔離や拘束を減らす——ノーマライゼーション			
	該当する到達目標	予習	教科書第1章 p.14-23 を読み、予習課題を解く。		2時間
	2,5	復習	ノーマライゼーションの意義を理解する。		1.5時間
6	講義内容	平等と共生(3)生活の中の「依存」——ケアの倫理			
	該当する到達目標	予習	教科書第1章 p.23-29 を読む。		1時間
	2,5	復習	ケアの倫理と正義の倫理の違いを理解する。		1.5時間
7	講義内容	多様性と公共空間(1)ユニバーサルデザイン			
	該当する到達目標	予習	教科書第2章 p.33-45 を読む。		1時間

	2,5	復習	バリアフリーとユニバーサルデザインの違いを理解する。	1.5時間
8	講義内容	多様性と公共空間(2)バリアの再生産を防ぐために		
	該当する到達目標	予習	教科書第2章 p.45-50 を読む。	1時間
	2,5	復習	設計の発想や技術が社会に与える影響を理解する。	1.5時間
9	講義内容	エンハンスメント(1)変化する「病」と「弱さ」への介入		
	該当する到達目標	予習	教科書第3章 p.52-61 を読み、予習課題を解く。	2時間
	3,5	復習	エンハンスメントや「医療化」について理解する。	1.5時間
10	講義内容	エンハンスメント(2)記憶と共感の役割		
	該当する到達目標	予習	教科書第3章 p.61-68 を読む。	1時間
	3,5	復習	弱さを排除した場合の社会的影響について理解する。	1.5時間
11	講義内容	「空気」を意識する		
	該当する到達目標	予習	教科書第4章 p.72-89 を読み、予習課題を解く。	2時間
	1,5	復習	「空気」の作用や問題点を理解する。	1.5時間
12	講義内容	技術者のための哲学(1)誰の利益を守るのか——ステイクホルダー・アプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間
	4,5	復習	専門職が消費者や市民に対してもつ責任を理解する。	1.5時間
13	講義内容	技術者のための哲学(2)科学的な「正しさ」とリスク評価		
	該当する到達目標	予習	教科書第9章 p.171-190 を読む。	1時間
	4,5	復習	科学的に正しいとはどういうことか、現在のリスク評価の問題を理解する。	1.5時間
14	講義内容	技術者のための哲学(3)専門職の社会的責任		
	該当する到達目標	予習	教科書第7章 p.136-144 を読み、予習課題を解く。	2時間
	4,5	復習	専門職の「誇り」の根拠について理解する。	1.5時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	第1回～14回のノートに目を通す。	2時間
	1,2,3,4,5	復習	配布プリントを解き、完成させる。	1.5時間
備考	<p>本講義では知識の修得だけでなく、みずから考えることを重視するので、課題など積極的に取り組んで下さい。</p> <p>オフィスアワー:水曜日の2時限、金曜日の2時限。質問はメールでも受け付けます。</p> <p>メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」</p> <p>研究室:1号館6階601</p> <p>予習・復習については試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	倫理学(人間理解科目)			LAH002	講義
担当教員	大石 桂子				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 2単位		
講義目標	現在、医療の場では「生む・生まれる」「生きる」「死を迎える」というそれぞれの段階に、価値観の違いによる様々な葛藤がある。本講義では、安楽死や出生前診断など、医療にたずさわる者として考えておきたいトピックを取り上げる。そうした対立が生じる背景、問題を理解するとともに、みずから判断する力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療倫理の四原則、自己決定の重要性と課題について理解し、説明できる。</li> <li>2. 善悪の判断基準(目的論と義務論)について理解し、説明できる。</li> <li>3. 出生前診断や安楽死など、現代医療の問題を多角的に理解し、説明できる。</li> <li>4. 個人と社会の関係性を考察し、よりよい議論と合意形成のあり方を理解し、説明できる。</li> <li>5. 各テーマに関してみずから考え、その考えを適切に表現、伝えることができる。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験(60%)、ミニ・レポート(40%)に、講義への参加態度等を加えて総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	提出課題については、内容にコメントを添えて講義中に紹介する。				
使用教材	講義中にプリントを配布。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義内容や到達目標を確認する。	1時間	
		復習	倫理学を学ぶ意義について理解する。	1時間	
2	講義内容	医療倫理の四原則			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間	
	1,5	復習	医療倫理の四原則について理解する。	1.5時間	
3	講義内容	意志と自己決定 (1) インフォームド・コンセントとアドボカシー			
	該当する到達目標	予習	インフォームド・コンセントの定義を確認する。	1時間	
	1,5	復習	自己決定重視の背景、医療従事者の役割を理解する。	1.5時間	
4	講義内容	「善」の基準 (1) 「よさ」は利益で決まるのか			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間	
	1,5	復習	目的論(功利主義)の考え方を理解する。	1.5時間	
5	講義内容	「善」の基準 (2) 誰もが共有する「よさ」はあるか			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間	
	2,5	復習	義務論の考え方を理解する。	1.5時間	
6	講義内容	意志と自己決定 (2) 治療の差し控えと代理決定			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間	
	2,5	復習	ケース・スタディのプリントを完成させる。	1.5時間	
7	講義内容	グループワーク① 代理決定はどこまで許されるか			
	該当する到達目標	予習	第1回～第4回のノート・資料に目を通す。	1.5時間	
	1,2,5	復習	ディスカッションの内容をふまえ、自分の考えをまとめる。	1.5時間	
8	講義内容	脳死と移植医療			
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間	

	3,5	復習	脳死への多様な見方を理解できる。	1.5 時間
9	講義内容	安楽死 (1) 日本の判例とオランダの法整備		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	積極的安楽死について国内外の現状を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	安楽死 (2) 新生児・胎児への安楽死と優生思想		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	安楽死を法制化する社会的影響、安楽死を避けるための取組みを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	生殖の倫理 (1) 出生前診断: 子どもを選ぶ権利はあるか		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	VTR の内容について、プリントを完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	生殖の倫理 (2) 「子どもをもつ権利」と「子どもの権利」		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	AID や代理母の問題について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ディスカッション② 家族のあり方と医療技術		
	該当する到達目標	予習	第 11 回～第 12 回のノート・資料に目を通す。	1.5 時間
	3,5	復習	ディスカッションの内容をふまえ、自分の考えをまとめる。	1.5 時間
14	講義内容	QOL 向上への取り組み		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4,5	復習	VTR の内容について、プリントを完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	個人の意志と社会、合意形成——よりよい決定のために		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4,5	復習	個人と社会の相関関係、合意形成のあり方について理解する。	1.5 時間
備考	<p>本講義では知識の修得だけでなく、みずから考えることを重視するので、課題など積極的に取り組んで下さい。</p> <p>オフィスアワー: 水曜日の 2 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。</p> <p>メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」</p> <p>研究室: 1 号館 6 階 601</p> <p>予習・復習については試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	心理学(人間理解)			LAH003	講義
担当教員	内田祥子				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	人間の心理的諸機能に関する理論・研究について学び、自己理解・患者理解に必要な基礎的知識の習得を目指す。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学理論による人の理解とその技法の基礎について説明できる。</li> <li>2. 人間の行動の基礎過程について説明できる。</li> <li>3. 人間の発達と心理との関係について説明できる。</li> <li>4. 社会的環境が人の心理に対して及ぼす影響について説明できる。</li> <li>5. 心理的支援の方法と実際について説明できる。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	宿題 30%、学期末テスト 70%。宿題の得点が一定水準に達しなければ、学期末テスト・レポートの得点に関わらず、単位を付与しない。				
課題に対するフィードバック	小テスト(予習・復習課題)の解説を次回の授業で毎回おこなう。				
使用教材	授業内で必要に応じて提示する				
1	講義内容	オリエンテーション「心理学を学ぶ意義」			
	該当する到達目標	予習	シラバスに目を通す		1.5 時間
	1	復習	小テスト形式の復習課題		1.5 時間
2	講義内容	心理学とは			
	該当する到達目標	予習	心理学を学ぶ意義について考える		1.5 時間
	1	復習	小テスト形式の復習課題		1.5 時間
3	講義内容	環境を認知する心の働き(1)知覚			
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題		1.5 時間
	2	復習	小テスト形式の復習課題		1.5 時間
4	講義内容	環境を認知する心の働き(2)学習			
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題		1.5 時間
	2	復習	小テスト形式の復習課題		1.5 時間
5	講義内容	環境を認知する心の働き(記憶)			
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題		1.5 時間
	2	復習	小テスト形式の復習課題		1.5 時間
6	講義内容	環境を認知する心の働き(4)言語・思考			
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題		1.5 時間
	2	復習	小テスト形式の復習課題		1.5 時間
7	講義内容	環境を認知する心の働き(5)情動・動機づけ			
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題		1.5 時間
	2	復習	小テスト形式の復習課題		1.5 時間
8	講義内容	社会の中の人間(1)人格			
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題		1.5 時間

	4	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
9	講義内容	社会の中の人間(2)自己		
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	4	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
10	講義内容	社会の中の人間(3)社会		
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	4	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
11	講義内容	生涯発達のしくみ、アイデンティティの生涯発達		
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	3	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
12	講義内容	脳科学と心理学		
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	3	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
13	講義内容	発達臨床・心理臨床(1)発達臨床		
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	5	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
14	講義内容	発達臨床・心理臨床(2)心理臨床		
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	5	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
15	講義内容	まとめ 医療事故と心理学		
	該当する到達目標	予習	小テスト形式の予習課題	1.5 時間
	5	復習	小テスト形式の復習課題	1.5 時間
備考	オフィスアワーは月曜 1・4 限(8 号館 410 研究室)です。			

科目名	文学と人間(人間理解)			LAH004	講義
担当教員	斎藤 順二				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 2単位		
講義目標	現代人の基礎教養として、日本の名作文学を朗読CDで味わうことで、文章表現による心のコミュニケーションを図ることができる。				
到達目標	1.視聴覚教材を活用して「文学と人間」への洞察を深めることができる。 2.歴史の諸相における人間と人間生活の理解に役立てることができる。				
学位授与方針 との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	まとめのレポートを100点満点で採点し、それに授業参加度を加味して総合評価する。				
課題に対する フィードバック	共通課題「授業で学んだ近代文学の名作の中から、人間と人間生活の理解に役立つと思われる10作品を選び、それぞれ80～90字で論評しなさい」を採点し、その結果を講評する。				
使用教材	小田切進『日本の名作』(中央公論新社)定価(本体720+税)				
1	講義内容	二葉亭四迷『浮雲』・森鷗外『舞姫』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5時間
2	講義内容	森鷗外『高瀬舟』・『雁』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5時間
3	講義内容	幸田露伴『五重塔』・樋口一葉『たけくらべ』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5時間
4	講義内容	尾崎紅葉『金色夜叉』・徳富蘆花『不如帰』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5時間
5	講義内容	泉鏡花『高野聖』・島崎藤村『破戒』『夜明け前』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5時間
6	講義内容	夏目漱石『坊っちゃん』『こころ』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5時間
7	講義内容	伊藤左千夫『野菊の墓』・田山花袋『田舎教師』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5時間
8	講義内容	芥川龍之介『羅生門』『鼻』『地獄変』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5時間
9	講義内容	有島武郎『或る女』・武者小路実篤『友情』			
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5時間

10	講義内容	川端康成『伊豆の踊子』・小林多喜二『蟹工船』		
	該当する到達目標 1、2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
11	講義内容	林芙美子『放浪記』・尾崎士郎『人生劇場』		
	該当する到達目標 1、2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
12	講義内容	谷崎潤一郎『春琴抄』『細雪』		
	該当する到達目標 1、2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
13	講義内容	志賀直哉『暗夜行路』・太宰治『人間失格』		
	該当する到達目標 1、2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
14	講義内容	壺井栄『二十四の瞳』・井上靖『天平の甕』		
	該当する到達目標 1、2	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
		復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
15	講義内容	学習の整理と展望(まとめのレポート)		
	該当する到達目標 2	予習	これまでに学んだ近代文学の名作の中から 10 作品に絞り込む。	1.5 時間
		復習	知的好奇心から問題意識を持ち、さらに読書の幅を広げる。	1.5 時間
備考	授業では、視聴覚教材を活用して作品の梗概を理解させ、人物相関図の板書とテキストの読解から、作品鑑賞を深める。これをきっかけにして、さらに各自が近代文学に興味関心を抱いて原作を読み、発展させた読書につなげることが望ましい。			

科目名	芸術論(人間理解)			LAH005	講義
担当教員	石原綱成				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	芸術を学ぶことで、豊かな人間性と教養を身につける。また、他文化の芸術を深く理解することは、これから国際化が進む現代にあっては必須の教養となる。また、自国の芸術や文化を学ぶことで、多様な社会・背景を理解し対応する能力が身につけることができる。また、これらの学問に真摯に取り組むことにより、より豊かな人間性を涵養できる。				
到達目標	1.芸術に対してより専門的な知識を身につけることができる。 2.芸術を学ぶことで、豊かな人間性と教養を身につけることができる。 3.自国の文化を深く理解することで、他国の文化を受け入れることができる。 4.歴史・文化に精通することで、多様な社会・背景を理解し対応する能力が身につく 5.学生として自律的・意欲的に学習する力を身に着けることができる				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	筆記試験にて評価する。				
課題に対するフィードバック	講義形式をとるが、一方的な講義にならぬよう、受講生の意見、学習状況は逐一確かめる。				
使用教材	教科書は使用せず、逐次プリントを配布する。また、授業においてはパワーポイントを使用する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を理解し授業の目標を理解する。		1.5 時間
		復習	授業内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	芸術とは何か—芸術のイメージの調査—			
	該当する到達目標 1,2	予習	芸術における各自のイメージを箇条書きできるようにしておく。		1.5 時間
		復習	配布したプリントをもとに芸術のジャンルを理解する。		1.5 時間
3	講義内容	芸術史概説			
	該当する到達目標 1,2	予習	芸術史の流れを体系的に理解しておく。		1.5 時間
		復習	芸術史の区分についてそれぞれの特色を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	視覚芸術について			
	該当する到達目標 1,2	予習	視覚芸術の特色を理解する。		1.5 時間
		復習	視覚芸術と人間の「主体」との関係を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	宗教と芸術—キリスト教美術の起源—			
	該当する到達目標 1,2,4	予習	配布したプリントをもとに宗教美術の特色を理解する。		1.5 時間
		復習	キリスト教の教理・教義を理解する。		1.5 時間
6	講義内容	宗教と芸術—ロマネスク美術—			
	該当する到達目標 1,2,5	予習	配布したプリントをもとにロマネスク建築の構造を理解する。		1.5 時間
		復習	宗教美術の抽象性とはなにかを理解する。		1.5 時間
7	講義内容	宗教と芸術—ゴシック美術—			
	該当する到達目標 1,2,5	予習	配布したプリントをもとにゴシック建築の構造を理解する。		1.5 時間
		復習	宗教美術の具象性とはなにかを理解する。		1.5 時間
8	講義内容	ルネサンス美術—古典古代の芸術—			

	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにギリシャ・ローマ神話を読んでおく。	1.5時間
		復習	神話の世界がいかに関係化されたかの経緯を理解する。	1.5時間
9	講義内容	ルネサンス美術—遠近法の思想—		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに遠近法とは何かを理解する。	1.5時間
	1,2,5	復習	遠近法と人間の「主体」への意識を考える。	1.5時間
10	講義内容	ルネサンス美術—アイデア論をめぐって—		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにプラトンとアリストテレスの相違を理解する。	1.5時間
	1,2,5	復習	アイデア論の違いが視覚芸術にいかに関係化されるかを理解する。	1.5時間
11	講義内容	ルネサンス美術—図像解釈学と美術—		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにパノフスキーの学説を理解する。	1.5時間
	1,2,5	復習	パノフスキーの学説をもとに図像を解釈してみる。	1.5時間
12	講義内容	仏教美術史概説—仏像彫刻の様式—		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに仏教美術史を理解する。	1.5時間
	1,2,5	復習	各時代の仏像彫刻の特徴を理解する。	1.5時間
13	講義内容	仏教美術—仏教の世界観と仏像—		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに仏教美術史を理解する。	1.5時間
	1,2,5	復習	日本人の宗教心を考える。	1.5時間
14	講義内容	精神史としての芸術—心とからだ—		
	該当する到達目標	予習	これまで配布したプリントをもとに精神と形象の関係を総合的に理解する。	1.5時間
	1,2,3,4	復習	精神史としての芸術史とは何かを理解する。	1.5時間
15	講義内容	総復習—芸術と人間—		
	該当する到達目標	予習	芸術と人間について総合的に考察する。	1.5時間
	1,2,3,4	復習	人間性とは何か、多様な社会・背景を理解しながら総合的に考察する。	1.5時間
備考	<p>オフィスアワー: 火曜日の3限、4限質問はメールで受け付ける。</p> <p>メールアドレス ishihara@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 8号館5階501</p>			

科目名	ボランティア・市民活動論(人間理解)			LAH006	講義
担当教員	金井 敏				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	ボランティア・市民活動は、自主的な貢献活動として身近な地域や福祉分野に限らず環境や情報、国際協力まで幅広く取り組まれ、今日の社会に不可欠な存在となっている。この講義では、具体的なボランティア・市民活動の考え方や実践方法を学び、学生が自ら実践することができる力を養成する。				
到達目標	1.ボランティア・市民活動の対象者のニーズを学び、ボランティア・市民活動の意義説明できる。 2.ボランティア・市民活動の多くの実践例を学ぶことにより、活動の実際の展開を説明できる。 3.ボランティア・市民活動支援センターを活用して、自身の関心に即した活動に参加する。 4.参加したボランティア・市民活動の実践を振り返り、成果や課題、次のチャレンジについて考察できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	<b>成績評価</b> ①学期末に課すレポートによる評価(60%)なお、追再試は実施しない。 ②ボランティア実践から得た成果など学習内容の報告書による評価(25%) ③授業のリアクションペーパーによる評価(15%) <b>その他の評価</b> ①授業開講数の2/3以上を出席することにより、成績の評価対象とする。 ②忌引きや実習、就職活動などによる欠席は、届け出(要添付書類)を提出すれば出席扱いとする。なお、15分以上の遅刻は欠席とみなす。 ③ボランティア実践の時間(1回当たり4時間×5回=20時間相当)も本時の講義時間に含める。				
課題に対する フィードバック	リアクションペーパーの質問や意見については、授業のなかで取りあげるなど随時、学生にフィードバックする。				
使用教材	テキストは使用しない。レジュメ・関係資料は授業にて配布する。				
1	講義内容	ガイダンス ボランティア・市民活動支援センター(VSC)の活用方法の説明、授業の進め方を確認する。			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容をよく読んで、現時点でのボランティアの理解を把握する。		1時間
	1,3	復習	講義内容、学位授与方針、成績評価方法、VSC利用方法などを確認する。		1.5時間
2	講義内容	ボランティアの力を活かす仕組み～ボランティアセンターの役割			
	該当する到達目標	予習	自分の地元市町村のボランティアセンターの組織や活動内容を調べる。		1時間
	1,2,3,4	復習	ボランティアセンターの活用方法を理解する。		1.5時間
3	講義内容	子どもの明日と子育てをサポートするボランティア活動			
	該当する到達目標	予習	児童を対象としたボランティア活動を調べる。		1時間
	1,2,3,4	復習	児童を対象としたボランティアの意義や活動上の注意事項などを理解する。		1.5時間
4	講義内容	被災地に届け、災害支援ボランティア活動			
	該当する到達目標	予習	我が国における災害ボランティア活動について調べる。		1時間
	1,2,3,4	復習	被災地におけるボランティア活動の内容や活動上の注意事項などを理解する。		1.5時間
5	講義内容	人々はどのようにボランティアに取り組んできたか～欧米と日本の歴史			
	該当する到達目標	予習	世界の国々でボランティア活動がどのように取り組まれているか調べる。		1時間
	1,2,3,4	復習	欧米と日本のボランティア活動の歴史の違いや長所を理解する。		1.5時間

6	講義内容	障害者スポーツ・レクリエーションをサポートするボランティア活動		
	該当する到達目標	予習	障害者を対象としたスポーツやレクリエーションについて調べる。	1時間
	1,2,3,4	復習	障害者との接し方や支援の内容や方法を理解する。	1.5時間
7	講義内容	ボランティアとNPO～学生でも創れるNPO法人		
	該当する到達目標	予習	NPO 法人の概要について調べる。	1時間
	1,2,3,4	復習	NPO 法人の活動内容や設立の要件, ボランティアとの違いなどを理解する。	1.5時間
8	講義内容	新しい支え合いの必要性～20年後のあなたへ		
	該当する到達目標	予習	地域における生活のしづらさや今後の課題などについて自分なりに考える。	1時間
	1,2,3,4	復習	地域において生ずる生活課題や住民同士の支援のあり方を理解する。	1.5時間
9	講義内容	身近な動物とボランティアの良い関係		
	該当する到達目標	予習	動物を対象としたボランティア活動について調べる。	1時間
	1,2,3,4	復習	動物に対するボランティア活動の実際や人間との共生について理解する。	1.5時間
10	講義内容	小中高校の福祉教育・ボランティア学習はこれでいいか		
	該当する到達目標	予習	小中高校で取り組まれている福祉実践について調べる。	1時間
	1,2,3,4	復習	小中高校における福祉教育のあり方や自身の関わり方について理解する。	1.5時間
11	講義内容	地域ささえあいのボランティア ～ふれあい・いきいきサロン～		
	該当する到達目標	予習	地域で取り組まれているふれあい・いきいきサロンについて調べる。	1時間
	1,2,3,4	復習	高齢者の介護予防や健康, 子育て家庭を住民で支える活動について理解する。	1.5時間
12	講義内容	国際貢献・多文化共生とボランティア活動		
	該当する到達目標	予習	海外で活躍するボランティア活動について調べる。	1時間
	1,2,3,4	復習	国際貢献や多文化共生のボランティア活動のあり方を理解する。	1.5時間
13	講義内容	分かちあう寄付の文化で花咲く貢献社会～赤い羽根共同募金		
	該当する到達目標	予習	赤い羽根共同募金の概要や寄付の実際について調べる。	1時間
	1,2,3,4	復習	赤い羽根共同募金のあり方や寄付の文化とは何かを理解する。	1.5時間
14	講義内容	行政に協力するボランティア ～民生委員・児童委員の活躍～		
	該当する到達目標	予習	行政に協力するボランティアについて調べる。	1時間
	1,2,3,4	復習	民生委員・児童委員の活動を理解し, 自分の地域の民生委員を確認する。	1.5時間
15	講義内容	まとめ～ボランティア・市民活動から考える社会の現在と将来		
	該当する到達目標	予習	さまざまなボランティア活動を振り返り, 自身の関心を確認する。	1時間
	1,3,4	復習	ボランティア活動の講義と実際の実践活動を踏まえてボランティアを考察する。	1.5時間
備考	<p>オフィスアワー: 水曜日4時限・木曜日1時限で相談に応じます。研究室: 1号館3階310研究室            質問・意見はメールでも対応します。</p> <p>ボランティア・市民活動支援センター(VSC)も活用してください。9号館1階です。活動を始める前には必ず, ボランティア活動保険に加入すること。そのほかボランティアの相談に応じます。</p> <p>直通 TEL: 027-352-1108, メールアドレス: vsc@takasaki-u.ac.jp</p>			

科目名	人権論(人間理解)			LAH007	講義
担当教員	金井 洋行				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	人権の観念について、他の観念－人道、倫理、文化規範、宗教的信念、条理原則等－との比較を通して分析し、人間の本性(human nature)との関係を理解する。日本国憲法に規定する「国民の権利」の内容を知り、その効力にどのような制約や限界があるかについて認識する。身近な生活体験から感得した権利侵害や不条理の発生について、人権の観点から考察する姿勢を身につける。				
到達目標	1.人権について特にヨーロッパの歴史的発展を背景に人道等の他の価値観との比較で観念できる。 2.人権の様々な観念から憲法の人権規定の適用関係を認識できる。 3.個々の人権の性格を、内面的と外面的、精神的と経済的、消極的と積極的、等の区分で理解できる。 4.人権の擁護がどのような考え方と仕組みによって行われるのかについて、憲法規定を通して認識できる。 5.人権に関する主要な争点について裁判所、特に最高裁判所の考え方を整理できる。				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(20%)、中間テスト(20%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは、概ね3回の知識テスト、定期試験は知識と思考力のテスト				
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)				
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料(テキストに代替するプリント) *テーマによってDVDの視聴あり				
1	講義内容	人権の観念と内容			
	該当する到達目標	1	予習 前期の「日本国憲法」において履修した基本的人権の項目の教材を再チェック 復習 予備知識アンケート	2時間	0.5時間
2	講義内容	人権の享有主体と人権規定の適用関係			
	該当する到達目標	1,2	予習 配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」の読み込み 復習 レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1時間	1.5時間
3	講義内容	人権の制約と限界			
	該当する到達目標	1,2,4	予習 配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」の読み込み 復習 レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1時間	1.5時間
4	講義内容	幸福追求権の意義と具体化			
	該当する到達目標	1,2,4	予習 配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」の読み込み 復習 レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1時間	1.5時間
5	講義内容	法の下での平等－平等権と平等原則－			
	該当する到達目標	1,2,5	予習 配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」の読み込み 復習 レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1時間	1.5時間
6	講義内容	内心の自由と信教の自由			
	該当する到達目標	1,3,5	予習 配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」の読み込み 復習 レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1時間	1.5時間
7	講義内容	表現の自由の内容			
	該当する到達目標	1,3,5	予習 配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」の読み込み 復習 レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1時間	1.5時間

8	講義内容	表現の自由の事後抑制と事前抑制		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」の読み込み	1時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5時間
9	講義内容	経済活動の自由と財産権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」の読み込み	1時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5時間
10	講義内容	人身の自由と刑事手続の保障		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」の読み込み	1時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5時間
11	講義内容	政治活動の自由と参政権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」の読み込み	1時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5時間
12	講義内容	生存権の意義と福祉国家の諸権利		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」の読み込み	1時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5時間
13	講義内容	教育を受ける権利と学習権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」の読み込み	1時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5時間
14	講義内容	勤労の権利と労働基本権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」の読み込み	1時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5時間
15	講義内容	人権の国際化と今後の課題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」の読み込み	1時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5時間
備考	<p>講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的にあるいは国際的に大きな人権をめぐる事象があった場合には、その話題を飛び入りの割り込ませることはある。日常の身の回りに起こる権利侵害や条理違反に目を向け、人権擁護の観点から自分なりに考えておくことを期待する。</p> <p>出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。</p>			

科目名	人間関係論(人間理解)			LAH008	講義
担当教員	宮内 洋				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	「人間関係論」とはホーソン実験によって得られた発見をもとに、経営組織の諸状況が人間関係によって規定され、その間の因果関係を体系化した理論である。当然のことながら、これらのことを講じるが、本科目が全学部全学科共通教養科目であるということも鑑みて、人間関係の心理学的・社会的側面についても焦点を当てる。また、人間関係の発達の側面についても講じる。				
到達目標	1、人間関係論に関する基礎的な知識を有している。 2、日常生活における人間関係に関する心理学的な基礎的な知識を有している。 3、日常生活における人間関係に関する社会的な基礎的な知識を有している。 4、日常生活における人間関係に関する教育的な基礎的な知識を有している。				
学位授与方針	✓	人間理解と倫理観			
との対応		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	全講義終了後に実施される定期試験(85%)と、講義期間中に課せられる課題(10%)、講義に臨む態度・参加する姿勢(5%)によって、総合的に判断する。				
課題に対するフィードバック	講義終了時に感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。				
使用教材	教科書は指定しない。必要に応じて、資料を配付する。また、より知りたい・学びたい人のために、参考文献や映画やマンガ等の種々の作品を、講義の中で適宜紹介する。 参考書・参考資料等 ・宮内洋『体験と経験のフィールドワーク』北大路書房 ・宮内洋・好井裕明 編著『〈当事者〉をめぐる社会学—調査での出会いを通して』北大路書房				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	なし		0時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
2	講義内容	初対面の人間関係			
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
3	講義内容	他者との距離			
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
4	講義内容	表層的な人間関係			
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
5	講義内容	人間関係の深まり			
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1時間
	1,2,3,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間

6	講義内容	青年期の人間関係		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
7	講義内容	2者間のジレンマ		
	該当する到達目標 1,2	予習	なし	0時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
8	講義内容	社会的ジレンマ		
	該当する到達目標 1,2	予習	ジレンマについて客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
9	講義内容	「人間関係論」の成立		
	該当する到達目標 1	予習	経営学について調べておく。	2時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
10	講義内容	職場と人間関係		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
11	講義内容	恋愛関係論(1):恋と愛の違い		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
12	講義内容	恋愛関係論(2):恋愛の心理学		
	該当する到達目標 1,2	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
13	講義内容	恋愛関係論(3):現代日本社会における恋愛		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
14	講義内容	恐ろしい人間関係		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	これまでの講義内容の理解を深めておく。	6時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
備考	<p>非常勤講師なのでオフィスワーカーはありません。</p> <p>講義を妨害する者の受講は基本的に認めない。</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	ジェンダー論(人間理解)			LAH009	講義
担当教員	前田 由美子				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	人間の性とはどういう意味をもつのか。それによって形成されている秩序と、それゆえに起こるさまざまな葛藤を真摯にみつめ、性を制度設計に組み込む社会の問題を解き明かす。その上で、それらをどのように解決して行ったら良いのかを深く思索する。そうすることによってより豊かで包容力のある社会を創造する力を備え、行動する人になり、新しい自分や社会を発見することになるであろう。				
到達目標	1.自分自身の内部にある「性」のとらえ方を見つめ直す。 2.内面化している固定的な性のイメージや制度に対する固定観念に気づく。 3.他者や社会への豊かなまなざしを持てる。 4.豊かな社会創造への力を身につける。				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	レポートを4日間それぞれに提出(1日につき25%相当)。合計で評価する。 総合評価60%以上で合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートを返却し、コメント解説を行う。				
使用教材	授業用プリント、文献資料等を随時配布する。必要に応じてメディア教材を使用する。				
1	講義内容	講義全体の説明			
	該当する到達目標	予習	性別についての自分の考え方を見つめておく。		1時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価法などを確認する。		1.5時間
2	講義内容	ジェンダーと言う概念			
	該当する到達目標 1	予習	文献資料に目を通す。		1時間
		復習	ジェンダー概念について理解する。		1.5時間
3	講義内容	生き物としての性とその多様性			
	該当する到達目標 1,2	予習	文献資料を読んでおく。		1時間
		復習	性の多様性を理解する。		1.5時間
4	講義内容	セクシュアリティ・性的指向			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献資料を読んでおく。		1時間
		復習	セクシュアリティの多様性について理解する。		1.5時間
5	講義内容	性役割と性規範			
	該当する到達目標 1,2	予習	文献資料を読んでおく。		1時間
		復習	身の回りの性役割や性規範について気づく。		1.5時間
6	講義内容	ジェンダー・アイデンティティ			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献資料を読んでおく。		1時間
		復習	ジェンダー・アイデンティティについて理解する。		1.5時間
7	講義内容	性別と経済			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献資料を読んでおく。		1時間
		復習	経済と性別のつながりを理解する。		1.5時間
8	講義内容	女性とこども			

	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
	1,2,3,4	復習	女性と子どものつながりへの偏重を理解する。	1.5時間
9	講義内容	男性と子ども		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
	1,2,3,4	復習	男性と子どものつながりの困難を理解する。	1.5時間
10	講義内容	労働と性別		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
	1,2,3,4	復習	労働と性別のつながりの問題を理解する。	1.5時間
11	講義内容	労働と性別とそれぞれの暮らし		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
	1,2,3,4	復習	ワーク・ライフ・バランスを理解し、問題解決法を考える。	1.5時間
12	講義内容	男性のかかえる問題		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
	1,2,3,4	復習	男性をとりまく問題を理解し、女性の問題との関連を考える。	1.5時間
13	講義内容	セクシュアル・ハラスメント		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
	1,2,3,4	復習	問題の本質を理解する。	1.5時間
14	講義内容	ドメスティック・バイオレンス		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1時間
	1,2,3,4	復習	社会問題として理解する。	1.5時間
15	講義内容	性別と社会の問題		
	該当する到達目標	予習	全ての文献のつながりを理解する。	1時間
	3,4	復習	問題の確認と解決法を考える。	1.5時間
備考	仕事の選択、恋愛、卒業後の人生設計において、この授業で学ぶ知識は大きな影響をもたらすはずである。自身のために、社会を創るために是非学んでほしい。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	共生の倫理(人間理解)			LAH010	講義
担当教員	大石 桂子				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	現代では多様な価値観・文化をもった人々が、性別や年齢、職業や病気・障がいの有無などを超えて「共生」することが求められている。差別や排除をのりこえ、共生を実現するためのどのような取り組みができるのか、基礎的な理論と方法の知識を習得することを目標にする。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会での共生の意義について理解し、説明できる。</li> <li>2. 共生の歴史について理解し、説明できる。</li> <li>3. 共生を支える社会学、倫理学また教育や臨床的なアプローチを理解し、説明できる。</li> <li>4. 共生の具体的なあり方や事例について理解し、説明できる。</li> <li>5. 各テーマについて自分の考えをもつことができる。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験(60%)、講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出課題の内容にコメントを添えて、講義中に紹介する。				
使用教材	講義中にプリントを配布する。				
	講義内容	ガイダンス			
1	該当する到達目標	予習	シラバスの内容に目を通し、到達目標などを確認する。		1時間
		復習	講義の目的や学ぶ意義を理解する。		1.5時間
	講義内容	共生とは何か、共生に関わる社会意識			
2	該当する到達目標 1	予習	共生の定義を調べる。		1.5時間
		復習	なぜ共生が必要とされるのか理解する。		1.5時間
	講義内容	多文化社会と価値の多様化			
3	該当する到達目標 1,5	予習	配布プリントに目を通す。		1時間
		復習	価値の多様化の社会的な影響について、事例を考え課題を作成する。		1.5時間
	講義内容	分断と隔離の歴史			
4	該当する到達目標 2,5	予習	配布プリントに目を通す。		1時間
		復習	近代以降に障がい者などの隔離が進んだ背景を理解する。		1.5時間
	講義内容	優生思想			
5	該当する到達目標 2,5	予習	配布プリントに目を通す。		1時間
		復習	20世紀初頭～現在の優生思想について、問題点を理解する。		1.5時間
	講義内容	共生の歴史: ノーマライゼーションからエンパワーメントへ			
6	該当する到達目標 2,4,5	予習	ノーマライゼーションの定義を調べる。		1時間
		復習	ノーマライゼーションの意義と、他の概念へ置き換わった背景を理解する。		1.5時間
	講義内容	公共空間のユニバーサルデザイン			
7	該当する到達目標 4,5	予習	ユニバーサルデザインの定義を調べる。		1時間
		復習	ユニバーサルデザインの意義を理解し、身近な事例を考える。		1.5時間
8	講義内容	共生をめざして(1) 社会学からのアプローチ			

	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	世代間保障について理解し、課題を作成する。	2 時間
9	講義内容	共生をめざして(2) 倫理学からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	共感の道徳的な役割を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	共生をめざして(3) 教育学からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	学校教育での共生の取り組みを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	共生をめざして(4) 非行臨床からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	矯正教育の意義と成果について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	共生をめざして(5) 認知症ケアの臨床からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	介護での QOL 向上やコミュニケーション改善の取り組みを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	「排除型社会」がもたらすリスク		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,5	復習	価値多様化の時代の「自己」のあり方、共済、相互扶助の意義を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	事例研究: 多民族、多文化の共生		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4,5	復習	講義の内容をふまえ、課題を作成する。	2 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでのノート・資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	共生の意義、方法について理解し、自分の考えをまとめる。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日の 3 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。</p> <p>メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」</p> <p>研究室: 1 号館 6 階 601</p> <p>予習・復習については試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	チーム医療アプローチ論(人間理解)			LAH011	講義
担当教員	土井信幸、木村憲洋、原田欣宏、竹内真理、棚橋さつき、鈴木忠、浅香満、松田直				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	福祉・医療系の専門職育成を担う大学として、チーム医療を推進する上で各学科の学生が各専門職の役割・活動を理解する。				
到達目標	1. チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について理解できる。 2. 各専門職の役割と活動について理解できる。 3. チーム医療における専門職の連携を促進するための課題について考察できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加への積極性 40%、レポート 60%				
課題に対するフィードバック	・他学科の学生が参加していることから講義中に双方向型講義を行い、学生の考えや意見を導入しながら講義を展開する。 ・課題レポートを読んで感じた点や補足すべき点について文章化し、次回の授業時に受講生に配布する。				
使用教材	講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について			
	該当する到達目標	予習	チーム医療とはどのようなものなのか、学習する。	1.5 時間	
	1	復習	21世紀の医療では、なぜ多職種協働のチーム医療が必須であるか理解する。	1.5 時間	
2	講義内容	チーム医療における看護師・保健師の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	最近の多職種連携に関連する書籍、雑誌等を読んでおく。	1.5 時間	
	1.2.3	復習	看護師と多職種の役割との違い、連携について講義内容なら復習しておく。	1.5 時間	
3	講義内容	チーム医療における理学療法士の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	リハビリテーションチームを構成する各職種について調べる。	1.5 時間	
	1.2.3	復習	チームの中でその役割を果たすために、なすべきことを確認する。	1.5 時間	
4	講義内容	チーム医療における薬剤師の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	チーム医療における薬剤師の役割と活動についてインターネット等の電子媒体を用いて調査する。	1 時間	
	1.2.3	復習	講義受講後のレポート作成。チーム医療における薬剤師の役割について、地域包括ケアシステムの観点から整理すること。	2 時間	
5	講義内容	チーム医療における管理栄養士の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	事前に学習した他のコメディカルの役割と活動について復習し授業に臨む。	1.5 時間	
	1.2.3	復習	管理栄養士と他のコメディカルのチーム医療と、チーム内での役割や活動について考察する。	1.5 時間	
6	講義内容	チーム医療における社会福祉士の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	①高齢化社会の現状を調べる ②地域医療の進展を調べる ③ 社会福祉専門職の職場を調べる。	1.5 時間	
	1.2.3	復習	①疾患と障害の関連を理解し、地域で自立した生活支援に必要なチーム医療のあり方を理解する。	1.5 時間	
7	講義内容	チーム医療における保育士・幼稚園教諭・小学校教諭、特別支援学校教諭の役割と活動			
	該当する到達目標	予習	乳幼児期・学齢期に罹患しやすい病気の概要や主要な障害について予習をする	1.5 時間	

	1.2.3		こと。	
		復習	保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭と各種医療職との連携のあり方について復習をすること。	1.5 時間
8	講義内容	チーム医療における診療情報士の役割と活動		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士と病院事務について調べてみる。	0.5 時間
	1.2.3	復習	診療情報管理士と病院事務について得た知識を整理する。	0.5 時間
備考	<p>予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。</p> <p>【キーワード】専門職、チーム医療、チームアプローチ</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>土井(薬学): 昼休み、講義終了後 (7号館 319 研究室)</p> <p>木村(情報): 月曜日 1 時限 (1 号館 610 研究室)</p> <p>原田(福祉): 火 2 限、金 3 限 (1 号館 506 研究室)</p> <p>竹内(栄養): 木曜 2-4 時限. 1 号館 308 研究室. 質問等はメールでも受け付ける. <a href="mailto:mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp">mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>棚橋(看護): 月曜日 13:00~14:00 上記以外の日程でも可能な限り調整します。メール等で問い合わせください。<a href="mailto:tanahashi@takasaki-u.ac.jp">tanahashi@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>鈴木(理学): 月曜日 12:30~13:30 15:30~16:30 研究室 4 号館 2 階学部長室</p> <p>浅香(理学): 在室時はいつでも質問を受ける。(5 号館 503 研究室)</p> <p>松田(子ども): 火曜日 3 限目、木曜日 2 限目 (9 号館 301 研究室) メールアドレス:<a href="mailto:matsuda-t@takasaki-u.ac.jp">matsuda-t@takasaki-u.ac.jp</a></p>			

科目名	国際医療事情(人間理解)			LAH012	講義
担当教員	クリストファー・ターン、町田修三				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	学生の国際化促進とグローバル人材の養成を目的として設置された科目である。特に本学学生は医療系を専攻する者が多いため、海外の医療に関する様々な事項を経験的に学ぶことに重点を置いている。具体的な内容としては、海外諸国の健康・医療教育、健康・医療の実態、医療制度、病医院や医師・コメディカル等の供給体制、病医院や医療施設の世界比較等について学ぶ。国際化を促進するため、学生には英語で日本の文化や医療の説明をしたり、医療に関する基礎的なディスカッションをしたりすることを取り入れる。また本講義では、学生が実際に海外に赴き実体験として国際医療事情を見聞することを強く推奨する				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 諸外国の医療教育を理解し、日本との違いを説明できる</li> <li>2. 諸外国の医療の実態を理解し、日本との違いを説明できる</li> <li>3. 諸外国の医療制度を理解し、日本との違いを説明できる</li> <li>4. 諸外国の病医院について学び、日本との違いを説明できる</li> <li>5. 日本の医療教育や医療事情について、英語で解説ができる</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
	✓	国際理解			
	生涯学習力				
評価方法	最終レポート(50%)、提出物(20%)、発表、討論など授業参加度(30%) 海外研修参加者は、事前・事後研修および発表のパフォーマンス(30%)、研修レポート(30%)、研修中のパフォーマンス(40%)				
課題に対するフィードバック	レポートや提出物については、コメントを付して返却する。発表や討論等のパフォーマンスについては、その都度コメントやアドバイスを伝える				
使用教材	特に指定はない。各自自分のリサーチ目的に沿った文献、教材を探すこと				
1	講義内容	イントロダクション			
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく		1時間
		復習	自分の興味のある国の医療事情リサーチを開始する		1.5時間
2	講義内容	医療の国際化とは			
	該当する到達目標 1~4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく		1時間
		復習	講義内容の復習、特に世界で進行中の医療の国際化についてしっかりと理解する		1.5時間
3	講義内容	日本の医療教育、医療制度、医療事情（一部AL実施）			
	該当する到達目標 1~4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく		1時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ		1.5時間
4	講義内容	日本の医療教育、医療制度、医療事情を英語で説明してみよう			
	該当する到達目標 5	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく		1時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ		1.5時間
5	講義内容	先進国(アメリカ、イギリス、ドイツ)の医療教育			
	該当する到達目標 1	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく		1時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ		1.5時間
6	講義内容	先進国の医療事情 I（一部AL実施）			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく		1時間

	1~4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5時間
7	講義内容	先進国の医療事情Ⅱ（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1時間
	1~4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5時間
8	講義内容	先進国の病院		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1時間
	4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5時間
9	講義内容	その他の先進国(北欧, カナダ, オーストラリアなど)の医療事情Ⅰ（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1時間
	1~4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5時間
10	講義内容	その他の先進国の医療事情Ⅱ（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1時間
	1~4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5時間
11	講義内容	中進国(台湾, シンガポール, 中国など), 途上国(ベトナム, インドネシア, タイなど)の医療教育		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1時間
	1	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5時間
12	講義内容	中進国, 途上国の医療事情Ⅰ（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1時間
	1~4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5時間
13	講義内容	中進国, 途上国の医療事情Ⅱ（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1時間
	1~4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5時間
14	講義内容	学生プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3時間
	1~5	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5時間
15	講義内容	学生プレゼンテーションとまとめ		
	該当する到達目標	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3時間
	1~5	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日 4 限目, 金曜日 2 限目      研究室: 1 号館 6 階603</p> <p>メールアドレス: <a href="mailto:machida@takasaki-u.ac.jp">machida@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>AL(アクティブラーニング)は, ペアワーク, グループワーク, ディスカッション, クローズドクエスチョン, オープンクエスチョンなど</p> <p>予習・復習については, 期末試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	Introduction to Healthcare Sciences(人間理解)			LAH013	講義
担当教員	小澤瀨司、町田修三、クリストファー・ターン、下川哲昭、今井純、長谷川恵子				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	学生の国際化推進とグローバル人材の育成を目的に設置された講義科目であり、授業は原則英語で行う。日本では医療分野の国際化はまだ遅れているが、世界的には急速に拡大しつつある。本講義では、国際的な医療人養成のため、世界共通語である英語を用いて、医療に関する基礎的な事項を易しく解説していく。複数の教員がオムニバス形式で担当するが、学生の理解度を確認しながら平易な英語で解説するので、受講に際して特に高度な英語力は要求しない。英語による授業を学生がしっかりと理解し、医療コミュニケーション能力を高めることで、医療教育の国際化を先取りするような講義へと発展させることを目指す。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療に関する基礎的な内容に関して、英語での説明を理解できる</li> <li>2. 理解した内容について、第三者に説明できる</li> <li>3. 医療に関するトピックに関して、英語での基礎的なプレゼンテーションやディスカッションができる</li> <li>4. 医療に関するトピックについて、外国の学生と話をすることができる</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	担当各教員による評価を総合して決定する。各教員は、毎回の授業参加度(20%程度)や講義終了時に課す提出物または小レポート(80%程度)により、それぞれの持ち点に応じて学生を評価する。				
課題に対するフィードバック	提出物や小レポートには、コメントを付して返却する				
使用教材	各教員が作成した資料やデータを用いて講義する				
1	講義内容	Introduction of the course (町田)			
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく		1時間
	1	復習	講義内容の復習、特に専門用語(英語)を覚える		1時間
2	講義内容	Medical globalization and Japan's healthcare system (町田)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく		1.5時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解		1.5時間
3	講義内容	Healthcare system of foreign countries (町田)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく		1.5時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解		1.5時間
4	講義内容	U.S. healthcare in the media I (長谷川)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく		1.5時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解		1.5時間
5	講義内容	U.S. healthcare in the media II (長谷川)			
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく		1.5時間
	1~4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解		1.5時間
6	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English I (小澤)			

	該当する到達目標 1~4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
7	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English II (小澤)		
	該当する到達目標 1~4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
8	講義内容	Immunity and diseases I (今井)		
	該当する到達目標 1~4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
9	講義内容	Immunity and diseases II (今井)		
	該当する到達目標 1~4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
10	講義内容	Immunity and diseases III (今井)		
	該当する到達目標 1~4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
11	講義内容	Genes and cancer : basic understanding of the disease I (下川)		
	該当する到達目標 1~4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
12	講義内容	Genes and cancer : basic understanding of the disease II (下川)		
	該当する到達目標 1~4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
13	講義内容	Mental Health (ターン)		
	該当する到達目標 1~4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
14	講義内容	Mental health and social skills (ターン)		
	該当する到達目標 1~4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
15	講義内容	Summary and concluding remarks (ターン)		
	該当する到達目標 1~4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー(町田):月曜日4限目、金曜日2限目 研究室:1号館6階603</p> <p>英語を使用する授業であるので、予習用に授業で用いる教材・資料・データ等をあらかじめ配布する。授業にはこれらの資料を十分に下調べしたうえで臨むことが特に重要である。</p> <p>予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	囲碁の世界(人間理解)			LAH014	講義
担当教員	三谷 哲也				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	近年、囲碁は脳を活性化し考える力を養うということで注目されている。囲碁を学ぶことで「考える力」と「集中力」を磨き、「先を読む力」を身につける。また、日本の伝統文化である囲碁を体得することで、言葉と世代を超えたコミュニケーション力を身につけ、国際交流のコミュニケーション力を高める。				
到達目標	1、全く囲碁を知らない状態から囲碁の世界を知り、19路盤で最後まで打てるようになる。 2、いくつかのパターンの囲碁の心得を覚え、囲碁の考え方を身につける。				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
	✓	論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	毎回の授業貢献度、技術の習熟度を総合的に判断する(60%) 試験(20%)×2回				
課題に対するフィードバック	試験後に解説を行う。				
使用教材	光文社新書「東大教養囲碁講座」				
	講義内容	囲碁の歴史と基本ルール			
1	該当する到達目標	予習	教科書第1章1～3に目を通し講義の目的を理解する。		1.5 時間
	1、2	復習	囲碁の基本的なルールを理解する。		1.5 時間
	講義内容	ルールの復習(1)			
2	該当する到達目標	予習	教科書第2章1-1～1-3に目を通し基本ルールを確認する。		1.5 時間
	1、2	復習	囲碁の5つの基本ルールを理解する。		1.5 時間
	講義内容	ルールの復習(2)			
3	該当する到達目標	予習	教科書第2章1-4～1-5に目を通し基本ルールを確認する。		1.5 時間
	1、2	復習	打てない場所、打てる場所を理解する。		1.5 時間
	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(1)			
4	該当する到達目標	予習	教科書第P97に目を通し、囲碁の打ち方のポイントを確認する。		1.5 時間
	1、2	復習	基本的な3つの心得を理解する。		1.5 時間
	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(2)			
5	該当する到達目標	予習	教科書第3章2に目を通し、石の取り方を確認する。		1.5 時間
	1、2	復習	取れている石、シチョウを理解する。		1.5 時間
	講義内容	問題演習			
6	該当する到達目標	予習	教科書第2章1～2に目を通し基本的な考え方を理解する。		1.5 時間
	1、2	復習	地の数え方、石のつながりを理解する。		1.5 時間
	講義内容	技術の解説(1)			
7	該当する到達目標	予習	教科書P188～199に目を通し終盤の考え方を確認する。		1.5 時間
	1、2	復習	19路盤の終盤の考え方を理解する。		1.5 時間
	講義内容	技術の解説(2)			
8	該当する到達目標	予習	教科書P173～188に目を通し中盤の考え方を確認する。		1.5 時間
	1、2	復習	19路盤の中盤の考え方を理解する。		1.5 時間
9	講義内容	技術の解説(3)			

	該当する到達目標	予習	教科書P158～172に目を通し序盤の考え方を確認する。	1.5時間
	1、2	復習	19路盤の序盤の考え方を理解する。	1.5時間
10	講義内容	9子局の解説・連碁(対局)		
	該当する到達目標	予習	教科書第5章1に目を通し9子局の打ち方を理解する。	1.5時間
	1、2	復習	9子局の打ち方を理解する。	1.5時間
11	講義内容	技術の解説(4)		
	該当する到達目標	予習	教科書P207～220に目を通し決め打ち碁のポイントを理解する。	1.5時間
	1、2	復習	隅の死活を理解する。	1.5時間
12	講義内容	技術の解説(5)とペア碁		
	該当する到達目標	予習	教科書第4章に目を通し、19路盤の考え方を理解する。	1.5時間
	1、2	復習	19路盤の中盤の打ち方を理解する。	1.5時間
13	講義内容	問題演習		
	該当する到達目標	予習	教科書第2章4に目を通し、石の追い方を理解する。	1.5時間
	1、2	復習	石の取り方、死活、終局の仕方を理解する。	1.5時間
14	講義内容	技術の解説(6)		
	該当する到達目標	予習	教科書P259～267に目を通し、総合的な石の取り方を理解する。	1.5時間
	1、2	復習	19路盤の序盤～中盤の打ち方を理解する。	1.5時間
15	講義内容	代表者対局 まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書第5章1～2に目を通し、9子局の攻め方を理解する。	1.5時間
	1、2	復習	9子局の打ち方を理解する。	1.5時間
備考	囲碁の道具の片づけについても授業の一環である。チューデントアシスタント(SA)の方がいても、積極的に片づけに関わること。オフィスアワーは授業の前後 15分ずつであるが、状況により次回の授業で対応となる場合がある。			

科目名	英語Ⅰ(リテラシー)			LAL001	講義
担当教員	クリストファー・ターン				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	英語をコミュニケーションの道具としてとらえ、英語によるコミュニケーション能力基礎の確立を目指す。この目的のために、まずジェスチャーや one word English、one phrase English から始めて、便利かつ最低限必要な英語表現を繰り返し練習する。複雑な文法や語法を無視してこうした練習を繰り返すことで、気楽に感じたことをそのまま口に出すくせをつけさせたい。授業は主に教員が自ら用意した教材を用いて行うが、ゲーム、ペアワーク、写真、ビデオ、音楽等を多く利用して、学生が積極的に授業に参加できるような雰囲気をつくっていきたい。発表の機会が増えると思う。学生の習熟度に応じ、講義のレベルを調整していく。				
到達目標	1. 英語によるコミュニケーション能力の基礎を確立する。 2. 英語による口語表現に親しむ。 3. 英語によるプレゼンテーションを行う。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	特に定めない。				
1	講義内容	イントロダクション:講義の解説・自己紹介			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を確認しておく	1.5 時間	
	1, 2	復習	口語表現の復習	1.5 時間	
2	講義内容	自己紹介してみよう			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間	
	1, 2	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間	
3	講義内容	サバイバル・イングリッシュ ① Where do I get the bus? 道案内等			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間	
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間	
4	講義内容	サバイバル・イングリッシュ ② Could you repeat that? 予約等			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間	
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間	
5	講義内容	便利な one phrase English ① How is your family?			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間	
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間	
6	講義内容	便利な one phrase English ② Where do you live?			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間	
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間	
7	講義内容	英語の話し方・意思の伝え方			
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間	
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間	
8	講義内容	英語と日本語の違い			

	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5時間
9	講義内容	外国について知ろう		
	該当する到達目標	予習	外国について調べてくる	1.5時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5時間
10	講義内容	外国や日本について知ろう		
	該当する到達目標	予習	外国と日本の比較点をまとめる	1.5時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5時間
11	講義内容	外国や日本について話そう		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5時間
12	講義内容	英語だけで1時間過ごしてみよう(Q & A)		
	該当する到達目標	予習	質問内容を考えてくる	1.5時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5時間
13	講義内容	英語だけで1時間過ごしてみよう(何かを説明する)		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5時間
14	講義内容	大学生生活についてのスモール・トーク		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5時間
15	講義内容	英語でのプレゼンテーションに挑戦しよう		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5時間
備考	オフィスアワー: 火曜日 3限、金曜日 3限 メールアドレス: tam@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1号館 3階 315 研究室			

科目名	英語B(リテラシー)			LAL001	講義
担当教員	出雲春明				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1. グローバル化する社会で必要とされる異文化理解を深め、国際感覚を身につける。 2. 基礎的な日常的実用英語表現を習得する。 3. これからの国際社会において必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキルを向上させる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。				
課題に対する フィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	大八木廣人/Timothy Kiggell 『Viva! San Francisco - Video Approach to Survival English』、マクミラン ランゲージハウス、1998年、2,000円				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスとテキストを照らし合わせ、予習、復習、評価方法について確認する。		1.5 時間
	1	復習	PCを用いた講義の進め方について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	Chapter 1 Where Do I Get the Bus? -Getting information- ①			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 1-3.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを用いたやりとりを練習する。		1.5 時間
3	講義内容	Chapter 1 Where Do I Get the Bus? -Getting information- ②			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 4-6.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを用いたやりとりを練習する。		1.5 時間
4	講義内容	Chapter 2 Do You Have a Reservation, Ma'am? -Checking in at a hotel- ①			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 7-9.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを用いたやりとりを練習する。		1.5 時間
5	講義内容	Chapter 2 Do You Have a Reservation, Ma'am? -Checking in at a hotel- ②			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 10-12.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを用いたやりとりを練習する。		1.5 時間
6	講義内容	Chapter 3 Could You Repeat That? -Asking for directions- ①			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 13-15.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを用いたやりとりを練習する。		1.5 時間
7	講義内容	Chapter 3 Could You Repeat That? -Asking for directions- ②			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 16-18.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを用いたやりとりを練習する。		1.5 時間
8	講義内容	Chapter 4 I'll Take the Wrangler Convertible -Renting a car- ①			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 19-21.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それを用いたやりとりを練習する。		1.5 時間
9	講義内容	Chapter 4 I'll Take the Wrangler Convertible -Renting a car- ②			
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 22-23.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。		1.5 時間

	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それをういたやりとりを練習する。	1.5 時間
10	講義内容	Chapter 5 Would You Like Soup or Salad? -Ordering a meal- ①		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 25-27.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それをういたやりとりを練習する。	1.5 時間
11	講義内容	Chapter 5 Would You Like Soup or Salad? -Ordering a meal- ②		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 28-30.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それをういたやりとりを練習する。	1.5 時間
12	講義内容	Chapter 6 Where's the Fitting Room? -Shopping for clothes- ①		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 31-33.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それをういたやりとりを練習する。	1.5 時間
13	講義内容	Chapter 6 Where's the Fitting Room? -Shopping for clothes- ②		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 34-36.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それをういたやりとりを練習する。	1.5 時間
14	講義内容	Chapter 7 Would You Mind Taking My Picture? -Asking for a favor- ①		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 37-39.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それをういたやりとりを練習する。	1.5 時間
15	講義内容	Chapter 7 Would You Mind Taking My Picture? -Asking for a favor- ②		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 40-42.の不明な単語を調べ、聞き取りの訓練をする。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を理解し、それをういたやりとりを練習する。	1.5 時間
備考	PC を用いて、動画、音声、チャットを織り交ぜながら講義を行う。声に出して練習してみること。予習としては不明な単語や表現を調べておくこと。初回はPCの操作方法を説明するため、必ず出席すること。PCの立ち上げには時間がかかるため、講義に際しては余裕を持って席に着いておくこと。辞書必携。			

科目名	英語IC(リテラシー)		LAL001	講義
担当教員	岡田和子			
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	必修 1単位	
講義目標	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。			
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
		2. 論理的思考・問題解決力		
		3. チームの一員としての協調・協働		
	✓	4. 国際理解		
		5. 生涯学習力		
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。			
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。			
使用教材	自作テキスト配布 (「看護に役立つ 実践メディカル英語」)			
1	講義内容	痛みに関する英語表現		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
2	講義内容	外来での英会話～診察前		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
3	講義内容	外来での英会話～診察後		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
4	講義内容	医療面接での英会話～主訴・現病歴		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
5	講義内容	問診票の英語(1)		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
6	講義内容	問診票の英語(2)		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
7	講義内容	医療面接での英会話～既往歴・家族歴・社会歴		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
8	講義内容	身体に関する英語表現		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
9	講義内容	症状に関する英語表現		

	該当する到達目標	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
10	講義内容	検査に関する英語表現(1)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
11	講義内容	検査に関する英語表現(2)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
12	講義内容	介助で使う英語表現(1)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
13	講義内容	介助で使う英語表現(2)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
14	講義内容	問診票の英語(3)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
15	講義内容	薬に関する英語表現		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
備考	オフィス・アワー: 火・水・木曜の 4 限まで 看護学科 3 階の講師室、または 8 号館 1 階の講師室			

科目名	英語ⅡA(リテラシー)			LAL002	講義
担当教員	出雲春明				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。				
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。				
課題に対する フィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	Linda Lee & Erik Gundersen, <i>Select Readings Pre-Intermediate</i> , Oxford University Press, 2011. 2,500 円				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスとテキストを照らし合わせ、予習、復習、評価方法について確認する。	1.5 時間	
1		復習	講義におけるテキストの使用法について理解する。	1.5 時間	
		講義内容	Chapter 1 Are You Getting Enough Sleep? ①		
2	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 3-5.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間	
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
1, 2		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
		講義内容	Chapter 1 Are You Getting Enough Sleep? ②		
3	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 6-8.の不明な単語を調べ、問題を解いてみる。	1.5 時間	
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
1, 2		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
		講義内容	Chapter 1 Are You Getting Enough Sleep? ③、Chapter 3 It's Not Always Black and White. ①		
4	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 9, 21-22.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間	
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
1, 2, 3		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
		講義内容	Chapter 3 It's Not Always Black and White. ②		
5	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 23-26.の不明な単語を調べ、問題を解いてみる。	1.5 時間	
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
1, 2		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
		講義内容	Chapter 3 It's Not Always Black and White. ③		
6	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 27-31.の不明な単語を調べ、問題を解いてみる。	1.5 時間	
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
1, 2, 3		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
		講義内容	Chapter 4 Helping Others ①		
7	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 31-34.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間	
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
1, 2		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
		講義内容	Chapter 4 Helping Others ②		
8	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 35-37.の不明な単語を調べ、問題を解いてみる。	1.5 時間	
		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
1, 2		復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間	
		講義内容	Chapter 4 Helping Others ③		
9					

	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 38-40.の不明な単語を調べ、問題を解いてみる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
10	講義内容	Chapter 8 Can You Live Forever? ①		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 71-74.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
11	講義内容	Chapter 8 Can You Live Forever? ②		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp.75-77.の不明な単語を調べ、問題を解いてみる。	1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
12	講義内容	Chapter 8 Can You Live Forever? ③		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 78-80.の不明な単語を調べ、問題を解いてみる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
13	講義内容	Chapter 13 Love at First Sight ①		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 121-124.の不明な単語を調べ、内容を把握しておく。	1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
14	講義内容	Chapter 13 Love at First Sight ②		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 125-127.の不明な単語を調べ、問題を解いてみる。	1.5 時間
	1, 2	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
15	講義内容	Chapter 13 Love at First Sight ③		
	該当する到達目標	予習	テキスト pp. 128-130.の不明な単語を調べ、問題を解いてみる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	重要表現を復習し、それを用いて自分で表現してみる。	1.5 時間
備考	辞書必携。最低限の予習として不明な単語を調べておくこと。テキスト付属の CD を用いて発音の確認、ならびに練習をしておくとなおよい。			

科目名	英語ⅡB(リテラシー)			LAL002	講義
担当教員	武藤 一也				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。				
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	毎回の確認テストの総合点で判断する。				
課題に対する フィードバック	毎回の授業時にコメントする。				
使用教材	講師配布のプリント				
1	講義内容	イントロダクション			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで授業内容を理解する		1.5 時間
	1	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
2	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:病院施設の基本用語			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
3	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:医療従事者に関する基本用語			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
4	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:薬剤に関する基本用語			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
5	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:患者に関する基本用語			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
6	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:Internal Body Parts に関する表現①			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
7	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:Internal Body Parts に関する表現②			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
8	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:Symptoms に関する表現①			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
9	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:Symptoms に関する表現②			

	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
10	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解: Diagnostic Tests に関する表現①		
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
11	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解: Diagnostic Tests に関する表現②		
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
12	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解: Treatment and Therapy に関する表現①		
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
13	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解: Treatment and Therapy に関する表現②		
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
14	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解: Treatment and Therapy に関する表現③		
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
15	講義内容	総まとめ		
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
備考	質問等は授業後に。			

科目名	英語ⅡC(リテラシー)			LAL002	講義
担当教員	柳澤順一				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1. グローバル化する社会で必要とされる異文化理解を深め、国際感覚を身につける。 2. 基礎的な日常的実用英語表現を習得する。 3. これからの国際社会において必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキルを向上させる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。				
課題に対する フィードバック	レポートは評価またはショートコメントを付した後返却する(学期末課題については返却しないことがある)。 期末試験は採点后、得点を通知する(非常勤のため事務局経由での通知)。				
使用教材	Viva! San Francisco, Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell, Macmillan Language House (1998), 2,000 円				
1	講義内容	Introduction (1), Introductory DVD-Watching			
	該当する到達目標	予習	特になし		0 時間
	1, 2, 3	復習	プリント練習問題の解法		2.0 時間
2	講義内容	Introduction (2), 英検 CAT の利用法			
	該当する到達目標	予習	特になし		0 時間
	1, 2, 3	復習	英検 CAT の当該パートにアクセス		2.0 時間
3	講義内容	Chapter 1 Where Do I Get the Bus?			
	該当する到達目標	予習	1 <sup>st</sup> & 2 <sup>nd</sup> Viewing 精読		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成		1.5 時間
4	講義内容	Chapter 2 Do You Have a Reservation Ma'am?			
	該当する到達目標	予習	1 <sup>st</sup> & 2 <sup>nd</sup> Viewing 精読		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成		1.5 時間
5	講義内容	Chapter 3 Could You Repeat That?			
	該当する到達目標	予習	1 <sup>st</sup> & 2 <sup>nd</sup> Viewing 精読		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成		1.5 時間
6	講義内容	Chapter 4 I'll Take the Wrangler Convertible			
	該当する到達目標	予習	1 <sup>st</sup> & 2 <sup>nd</sup> Viewing 精読		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成		1.5 時間
7	講義内容	Chapter 5 Would You Like Soup or Salad?			
	該当する到達目標	予習	1 <sup>st</sup> & 2 <sup>nd</sup> Viewing 精読		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成		1.5 時間
8	講義内容	Review of Chapters 1-5; Additional DVD-Watching (1)			
	該当する到達目標	予習	Chapter 1-5 の重要語句の暗唱		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	練習問題プリントの解法、Communication Focus 1-5 の表現を整理		1.5 時間
9	講義内容	Additional DVD-Watching (2)			
	該当する到達目標	予習	特になし		0 時間
	1, 2, 3	復習	練習問題プリントの解法		2.0 時間

10	講義内容	Chapter 6 Where's the Fitting Room?		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	1 <sup>st</sup> & 2 <sup>nd</sup> Viewing 精読	1.5 時間
		復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
11	講義内容	Chapter 7 Would You Mind Taking My Picture?		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	1 <sup>st</sup> & 2 <sup>nd</sup> Viewing 精読	1.5 時間
		復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
12	講義内容	Chapter 8 Good to See You!		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	1 <sup>st</sup> & 2 <sup>nd</sup> Viewing 精読	1.5 時間
		復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
13	講義内容	Chapter 9 I Enjoyed My Stay		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	1 <sup>st</sup> & 2 <sup>nd</sup> Viewing 精読	1.5 時間
		復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
14	講義内容	Chapter 10 Aisle Seat, Please		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	1 <sup>st</sup> & 2 <sup>nd</sup> Viewing 精読	1.5 時間
		復習	Face the Camera サマリー作成、英検 CAT ポートフォリオ作成	1.5 時間
15	講義内容	Review of Chapters 6-10; Chapter 11 You Are One of the Family Now		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	1 <sup>st</sup> & 2 <sup>nd</sup> Viewing 精読、Chapter 6-10 の重要語句を暗唱	1.5 時間
		復習	Face the Camera サマリー作成、Communication Focus 6-10 の表現を整理	1.5 時間
備考				

科目名	英語ⅢA(リテラシー)			LAL003	講義
担当教員	武藤一也				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1. グローバル化する社会で必要とされる異文化理解を深め、国際感覚を身につける。 2. 基礎的な日常的実用英語表現を習得する。 3. これからの国際社会において必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキルを向上させる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	毎回の確認テストの総合点で判断する。				
課題に対する フィードバック	毎回の授業時にコメントする。				
使用教材	講師配布のプリント				
1	講義内容	イントロダクション			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで授業内容を理解する		1.5 時間
	1	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
2	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:病院施設の基本用語			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
3	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:医療従事者に関する基本用語			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
4	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:薬剤に関する基本用語			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
5	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:患者に関する基本用語			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
6	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:Internal Body Parts に関する表現①			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
7	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:Internal Body Parts に関する表現②			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
8	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:Symptoms に関する表現①			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解		1.5 時間
9	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:Symptoms に関する表現②			
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。		1.5 時間

	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
10	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:Diagnostic Tests に関する表現①		
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
11	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:Diagnostic Tests に関する表現②		
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
12	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:Treatment and Therapy に関する表現①		
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
13	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:Treatment and Therapy に関する表現②		
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
14	講義内容	看護に関するフレーズと英文読解:Treatment and Therapy に関する表現③		
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
15	講義内容	総まとめ		
	該当する到達目標	予習	授業で使用する英文の単語の意味を調べてくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	ワークシートによる内容理解	1.5 時間
備考	質問等は授業後に。			

科目名	英語ⅢB(リテラシー)			LAL003	講義
担当教員	飛田ルミ				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。				
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度(10%)と小テスト/課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	プレゼンテーションなどの課題に対して評価シートを返却しフィードバックをする。 レポート、小テスト、期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	樋口晶彦 他著 <i>First Aid! English for Nursing</i> 看護英語への総合的アプローチ 金星堂、2013年、1,900円				
1	講義内容	イントロダクション 1. First Visit to a Hospital			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる		1.5 時間
		復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す		1.5 時間
2	講義内容	1. First Visit to a Hospital			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる		1.5 時間
		復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す		1.5 時間
3	講義内容	2. How to Fill in a Registration Form			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる		1.5 時間
		復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す		1.5 時間
4	講義内容	3. Let's Ask about Mr. Brown's Daily Activities			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる		1.5 時間
		復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す		1.5 時間
5	講義内容	4. Mr. Brown's Symptoms			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる		1.5 時間
		復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す		1.5 時間
6	講義内容	5. Medical Check Up 1			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる		1.5 時間
		復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す		1.5 時間
7	講義内容	6. Medical Check Up 2			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる		1.5 時間
		復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す		1.5 時間
8	講義内容	7. Mr. Brown's Diagnosis			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べる		1.5 時間
		復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す		1.5 時間
9	講義内容	8. Mr. Anderson's Symptoms			

	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
10	講義内容	9. Let's Ask More about Mr. Anderson's Symptoms		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
11	講義内容	10. Explaining Blood Test Results		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
12	講義内容	11. How to Take Medicine		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
13	講義内容	12. Mrs. Johnson Feels Dizzy		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
14	講義内容	13. An MRI Test MRI		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
15	講義内容	14. Recommending an Operation		
	該当する到達目標	予習	Reading, Medical Terminology, Further Study を調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Listen & Talk, Reading, 専門用語を見直す	1.5 時間
備考				

科目名	英語ⅢC(リテラシー)			LAL003	講義
担当教員	Stacy Clause				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	This class's goal is to help students to use basic conversational English. We will also learn about and discuss issues in global health. Class participation and discussion are essential components of this course.				
到達目標	1. To foster a positive attitude toward communication through English. 2. To understand issues in global health. 3. To develop lifelong skills for learning English				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	平常点 40%(単語試験、提出物など)、発表 30%、定期試験 30%を総合的に評価する。 Quizzes or homework due every week based on previous lesson.				
課題に対する フィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点后返却する。				
使用教材	Provided by instructor				
1	講義内容	Introductions, greetings			
	該当する到達目標	予習	Prepare presentation	1.0 時間	
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間	
2	講義内容	About me/my hometown presentation			
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間	
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間	
3	講義内容	Practical English: Explanations -how to use something			
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間	
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間	
4	講義内容	Practical English: Asking and giving information			
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間	
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間	
5	講義内容	Practical English: compliments, apologies and other speech acts			
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間	
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間	
6	講義内容	Lifelong learning: Movies/TV			
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間	
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間	
7	講義内容	Lifelong learning: Metaphors in songs			
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間	
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間	
8	講義内容	Lifelong learning: Movies/TV			
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間	
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間	
9	講義内容	Lifelong learning: Songs (part 2)			

2017 年度 保健医療学部看護学科

	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
10	講義内容	Practical English: Getting around -at the hotel, restaurant, airport		
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
11	講義内容	Presentation on an English speaking country		
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
12	講義内容	Current health issues (Public Service announcements)		
	該当する到達目標	予習	Prepare activity	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
13	講義内容	Comparative issues in medicine: technology		
	該当する到達目標	予習	Take notes on TED talk	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
14	講義内容	Comparative issues in medicine: global health		
	該当する到達目標	予習	Take notes on TED talk	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
15	講義内容	Future of medicine: class presentations		
	該当する到達目標	予習	Complete presentation with group	1.0 時間
	1, 2, 3	復習	Review new words and phrases	1.0 時間
備考	<p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p> <p>メールアドレス: stacy-c@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 9 号館 307 研究室</p>			

科目名	英語ⅣA(リテラシー)			LAL004	講義
担当教員	岡田和子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	この講義では、看護・医療の現場において必要とされる英語に焦点を絞ったテキストを用い、医者・看護師と患者の対話、痛みや症状の表現、薬の基本的知識等を英語で学習する。医療・看護に関する英語表現力、語彙力、リスニング能力を身につけるとともに、基礎的な医療現場での会話表現を習得することが、この講義の目的である。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護・医療に関する英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。</li> <li>2. 看護・医療に関する英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。</li> <li>3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	自作テキスト配布 (「看護に役立つ 実践メディカル英語」)				
1	講義内容	痛みに関する英語表現			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5時間	
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5時間	
2	講義内容	外来での英会話～診察前			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5時間	
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5時間	
3	講義内容	外来での英会話～診察後			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5時間	
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5時間	
4	講義内容	医療面接での英会話～主訴・現病歴			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5時間	
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5時間	
5	講義内容	問診票の英語(1)			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5時間	
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5時間	
6	講義内容	問診票の英語(2)			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5時間	
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5時間	
7	講義内容	医療面接での英会話～既往歴・家族歴・社会歴			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5時間	
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5時間	
8	講義内容	身体に関する英語表現			
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5時間	
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5時間	

9	講義内容	症状に関する英語表現		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
10	講義内容	検査に関する英語表現(1)		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
11	講義内容	検査に関する英語表現(2)		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
12	講義内容	介助で使う英語表現(1)		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
13	講義内容	介助で使う英語表現(2)		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
14	講義内容	問診票の英語(3)		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
15	講義内容	薬に関する英語表現		
	該当する到達目標 1, 2, 3	予習	テキストを読み、専門用語を調べる	1.5 時間
		復習	キーセンテンスを暗記する	1.5 時間
備考	オフィス・アワー: 火・水曜の 4 限まで 看護学科 3 階の講師室、または 8 号館 1 階の講師室			

科目名	英語VB(リテラシー)			LAL004	講義
担当教員	真下裕子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1. グローバル化する社会で必要とされる異文化理解を深め、国際感覚を身につける。 2. 基礎的な日常的実用英語表現を習得する。 3. これからの国際社会において必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキルを向上させる。				
学位授与方針 との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
	✓	国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	課題遂行度(40%)、試験(60%)を基本に、授業への参加度、授業態度も考慮し総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	発表課題については優れた点、改善点の両面から具体的にアドバイスする。				
使用教材	Viva! San Francisco: Video Approach to Survival English (大八木廣人, Timothy Kiggell Macmillan Languagehouse)、1998年、2,000円				
1	講義内容	イントロダクション・CALL 教室でのマナー及び機器の使い方			
	該当する到達目標	予習	テキストに一通り目を通し、どんな学習内容かを理解してくる。		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	英語の自己紹介をより詳しい内容に改善し発表の練習をしてくる。		1.5 時間
2	講義内容	Chapter 1: Where Do I Get the Bus?			
	該当する到達目標	予習	Chapter 1 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 1 の音読、内容理解		1.5 時間
3	講義内容	Chapter 2: Do You Have a Reservation, Ma'am?			
	該当する到達目標	予習	Chapter 2 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 2 の音読、内容理解		1.5 時間
4	講義内容	Chapter 3: Could You Repeat That?			
	該当する到達目標	予習	Chapter 3 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 3 の音読、内容理解		1.5 時間
5	講義内容	Chapter 1, 2, 3 の復習。 Chapter 2 の会話のペア発表			
	該当する到達目標	予習	Chapter 2 の会話をペアで発表できるよう動作も工夫して暗唱する		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	暗唱した会話を筆写する		1.5 時間
6	講義内容	Chapter 4: I'll Take the Wrangler Convertible			
	該当する到達目標	予習	Chapter 4 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 4 の音読、内容理解		1.5 時間
7	講義内容	Chapter 5: Would You Like Soup or Salad?			
	該当する到達目標	予習	Chapter 5 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 5 の音読、内容理解		1.5 時間
8	講義内容	Chapter 6: Where's the Fitting Room?			
	該当する到達目標	予習	Chapter 6 に目を通し、未知の単語の意味を調べる		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 6 の音読、内容理解		1.5 時間
9	講義内容	Chapter 4, 5, 6 の復習。 Chapter 5 の会話のペア発表			
	該当する到達目標	予習	Chapter 5 の会話をペアで発表できるよう動作も工夫して暗唱する		1.5 時間

	1, 2, 3	復習	暗唱した会話を筆写する	1.5 時間
10	講義内容	Chapter 7: Would You Mind Taking My Picture?		
	該当する到達目標	予習	Chapter 7 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 7 の音読、内容理解	1.5 時間
11	講義内容	Chapter 8: Good to See You!		
	該当する到達目標	予習	Chapter 8 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 8 の音読、内容理解	1.5 時間
12	講義内容	Chapter 7,8 の復習。 Chapter 8 の会話のペア発表		
	該当する到達目標	予習	Chapter 8 の会話をペアで発表できるよう動作も工夫して暗唱する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	暗唱した海輪を筆写する	1.5 時間
13	講義内容	Chapter 9: I Enjoyed My Stay		
	該当する到達目標	予習	Chapter 9 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 9 の音読、内容理解	1.5 時間
14	講義内容	Chapter 10: Aisle Seat, Please		
	該当する到達目標	予習	Chapter 10 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 10 の音読、内容理解	1.5 時間
15	講義内容	Chapter 9, 10 の復習。 Chapter 9 の会話のペア発表		
	該当する到達目標	予習	Chapter 8 の会話をペアで発表できるよう動作も工夫して暗唱する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	暗唱した会話を筆写する	1.5 時間
備考				

科目名	英語VC(リテラシー)			LAL004	講義
担当教員	ジム・ヘイ				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1. 英語の歌やゲームに親しみ、異文化に対する理解を深める。 2. 基礎的な英語表現を理解する。 3. 英語による日常的なコミュニケーション能力を獲得する。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度(10%)と小テスト/課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
使用教材	特に定めない。				
1	講義内容	Introduction, rules, Greetings review			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を把握する		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
2	講義内容	TV Reporter pair work unit 1			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
3	講義内容	TV Reporter pair work unit 2			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
4	講義内容	be 動詞			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
5	講義内容	Greetings unit 1			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
6	講義内容	Greetings unit 2			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
7	講義内容	He, She, It			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
8	講義内容	過去形			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間
9	講義内容	Songs and Poems			
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備		1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習		1.5 時間

10	講義内容	“My Town” Listening unit		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
11	講義内容	“ing” Form		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
12	講義内容	Body Parts Unit		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
13	講義内容	Body Parts Songs		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
14	講義内容	Opposite unit and Games		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
15	講義内容	“Words Game” Team Contest		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
備考				

科目名	Integrated English I (リテラシー)			LAL005	講義
担当教員	クリストファー・ターン				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	本講義では、海外英語研修参加希望者を対象とする。英語による日常英会話レベルのコミュニケーション能力を獲得することを講義目標とする。				
到達目標	1、コミュニケーションの基礎知識を学ぶ 2、海外での様々な場面を想定した英会話の練習をする 3、プレゼンテーションの実践練習を行う また、海外英語研修にむけた事前準備や説明も行う。				
学位授与方針 との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
	✓	国際理解			
	生涯学習力				
評価方法	授業内パフォーマンス 90%、提出物 10%				
課題に対する フィードバック	レポートにコメントをつけて返却する。個人面接を行う。				
使用教材	開講時に指示する。				
1	講義内容	What is communication?			
	該当する到達目標	予習	なし		時間
	1	復習	授業内容についての要約を書く。		1,5 時間
2	講義内容	Cognitive Psychology: Get to know yourself			
	該当する到達目標	予習	自分自身について書く。		1,5 時間
	1	復習	自分のインターナルコミュニケーションスキルについて書く。		1,5 時間
3	講義内容	Social skills.			
	該当する到達目標	予習	社会心理学について事前調べを行う。		1,5 時間
	1	復習	改善すべき自分の社会的スキルについて書く。		1,5 時間
4	講義内容	The power of imagination and innovation			
	該当する到達目標	予習	行きたい国、行きたい理由をあげる。		1,5 時間
	2	復習	その国について調べる。		1,5 時間
5	講義内容	learning to control a conversation			
	該当する到達目標	予習	言葉が理解できない状況でどのようなコミュニケーションが有効かを考える。		1,5 時間
	2	復習	ホストファミリーとの会話例を考える。		1,5 時間
6	講義内容	Listening strategies			
	該当する到達目標	予習	訪問国の英語発音について調べる。		1,5 時間
	2	復習	訪問国の短編映画やアニメを見る。		1,5 時間
7	講義内容	Basic English: Self introduction and first steps for communication in English			
	該当する到達目標	予習	自己紹介文を書く。		1,5 時間
	3	復習	自己紹介文を仕上げる。		1,5 時間
8	講義内容	Create your own English database			
	該当する到達目標	予習	ノートの準備をする。		1,5 時間
	3	復習	English Database を作成する。		1,5 時間
9	講義内容	Meet a foreigner			

	該当する到達目標	予習	外国人ゲストとの会話を考える。	1,5 時間
	2	復習	外国人ゲストとの会話から、スピーキングの課題を見つける。	1,5 時間
10	講義内容	Speech basics: Talking to an audience		
	該当する到達目標	予習	相手に伝わるプレゼンテーションについて調べる。	1,5 時間
	3	復習	大学紹介についてのパワーポイントプレゼンテーションを作成する。	1,5 時間
11	講義内容	Presentation 1(power point)		
	該当する到達目標	予習	自分の学科(専門)についてのプレゼンテーションを準備する。	1,5 時間
	3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする。	1,5 時間
12	講義内容	Presentation 2(power point)		
	該当する到達目標	予習	テーマーについてプレゼンテーションの準備をする。	1,5 時間
	3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする。	1,5 時間
13	講義内容	Make your own textbook 1		
	該当する到達目標	予習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する。	1,5 時間
	2	復習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する。	1,5 時間
14	講義内容	Do group work to improve your textbook		
	該当する到達目標	予習	グループ毎に各自のテキストブックについて話し合い改善する	1,5 時間
	2	復習	想定した研修やホームステイについてレポートを書く。	1,5 時間
15	講義内容	Conclusion		
	該当する到達目標	予習	1～14 回の授業の復習をする	1,5 時間
	1,2,3	復習	全講義を通して学んだことについてレポートを書く。	1,5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日 3 限、金曜日 3 限 予習復習時間については各自補完すること。			

科目名	Integrated English II (リテラシー)			LAL006	講義
担当教員	真下 裕子				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	実践問題演習を通して、TOEIC テストの全貌と特徴、傾向と対策をおさえるとともに、スコアアップのための受験のストラテジーも習得する。				
到達目標	1. TOEIC の形式と内容を理解できる。 2. 語彙力が身につく。 3. 文法事項を理解できる。 4. 音読トレーニングで英語の音の聞き取りに慣れる。 5. 英文読解力が身につく。				
学位授与方針 との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
	✓	国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	語彙テスト(50%)、ミニ模擬テスト(50%)で「評価する。 総合評価60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	前回の授業で学習した語彙を、毎回テストする。 課題(文法プリント)の解説をする。				
使用教材	TOEIC テスト学習スタートブック JMook18(Jリサーチ出版) JCBN978-4-86392-270-9- C9482				
1	講義内容	Introduction (TOEIC テストの概略説明と学習法)			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1 時間
	1	復習	講義内容を理解し、TOEIC テストの概要と学習法を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	Part 1 文法: 品詞			
	該当する到達目標	予習	Part 1 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。		1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 1 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。		1.5 時間
3	講義内容	Part 2 文法: 名詞を修飾する言葉			
	該当する到達目標	予習	Part 2 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。		1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 2 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。		1.5 時間
4	講義内容	Part 3 文法: 動詞の形			
	該当する到達目標	予習	Part 3 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。		1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 3 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。		1.5 時間
5	講義内容	Part 4 文法: 時制と仮定法			
	該当する到達目標	予習	Part 4 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。		1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 4 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。		1.5 時間
6	講義内容	Part 5 文法: 代名詞			
	該当する到達目標	予習	Part 5 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。		1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 5 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。		1.5 時間
7	講義内容	Part 6 文法: 接続詞			
	該当する到達目標	予習	Part 6 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。		1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 6 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。		1.5 時間
8	講義内容	Part 7			

	該当する到達目標	予習	Part 7 の語彙の意味を調べる。	1 時間
	2, 4, 5	復習	Part 7 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
9	講義内容	Part 1, 2 文法:分詞		
	該当する到達目標	予習	Part 1, 2 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 1, 2 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
10	講義内容	Part 3, 4 文法:関係詞		
	該当する到達目標	予習	Part 3, 4 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 3, 4 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
11	講義内容	Part 5,6 文法:比較		
	該当する到達目標	予習	Part 5, 6 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 5, 6 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
12	講義内容	Part 7 文法:語法		
	該当する到達目標	予習	Part 7 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 7 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
13	講義内容	ミニ模擬テスト(リスニング)		
	該当する到達目標	予習	Part 1-4 のリスニング問題を練習する。	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	リスニング問題の確認をする。	1.5 時間
14	講義内容	ミニ模擬テスト(リーディング)		
	該当する到達目標	予習	Part 5-7 のリーディング問題を練習する。	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	リーディング問題の確認をする。	1.5 時間
15	講義内容	模擬テストの解答と解説		
	該当する到達目標	予習	リスニング問題、リーディング問題を練習する。	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	ドイツ語(リテラシー)			LAL007	講義
担当教員	大石 桂子				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	日常生活でよく登場する話題を題材に、ドイツ語で自己表現できるようになる。会話練習と文法学習の両面から、理解力(読む、聞く)と表現力(書く、話す)を養い、基礎を定着させる。また、講義中のドイツ文化、風景、歴史などの紹介を通して、ドイツ語圏の魅力に触れる。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ドイツ語であいさつ、自己紹介したり基本の会話表現を活用できる。</li> <li>2. 動詞の人称変化を理解し、活用できる。</li> <li>3. 冠詞の格変化を理解し、活用できる。</li> <li>4. 分離動詞、話法の助動詞を理解し、活用できる。</li> <li>5. 現在完了形を理解し、活用できる。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験(60%)、小テスト・提出課題(40%)に、授業への積極性などを加味する。				
課題に対するフィードバック	小テストや提出課題は採点、解説を記入して返却する。				
使用教材	『アプファールト<ノイ>』三修社。また、講義中に補助プリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、ドイツ語のABC、挨拶①			
	該当する到達目標	予習	テキストの付属CDでアルファベットの発音を確認する。		1 時間
	1	復習	アルファベット、挨拶の表現をCDで復習する。		1.5 時間
2	講義内容	挨拶②、発音練習、ドイツ語を使う国々の紹介			
	該当する到達目標	予習	CDでウムラウトなどの発音を確認する。		1 時間
	1	復習	配布プリントの発音を確認する。		1.5 時間
3	講義内容	Lektion 1 人と知り合う:名前、出身、住所をたずねる			
	該当する到達目標	予習	テキストのLektion1の会話文をCDで聞く。		1 時間
	1	復習	自己紹介の仕方を確認する。		1.5 時間
4	講義内容	Lektion 1 動詞の人称変化(1)、疑問文			
	該当する到達目標	予習	規則変化動詞の現在人称変化を確認する。		1 時間
	2	復習	配布プリントの問題を解く。		1.5 時間
5	講義内容	Lektion 2 人を誘う:友人を紹介する、数、電話番号			
	該当する到達目標	予習	テキストのLektion2の会話文をCDで聞く。数字の発音を確認する。		1 時間
	1,2	復習	0~20までの数字の発音を定着させる。		1.5 時間
6	講義内容	Lektion 2 動詞の人称変化(2)、語順など			
	該当する到達目標	予習	不規則変化動詞の現在人称変化を確認する。		1 時間
	2	復習	配布プリントの問題を解く。		1.5 時間
7	講義内容	Lektion 3 道の尋ね方・答え方・位置・方向を表す語			
	該当する到達目標	予習	テキストのLektion3の会話文をCDで聞く。		1 時間
	1,3	復習	道案内の表現を確認する。		1.5 時間
8	講義内容	Lektion 3 名詞の性、定冠詞と不定冠詞など			
	該当する到達目標	予習	冠詞の1格を確認する。		1 時間

	3	復習	配布プリントの問題を解く。	1.5 時間
9	講義内容	Lektion 4 買い物値段、気に入った?		
	該当する到達目標	予習	テキストの Lektion 4 の会話文を CD で聞き、発音を確認する。	1 時間
	1,3	復習	値段の表現を確認する。	1.5 時間
10	講義内容	Lektion 4 冠詞の 3 格、前置詞など		
	該当する到達目標	予習	冠詞の 3 格を確認する。	1 時間
	3	復習	配布プリントの問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	Lektion 5 週末や休暇の予定:天候、一日の行動		
	該当する到達目標	予習	テキストの Lektion 5 の会話文を CD で聞き、発音を確認する。	1 時間
	1,4	復習	予定を表す表現を確認する。	1.5 時間
12	講義内容	Lektion 5 分離動詞、話法の助動詞など		
	該当する到達目標	予習	分離動詞の仕組みを確認する。	1 時間
	4	復習	配布プリントの問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	Lektion 6 過去のできごと:時を表す表現		
	該当する到達目標	予習	テキストの Lektion 6 の会話文を CD で聞き、発音を確認する。	1 時間
	1,5	復習	過去の表現を確認する。	1.5 時間
14	講義内容	Lektion 6 過去分詞、現在完了		
	該当する到達目標	予習	現在完了文の仕組みを確認する。	1 時間
	5	復習	配布プリントの問題を解く。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	Lektion 1~6 の重要文法を確認する。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	配布プリントの問題を解く。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日の 2 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。  メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」  研究室: 1 号館 6 階 601  予習・復習については試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	フランス語(リテラシー)			LAL008	講義
担当教員	カディオンボ・アナスタシア				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	フランス語に興味を持ってもらう				
到達目標	1、基本の読み書きができる 2、初級文法を用いて基本的な会話を行い、フランス語検定5級合格レベルに到達する				
学位授与方針 との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
	✓	国際理解			
	生涯学習力				
評価方法	筆記試験 80%、宿題 20%				
課題に対する フィードバック	宿題を返却する。				
使用教材	「ゼロからは始める書き込み式フランス語 BOOK」成美堂出版				
1	講義内容	アルファベットとつづり字記号、発音			
	該当する到達目標	予習	テキストやシラバスを読んでおく		1.5時間
	1	復習	テキストを読んでもくる		1.5時間
2	講義内容	リエゾンとアンシュヌマン			
	該当する到達目標	予習	テキストの単語を辞書で女性名詞か男性名詞か調べてくる		1.5時間
	1	復習	テキストを読んでもくる、宿題を出すのでやってくる		1.5時間
3	講義内容	名詞(性)と冠詞、数字			
	該当する到達目標	予習	テキスト上のそれぞれの名詞に対して、冠詞を書いてくる		1.5時間
	1	復習	宿題を出すのでやってくる		1.5時間
4	講義内容	母音の発音			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる、テキスト付属のCDを聴いてくる		1.5時間
	1	復習	発音練習をしてくる		1.5時間
5	講義内容	子音の発音			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる、テキスト付属のCDを聴いてくる		1.5時間
	1	復習	発音練習をしてくる		1.5時間
6	講義内容	あいさつ表現			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる、テキスト付属のCDを聴いてくる		1.5時間
	2	復習	発音練習をしてくる		1.5時間
7	講義内容	依頼の表現			
	該当する到達目標	予習	自分の依頼表現を使う場面を考えてくる		1.5時間
	2	復習	発音練習をしてくる		1.5時間
8	講義内容	Be 動詞(être)			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる		1.5時間
	2	復習	宿題を出すのでやってくる		1.5時間
9	講義内容	Have (avoir) 動詞			
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでもくる		1.5時間
	2	復習	全員の自己紹介文を覚えてくる。練習をしてくる		1.5時間
10	講義内容	第1群規則動詞(-er 動詞)			

	該当する到達目標	予習	テキストを読んできると	1.5時間
	2	復習	自分の好きなものと嫌いなものをフランス語で書いてくる	1.5時間
11	講義内容	否定文		
	該当する到達目標	予習	第8～10回授業の復習をしてくる	1.5時間
	2	復習	自分で否定文を作成し、書いてくる。発音練習をする	1.5時間
12	講義内容	時刻・年齢の表現		
	該当する到達目標	予習	第3回授業の復習をしてくる	1.5時間
	2	復習	時刻をフランス語で書いてくる	1.5時間
13	講義内容	第2群規則動詞(-ir 動詞)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んできると	1.5時間
	2	復習	自分のスケジュールをフランス語でかいてくる	1.5時間
14	講義内容	形容詞①		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んできると	1.5時間
	2	復習	宿題を出すのでやってくる	1.5時間
15	講義内容	形容詞②		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んできると	1.5時間
	2	復習	第1～15回授業の復習をしてくる	1.5時間
備考	毎回の復習を必ずしてこること。 コミュニケーションを目的にした授業のため、積極的に会話に参加してほしい。			

科目名	ポルトガル語(リテラシー)			LAL009	講義
担当教員	伊勢島 セリア明美				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	ポルトガル語の基礎文法を習得することを目標とします。又、ブラジルの文化にも触れたいと思います。				
到達目標	1.初歩レベルの日常会話 2.異文化理解				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
	✓	国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	小テスト(50%)及びミニ会話の発表(50%)で100%評価。 総合評価60%以上を合格とします。				
課題に対するフィードバック	会話の発表前に内容を確認し、必要に応じて補足の説明を行います。				
使用教材	教材プリントを配布します。				
1	講義内容	ガイダンス。アルファベット、挨拶、基本構文。			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。	1時間	
	1, 2	復習	会話の発表に向けて、挨拶と自己紹介ができるようにする。	1.5時間	
2	講義内容	否定文、疑問文、動詞 ser、前置詞 de。			
	該当する到達目標	予習	動詞 ser の活用形を覚える。	1時間	
	1, 2	復習	疑問文の作り方と答え方を確認する。	1.5時間	
3	講義内容	家族や親族の呼び方、所有形容詞。			
	該当する到達目標	予習	所有形容詞の単数形及び家族の呼び方を覚える。	1時間	
	1	復習	家族の紹介とそれぞれの職業を言えるようにする。	1.5時間	
4	講義内容	形状を表す形容詞①、形容詞の変化。			
	該当する到達目標	予習	形容詞①を覚える。	1時間	
	1	復習	形容詞を使った文型を確認する。	1.5時間	
5	講義内容	数詞①、名詞の性と数、動詞 ter。			
	該当する到達目標	予習	動詞 ter の活用形及び数詞(1~10)を覚える。	1時間	
	1, 2	復習	年齢を表す表現を確認する。	1.5時間	
6	講義内容	比較の表現、形容詞②、定冠詞。			
	該当する到達目標	予習	形容詞②を覚える。	1時間	
	1, 2	復習	日本とブラジルを比較する表現を確認する。	1.5時間	
7	講義内容	動詞 gostar、動詞 preferir			
	該当する到達目標	予習	動詞 gostar の活用形を覚える。	1時間	
	1, 2	復習	自分の好みを表現できるようにする。	1.5時間	
8	講義内容	不定冠詞、動詞 querer			
	該当する到達目標	予習	動詞 querer の活用形を覚える。	1時間	
	1	復習	願望を表現できるようにする。	1.5時間	
9	講義内容	動詞 estar、前置詞 em			
	該当する到達目標	予習	動詞 estar の活用形を覚える。	1時間	
	1	復習	存在を表す表現を確認する。	1.5時間	

10	講義内容	動詞 ir、前置詞 a、前置詞 de		
	該当する到達目標	予習	動詞 ir の活用形を覚える。	1 時間
	1	復習	行き先を伝える表現を確認する。	1.5 時間
11	講義内容	数詞②、-ar 動詞		
	該当する到達目標	予習	-ar 動詞の活用の語尾変化を覚える。	1 時間
	1	復習	時間を表現できるようにする。	1.5 時間
12	講義内容	時の表現①、-er 動詞、前置詞 com		
	該当する到達目標	予習	-er 動詞の活用の語尾変化を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	日課を伝える表現を確認する。	1.5 時間
13	講義内容	曜日、-ir 動詞、前置詞 em		
	該当する到達目標	予習	曜日の言い方を覚える。	1 時間
	1	復習	曜日の言い方と使いかたを確認する。	1.5 時間
14	講義内容	時の表現②、月の名前、規則動詞の完全過去形		
	該当する到達目標	予習	規則動詞の完全過去形の変化を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	過去の事柄を伝える表現を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	時の表現③、規則動詞の未来形。小テスト。		
	該当する到達目標	予習	規則動詞の未来形の変化を確認する。	1 時間
	1	復習	小テストの解答例を確認する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー:	授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。		
	参考文献:	ニューエクスプレス ブラジル ポルトガル語 香川正子著 白水社 初級 ブラジル ポルトガル語 深沢暁著 東洋書店		
	メッセージ:	第2又は第3外国語を話す楽しさを味わって頂ければ嬉しく思います。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること		

科目名	中国語(リテラシー)			LAL010	講義
担当教員	渡邊 賢				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	中国語を学ぶ上で不可欠である発音とその表記と、また最も基礎的な語彙と構文とを身に付け、簡単なコミュニケーションができる語学力の養成を目指す。同時に中国文化の全般に関する興味を喚起するとともに、医療現場で役立つ表現に習熟したい。				
到達目標	1.中国の地理、風俗および言語とその多様性を理解する。 2.中国語音を表記する音声記号を習得する。 3.中国語音を表記する音声記号を正確に発音する能力を育成する。 4.中国語音を聞いて、弁別する聴力を育成する。 5.日常会話に不自由しない程度の語彙と語法とを習得する。 6. 医学・薬学・看護学に関わる語彙と表現とを習得する。				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
	✓	国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	毎回の小試験 20%、発音中間試験 30%、学期末筆記試験 50%により評価する。 総合評価 60%以上を合格とみなす。				
課題に対するフィードバック	毎回の小試験は採点の上、返却する。各自、未熟な点をよく自覚し克服されたい。				
使用教材	教科書『医療系学生のための初級中国語』山田真一著(白帝社) ISBN978-4-89174-979-8C3887				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバス内容、教科書第8頁「中国語について」を読み、講義目標や中国語の特性などについて理解する。		1時間
		復習	不要		時間
2	講義内容	発音の基礎Ⅰ:ピンイン字母、単母音、四声などを学習する。			
	該当する到達目標	予習	不要		時間
	2,3,4,6	復習	授業で学習したことを、毎日、一日10分程度、発音する。		1時間
3	講義内容	発音の基礎Ⅱ:複合母音、「声(子音)」の唇音・舌先音・舌根音などを学習する。			
	該当する到達目標	予習	不要		時間
	2,3,4,6	復習	授業で学習したことを、毎日、一日10分程度、発音する。		1時間
4	講義内容	発音の基礎Ⅲ:鼻母音、「声(子音)」の舌面音・捲舌音・舌歯音などを学習する。			
	該当する到達目標	予習	不要		時間
	2,3,4,6	復習	授業で学習したことを、毎日、一日10分程度、発音する。		1時間
5	講義内容	教科書第1課、名前の聞き方・答え方、人称代名詞などの学習。			
	該当する到達目標	予習	教科書第1課の本文および新出語句の発音を練習しておく。		0.5時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。		1.5時間
6	講義内容	教科書第2課、指示代名詞、「是」を用いた判断文などの学習。			
	該当する到達目標	予習			0.5時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。		1.5時間
7	講義内容	教科書第3課、形容詞述語文や数量表現などの学習。			

	該当する到達目標	予習	教科書第3課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
8	講義内容	教科書第4課、存在文や構造助詞「的」などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第2課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
9	講義内容	教科書第5課、介詞構造や方位詞などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第5課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
10	講義内容	教科書第6課、連動文や能願動詞などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第6課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
11	講義内容	教科書第7課、数量補語や動態助詞の「了」と語気詞の「了」などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第7課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
12	講義内容	教科書第8課、動態助詞「過」や程度補語などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第8課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
13	講義内容	教科書第9課、能願動詞「会」「能」「可以」などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第9課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
14	講義内容	教科書第10課、方向補語や結果補語などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第10課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
15	講義内容	教科書第11課、主述述語文や比較表現などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第10課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
備考	<p>机に向かって学習するには及ばない。通学時などわずかな余暇を利用して、10 分程度で構わぬので、必ず毎日、口や舌を動かして毎回の授業の内容を消化することが望ましい。また習慣的学習を身に着けたい。毎回の積み重ねが肝要。後刻、自力でマスターしようとしてもほとんど不可能と心得よ。</p> <p>予習・復習については試験前後の勉強にて補完すること。</p>			

科目名	ハングル語(リテラシー)			LAL011	講義
担当教員	河 正一				
学年・開講期	1 年 前期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	はじめて韓国語をまなぶ学生を対象とする。表音文字であるハングルの表記を覚え、単語や文章を正確に発音する練習をする。会話の練習を通して簡単な挨拶や自己紹介、身の回りのものについて覚える。				
到達目標	1.韓国語の文字であるハングルの正確な読み書きができる。 2.基本文型を身に付けさせて簡単な日常会話ができる。 3.基本的な韓国語の4技能の「聞く」「話す」「読む」「書く」能力を向上させる。 4.初級レベルの韓国語運用能力を身につける。				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
	✓	国際理解			
	生涯学習力				
評価方法	宿題 30%、小テスト 20%、中間・期末試験 50%				
課題に対するフィードバック	宿題にはコメントを付けて返却する。 小テストを毎回返却し解説する。				
使用教材	李淑炫(2011)『チェミナ韓国語—自然に身につく会話と文法 韓国語初級テキスト』白帝社 ISBN-13:978-4891748593				
1	講義内容	授業概要、ハングルについて、第1課: 母音			
	該当する到達目標 1	予習	テキストを用意し、12 頁～14 頁を読んでくる。韓国語のノートを用意する。	1 時間	
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
2	講義内容	第2課: 子音(平音と有声音)			
	該当する到達目標 1	予習	22 頁～25 頁を読んでくる。	1 時間	
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
3	講義内容	第2課: 子音(激音と濃音)			
	該当する到達目標 1	予習	26 頁～31 頁を読んでくる。	1 時間	
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
4	講義内容	第3課: パッチム、パッチム 7 つの代表音			
	該当する到達目標 1	予習	32 頁～37 頁を読んでくる。	1 時間	
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
5	講義内容	第4課: 二重母音、名前を書く、まとめ			
	該当する到達目標 1	予習	38 頁～43 頁を読んでくる。	1 時間	
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
6	講義内容	第5課: 発音の変化、発音の基本、パッチム音の変化			
	該当する到達目標 1	予習	46 頁～54 頁を読んでくる。	1 時間	
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
7	講義内容	第6課: 主題を表す助詞「～は」、体言について、指定詞の丁寧な表現 I			
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4	予習	56 頁～63 頁を読んでくる。	1 時間	
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	
8	講義内容	第7課: 指示代名詞(これ・それ・あれ)、「～ではありません」			
	該当する到達目標 1, 2, 3, 4	予習	64 頁～71 頁を読んでくる。	1 時間	
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間	

9	講義内容	第8課:主語を表す助詞「～が」、「～と」、「いる/ある、ない/いない」について、まとめ		
	該当する到達目標	予習	72 頁～81 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	第9課:場所や位置を表す表現、数詞 I		
	該当する到達目標	予習	82 頁～91 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	第10課:用言の丁寧形 I (改まった表現)、用言の否定形		
	該当する到達目標	予習	92 頁～97 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	第10課:羅列の表現、場所を表す助詞、目的格を表す助詞、まとめ		
	該当する到達目標	予習	97 頁～101 頁を読んでくる。まとめ	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	第6課～10課、総合まとめ		
	該当する到達目標	予習	第 6 課から第 10 課まで読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	今まで勉強した内容をもう一度、確認して理解しておく。	1.5 時間
14	講義内容	第11課:指定詞(丁寧な表現Ⅱ)逆接を表す表現数詞Ⅱ や時間の言い方		
	該当する到達目標	予習	102 頁～105 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	第11課:数詞Ⅱ や時間の言い方		
	該当する到達目標	予習	106 頁～111 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	数詞Ⅰと数詞Ⅱの使い分けや読み方を理解する。	1.5 時間
備考	<p>質問等がある場合は <a href="mailto:hajeongil007@gmail.com">hajeongil007@gmail.com</a> までに連絡すること。</p> <p>メールを送る際は「件名」に「高崎健康福祉大学ハングル語:名前」を必ず記入すること。</p> <p>必ず予習・復習を行うこと。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p> <p>授業が始まる前に前回の宿題を提出すること。</p> <p>授業では、毎回小テストを行う。</p>			

科目名	コンピュータ入門Ⅰ(リテラシー)			LAL012	講義
担当教員	木幡直樹				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	本科目は、IT社会における教養としてコンピュータに関する知識を身につけるための講義科目である。内容レベル的には、受講者が、J検 情報活用試験の1級～3級の範囲に関する内容が理解できるようになることを目的とする。				
到達目標	入門Ⅰでは特に、受講者がコンピュータの動作の本質・背景を理解することを目指し、以下の目標を掲げる。 1. コンピュータシステムの概要や情報処理の考え方などを理解する。 2. コンピュータにおけるデータの表現方法を理解し、特に数をN進数として表す・基数変換の処理・小数や負数の表し方などを理解し、実践できる。 3. 計算の基本となる論理演算や論理回路などを理解し説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験及び課題の提出:90%、授業への参加態度:10% で評価する。講義時にも改めて説明する。				
課題に対するフィードバック	筆記試験及び課題の結果の講評を行い、必要に応じ再テストや再提出を求める。				
使用教材	J検 情報活用試験の1級～3級レベルのテキストを使用する。その他、必要に応じ資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、情報システム、コンピュータシステムとは			
	該当する到達目標	予習	シラバスを確認しておく。テキストの該当部分を読んでおく。		1時間
	1	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
2	講義内容	コンピュータシステムの特徴、コンピュータの種類			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。		1時間
	1	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
3	講義内容	情報処理の手順、フローチャート			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。		1時間
	1	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
4	講義内容	コンピュータが扱うデータ、情報の単位、ビット、バイト、文字コード(標準コード)			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。		1時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
5	講義内容	数の表現(10進数、2進数、8進数、16進数)、小数の表現			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。		1時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
6	講義内容	基数変換(10進数 ⇄ 2進数・8進数・16進数)			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。		1時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
7	講義内容	その他の基数変換(2進数 ⇄ 8進数・16進数、小数の基数変換)			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。		1時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
8	講義内容	固定小数点数と浮動小数点数			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。		1時間

	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
9	講義内容	四則演算、補数(1の補数と2の補数)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
10	講義内容	負数の表現、補数による減算		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
11	講義内容	論理演算(AND,OR,NOT,EOR,NAND,NOR)、論理記号、ベン図、真理値表		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	論理回路、MIL 記号		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
13	講義内容	加算回路、乗算回路、除算回路		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
14	講義内容	コンピュータシステムの基本構成、中央処理装置の機能、データと命令		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	前期のまとめ		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	筆記試験に向けて全体の復習をしておく。	6 時間
備考	J検(文部科学省後援)の資格取得を奨励する。普段から IT 社会に関するトピックに目を向ける習慣を持つこと。 教員のメールアドレス: kohata@takasaki-u.ac.jp (質問等はメールでも受け付ける)。オフィスアワー:前期 水 4 時 限目、後期 水 3 時限目。予習・復習の時間は参考程度であり、自らの理解状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

科目名	コンピュータ入門Ⅱ (リテラシー)			LAL013	講義
担当教員	木幡直樹				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	本科目は、IT 社会における教養としてコンピュータに関する知識を身につけるための講義科目である。内容レベル的には、受講者が、J検 情報活用試験の1級～3級の範囲に関する内容が理解できるようになることを目的とする。				
到達目標	入門Ⅱでは特に、コンピュータとその周辺を理解するため、受講者がハードウェア及び各種の情報関連機器などに関して基礎的な知識を身につけることを目指し、以下の目標を掲げる。 1. コンピュータの5大装置、CPU、メモリなどの概要を理解し説明できる。 2. 補助記憶装置(ハードディスク)・出力装置(ディスプレイやプリンタ)・入力装置(マウスやキーボード)の概要や、関連するインターフェース規格などを理解し説明できる。 3. OSなどのソフトウェア、及び、ネットワーク等に関する概要を理解し説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験及び課題の提出:90%、授業への参加態度:10% で評価する。講義時にも改めて説明する。				
課題に対するフィードバック	筆記試験及び課題の結果の講評を行い、必要に応じ再テストや再提出を求める。				
使用教材	J検 情報活用試験の1級～3級レベルのテキストを使用する。その他、必要に応じ資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、パソコンの仕組み、入出力装置、記憶装置、演算装置、制御装置、CPU			
	該当する到達目標	予習	シラバスを確認しておく。テキストの該当部分を読んでおく。		1時間
	1	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
2	講義内容	CPUの仕組み、メモリの種類と特徴、問題演習			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。		1時間
	1	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
3	講義内容	記憶媒体の種類と用途、磁気ディスク容量の計算、問題演習			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。		1時間
	1	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
4	講義内容	ハードディスクの仕組みと活用、IDE、SCSI、データのバックアップ			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。		1時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
5	講義内容	インターフェース、バス、周辺機器との接続ポート、スロット、各種規格			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。		1時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
6	講義内容	ディスプレイの仕組みと種類、光の3原色、画像データ容量の計算			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。		1時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
7	講義内容	プリンタの仕組みと種類、色の3原色、用紙、プロッタ、イメージセッタ			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。		1時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。		1.5時間
8	講義内容	各種入力装置、ポインティングデバイス、キーボード、スキャナ、OMR、OCR			

	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
9	講義内容	ソフトウェアの種類、システムソフト、応用ソフト、OS の機能、システム開発		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
10	講義内容	これまでのまとめと総合問題演習		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
11	講義内容	ファイルの概念、ディレクトリ、FAT、各種データ形式、パソコンの保守管理		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	ネットワークアーキテクチャ(OSI)、ネットワークプロトコル		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
13	講義内容	インターネット(歴史、ARPANET、TCP/IP、DNS、SMTP、POP)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
14	講義内容	ネットワークにおけるセキュリティ、プライバシー保護、著作権		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業で配布した課題を授業外でも進めて完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	後期のまとめ		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ内容の再確認を行い、テキストの今回の該当部分を読んでおく。	1 時間
	1, 2, 3	復習	筆記試験に向けて全体の復習をしておく。	6 時間
備考	J検(文部科学省後援)の資格取得を奨励する。普段から IT 社会に関するトピックに目を向ける習慣を持つこと。 教員のメールアドレス: kohata@takasaki-u.ac.jp (質問等はメールでも受け付ける)。オフィスアワー: 前期 水 4 時 限目、後期 水 3 時限目。予習・復習の時間は参考程度であり、自らの理解状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

科目名	コンピュータ実習 I (リテラシー)			LAL014	実習
担当教員	木幡直樹				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	本科目は、初心者がパソコンを用いた基礎的な情報処理技術を身につけるための実習科目である。実習 I においては、コンピュータの基本操作を学習するとともに、入力装置として不可欠なキーボードを自在に操作できるようタッチタイピングを学び、さらに、ワープロソフトやインターネットの活用能力を養う。				
到達目標	1. 主として、受講者が、コンピュータの基本的な操作ができるようになる。 2. マイクロソフトの文書作成ソフト「Word」を用い、簡単な文書を作成できるようになる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	課題の提出状況とその出来栄え 90%、授業への参加態度 10% で評価する。				
課題に対する フィードバック	提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。				
使用教材	「30 時間でマスターOffice2010」(実教出版)。その他、必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、コンピュータの基本操作(PCの起動・ログオン・シャットダウン等)			
	該当する到達目標	予習	シラバスを確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
2	講義内容	Windows の基本操作			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
3	講義内容	電子資料の参照方法・課題の電子提出の方法、練習課題			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
4	講義内容	本学メールシステムの基本的な使い方			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
5	講義内容	インターネットによる情報検索の基礎			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
6	講義内容	タイピング(タッチメソッド)の基礎、タイピング練習			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
7	講義内容	日本語入力の練習			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
8	講義内容	Word 基本操作1 (起動と終了、日本語入力システム、文章入力、文書の保存 等)			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
9	講義内容	Word 基本操作2 (文章入力続き、文書の印刷 等)			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間

	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
10	講義内容	Word の活用1 (複写・移動、クリップアートの利用 等)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
11	講義内容	Word の活用2 (編集機能、表の作成 等)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
12	講義内容	まとめと演習課題		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
13	講義内容	Word の応用1 (並べ替え、検索と置換、段組、罫線 等)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
14	講義内容	Word の応用2 (ワードアート、図形描画、テキストボックス)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
15	講義内容	総合演習課題		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
備考	※「養護教諭」資格の必須科目である。普段からコンピュータに接する時間を持つこと。教員のメールアドレスは kohata@takasaki-u.ac.jp (質問等はメールでも受け付ける)。オフィスアワーは前期(水 4 時限目)、後期(水 3 時限目)。予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

科目名	コンピュータ実習Ⅱ(リテラシー)			LAL015	実習
担当教員	木幡直樹				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	本科目は、初心者がパソコンを用いた基礎的な情報処理技術を身につけるための実習科目である。実習Ⅱにおいては、主に表計算ソフトの機能や用途を理解し、演習を通じその基本的な使い方を習得する。				
到達目標	1. 主として、受講者がマイクロソフトの表計算ソフト「Excel」の基本を理解する。 2. 簡単な表の作成・初歩的な集計処理・表のデータからのグラフ作成ができるようになる。 3. データベース的な使い方や多少応用的な関数の活用ができるようになる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	課題の提出状況とその出来栄え 90%、授業への参加態度 10% で評価する。				
課題に対する フィードバック	提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。				
使用教材	「30時間でマスターOffice2010」(実教出版)。その他、必要に応じて資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、Excel 基本操作(起動と終了、データの入力 等)			
	該当する到達目標	予習	シラバスを確認しておく。		0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
2	講義内容	Excel 入門(簡単な表の作成、合計の計算、オートフィル 等)			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	1, 2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
3	講義内容	ワークシートの活用1(表の編集、平均の計算、計算式の複写と相対参照)			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
4	講義内容	ワークシートの活用2(絶対参照、最大・最小値、データ数のカウント、四捨五入、条件判定)			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
5	講義内容	まとめの課題1			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		1 時間
6	講義内容	グラフ1(棒グラフ、積み上げグラフ、折れ線グラフ、円グラフ)			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
7	講義内容	グラフ2(3-D グラフ、複合グラフ、ドーナツグラフ)			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
8	講義内容	グラフ3(レーダーチャートグラフ、XY グラフ、絵グラフ)			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		0.5 時間
9	講義内容	まとめの課題2			
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。		0.5 時間

	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
10	講義内容	データベース1(データの並べ替え、データの検索・置換)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
11	講義内容	データベース2(データ抽出、オートフィルタ、データ集計、クロス集計)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
12	講義内容	まとめの課題3		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
13	講義内容	Excel 応用1(順位付け関数、検索用関数)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
14	講義内容	Excel 応用2(文字列操作関数、データベース関数、Word への埋め込み)		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	0.5 時間
15	講義内容	総合演習課題		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
備考	※「養護教諭」資格の必須科目である。普段からコンピュータに接する時間を持つこと。教員のメールアドレスは kohata@takasaki-u.ac.jp (質問等はメールでも受け付ける)。オフィスアワーは前期(水 4 時限目)、後期(水 3 時限目)。予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

科目名	論理学(専門教養科目)			LSC001	講義
担当教員	米田和美				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	筋道の通った考え方、物事を客観的に判断できる能力と、事実を正しく解釈できる思考を訓練する。				
到達目標	論理的思考を養う。(文章の読解及び表現ができる。物事の筋道をたてて正しく考える。) 1.読む、書くを中心に文章の書き方を身につける。「一文一義」の文が書けるようになる。 2.聞く、話すを中心に言葉の運用能力の向上を図る。				
学位授与方針 との対応	✓	人間理解と倫理観			
		論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	意見文 30 :小テスト 30 :提出物 30 :講義出席状況 10 の割合で評価します。				
課題に対する フィードバック	意見文、提出物はチェックを入れて返します。				
使用教材	使用しない(講義2~3週間前までにプリントを配布します。事前に読んでおくこと。)				
1	講義内容	引用			
	該当する到達目標	予習	先天異常児の助命は絶対かを読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	「引用は一字一句正確に」を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	悪文①			
	該当する到達目標	予習	食欲のない患者に看護師が行う援助を書き改める。		1.5 時間
	1	復習	「段落、箇条書き、しかしの使い方」を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	資料文の読み方			
	該当する到達目標	予習	「物差し狂っている母娘」を読んでおく。		1.5 時間
	1,2	復習	「いつ、どこで、誰が、誰に、何を、どうしたか」を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	悪文②			
	該当する到達目標	予習	「専門的な母」を書き改める。		1.5 時間
	1	復習	「かぎかっこ、同じようにの使い方」を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	主張と理由			
	該当する到達目標	予習	「個性と異常の境界線は」を読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	「主張を断定、理由を箇条書き」を理解する。		1.5 時間
6	講義内容	悪文③			
	該当する到達目標	予習	「経静脈栄養注射」を書き改める。		1.5 時間
	1	復習	「( )の使い方、ことこの使い方」を理解する。		1.5 時間
7	講義内容	変を見つける1			
	該当する到達目標	予習	「体位変換」の変を見つける。		1.5 時間
	1	復習	「体位変換」を正しい文章に書き改める。		1.5 時間
8	講義内容	変を見つける2			
	該当する到達目標	予習	「告知」を読んでおく。		1.5 時間
	1,2	復習	「問題は何か、なぜ問題か、どうすべきか」を理解する。		1.5 時間
備考					

科目名	人間発達論(専門教養)			LSC002	講義
担当教員	角野善司				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	本講義は人間の一生涯を受胎から死まで視野に入れて人間発達の理論を学ぶことを目的とする。人間の発達をライフサイクルにそって眺め、各発達段階における発達課題や発達危機の解決、また人格的活力の育成等を柱とする発達過程について学ぶ。				
到達目標	1. 主要な発達理論について説明できる。 2. 生涯発達および各発達段階の概要と課題を説明できる。 3. 発達障害が及ぼす心理的影響について説明できる。 4. 発達検査について説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
		2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	毎回の宿題(復習課題) 15%、学期中3回程度のレポート 30%、学期末テスト 55%。宿題の得点が一定水準に達しない場合やレポートの提出状況が不良の場合には、学期末テストの得点に関わらず、単位を付与しない。				
課題に対するフィードバック	毎回の授業開始時に、宿題の講評解説を行う。				
使用教材	「ガイドライン生涯発達心理学 第2版」二宮克美ほか ナカニシヤ出版 2012年				
1	講義内容	発達の基本的視点と諸理論			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を始める。		2時間
2	講義内容	胎児期・乳児期の発達(1) 概要			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。		1時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。		2時間
3	講義内容	胎児期・乳児期の発達(2) トピック: 愛着(アタッチメント)			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。		1時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。		2時間
4	講義内容	幼児期の発達(1) 概要			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。		1時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。		2時間
5	講義内容	幼児期の発達(2) トピック: 反抗期			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。		1時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。		2時間
6	講義内容	児童期の発達(1) 概要			
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。		1時間

	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	2時間
7	講義内容		児童期の発達(2)トピック: ギャング・エイジ	
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートを作成する。	2時間
8	講義内容		青年期の発達(1)概要	
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を始める。	2時間
9	講義内容		青年期の発達(2)トピック: 心理的離乳	
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	2時間
10	講義内容		成人期の発達(1)概要	
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	2時間
11	講義内容		成人期の発達(2)トピック: 子育て	
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	2時間
12	講義内容		老年期の発達(1)概要	
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を重ねる。	2時間
13	講義内容		老年期の発達(2)トピック: 自我の統合	
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートを作成する。	2時間
14	講義内容		発達の障害	
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートの作成に向けた学習を始める。	2時間
15	講義内容		発達検査	
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。	1時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。課題レポートを作成する。	2時間
備考	・宿題の提出は、C-learningによる。 ・オフィスアワー(前期):火曜3限、木曜4限 研究室:8号館4階405室			

科目名	人間行動学(専門教養科目)			LSC003	講義
担当教員	上原 徹・服部 卓				
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	選択 2単位		
講義目標	学生が、行動科学の基礎と応用を学ぶことで、臨床や対人支援の場面におけるクライアントの行動や、支援者である自らの行動との相互作用を理解することができる。				
到達目標	1.医療などの対人支援における基本的姿勢を身につける 2.ケアを受ける人の心理や行動を理解できる 3.適切な対人的交流のための知識と技術が説明できる 4.他職種と機能的に連携する視点を持てる 5.行動科学や心理学の初級知識を解説できる				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	レポートを80%とし、授業中の態度を20%程度参考にして総合評価する。授業態度(静粛さ、不必要な私語、真摯な姿勢など)に問題がある場合は、個別に厳しく減点する。				
課題に対する フィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。				
使用教材	福村出版「行動科学への招待(改訂版) 現代心理学のアプローチ」を教科書として用いるので必携。DVD 教材を用いた授業も加える。				
1	講義内容	青年期の心理と性格			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		0.5時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。		1時間
2	講義内容	対人行動			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1時間
	1,2	復習	ノートを読むこと。		1時間
3	講義内容	集団			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1時間
	2,3,4	復習	ノートを読むこと。		1時間
4	講義内容	異文化と自己			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。		1時間
5	講義内容	ヒューマンファクター——労働の心理学			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1時間
	1,5	復習	ノートを読むこと。		1時間
6	講義内容	きずなの発達			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。		1時間
7	講義内容	自己の形成と発達			
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。		1時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。		1時間
8	講義内容	医療における人間関係			

	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	1,2,3	復習	ノートを読むこと。	1時間
9	講義内容	健康		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	1,2,5	復習	ノートを読むこと。	1時間
10	講義内容	学習と学習支援		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1時間
11	講義内容	知覚		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1時間
12	講義内容	記憶		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1時間
13	講義内容	思考		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1時間
14	講義内容	疲労・メンタルヘルスと現代の職場		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	4,5	復習	ノートを読むこと。	1時間
15	講義内容	DVDによる行動科学の理解		
	該当する到達目標	予習	ノートを読むこと。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
備考	複数の学科学生が多数で聴講し、非常勤講師もお迎えするので、静粛に臨むこと。授業中の不必要な私語や不謹慎な態度は、厳に慎むこと(成績評価に影響する)。予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。オフィスアワーや連絡先は、主任講師の上原がオリエンテーション時に案内する。			

科目名	化学(専門教養科目)		LSC004	講義
担当教員	鳥澤 保廣			
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 2 単位	
講義目標	本講義では、看護を支える基礎としての化学、(病態の)生化学の基礎になる一般知識を、①リメディアル教育的な目線で、②できるだけかみくだいて、③大学一年次学生が理解し 役立つ形で提供する。これから、保健医療学部の学生が将来直面する看護や理学療法の実際の仕事現場で役立つ化学知識、濃度計算、健康管理そして医薬品知識も組込んだ構成とし、国家試験一般問題対策に役に立つ化学講義をする。			
到達目標	<p>下記の講義タイトルに沿った内容の理解を 到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毒になる元素、薬になる元素の理解 (周期表での元素の理解まで)</li> <li>2. 栄養について考えながら、有機物、無機物の理解(食べ物の化学的な理解まで)</li> <li>3. 赤道下でもくさらない水の秘密について考え、水の化学的理解(環境中の水の理解まで)</li> <li>4. 胃の化学的理解と 消化器の描写 (胃の酸性と働きについて理解する)</li> <li>5. 化学計算の基礎と応用についての習得 (国家試験の計算問題について理解する)</li> <li>6. ピロリ菌の理解 (ピロリ菌の化学反応＝中和反応について理解する)</li> <li>7. 菌と薬の理解 (ピロリ菌の除菌について理解し、抗菌薬の理解を深める)</li> <li>8. 生体反応の理解 (生体の中の化学反応についてさらに理解を広げる)</li> <li>9. 電池の理解 (酸化還元反応の基礎から電池の化学的な理解まで)</li> <li>10. 酸化ストレスと病気の理解 (体の中の酸化反応と、いきすぎた酸化ストレスについて理解)</li> <li>11. 病気の分かりやすい化学的理解 (病気の化学的理解をめざしEBMの基礎知識を拡充する)</li> <li>12. 栄養(素)の化学的理解 (三大栄養素の化学的理解、構造式の特長を理解する)</li> <li>13. ビタミンの化学的理解 (ビタミンの理解と、関連する病気について理解する)</li> <li>14. ホルモンの化学的理解 (ホルモンの理解と、関連する病気について理解する)</li> <li>15. 自分でテーマを決めオリジナルレポートを作るプロセスを実践 (病気や医療について理解、発表)</li> </ol> <p>全体として、看護学科、理学療法学科の学生が医療と関連する化学の基礎知識を理解できるようになることが目標である。自分自身で、医療の問題について考え、オリジナルメディカルレポート (A4 5 枚以内)を作成できる学習プロセスを踏むことを最終目標とする。</p>			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
		2. 論理的思考・問題解決力		
		3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
		5. 生涯学習力		
評価方法	<p>毎回提出する①ミニレポートによる出欠確認と理解度確認(40%)。          期末の②オリジナル・メディカル・レポートにより評価し、筆記試験は行わない(60%)。          なお、レポート作成時には、インターネット情報を活用してもよいが、コピー＆ペーストは不可である (D評価の後、再提出 とする)。</p>			
課題に対するフィードバック	<p>次回の講義予定内容や関連する記事など、さらに医療につながる話題などを講義外にも主体的に学ぶ習慣をつけ、積極的な学習姿勢を示すことが重要である。 オフィスアワー(金曜＋土曜)や、学内Eメール(torisawa@takasaki-u.ac.jp)での質問に随時対応し、個別に解説や資料提供を行う。</p>			
使用教材	<p>①看護・医療系のための くすりと治療の基礎知識 東京化学同人 (鳥澤等 著 2500 円)          ②看護・医療系のための からだと病気の基礎知識 東京化学同人 (鳥澤等 著 2500 円)          必要資料は PDF の形にて個人メール宛で送付する。          その他 他の先生がすすめるものがあれば、利用してよい。</p>			

1	講義内容	毒になる元素、薬になる元素		
	該当する到達目標	1	予習 高校教科書、看護系教科書の点検。自己紹介や自分の弱点と得意科目を整理してみる。(1回目の ミニレポートで提出してよい)	1.5 時間
			復習 高校教科書で周期表の元素を見ておく。希望あればプリント配布予定。教科書①	1.5 時間
2	講義内容	栄養は 有機物、無機物 ?		
	該当する到達目標	2	予習 化学は物質を理解し活用するガイドなので、生物や物理と違う面白さを栄養について考え、理解確認する。教科書①, ② 乱読。	1.5 時間
			復習 高校教科書で 栄養と生活 の章をながめておく。教科書①, ②を参考。	1.5 時間
3	講義内容	赤道下でもくさらない水のコト		
	該当する到達目標	3	予習 化学は、環境や汚染物質についても考える基本ガイドになるので、身の周りをきれいにする科学知識、化学物質、毒などについて知る。特に水は最重要である。	1.5 時間
			復習 高校化学総合などを参考にしよ。教科書②2 章までの乱読、重要語句確認	1.5 時間
4	講義内容	胃の中は強酸性 (pH=2 のアパート?)		
	該当する到達目標	4	予習 消化器とくに、胃、腸、肝臓、膵臓などについて化学的考え方で、病気の原因物質をさぐる。胃の中にある ピロリ菌 についても簡単に解説するのでピロリ経験者はよく復習 (後にピロリ対策除菌を解説)教科書①, ②	1.5 時間
			復習 消化器の絵がかけるように努力する。見本あり。教科書① 臓器の図など参照。	1.5 時間
5	講義内容	%濃度、モル濃度、規定度に関する計算		
	該当する到達目標	5	予習 苦手な人が多い化学や生化学の基本計算、特に濃度計算についてじっくりと解説演習を行う予定。問題は国家試験問題レベルまで解説する。質問は自由。	1.5 時間
			復習 教科書①②などで 濃度計算問題のパターンになれる。問題を解くのではなく、何が問題で 聞かれているかをキャッチする=センス を養う。	1.5 時間
6	講義内容	ピロリ菌が行う 中和反応		
	該当する到達目標	6	予習 教科書①, ②に従ってわかりやすく解説し、ピロリ除菌法の解説を行う予定。	1.5 時間
			復習 胃やピロリ菌の姿や活動についておさらいし、自分で説明できるようにする。	1.5 時間
7	講義内容	微生物のかたちや大きさと さまざまな抗菌薬		
	該当する到達目標	7	予習 教科書①, ②に従って解説する。必要に応じて、感染症についても概説する。	1.5 時間
			復習 大きさ単位を復習。生物の大きさについても復習。微生物の絵を描いて理解する	1.5 時間
8	講義内容	酸化還元反応の定義、さまざまな電池		
	該当する到達目標	8	予習 教科書①②に従って解説する。高校化学教科書を再読することで、体の中の酸化反応+酸化ストレスの理解の入口を広げる。	1.5 時間
			復習 教科書①の前半で 化学反応や酸化反応 について復習する。	1.5 時間
9	講義内容	身近な 酸化・還元反応		
	該当する到達目標	9	予習 教科書①②に従って解説し身近な酸化還元反応などに親しむ。	1.5 時間
			復習 電池の性質、充電、携帯カイロなどの道具について考える入口を作る。	1.5 時間
10	講義内容	体の中の酸化還元反応: 活性酸素四兄弟		
	該当する到達目標	10	予習 活性酸素の種類と、引き起こされる病態(癌等)の理解を深める。	1.5 時間
			復習 酸化ストレスを化学的に理解する。教科書①, ② 2 章までの再読、乱読。	1.5 時間
11	講義内容	酸化ストレスによる 発癌、動脈硬化の化学		
	該当する到達目標	11	予習 さまざまな病態と酸化ストレスの関連について理解を深める。教科書①、②の中の酸化ストレスと病気の例を見つけ、しっかり把握できるようにする。	1.5 時間
			復習 教科書②2 章くらいまでの乱読、重要語句確認	1.5 時間

12	講義内容	健康を守る化学:栄養とクスリ		
	該当する到達目標 12	予習	食事と栄養素と病気を関連づけて理解し、現代及び将来の医療現場活動の基本を学ぶ	1.5 時間
		復習	好きな食べ物とその栄養成分について 化学的理解を深める努力をする。	1.5 時間
13	講義内容	ビタミンは食べ物でもあり、くすりでもある！		
	該当する到達目標 13	予習	エビデンスに基づく医療(=EBM)の実践をするための 栄養と薬の基礎知識を固める。	1.5 時間
		復習	特に、ビタミン、ミネラル、サプリメントの知識拡充。	1.5 時間
14	講義内容	ホルモンは生体調節物質:ビタミン+ホルモン+オータコイドを まとめて学ぶ		
	該当する到達目標 14	予習	これまでの総括として、ビタミンとホルモンとオータコイドの違いを知ることで深く総合的に関連づけて理解する。14 回と 15 階は 全員出席すること。	1.5 時間
		復習	自分オリジナルテーマを探す努力をする。ここまでの復習をして、興味や疑問のあるところを レポートテーマにするのもよい。テーマ相談を行う。	1.5 時間
15	講義内容	オリジナル・メディカル・レポートを作ろう！		
	該当する到達目標 15	予習	最終オリジナル・メディカル・レポート作成のため日々努力する。	1.5 時間
		復習	レポートテーマについて自主的に学習、テーマについては相談を行う。テーマの選び方、タイトルの表記、オリジナル結論の導き方の指導を行う。	1.5 時間
備考	個別指導も学生からの要望に応じて行う。高校時代に化学や生物を 勉強してこなかった学生には、特別指導(リメデイアル教育)を行い、国家試験合格に向けて必要な知識・学習方法を指導する。 また 4 年卒業時の国家試験には、理科の基礎知識が必要であり 1 年次からしっかり学習しておくこと。 教科書中にあるような過去問や、新聞で医療記事や ニュースにも目を通すことも強くすすめる。			

科目名	統計学(専門教養科目)			LSC005	講義
担当教員	福島博				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	医療に使う基本的な統計学の基礎を学ぶ。				
到達目標	平均、メジアン、分散、標準偏差、相関係数等の基本的統計量の意味を理解すると共に、相関と回帰、検定の基礎について理解する。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験70%とレポート30%で評価する。総合得点60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付けて返却する。				
使用教材	「はじめての統計15講」 小寺平治 講談社				
1	講義内容	平均と分散			
	該当する到達目標	予習	教科書1, 2, 3講を読んでおく。		2時間
		復習	平均と分散について、具体例の計算を通して理解する。		2時間
2	講義内容	相関係数			
	該当する到達目標	予習	教科書4講を読んでおく。		2時間
		復習	相関係数、共分散について理解する。		2時間
3	講義内容	確率変数			
	該当する到達目標	予習	教科書5講を読んでおく。		2時間
		復習	確率変数とその期待値、分散について理解する。		2時間
4	講義内容	正規分布			
	該当する到達目標	予習	教科書6講を読んでおく。		2時間
		復習	正規分布とその期待値、標準偏差について理解する。		2時間
5	講義内容	二項分布			
	該当する到達目標	予習	教科書7講を読んでおく。		2時間
		復習	二項分布の正規分布近似について理解する。		2時間
6	講義内容	標本平均			
	該当する到達目標	予習	教科書8講を読んでおく。		2時間
		復習	標本平均の平均、分散について理解する。		2時間
7	講義内容	区間推定			
	該当する到達目標	予習	教科書9講を読んでおく。		2時間
		復習	中心極限定理について理解する。		2時間
8	講義内容	母平均の検定			
	該当する到達目標	予習	教科書10, 11講を読んでおく。		2時間
		復習	母比率、t分布について理解する。		2時間
備考	オフィスアワー:木曜日4時限 非常勤講師室				

科目名	生物学(専門教養科目)			LSC006	講義
担当教員	今井 純、坂井 隆浩 高崎健康福祉大学薬学部				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	生物として「健康」であるため、細胞はその恒常性を維持するように機能している。そこで、生物の基本単位である細胞の構造と機能を学習し、細胞社会の統合体としての個体が恒常性を維持する仕組みについての基本的知識を習得する。				
到達目標	1.細胞の構造や細胞での物質代謝を説明できる 2.細胞内外の情報伝達機構を説明できる 3.遺伝や遺伝子について説明できる 4.発生現象を配偶子形成から個体発生まで説明できる 5.免疫反応を分類し説明できる				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期テスト(90%)と授業中に興味を持った話題に対するアクティブラーニング形式のレポート(10%)で評価する。総合評価 60%以上で合格とする。				
課題に対する フィードバック	レポートには授業中にコメントをつける。定期試験の解答を掲示し、間違えた部分の復習を促す。				
使用教材	教科書「ヒトを理解するための生物学」八杉貞雄著(裳華房) ISBN978-4-7853-5226-4 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	生物学とはどのような学問か			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の 1~8 ページを読んで内容を理解する。	1 時間	
		復習	生物学について理解する。	1.5 時間	
2	講義内容	生命とはなにか、生物はどのようなものか			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の 10~17 ページを読んで内容を理解する。	1 時間	
		復習	生物について理解する。	1.5 時間	
3	講義内容	細胞とはどのようなものか。			
	該当する到達目標 1、2	予習	教科書の 19~27 ページを読んで内容を理解する。	1 時間	
		復習	細胞について理解する。	1.5 時間	
4	講義内容	体をつくる分子にはどのようなものがあるか			
	該当する到達目標 1、2	予習	教科書の 29~36 ページを読んで内容を理解する。	1 時間	
		復習	生体構成分子について理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	体の中で物質はどのように変化するか			
	該当する到達目標 1、2	予習	教科書の 38~45 ページを読んで内容を理解する。	1 時間	
		復習	代謝について理解する。	1.5 時間	
6	講義内容	遺伝子と遺伝はどのように関係しているのか			
	該当する到達目標 3	予習	教科書の 47~58 ページを読んで内容を理解する。	1 時間	
		復習	遺伝現象について理解する	1.5 時間	
7	講義内容	ヒトの体はどのようにできているか			
	該当する到達目標	予習	教科書の 59~66 ページを読んで内容を理解する。	1 時間	

	1, 2	復習	ヒトの体の仕組みを理解する	1.5 時間
8	講義内容	エネルギーはどのように獲得されるか		
	該当する到達目標	予習	教科書の 68～76 ページを読んで内容を理解する。	1 時間
	1, 2	復習	呼吸と消化吸収について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ヒトはどのように運動するか		
	該当する到達目標	予習	教科書の 77～85 ページを読んで内容を理解する。	1 時間
	1, 2, 3	復習	ヒトの運動の仕組みを理解する。	1.5 時間
10	講義内容	体の恒常性はどのように維持されるか		
	該当する到達目標	予習	教科書の 87～96 ページを読んで内容を理解する。	1 時間
	1, 2, 3, 5	復習	恒常性維持について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	体の恒常性はどのように維持されるか		
	該当する到達目標	予習	教科書の 87～96 ページを読んで内容を理解する。	1 時間
	1, 2, 3, 5	復習	恒常性維持について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	ヒトは病原体とどのようにたたかうか		
	該当する到達目標	予習	教科書の 98～106 ページを読んで内容を理解する。	1 時間
	4	復習	免疫系について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ヒトはどのように進化してきたか		
	該当する到達目標	予習	教科書の 117～125 ページを読んで内容を理解する。	1 時間
	4	復習	ヒトの進化について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	ヒトをとりまく環境はどのようになっているか		
	該当する到達目標	予習	教科書の 127～135 ページを読んで内容を理解する。	1 時間
	2	復習	環境について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	ヒトはどのような生き物か		
	該当する到達目標	予習	教科書の 137～145 ページを読んで内容を理解する。	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	ヒトについて理解する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 金曜日の 16:00–17:00、メールによる質問は随時</p> <p>メールアドレス: jimai@takasaki-u.ac.jp、sakai@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 7 号館 3 階 326(今井)、7 号館 3 階 330(坂井)</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	生活科学概論(専門教養科目)			LSC007	講義
担当教員	内田幸子				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	私たちの生活は急激に変化しつつある。生活していく上で出会うさまざまな課題に対し、生活者の立場から総合的に捉えることをめざす。衣食住や環境などのきわめて日常的な生活行為に関する問題を理解し、医療従事者としての自身の生活向上に必要な知識を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活基盤としての生活科学について学習内容を理解する</li> <li>2. 生活していく上で必要な衣食住の知識を身につける</li> <li>3. 授業で学んだ生活科学について理解を深め実生活に活かすことができる</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、レポート 30%で評価する				
課題に対するフィードバック	レポートは評価して返却する				
使用教材	適宜プリントを配布する 参考図書「生活科学のすすめ」佐藤方彦著(井上書院) ISBN4-7530-2317-6				
1	講義内容	ガイダンス 生活科学とは			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目的などを理解する		1時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する		1.5時間
2	講義内容	衣の生活科学(衣服と人間)			
	該当する到達目標	予習	前回配布したプリントに目を通す		1時間
	1,2	復習	衣服の機能と役割について理解する		1.5時間
3	講義内容	衣の生活科学(快適な衣服環境)			
	該当する到達目標	予習	前回配布したプリントに目を通す		1時間
	1,2	復習	快適な衣服環境について理解する		1.5時間
4	講義内容	食の生活科学(食生活と栄養管理)			
	該当する到達目標	予習	前回配布したプリントに目を通す		1時間
	1,2	復習	食事と健康と関係について理解する		1.5時間
5	講義内容	食の生活環境(食生活と生活習慣病)			
	該当する到達目標	予習	前回配布したプリントに目を通す		1時間
	1,2	復習	食生活と健康について理解する		1.5時間
6	講義内容	住の生活科学(快適な住環境整備)			
	該当する到達目標	予習	前回配布したプリントに目を通す		1時間
	1,2	復習	快適な住環境整備について理解する		1.5時間
7	講義内容	住の生活科学(住環境と生活)			
	該当する到達目標	予習	前回配布したプリントに目を通す		1時間
	1,2	復習	住環境と生活について理解する		1.5時間
8	講義内容	まとめ及び学習到達度の確認			
	該当する到達目標	予習	配布したプリントに目を通す		1時間
	1,2,3	復習	衣食住や環境などの課題について生活者の立場から総合的に理解する		1.5時間

備考	オフィスアワー: 月曜日と水曜日の3限 メールアドレス「 <a href="mailto:uchida@takasaki-u.ac.jp">uchida@takasaki-u.ac.jp</a> 」 研究室: 1号館5階512 予習・復習については、指導案の作成、模擬授業準備に補完すること
----	--

科目名	国際保健医療論(専門教養科目)			LSC008	講義
担当教員	望月経子、李孟蓉				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	選択 2単位		
講義目標	世界における健康格差の実態を知り、医療従事者として世界平和・全人類の繁栄と福祉を願いつつ国際協力の必要性と意義を理解し、国際保健医療の活動の場を地球的視野で認識できる。また保健医療分野での国際協力の理論と実際を学びながら、国際協力に必要な知識や方法を習得できる。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際保健医療協力の概念を理解する。</li> <li>2. 保健医療分野での国際協力の必要性と意義を理解する。</li> <li>3. 世界の健康問題がわかり、それらに対する国際的戦略および課題を理解する。</li> <li>4. 異文化を理解し、異文化適応のプロセスを理解する。</li> <li>5. 国際保健医療協力の実践手法を理解する。</li> <li>6. 在留外国人への健康支援を考察する。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	レポート課題 70%、授業参加度 30%				
課題に対するフィードバック	レポートはコメントを付けて返却する。 レポートの中でみられた疑問や課題を授業の中で再確認する。				
使用教材	「ヘルスプロモーション」和田雅史(著)聖学院大学出版会 ISBN978-4-907113-17-9 C0047、配布資料				
1	講義内容	国際保健医療協力の概念			
	該当する到達目標	予習	国際保健医療協力に関する新聞・雑誌などの記事を読む。	1.5 時間	
	1	復習	国際協力の定義、世界や国内の国際協力の歴史を理解する。	1 時間	
2	講義内容	保健医療関連の国際機関の取り組みと日本の国際協力			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。	1.5 時間	
	1,2	復習	WHO、UNICEF、UN、UNFPA の活動を理解する。ODA の活動を理解する。	1 時間	
3	講義内容	世界の保健医療事情			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	世界で起きている健康問題と支援の必要性を理解する。	1 時間	
4	講義内容	世界における健康の格差			
	該当する到達目標	予習	世界で生じている健康格差について情報を集め、その原因を考える。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	健康格差の実態とその原因を理解する。	1 時間	
5	講義内容	発展途上国における疾病構造			
	該当する到達目標	予習	日本における疾病構造について学ぶ。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	発展途上国の保健医療課題とその原因を理解する。	1 時間	
6	講義内容	事例検討			
	該当する到達目標	予習	健康格差と保健医療課題につきその関係性を整理する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	事例検討で学んだ健康格差と保健医療課題の関係性やその支援を理解する。	1 時間	
7	講義内容	国際協力でのアセスメント①「地理・社会・教育」			
	該当する到達目標	予習	サンライズモデルについて学習する。	1.5 時間	
	3,4	復習	サンライズモデルを用いた「地理・社会・教育」のアセスメントの実際を理解する。	1 時間	
8	講義内容	国際協力でのアセスメント②「文化・宗教」			

	該当する到達目標	予習	サンライズモデルについて学習する。	1.5時間
	3,4	復習	サンライズモデルを用いた「文化・宗教」のアセスメントの実際を理解する。	1時間
9	講義内容	国際保健医療協力における世界の潮流		
	該当する到達目標	予習	世界で行われてる国際保健医療協力を調べる。	1.5時間
	3,4,5	復習	国際協力として行われている支援について、目的、活動内容を理解する。	1時間
10	講義内容	プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション		
	該当する到達目標	予習	「ヘルスプロモーション」和田雅史(著)聖学院大学出版会の第1~2章を読む。	1.5時間
	1,2,3	復習	世界の歴史の中でのプライマリーヘルスケアとヘルスプロモーションの変遷と基本理念を理解する。	1時間
11	講義内容	グローバルヘルスの展望と課題		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。	1.5時間
	1,2,3	復習	今起きている世界的な健康問題とその解決に向けて何が必要なのか、またミレミアム開発目標を整理する。	1時間
12	講義内容	問題解決手法: Project Cycle Management		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する Project Cycle Management の資料に目を通す。	1.5時間
	4,5	復習	Project Cycle Management の手法を用いて紙面上で活動が展開できる。	1時間
13	講義内容	国際協力の実際(対象国での協働)		
	該当する到達目標	予習	世界で行われている国際協力を調べる。(ODA)	1.5時間
	4,5	復習	国際協力の実際(開始までのステップ、支援手法、評価)を理解する。	1時間
14	講義内容	在留外国人と多文化共生		
	該当する到達目標	予習	群馬県内の在留外国人について調べる。(人口、居住地域、生活など)	1.5時間
	6	復習	在留外国人が抱えている健康問題と支援を理解する。	1時間
15	講義内容	異文化コミュニケーション		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。	1.5時間
	4,5,6	復習	異文化の中で行われるコミュニケーションの実際とその課題を理解する。	1時間
備考	<p>オフィスアワー:水曜日の3限、質問はメールでも対応する。</p> <p>メールアドレス:mochizuki@taakasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室:3号館2階209</p> <p>講義の中でグループワークなどを取り入れていきます。積極的に参加し自分の意見を述べること。</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	生化学(看護基盤科目群・人間)			NRB101	講義
担当教員	佐藤幸市				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	生命の働きと営みを細胞よりも小さな分子レベルで理解できるようになることを目的とする。				
到達目標	分子レベルで疾病を考えられることを目指す。 1. 生体を構成する生体成分の基本的な構造、役割を説明することができる。 2. 生命を特徴づける重要な要素の一つである代謝について説明できる。 3. 遺伝情報とその発現について説明できる。 4. ビタミン、ホルモン、無機物の役割と調節機構について説明できる。 5. 生体レベルでみた代謝の仕組みを説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	学期末テストなど総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	定期試験後には解答を公表し、自己学習を行えるようにする。				
使用教材	よくわかる専門基礎講座 生化学 (金原出版) ISBN 978-4-307-70217-1 講義に合わせた空欄のあるプリントを配布する。				
1	講義内容	ガイダンス、第1章 生命の保持と生化学の基本			
	該当する到達目標	1	予習 講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 復習 講義資料も使って復習すること。	1時間 1.5時間	
2	講義内容	第2章 酵素と第3章 糖質代謝			
	該当する到達目標	2	予習 講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 復習 講義資料も使って復習すること。	1時間 1.5時間	
3	講義内容	第4章 脂質代謝、第5章 アミノ酸、タンパク質代謝			
	該当する到達目標	2	予習 講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 復習 講義資料も使って復習すること。	1時間 1.5時間	
4	講義内容	第6章 ヌクレオチド代謝、第7章 遺伝情報とその発現(7-1、7-2)			
	該当する到達目標	2, 3	予習 講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 復習 講義資料も使って復習すること。	1時間 1.5時間	
5	講義内容	第7章 遺伝情報とその発現の後半として7-3バイオテクノロジーと医学への応用と遺伝病ならびに第8章 ビタミン			
	該当する到達目標	3, 4	予習 講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 復習 講義資料も使って復習すること。	1時間 1.5時間	
6	講義内容	第9章 ホルモンと第10章 水と無機物(10-1 水)			
	該当する到達目標	4	予習 講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 復習 講義資料も使って復習すること。	1時間 1.5時間	
7	講義内容	第10章 水と無機物(10-2 体内の無機物質)と第11章 臓器の生化学			
	該当する到達目標	予習	講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。	1時間	

	4, 5	復習	講義資料も使って復習すること。	1.5 時間
8	講義内容	第12章 疾患の生化学とまとめ		
	該当する到達目標	予習	講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。	1 時間
	5	復習	講義資料も使って復習すること。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 講義終了後、質問はメールでも受け付ける。  メールアドレス: <a href="mailto:kosato@gunma-u.ac.jp">kosato@gunma-u.ac.jp</a>  予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	解剖生理学 I (看護基盤科目群・人間)			NRB102	講義
担当教員	桑原敦志				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	解剖学は人体の構造がどうなっているか、生理学はどのように機能して生命活動を営んでいるかを学ぶ。生命の成り立ちをきちんと理解することによって、人が病気になったときに起こりうることを予測でき、よりよい看護に結びつけることが出来る。病気からの回復をサポートする理学療法のため、特に神経や筋肉の構造と働きを理解する必要がある。「解剖生理学」は医療従事者の基本である。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人体の構造を説明することができる。</li> <li>2. 細胞や臓器の働きを説明できる。</li> <li>3. 生命活動を行うのにどのように臓器が関連しているか説明できる。</li> <li>4. 病気になるときの身体の様子が説明できる。</li> <li>5. 生命誕生の過程が説明できる。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 100%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	定期試験後には解答を公表し、自己学習を行えるようにする。				
使用教材	教科書「ナーシング・グラフィカ①解剖生理学」(MC メディカ出版) ISBN978-4-8404-5374-5 C3347 講義に合わせた空欄のあるプリントを配布する。				
1	講義内容	解剖学用語、ホメオスタシス			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章に目を通す。	1 時間	
	1	復習	解剖学用語を学び、ホメオスタシスの維持について理解する。	1.5 時間	
2	講義内容	人体の発生について学ぶ。			
	該当する到達目標	予習	配布したプリントを読んでくる。	1 時間	
	5	復習	人体の発生について理解する。	1.5 時間	
3	講義内容	細胞			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章1に目を通す。	1 時間	
	1,2	復習	細胞の基本構造と細胞内小器官の働き、細胞の受動輸送と能動輸送について、細胞分裂と遺伝情報について理解する。	1.5 時間	
4	講義内容	人体を構成する組織			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章2に目を通す。	1 時間	
	1,2	復習	人体を構成する4種の組織:表面を覆う上皮組織、支える支持組織、動かす筋組織、他の細胞をコントロールする神経組織について理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	膜			
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章に目を通す。	1 時間	
	1,2,3,4	復習	人体・臓器・器官の表面を境界し、覆い、保護し、潤す膜の性状と機能について理解する。	1.5 時間	

6	講義内容	皮膚		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	皮膚の構造と機能を理解する。	1.5時間
7	講義内容	骨格系		
	該当する到達目標	予習	教科書の第11章に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	体を支える骨の構造と機能について理解する。	1.5時間
8	講義内容	骨と骨の結びつきである関節		
	該当する到達目標	予習	教科書の第11章に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	骨と骨の結びつきである関節の構造と働きについて理解する。	1.5時間
9	講義内容	筋系		
	該当する到達目標	予習	教科書の第12章に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	体にある筋の種類と機能について理解する。	1.5時間
10	講義内容	骨格筋		
	該当する到達目標	予習	教科書の第12章に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	神経の命令によって動かすことのできる骨格筋の種類と動きを理解する。	1.5時間
11	講義内容	神経系		
	該当する到達目標	予習	教科書の第13章に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	神経系の3つの機能、感覚・統合・運動について理解する。 ニューロンの構造と機能を理解し、情報伝達のしくみを理解する。	1.5時間
12	講義内容	中枢神経系		
	該当する到達目標	予習	教科書の第13章に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	大脳および延髄の構造と機能を理解し、中枢神経の特徴を学ぶ。	1.5時間
13	講義内容	末梢神経系		
	該当する到達目標	予習	教科書の第13章に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	末梢神経の構造と機能、交感神経、副交感神経、脳神経などを理解する。	1.5時間
14	講義内容	感覚器系—眼		
	該当する到達目標	予習	教科書の第14章1,2に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	感覚器としての眼の構造と機能、視野欠損や色覚異常を理解する。	1.5時間
15	講義内容	感覚器系—耳、鼻、舌		
	該当する到達目標	予習	教科書の第14章3-7に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	聴覚、嗅覚、味覚などの感覚神経について、耳、鼻、舌の構造と機能を理解する。	1.5時間
16	講義内容	血液		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	血液の組成と血球、血漿の働きを理解する。	1.5時間
17	講義内容	造血		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	血球の性状、造血について理解する。	1.5時間
18	講義内容	血液凝固、血液型と輸血		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	血液凝固、血液型と輸血に関して理解する。	1.5時間
19	講義内容	循環器系—心臓		
	該当する到達目標	予習	教科書の第5章1に目を通す。	1時間

	1,2,3,4	復習	心臓の構造と機能について理解する。	1.5 時間
20	講義内容	循環器系—血管とリンパ管		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 2,3,4 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	血管とリンパ管の構造と機能について理解する。	1.5 時間
21	講義内容	呼吸器系—鼻から気管支		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	鼻から気管支までの気道の構造と機能について理解する。	1.5 時間
22	講義内容	呼吸器系—肺		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	肺の構造と機能について理解する。	1.5 時間
23	講義内容	呼吸器系—疾患		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章、配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	気管支や肺の異常所見をもとにして呼吸器疾患を理解する。	1.5 時間
24	講義内容	呼吸生理、酸塩基平衡		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章、配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	呼吸プロセスを理解し、酸塩基平衡について理解する。	1.5 時間
25	講義内容	消化器系—口から食道		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	口から食道までの構造について理解する。	1.5 時間
26	講義内容	消化器系—口から食道の生理機能		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	口から食道への咀嚼と嚥下について理解する。	1.5 時間
27	講義内容	消化器系—胃		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	胃の構造と機能について理解する。	1.5 時間
28	講義内容	消化器系—肝臓と胆嚢		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	肝臓と胆嚢の構造と機能について理解する。	1.5 時間
29	講義内容	消化器系—膵臓、小腸		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	膵臓の構造と機能、小腸の炭水化物、脂質、糖質の消化吸収を理解する。	1.5 時間
30	講義内容	消化器系—大腸		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	大腸の構造と機能について理解する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー:水曜日 3 時限、質問はメールでも受け付ける。  メールアドレス: <a href="mailto:kuwabara@takasaki-u.ac.jp">kuwabara@takasaki-u.ac.jp</a>  研究室:5 号館 6 階 601  予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	解剖生理学Ⅱ(看護基盤科目群・人間)			NRB103	講義
担当教員	桑原敦志				
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	必修 1単位		
講義目標	解剖学は人体の構造がどうなっているか、生理学はどのように機能して生命活動を営んでいるかを学ぶ。生命の成り立ちをきちんと理解することによって、人が病気になったときに起こりうることを予測でき、よりよい看護に結びつけることが出来る。病気からの回復をサポートする理学療法のため、特に神経や筋肉の構造と働きを理解する必要がある。「解剖生理学」は医療従事者の基本である。				
到達目標	6. 人体の構造を説明することができる。 7. 細胞や臓器の働きを説明できる。 8. 生命活動を行うのにどのように臓器が関連しているか説明できる。 9. 病気になるときの身体の様子が説明できる。 10. 生命誕生の過程が説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 95%、出席課題 5%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	出席課題はその場で評価する。 定期試験の後に正解を発表し、自己学習できるようにする。				
使用教材	教科書「ナーシング・グラフィカ①解剖生理学」(MC メディカ出版) ISBN978-4-8404-5374-5 C3347 講義に合わせた空欄のあるプリントを配布する。				
1	講義内容	泌尿器系—腎			
	該当する到達目標	予習	教科書第8章に目を通す。	1時間	
	1,2,3,4	復習	腎臓の構造と機能について理解する。	1.5時間	
2	講義内容	泌尿器系—酸塩基平衡			
	該当する到達目標	予習	教科書第8章に目を通す。	1時間	
	1,2,3,4	復習	水・電解質代謝、酸塩基平衡について理解する。	1.5時間	
3	講義内容	泌尿器系—尿管、膀胱			
	該当する到達目標	予習	教科書第8章に目を通す。	1時間	
	1,2,3,4	復習	尿管、膀胱、尿道の構造と機能、排尿のしくみについて理解する。	1.5時間	
4	講義内容	内分泌系—視床下部下垂体			
	該当する到達目標	予習	教科書第9章に目を通す。	1時間	
	1,2,3,4	復習	視床下部、下垂体の構造と機能、分泌されるホルモンの働きについて理解する。	1.5時間	
5	講義内容	内分泌系—甲状腺、膵臓			
	該当する到達目標	予習	教科書第9章に目を通す。	1時間	
	1,2,3,4	復習	甲状腺、上皮小体、膵臓の構造と機能、分泌されるホルモンの働きについて理解する。	1.5時間	
6	講義内容	内分泌系—副腎、性腺			
	該当する到達目標	予習	教科書第9章に目を通す。	1時間	

	1,2,3,4	復習	副腎皮質、副腎髄質、性腺の構造と機能、腎臓や消化管、血管から分泌されるホルモンの働きについて理解する。	1.5 時間
7	講義内容	生殖器系—女性		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	生殖と生殖器の概念、女性生殖器の構造と機能について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	生殖器系—性周期		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	性周期、月経周期とホルモンとの関連について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	生殖器系—受精、妊娠		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	妊娠、受精のメカニズム、分娩のメカニズムについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	生殖器系—男性		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	男性生殖器の構造と機能、精子形成について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	免疫系		
	該当する到達目標	予習	教科書第 15 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	自己と非自己の認識、生体の防御機構について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	免疫系		
	該当する到達目標	予習	教科書第 15 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	自然免疫と獲得免疫、体液性免疫について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	免疫系		
	該当する到達目標	予習	教科書第 15 章に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	細胞性免疫、自己免疫疾患、アレルギーについて理解する。	1.5 時間
14	講義内容	胎児		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	5	復習	胎児の発育と胎児循環について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	新生児		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	5	復習	新生児と遺伝子異常について理解する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー:水曜日 3 時限、質問はメールでも受け付ける。  メールアドレス: <a href="mailto:kuwabara@takasaki-u.ac.jp">kuwabara@takasaki-u.ac.jp</a>  研究室: 5 号館 6 階 601  予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	栄養学 I (看護基盤科目群・人間)			NRB104	講義
担当教員	渡邊美鈴				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	生体は、発育、成長し、生命を維持し、健全な生命活動を営むために食物を摂取し、栄養素を取り込んでいく。栄養とは何か、摂取食物の栄養成分はどのように代謝され、エネルギーや体構成成分として利用されるか、栄養状態の評価、判定について学ぶ。				
到達目標	1.臨床栄養学を学ぶ意義を理解し NST での役割を理解する。 2.五大栄養素の体内代謝と栄養障害について理解する。 3.エネルギー産生の仕組みおよびエネルギー消費に応じた必要栄養量について理解する。 4.摂食嚥下障害時の栄養補給方法と具体的な内容を理解する。 5.日本人の食事摂取基準と日本の食文化について理解する。 6.栄養アセスメント実施時の SGA,ODA について理解する。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 100% 評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	講義後に学生の質問に対し、補足説明を実施。				
使用教材	教科書「ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち④ 臨床栄養学」関戸恵子（株式会社メディカ出版）ISBN987-4-8404-4911-3 C3347 ￥2800E 講義のスライド内容を必要に応じて配布。				
1	講義内容	ガイダンスを通して、看護師が臨床栄養学を学ぶ目的が理解できる。			
	該当する到達目標 1	予習	教科書のP10～11の内容を理解する。栄養サポートチームについて理解する。		1.5 時間
		復習	臨床栄養学を学ぶ目的を理解し、看護師が学ぶことの必要性を確認する。 栄養サポートチームの活動において、看護師の役割を確認する。		2.5 時間
2	講義内容	栄養素の基礎概念を理解する。① 三大栄養素の栄養的特徴、生理作用、欠乏症、過剰症について理解する。			
	該当する到達目標 2	予習	教科書のP12～25の内容を理解する。		1.5 時間
		復習	三大栄養素の栄養的特徴、生理作用、欠乏症、過剰症について確認する。		2.5 時間
3	講義内容	栄養素の基礎概念を理解する。② 食物繊維、ビタミン、ミネラル、水分の栄養的特徴、生理作用、欠乏症、過剰症について理解する。			
	該当する到達目標 2	予習	教科書のP25～43の内容を理解する。		1.5 時間
		復習	食物繊維、ビタミン、ミネラル、水分の栄養的特徴、生理作用、欠乏症、過剰症について確認する。		2.5 時間
4	講義内容	食品の持つエネルギーとエネルギーの測定方法を理解する。 生体のエネルギー代謝の仕組みとエネルギー消費量の求め方、運動の強度と三大栄養素の体内代謝、日常の運動、スポーツ時時の消費エネルギーの関連を理解する。 回復期リハビリテーション病棟での栄養管理の実際を理解する。			
	該当する到達目標 3	予習	教科書のP52～59、P104～110の内容を理解する。 回復期リハビリテーション病棟を調べ理解する。		1.5 時間
		復習	食品の持つエネルギーとエネルギーの測定方法、生体のエネルギー代謝の仕		2.5 時間

			組みとエネルギー消費量の求め方、運動の強度と三大栄養素の体内代謝、日常の運動、スポーツ時時の消費エネルギーの関連、回復期リハビリテーション病棟での栄養管理を確認する。	
5	講義内容	嚥下障害、経口摂取できない場合の栄養補給方法を理解する。 摂食嚥下の正常なプロセスを理解し、障害時の栄養補給方法(経静脈栄養、経腸栄養、経口栄養管理)を理解する。		
	該当する到達目標	予習	教科書のP153～160の内容を理解する。	1.5時間
	4	復習	摂食嚥下の正常なプロセス、嚥下障害、経口摂取できない場合の栄養補給方法を確認する。	2.5時間
6	講義内容	日本人の食事摂取基準(2015年度版)を理解する。 健康増進のための食生活指針を理解し、具体的な栄養指導方法を理解する。 日本の食文化と現在の食生活の特徴が理解できる。		
	該当する到達目標	予習	教科書のP66～98、P100～103の内容を理解する。	1.5時間
	5	復習	日本人の食事摂取基準、日本の食文化と現在の食生活の特徴を確認する。	2.5時間
7	講義内容	栄養アセスメントの意義と役割を理解する。① 主観的包括的栄養評価方法を理解する。		
	該当する到達目標	予習	主観的包括的栄養評価方法を調べ理解する。	1.5時間
	6	復習	主観的包括的栄養評価方法の内容を確認する。	時間
8	講義内容	栄養アセスメントの意義と役割を理解する。② 客観的栄養評価方法を理解する。		
	該当する到達目標	予習	客観的栄養評価方法の内容を調べ理解する。	1.5時間
	6	復習	客観的栄養評価方法の内容を確認する。	2.5時間
備考				

科目名	栄養学Ⅱ(看護基盤科目群・人間)			NRB105	講義
担当教員	渡邊美鈴				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	生涯にわたり、健康を維持するためには、ライフステージごとの適正な食生活が大切である。ライフステージ別の栄養の特性及び傷病者の栄養の特長について学ぶ。				
到達目標	1.人生各期の栄養学的背景とその特徴が理解できる。 2.消化器疾患の栄養管理の特徴と食事療法について理解する。 3.癌患者の栄養アセスメントと食事療法について理解する。 4.肝臓病における栄養アセスメントと食事療法について理解する。 5.クローン病患者の栄養アセスメントと食事療法について理解する。 6.内分泌疾患と褥瘡患者の栄養管理の特徴と食事療法について理解する。 7.褥瘡患者の栄養アセスメントと食事療法について理解する。 8.循環器疾患と腎疾患の栄養アセスメントと食事療法について理解する。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 100% 評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	講義後、学生の質問に対し、補足説明を実施。				
使用教材	教科書「ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち④ 臨床栄養学」関戸恵子(株式会社メディカ出版) ISBN987-4-8404-4911-3 C3347 ¥2800E 講義のスライド内容を必要に応じて配布。				
1	講義内容	人生各期(乳児期、学童期、青年期、成人期、妊娠、授乳期、高齢期)の健康生活と栄養について理解する。成分別栄養管理を理解する。			
	該当する到達目標 1	予習	教科書 P112~133 を理解する。成分栄養管理を理解する。		1.5 時間
		復習	人生各期の栄養管理の特徴、成分栄養管理について確認する。		2.5 時間
2	講義内容	療養生活と栄養① 検査のための食事、治療による回復を促すための栄養管理について理解する。消化器系疾患の病態と栄養管理について理解する。			
	該当する到達目標 2	予習	教科書 P138~148、P164~181 を理解する。		1.5 時間
		復習	検査のための食事、治療による回復を促すための栄養管理と消化器系疾患の病態について確認する。		2.5 時間
3	講義内容	療養生活と栄養② 癌患者の症例検討(CD-R)			
	該当する到達目標 3	予習	癌患者の栄養アセスメント、栄養管理について理解する。		1.5 時間
		復習	癌患者の栄養アセスメント、栄養管理について確認する。		2.5 時間
4	講義内容	療養生活と栄養③ 肝臓病患者の症例検討(CD-R)			
	該当する到達目標 4	予習	肝臓病患者の栄養アセスメント、栄養管理について理解する。		1.5 時間
		復習	肝臓病患者の栄養アセスメント、栄養管理について確認する。		2.5 時間
5	講義内容	療養生活と栄養④ クローン病患者の症例検討(CD-R)			
	該当する到達目標 5	予習	クローン病患者の栄養アセスメント、栄養管理について理解する。		1.5 時間
		復習	クローン病患者の栄養アセスメント、栄養管理について確認する。		2.5 時間
6	講義内容	療養生活と栄養⑤ 内分泌、代謝疾患の病態と栄養管理について理解する。			

		褥瘡の栄養管理について理解する。		
	該当する到達目標	予習	教科書 P182~185 を理解する。	1.5 時間
	6	復習	内分泌、代謝疾患、褥瘡の病態と栄養管理について確認する。	2.5 時間
	講義内容	療養生活と栄養⑥ 褥瘡患者の症例検討(CD-R)		
7	該当する到達目標	予習	褥瘡患者の栄養アセスメント、栄養管理について理解する。	1.5 時間
	7	復習	褥瘡患者の栄養アセスメント、栄養管理について確認する。	2.5 時間
	講義内容	療養生活と栄養⑦循環器系疾患の病態と栄養管理について理解する。 腎疾患の病態と栄養管理について理解する。		
8	該当する到達目標	予習	教科書 P1186~192 を理解する。	1.5 時間
	8	復習	循環器系疾患の病態、腎疾患の病態と栄養管理について確認する。	2.5 時間
備 考				

科目名	臨床心理学(看護基盤科目群・人間)			NRB201	講義
担当教員	千葉 千恵美				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	医療臨床による対人援助の基本を学び、ロールプレイを実践することでクライアントの心理や家族に必要な治療方法や支援方法について実践的に考え学び、医療従事者としての力量を高めることを目指す				
到達目標	1.医療臨床による臨床心理学を理解することができる。 2.医療臨床における臨床心理学の役割と関連性について理解することができる。 3.具体的な事例検討を通じてクライアントの思いや家族の関わり等臨床場面で応用することができる。 4.体験的な治療方法や支援方法を学ぶことで、より実践的な治療や支援について考えることができる。 5.様々な事例検討を通じて、治療方法や支援方法に気づくことで具体的な関わりができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	事前の予習、積極的な授業参加 授業後の感想シート 20% 定期試験を判断する 80%				
課題に対するフィードバック	授業終了後家族に添った臨床支援方法を学生が記述した感想シートの内容にフィードバックする事が出来る。また試験の課題についてのフィードバックする				
使用教材	小林重雄監修「医療臨床心理学」2012 コレール社				
1	講義内容	オリエンテーション			
	該当する到達目標 1.	予習	医療臨床について事前に第1.3章を調べ予習する	0.5時間	
		復習	医療臨床について学んだことを復習する	0.5時間	
2	講義内容	医療領域の臨床心理学の理解			
	該当する到達目標 1.2	予習	医療領域と臨床心理学の関連性について事前にp12-p15を予習する	0.5時間	
		復習	医療領域と臨床心理学の関連性について復習する	0.5時間	
3	講義内容	医療領域の臨床心理学の役割			
	該当する到達目標 1.2	予習	医療領域における臨床心理学の役割について事前にp25-p29調べ予習する	0.5時間	
		復習	医療領域における臨床心理学の役割について学んだことを復習する	0.5時間	
4	講義内容	心理面接について(面接の方法)			
	該当する到達目標 1.2.3.5.	予習	心理面接について面接方法を事前に第2章を調べ予習する	0.5時間	
		復習	クライアントに添った心理面接について学んだ事を復習する	0.5時間	
5	講義内容	面接の留意点について			
	該当する到達目標 1.2.3.5.	予習	面接について事前にp16-p28 p36-p42を調べ予習する	0.5時間	
		復習	クライアントに添った対応や留意点について学んだ事を復習する	0.5時間	
6	講義内容	カウンセリング・心理療法について			
	該当する到達目標 1.2.3.5.	予習	カウンセリングと心理療法の違いについて事前にp44-p47を調べ予習する	0.5時間	
		復習	カウンセリングと心理療法の違いについて学んだことを復習する	0.5時間	
7	講義内容	行動療法・集団心理療法について			
	該当する到達目標 1.2.3.5.	予習	行動療法や集団心理療法について事前にp47-p56を予習する	0.5時間	
		復習	行動療法や集団心理療法について学んだことを復習する	0.5時間	
8	講義内容	ロールプレイ事例検討1(幼児期 児童期)			
	該当する到達目標 1.2.3.4.5.	予習	幼児期・児童期に必要な対応を事前に第3章p63-p74を調べ予習する	0.5時間	
		復習	事例で対応したロールプレイを振り返り、支援から得られたことを復習する	0.5時間	

9	講義内容	ロールプレイ事例検討2(思春期 青年期)		
	該当する到達目標	予習	思春期 青年期に必要な対応を事前に p74-p90 を調べ学習する	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	事例検討で対応したロールプレイを振り返り、支援から得られたことを復習する	0.5 時間
10	講義内容	ロールプレイ事例検討3(成人期 高齢期)		
	該当する到達目標	予習	成人期 高齢期に必要な対応を事前に p90-p103 を調べ学習する	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	事例検討で対応したロールプレイを振り返り、支援から得られたことを復習する	0.5 時間
11	講義内容	ロールプレイ事例検討4(神経・精神領域医療)		
	該当する到達目標	予習	神経・精神領域医療に必要な支援について事前に第4章を調べ予習する	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	事例検討で対応した神経・精神領域医療について p122-132 p137-p141 振り返り必要な支援を復習する	0.5 時間
12	講義内容	リハビリテーション・高齢期医療での対応(事例検討・実践例)		
	該当する到達目標	予習	リハビリテーション・高齢期と臨床心理学について第5章を事前に調べ予習する	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	P163-p171p173-182 の事例検討から得られた支援方法を振り返り復習を行う	0.5 時間
13	講義内容	医療の新しい領域のアプローチ(事例検討・実践例)		
	該当する到達目標	予習	医療の新しい領域アプローチについて事前に第5章を調べ予習する	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	終末期(死への臨床)p189-p197 得られた支援内容を復習する	0.5 時間
14	講義内容	箱庭療法(体験授業)		
	該当する到達目標	予習	箱庭療法を体験的に学ぶため事前に配布した資料を読み予習する	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	箱庭療法を体験的に学ぶことによって得られた事項を復習する	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	臨床心理学で得られた内容を事前に整理し、まとめのための予習を行う	0.5 時間
	1.2.3.4.5.	復習	臨床心理学で得られた必要や授業内容を総合的に整理し復習する	0.5 時間
備考	事例検討ではロールプレイを行うなど積極的な授業参加が望まれる。オフィスアワー 火曜日 4.5 限目 KEYWORD 医療臨床 対人援助 クライアントと家族 実践力 chiba@takasaki-u.ac.jp			

科目名	リスクマネジメント(看護基盤科目群・環境)			NRB401	講義
担当教員	野本悦子 安野朝子				
学年・開講期	4年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	安全な医療現場の確保は医療従事者にとって重要な責務であることを理解し、個人及び組織においてどのような対策が求められているかについて理解する。				
到達目標	1.リスクマネジメントの考え方の基本が理解できる 2.患者安全に必要な視点について理解できる 3.さまざまなリスクマネジメント手法と再発防止策について理解できる 4.感染予防、危機管理の基本について理解できる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度と課題レポート40%、定期末試験60%とし、総合評価60%以上を合格とする				
課題に対するフィードバック	前回の学生の授業感想カードを回収し、次回授業初めにコメント、フィードバックする。				
使用教材	教科書「ナーシンググラフィカ「医療安全」松下由美子他著（MCメデイカ出版） 978-4-8404-5385-1 講義スライドのプリントと随時資料を配布する				
1	講義内容	患者安全とは、リスクマネジメントの考え方			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書のはじめに、1, 2章を読んでくる		1.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、成績評価及び医療安全を学ぶ意義、基本的医療安全の考え方、理念について確認する		1 時間
2	講義内容	ヒューマンエラーとは			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 3, 4章を読んでくる		1.5 時間
		復習	事故発生のメカニズムと安全文化について学んだことを整理する。		1 時間
3	講義内容	看護業務と医療事故・法的責任			
	該当する到達目標 2	予習	教科書 5, 6章を読んでくる		1.5 時間
		復習	看護業務における事故の種類と対策について、p123~を補足して理解する		1 時間
4	講義内容	危機管理・院内感染			
	該当する到達目標 2,4	予習	教科書 6, 7章を読んでくる		1.5 時間
		復習	在宅における安全対策、院内感染対策、災害対策について、整理し、理解する		1 時間
5	講義内容	事故防止対策			
	該当する到達目標 2,3,4	予習	教科書 p75~86、及び 8, 9章を読んでくる		1.5 時間
		復習	事故発生時の対応、賠償責任保険を確認する		1 時間
6	講義内容	原因分析手法			
	該当する到達目標 3	予習	教科書 3章 p75~86 を読んでくる		1.5 時間
		復習	自身の事例について手法を使い分析してみる		1 時間
7	講義内容	原因分析手法			
	該当する到達目標 3	予習	教科書 3章 p75~86 を読んでくる		1.5 時間
		復習	自身の事例について手法を使い分析をする。		1 時間
8	講義内容	まとめ			

	該当する到達目標	予習	教科書 p242、国試問題について理解してくる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	昨年の医療安全に関する国試問題を解く。	1.時間
備考	<p>オフィスアワー: 火曜日3. 4限</p> <p>メールアドレス: <a href="mailto:nomoto@takasaki-u.ac.jp">nomoto@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>研究室: 5号館4階412</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中のインシデント事例の原因分析、再発防止対策についてグループワークを行ない、発表する。</li> <li>・予習復習については、事前課題インシデント事例の作成と試験前の学習で補完する</li> </ul>			

科目名	疫学(看護基盤科目群・環境)			NRB202	講義
担当教員	宮崎 有紀子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	人間集団の疾病および健康現象の発生状況を把握し、それに影響を及ぼす要因や条件を包括的に探る方策として、疫学の考え方や方法について学ぶ。				
到達目標	1.疫学の考え方や方法について理解できる。 2.率、比、割合の違い、およびそれらの適用について理解できる。 3.リスクの考え方、および曝露効果に関する指標の意味が理解できる。 4.因果関係を示す方法について理解できる。 5.スクリーニングの意義と妥当性について理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%, 提出物(レポート)30% 総合評価 60%以上を合格とする				
課題に対するフィードバック	レポートにコメントをつけて返却する				
使用教材	教科書 最新保健学 6 疫学/保健統計 編集・丸井英二 (メヂカルフレンド社) ISBN978-4-8392-2184-3 講義の内容をプリントにて配布する				
1	講義内容	疫学の概要			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き, シラバスの内容を読み講義の目標などを理解する		1時間
	1	復習	講義内容を確認する. 教科書第1章に目を通す		1.5時間
2	講義内容	記述疫学と仮説設定			
	該当する到達目標	予習	教科書第2章 2-Aに目を通す		1時間
	1	復習	講義内容を確認する		1.5時間
3	講義内容	横断研究・生態学的研究			
	該当する到達目標	予習	教科書第4章 1-A,1-Bに目を通す		1時間
	1	復習	講義内容を確認する		1.5時間
4	講義内容	疾病頻度の測定:率、比、割合			
	該当する到達目標	予習	教科書第3章 1-A~1-Dに目を通す		1時間
	2	復習	講義内容を確認する		1.5時間
5	講義内容	症例対照研究			
	該当する到達目標	予習	教科書第4章 1-Cに目を通す		1時間
	1,3	復習	講義内容を確認する		1.5時間
6	講義内容	コホート研究			
	該当する到達目標	予習	教科書第4章 1-Dに目を通す		1時間
	1,3	復習	講義内容を確認する		1.5時間
7	講義内容	介入研究			
	該当する到達目標	予習	教科書第4章 1Eに目を通す		1時間
	1	復習	講義内容を確認する		1.5時間

8	講義内容	疫学調査の倫理		
	該当する到達目標	予習	教科書第4章6に目を通す	1時間
	1	復習	講義内容を確認する	1.5時間
9	講義内容	疫学的因果推論		
	該当する到達目標	予習	教科書第4章2~5に目を通す	1時間
	4	復習	講義内容を確認する	1.5時間
10	講義内容	スクリーニングの意義		
	該当する到達目標	予習	教科書第5章2に目を通す	1時間
	5	復習	講義内容を確認する	1.5時間
11	講義内容	スクリーニングの方法		
	該当する到達目標	予習	教科書第5章1-A~1-Cに目を通す	1時間
	5	復習	講義内容を確認する	1.5時間
12	講義内容	スクリーニングの評価		
	該当する到達目標	予習	教科書第5章1-Dに目を通す	1時間
	5	復習	講義内容を確認する	1.5時間
13	講義内容	疾病登録/疫学と公衆衛生看護		
	該当する到達目標	予習	教科書第7章, 第8章に目を通す	1時間
	1	復習	講義内容を確認する	1.5時間
14	講義内容	演習(1) 疫学調査事例		
	該当する到達目標	予習	教科書第6章4-A, 4-Bに目を通す	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を確認する	1.5時間
15	講義内容	演習(2) 疫学調査事例		
	該当する到達目標	予習	教科書第4章に目を通す	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を確認する	1.5時間
備考	予習・復習については試験前の学習で補完すること オフィスアワー: 授業の前後			

科目名	社会調査特論(看護基盤科目群・環境)			NRB203	講義
担当教員	安達 正嗣				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	保健医療分野における実証的研究の手法として、社会調査の基本的な知識や技法を解説することによって、現代の看護師の業務における社会調査の大きな意義を理解する。				
到達目標	1.看護学を専攻する大学生としての基礎的知識力として、社会調査の基本を身につけることができる。 2.社会調査を学ぶことを通じて、人間理解と倫理観を身につけることができる。 3.社会調査の技法を学ぶことで、論理的思考力と問題解決力を身につけることができる。 4.社会調査を学ぶことで、看護の現場のチームの一員としての協調・協働を身につけることができる。 5.社会調査の技法を会得することで、国際比較の統計学の基礎を理解して、国際理解力を身につけることができる。 6.社会調査の基礎を身につけることで、専門家としての生涯学習力を身につけることができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	第2回以降に毎回、提出する作業レポート(50%)、ならびに学期末レポート(50%)により、評価する。				
課題に対するフィードバック	第2回以降に毎回、提出する作業レポートにコメントがつけられて返却されるので、これを参考にしながら、最終的な学期末レポートを作成する。				
使用教材	毎回の講義において、適宜、資料を配布する。				
1	講義内容	オリエンテーションをおこなう。配布資料(第1回分)に基づいて社会調査の概要を解説する。			
	該当する到達目標	予習	不要。		1.5時間
	1,2,3,6	復習	社会調査の概要について理解しておくこと。		1.5時間
2	講義内容	配布資料(第2回分)に基づいて、社会調査のための情報資源にいかにかアクセスするか、それをどのように活かしていくのかを解説する。			
	該当する到達目標	予習	第1回で配布される資料(第2回分)を読んでおくこと。		1.5時間
	1,2,3,4,6	復習	各自が自分の関心にしたがって、調査にむけての情報を収集して、次回に小レポートを作成する。		1.5時間
3	講義内容	配布資料(第3巻分)に基づいて、量的調査(質問紙調査)と質的調査(面接調査)について解説する。小レポートを回収する。			
	該当する到達目標	予習	第2回で配布される資料(第3回分)を読んでおくこと。		1.5時間
	1,2,3,4,6	復習	とくに質問紙調査の手法について理解することによって、各自の関心に基づいたテーマと仮説を小レポートとして作成する。		1.5時間
4	講義内容	各自のテーマと仮説を全体で検討した後で、配布資料に基づいて調査票の作成方法を解説する。小レポートにコメントをつけて返却する。			
	該当する到達目標	予習	第3回で配布された資料(第4回分)を読んでおくこと。		1.5時間
	1,2,3,4,6	復習	講義中のコメントを参考にして、各自のテーマと仮説を修正しておくこと。また、その仮説を検証するための調査票を小レポートとして作成すること。		1.5時間
5	講義内容	データの分析方法について、配布資料に基づいて解説する。小レポートにコメントをつけて返却する。			
	該当する到達目標	予習	第4回で配布された資料(第5回分)を読んでおくこと。		1.5時間
	1,2,3,4,6	復習	データの分析の方法について復習しておくこと。		1.5時間

6	講義内容	教室内で各自の修正された調査票を配布して、実査(調査者側と被調査者側)を体験する。小レポートにおコメントをつけて返却する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,6	予習	第5回で配布された資料(第6回分)を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	各自の記入済みの調査票を点検しておく。	1.5 時間
7	講義内容	調査報告書のまとめ方について、配布資料で解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,6	予習	第6回で配布された資料(第7回分)を読んでおく。	1.5 時間
		復習	データの分析方法を復習して、データの分析をおこなうこと。	1.5 時間
8	講義内容	全講義を振り返って、あらためて社会調査のやり方について解説する。		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	これまでの講義の配布資料を読んでおく。	3 時間
		復習	これまでの講義の配布資料に基づいて、調査報告書を作成する。	3 時間
備考	1 度でも欠席すると講義に参加できなくなるので、8 回すべてに出席することが不可欠である。			

科目名	公衆衛生学(看護基盤科目群・環境)			NRB106	講義
担当教員	亀尾 聡美				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	公衆衛生学は健康な集団に対して予防医学的なアプローチを行うところに特徴がある。公衆衛生学の歴史を学びながら、このような公衆衛生学の特徴、社会・環境と健康の関連を理解し、現在の公衆衛生的なものの方や考え方を習得する。				
到達目標	(1)公衆衛生学に関する基本的な概念を理解し説明できる。 (2)関連する法律・法制度、基本的な用語、社会・環境と健康の関連を説明できる。 (3)現在のわが国の公衆衛生活動を理解し説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験80%、講義中のミニレポート(2回)20%で評価する。 総合評価60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	ミニレポートにはコメントを付けて返却する。				
使用教材	教科書:「衛生・公衆衛生学」(アイ・ケイコーポレーション) ISBN978-4-87492-340-5 C3047 講義概要を毎回プリントして配布する。				
1	講義内容	公衆衛生学概論1:公衆衛生学の概念・健康の概念			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容、教科書の前書き・第1章に目を通し、講義の目標を理解する。		1時間
	1	復習	講義の目標、公衆衛生学の概念・健康の概念を理解する。		1.5時間
2	講義内容	公衆衛生学概論2:公衆衛生学の歴史			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章・第2章に目を通す。		1時間
	1	復習	世界および日本の公衆衛生学の歴史を学び、公衆衛生学の重要性を理解する。		1.5時間
3	講義内容	保健統計1:人口統計			
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章に目を通す。		1時間
	2	復習	代表的な保健統計、主な健康指標を理解する。現在の日本の人口構造の特徴を理解する。		1.5時間
4	講義内容	保健統計2:死因統計・疾病統計			
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章、第8章に目を通す。		1時間
	2	復習	死因順位・疾病構造における日本の特徴を理解する。		1.5時間
5	講義内容	環境保健1:環境と健康 環境要因			
	該当する到達目標	予習	教科書の第15章に目を通す。		1時間
	2	復習	人々の健康に影響を及ぼす環境要因、環境に関する法律・制度を理解する。		1.5時間
6	講義内容	環境保健2:公害(大気汚染)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第15章に目を通す。		1時間
	2	復習	公害の歴史および、公害の例として大気汚染と環境基準について理解する。		1.5時間
7	講義内容	環境保健3:公害(水質汚濁)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第15章に目を通す。		1時間
	2	復習	公害の例として水質汚濁と環境基準について理解する。		1.5時間

8	講義内容	生活の中の環境衛生		
	該当する到達目標	予習	教科書の第15章に目を通す。	1時間
	2	復習	生活の中の環境衛生に関連する健康障害について理解する。	1.5時間
9	講義内容	食品衛生:食品と健康		
	該当する到達目標	予習	教科書の第7章、第15章に目を通す。	1時間
	2	復習	食品と健康増進および関連する法律、食中毒について理解する。	1.5時間
10	講義内容	食品の安全とリスク分析		
	該当する到達目標	予習	教科書の第15章に目を通す。	1時間
	2	復習	食の安全をまもる法律・制度、食品のリスク分析について理解する。	1.5時間
11	講義内容	母子保健		
	該当する到達目標	予習	教科書の第11章に目を通す。	1時間
	2,3	復習	母子保健の目的・役割、関連する法律・制度について理解する。	1.5時間
12	講義内容	学校保健		
	該当する到達目標	予習	教科書の第12章に目を通す。	1時間
	2,3	復習	学校保健の目的・役割、関連する法律・制度について理解する。	1.5時間
13	講義内容	産業保健:職域の健康管理		
	該当する到達目標	予習	教科書の第13章に目を通す。	1時間
	2,3	復習	働く人々の安全と健康をまもるための関連する法律・制度について理解する。	1.5時間
14	講義内容	高齢者保健		
	該当する到達目標	予習	教科書の第14章に目を通す。	1時間
	2,3	復習	高齢者保健の目的・意義、高齢者保健事業などの制度について理解する。	1.5時間
15	講義内容	地域保健		
	該当する到達目標	予習	教科書の第9章、第10章、第14章に目を通す。	1時間
	1,2,3	復習	地域保健の目的・役割および関連する法律・地域保健活動について理解する。	1.5時間
備考	<p>オフィスアワー:毎回講義終了後に質問等を受け付ける。</p> <p>参考書:「国民衛生の動向」(厚生労働統計協会)</p> <p>講義外学習への助言:講義に関連する報道や新聞記事など実際の社会における公衆衛生学的内容に関心を持つこと。関連する法律に目を通してみる。</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	保健医療福祉行政論(看護基盤科目群・環境)			NRB204	講義
担当教員	小出 省司				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	地域看護における保健・医療・福祉活動を深く理解するため、保健・医療・福祉活動に関わる多面的な法的基盤や財政の状況を知る。あわせて、地域における活動の現状と今後の課題を考える機会とする。				
到達目標	1.国・都道府県及び市町村で実施している保健・医療・福祉施策について学ぶと共に、それぞれの役割を理解し、説明できる。 2.医療の専門職として、それぞれの事業へどのような関わりができるかを考え、説明することができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末試験(90%)及び、毎回の授業終了時に提出する質問・感想・意見等(10%)により総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	授業中、可能な限り質問を受けたり各課題に対する学生の意見を聞く中でフィードバックしていきたい。				
使用教材	1標準保健師講座「保健医療福祉行政論」(医学書院) 2「国民衛生の動向」(厚生労働統計協会) その他、必要により関連する資料を配布する。				
1	講義内容	オリエンテーション			
	該当する到達目標	予習	この科目を受講する意味を考えて、問題意識を深める。		1時間
	1,2	復習	今まで学んだ看護各科目の知識との関連を考察する。		1時間
2	講義内容	保健・医療・福祉の連携			
	該当する到達目標	予習	保健・医療・福祉の各分野の概要を修得する。(教科書1の2~16頁)		1時間
	1,2	復習	相互の関連制等を理解する。		1時間
3	講義内容	保健・医療・福祉の行政			
	該当する到達目標	予習	行政がどのような役割を果たしているか理解する。(教科書1の54~61頁)		1時間
	1,2	復習	各行政機関の役割分担は機能しているか。		1時間
4	講義内容	保健・医療・福祉の財政			
	該当する到達目標	予習	財政は制度に一番の影響を与えるが内容を理解する。(教科書1の74~78)		1時間
	1,2	復習	社会保障給付費の動きに注目。		1時間
5	講義内容	保健・医療・福祉の法律			
	該当する到達目標	予習	日本国憲法をはじめとする各法律を理解する。(教科書1の91~92)		1時間
	1,2	復習	関係法律と各事業の実施状況の関連。		1時間
6	講義内容	保健・医療・福祉の歴史			
	該当する到達目標	予習	今日の制度はどのような変遷を経てきたか理解する。(教科書1の18~48)		1時間
	1,2	復習	社会経済の発展に併せて保健・医療・福祉も変遷して来たかを理解する。		1時間
7	講義内容	1 社会保障制度、2 衛生行政の体系			
	該当する到達目標	予習	1で社会保障制度の内容理解(教科書1の126~132)		1時間
	1,2	復習	2で衛生行政の体系を理解する。(教科書2の7~41)		1時間

8	講義内容	1地域保健、2衛生の主要指標		
	該当する到達目標	予習	1で地域保健の概要を理解する。(教科書1の150～172)	1時間
	1,2	復習	2で衛生の主要指標を理解する。(教科書2の44～86)	1時間
9	講義内容	1社会福祉制度、2生活習慣病と健康増進対策		
	該当する到達目標	予習	1で社会福祉制度の各論を理解する。(教科書1の134～148)	1時間
	1,2	復習	2で生活習慣病と健康増進対策の中身を検証(教科書2の88～98)	1時間
10	講義内容	1医療制度、2保健対策、感染症対策、疾病対策		
	該当する到達目標	予習	1で医療制度の課題について理解する。(教科書1の95～109)	1時間
	1,2	復習	2で保健、感染症、疾病等の対策を理解する。(教科書2の104～179)	1時間
11	講義内容	1介護保険制度、2医療保健制度		
	該当する到達目標	予習	1で介護保険制度の概要を理解する。(教科書1の114～125)	1時間
	1,2	復習	2で医療保険制度について理解する。(教科書2の227～246)	1時間
12	講義内容	1保健、医療、福祉の専門職、2薬事対策		
	該当する到達目標	予習	1で関係の専門職の役割等を理解する。(関係資料)	1時間
	1,2	復習	2で薬事対策の概要を理解する。(教科書2の261～287)	1時間
13	講義内容	1保健医療福祉計画、2労働衛生、環境保健、学校保健		
	該当する到達目標	予習	1で保健医療福祉計画を何故立てるのかを理解する。(教科書1の176から222)	1時間
	1,2	復習	2で労働衛生、環境保健、学校保健の制度を理解する。(教科書2の318～384)	1時間
14	講義内容	保健・医療・福祉の今後の課題		
	該当する到達目標	予習	既に学習した各論が今後どのような課題を持つか検討していく。	1時間
	1,2	復習	将来の仕事等にどう活かすべきか考察する。	1時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	この科目で学ぶべきことは何だったのかを考察する。	1時間
	1,2	復習	もう一度教科書等を復習してポイントを押さえていく。	1時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	医療情報システム論(看護基盤科目群・環境)			NRB205	講義
担当教員	一戸 真子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	情報テクノロジーの進歩に伴い、医療現場における医療情報システム化が進んできている現状を理解することにより、どのようなことが患者・家族—看護師関係および看護師—医師関係、その他の医療従事者間において変化してきているかについて学習する。電子カルテシステムにはどのような情報が含まれているか、医療情報のシステム化が医療の質の向上にどのように貢献可能であるかについて理解を深め、チーム医療時代における医療情報システムのあり方、医療安全への貢献についても理解を深める。更に地域医療連携情報システムについても学習する。				
到達目標	1.医療情報システムの定義および関係する制度や情報の量と質について説明できる。 2.オーダーリングシステムおよび電子カルテシステムについて説明できる。 3.医療情報システムにおける患者・家族—看護師関係および看護師—医師関係、その他の医療従事者関係の変化について説明できる。 4.医療情報システムが医療の質の向上および医療の安全にどのように貢献できるか説明できる。 5.地域医療連携情報システムと標準化について説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験80%、小テスト 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	小テストの返却および解説を行う。 定期試験後に問題出題意図を説明する。				
使用教材	教科書「医療情報システム入門」保健医療福祉情報システム工業会 JAHIS 編 (社会保険研究所)最新版 ISBN 978-4-7894-1893-5 C3047				
1	講義内容	医療情報システムの基礎			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章の第1部に目を通す。	1時間	
	1.	復習	病院情報システムを理解する。	1.5時間	
2	講義内容	医療のIT化に関する諸制度			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章の第2部に目を通す。	1時間	
	1.	復習	病院業務とIT、診療報酬制度との関係を理解する。	1.5時間	
3	講義内容	オーダーシステム			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章の第1部に目を通す。	1時間	
	2.	復習	システムの効果について理解する。	1.5時間	
4	講義内容	電子カルテシステム			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章の第2部に目を通す。	1時間	
	2.	復習	電子カルテシステムの機能について理解する。	1.5時間	
5	講義内容	患者・家族中心のシステムに求められる視点			
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章の第1部、第2部に目を通す。	1時間	
	3.	復習	患者・家族—看護師関係、看護師—医師関係とシステムについて理解する。	1.5時間	
6	講義内容	チーム医療と医療情報システム			
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章の第3部、第4部に目を通す。	1時間	
	3.	復習	各部門におけるシステムを理解し、チーム医療との関係を理解する。	1.5時間	

7	講義内容	医療の質の向上、安全とシステム		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章の第1部に目を通す。	1時間
	4.	復習	リスク管理システムやセキュリティについて理解する。	1.5時間
8	講義内容	医療情報システムの今後		
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章の第2部、第3部に目を通す。	1時間
	5.	復習	医療情報の標準化や地域医療連携情報システムについて理解する。	1.5時間
備考				

科目名	薬理学(看護基盤科目群・健康)			NRB206	講義
担当教員	伊藤政明				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	医薬品の作用する過程を理解するために、代表的な薬物の作用、作用機序、及び体内での運命に関する基本的知識を修得する。				
到達目標	<p>基本的な疾患についての代表的な治療薬を挙げ、その作用機序ならびに副作用を説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 薬はどのように作用するのか説明できる。</li> <li>2. 薬はどのように体内をめぐるのか説明できる。</li> <li>3. 薬効に影響する因子・薬物の有害作用はなぜおこるのか・薬害問題について説明できる。</li> <li>4. 抗感染症薬について説明できる。</li> <li>5. 抗がん薬・免疫治療薬について説明できる。</li> <li>6. 抗アレルギー薬・抗炎症薬について説明できる。</li> <li>7. 末梢神経系に作用する薬について説明できる。</li> <li>8. 中枢神経系に作用する薬について説明できる。</li> <li>9. 心臓・血管系に作用する薬について説明できる。</li> <li>10. 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬について説明できる。</li> <li>11. 物質代謝に作用する薬について説明できる。</li> </ol>				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	受講態度(10%)および期末試験(90%)から総合的に評価する。				
課題に対する フィードバック	講義の単元ごとに確認問題を提示し、その解説を行う。				
使用教材	<p>系統看護学講座専門基礎分野「薬理学」第13版  吉岡充弘他編 医学書院 2016年 2,484円  講義のスライドを随時プリントして配布する。</p>				
1	講義内容	薬理学の概念			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の総論第1章と52頁の薬と法律の項目に目を通しておくこと。		1時間
		復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。		1.5時間
2	講義内容	薬はどのように作用するのか			
	該当する到達目標 1	予習	教科書16～27頁に目を通しておくこと。		1時間
		復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。		1.5時間
3	講義内容	薬はどのように体内をめぐるのか			
	該当する到達目標 2	予習	教科書28～37頁に目を通しておくこと。		1時間
		復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。		1.5時間
4	講義内容	薬効に影響する因子・薬物の有害作用はなぜおこるのか・薬害問題			
	該当する到達目標 3	予習	教科書38～54頁に目を通しておくこと。		1時間
		復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。		1.5時間
5	講義内容	抗感染症薬			
	該当する到達目標 4	予習	教科書62～83頁に目を通しておくこと。		1時間
		復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。		1.5時間

6	講義内容	抗がん薬・免疫治療薬		
	該当する到達目標	予習	教科書 90～112 頁に目を通しておくこと。	1 時間
	5	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1.5 時間
7	講義内容	抗アレルギー薬・抗炎症薬		
	該当する到達目標	予習	教科書 114～129 頁に目を通しておくこと。	1 時間
	6	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1.5 時間
8	講義内容	末梢神経系に作用する薬(1)		
	該当する到達目標	予習	教科書 132～142 頁に目を通しておくこと。	1 時間
	7	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1.5 時間
9	講義内容	末梢神経系に作用する薬(2)		
	該当する到達目標	予習	教科書 143～150 頁に目を通しておくこと。	1 時間
	7	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1.5 時間
10	講義内容	中枢神経系に作用する薬(1)		
	該当する到達目標	予習	教科書 152～172 頁に目を通しておくこと。	1 時間
	8	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1.5 時間
11	講義内容	中枢神経系に作用する薬(2)		
	該当する到達目標	予習	教科書 172～182 頁に目を通しておくこと。	1 時間
	8	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1.5 時間
12	講義内容	心臓・血管系に作用する薬(1)		
	該当する到達目標	予習	教科書 184～203 頁に目を通しておくこと。	1 時間
	9	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1.5 時間
13	講義内容	心臓・血管系に作用する薬(2)		
	該当する到達目標	予習	教科書 203～219 頁に目を通しておくこと。	1 時間
	9	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1.5 時間
14	講義内容	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬		
	該当する到達目標	予習	教科書 222～239 頁に目を通しておくこと。	1 時間
	10	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1.5 時間
15	講義内容	物質代謝に作用する薬		
	該当する到達目標	予習	教科書 242～252 頁に目を通しておくこと。	1 時間
	11	復習	確認問題を活用し、講義内容の要点を理解してまとめること。	1.5 時間
備考	<p>教職必修科目</p> <p>オフィスアワー;木曜 5 限。金曜 5 限。その他適宜対応可能(7 号館 316 研究室)。</p> <p>予習復習の不足分は、試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	微生物学(看護基盤科目群・健康)			NRB107	講義
担当教員	桑原敦志				
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	必修 1単位		
講義目標	微生物感染症は、先進国においては過去の疾患と思われがちであるが、高齢者やがんなどの患者では、免疫力が低下しているために感染症を起こしやすく、日本人の死亡原因の第4位の肺炎は微生物感染症である。入院患者では、院内感染症の発生が致命的となる。看護職にある者にとって必須の感染症の発生要因、予防法、治療法について理解することが本講座の目的である。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 微生物に関する基本的知識が説明できる。</li> <li>2. 病原体となる微生物の特徴を説明することができる。</li> <li>3. 病原微生物に対する消毒や化学療法が説明できる。</li> <li>4. 院内感染防止など感染予防の説明ができる。</li> <li>5. 感染症から身を守るための免疫システムの説明ができる。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 100%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	定期試験後には解答を公表し、自己学習を行えるようにする。				
使用教材	テキスト: 系統看護学講座[微生物学](医学書院) ISBN978-4-260-00673-6C3347 講義に合わせた空欄のあるプリントを配布する。				
1	講義内容	微生物の概要			
	該当する到達目標	1	予習	教科書第1章に目を通す。	1時間
			復習	微生物の種類や人と微生物のかかわりについて理解する。	1.5時間
2	講義内容	微生物の種類と特徴①細菌			
	該当する到達目標	1,2	予習	教科書第2章に目を通す。	1時間
			復習	細菌の特徴、携帯、常在細菌について理解する。	1.5時間
3	講義内容	微生物の種類と特徴②真菌、原虫、ウイルス			
	該当する到達目標	1,2	予習	教科書第3,4,5章に目を通す。	1時間
			復習	真菌、原虫の特徴、ウイルスの構造と種類について理解する。	1.5時間
4	講義内容	感染と感染症			
	該当する到達目標	1,2	予習	教科書第6章に目を通す。	1時間
			復習	感染と感染症の違い、病原体別の感染経路を理解する。	1.5時間
5	講義内容	感染に対する生体防御機構①			
	該当する到達目標	5	予習	教科書第7章Aに目を通す。	1時間
			復習	微生物感染を防ぐ生体のバリアーと免疫機構を理解する。	1.5時間
6	講義内容	感染に対する生体防御機構②			
	該当する到達目標	5	予習	教科書第7章Bに目を通す。	1時間
			復習	液性免疫と細胞性免疫、感染徴候と症状について理解する。	1.5時間

7	講義内容	感染源・感染経路からみた感染症		
	該当する到達目標	予習	教科書第8章に目を通す。	1時間
	1,2	復習	空気感染、飛沫感染、接触感染の感染機序を理解する。	1.5時間
8	講義内容	感染症の予防		
	該当する到達目標	予習	教科書第9章に目を通す。	1時間
	3	復習	消毒・滅菌法や標準予防策を理解する。	1.5時間
9	講義内容	感染症の検査と診断		
	該当する到達目標	予習	教科書第10章に目を通す。	1時間
	1	復習	細菌学的検査法、真菌、ウイルス、寄生虫の検査法と遺伝学的検査を理解する。	1.5時間
10	講義内容	感染症の治療		
	該当する到達目標	予習	教科書第11章に目を通す。	1時間
	3	復習	化学療法と薬剤感受性、薬剤耐性のメカニズムを理解する。	1.5時間
11	講義内容	ヒト免疫不全ウイルス		
	該当する到達目標	予習	教科書第16章14-2に目を通す。	1時間
	1,2,3,4	復習	HIVに関する基礎知識とエイズ発症に関して理解する。	1.5時間
12	講義内容	消化器・尿路感染症		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間
	1,2,4	復習	ノロウイルス感染症や細菌性食中毒、尿路感染の病原体を理解する。	1.5時間
13	講義内容	呼吸器感染症		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間
	1,2,4	復習	呼吸器感染を起こす病原体、結核感染やインフルエンザ感染を理解する。	1.5時間
14	講義内容	院内感染対策・予防接種		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間
	4	復習	院内感染防止のための標準予防策や予防接種を理解する。	1.5時間
15	講義内容	最近話題の感染症及びまとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書第12章に目を通す。配布プリントに目を通す。	1時間
	1,2	復習	エボラウイルスやジカウイルスなど最近の感染症を理解する。	1.5時間
備考	<p>オフィスアワー:水曜日3時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>メールアドレス:<a href="mailto:kuwabara@takasaki-u.ac.jp">kuwabara@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>研究室:5号館6階601</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	病理学(専門基礎科目)			NRB207	講義
担当教員	福田利夫、岩科雅範、吉田朋美				
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	必修 2単位		
講義目標	病理学は、解剖学とともに、近現代医学の根幹である。病理学によって確立された医学上の諸概念を知悉しておくことは、初学者から専門職医療人に至るまで、医療に携わるものにとっては避けては通れないものである。この講義では、これまで学んだ、解剖学、組織学、生化学、生理学の知識を確認しながら、「からだのかたちの変化としての病気」をみてゆく、そして、疾病の病因論、病理形態学の基礎知識を学習し、今後の勉学の礎を形成することが目標である				
到達目標	1.病理学の基礎的な概念、用語を理解し、人に説明できる。 2.各臓器で、経験する頻度が高く、重要な疾患の概要を説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
	✓	論理的思考力・問題解決力			
		チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
	生涯学習力				
評価方法	期末試験の成績と講義中の小テスト等の成績を総合評価(7:3)し、合計60点以上を可とする。				
課題に対するフィードバック	期末試験後に、問題出題意図の解説を文書で配布する				
使用教材	系統看護講座専門基礎病理学、坂本穆彦ら編著、医学書院、2011年				
1	講義内容	病理学概論			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバス内容を読んで講義目標など理解する。		1.5時間
		復習	病理学、病理診断学の医学、医療における意義を確認する。		1.時間
2	講義内容	病理総論1 腫瘍			
	該当する到達目標	予習	教科書の腫瘍の部分に目を通す。		1.5時間
		復習	ヒトの腫瘍の種類、原因、病理学的特徴を理解する。		1.時間
3	講義内容	病理総論2 炎症			
	該当する到達目標	予習	教科書の炎症の部分に目を通す。		1.5時間
		復習	炎症の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。		1.時間
4	講義内容	病理総論3 循環障害			
	該当する到達目標	予習	教科書の循環障害の部分に目を通す。		1.5時間
		復習	循環障害の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。		1.時間
5	講義内容	病理総論4 感染症、免疫異常			
	該当する到達目標	予習	教科書の感染症、免疫異常の部分に目を通す。		1.5時間
		復習	感染症、免疫異常の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。		1.時間
6	講義内容	病理総論5 代謝障害・生活習慣病・遺伝性疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書の代謝障害・生活習慣病・遺伝性疾患の部分に目を通す。		1.5時間
		復習	代謝障害・生活習慣病・遺伝性疾患の原因、結果、病理学的特徴を理解する。		1.時間
7	講義内容	病理各論1 消化器			
	該当する到達目標	予習	消化管の構造、機能を確認する。		1.5時間
		復習	消化管の病変の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。		1.時間
8	講義内容	病理各論2 肝、胆、膵臓			
	該当する到達目標	予習	肝・胆・膵臓の構造、機能を確認する。		1.5時間

		復習	肝・胆・膵臓の病変の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	1.時間
9	講義内容	病理各論3 婦人科疾患		
	該当する到達目標	予習	子宮、卵巣の構造、機能を確認する。	1.5時間
		復習	婦人科疾患の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	
10	講義内容	病理各論4 乳腺、内分泌臓器		
	該当する到達目標	予習	乳腺、内分泌臓器の構造、機能を確認する。	1.5時間
		復習	乳腺、内分泌臓器病変の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	
11	講義内容	病理各論5 腎、尿路		
	該当する到達目標	予習	腎、尿路の構造、機能を確認する。	1.5時間
		復習	腎、尿路病変の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	
12	講義内容	病理各論6 呼吸器非腫瘍性疾患		
	該当する到達目標	予習	呼吸器の構造、機能を確認する。	1.5時間
		復習	呼吸器非腫瘍性疾患の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	
13	講義内容	病理各論7 呼吸器腫瘍		
	該当する到達目標	予習	癌の原因、診断法、病理学的特徴を確認する。	1.5時間
		復習	呼吸器腫瘍の種類、原因、結果、病理学的特徴を理解する。	
14	講義内容	病理各論8 病理組織検査		
	該当する到達目標	予習	腫瘍の病理学的特徴を確認する。	1.5時間
		復習	病理組織検査の意義を理解する。	
15	講義内容	病理各論9 細胞診検査		
	該当する到達目標	予習	正常細胞と癌細胞の違いを確認する。	1.5時間
		復習	細胞診検査の癌の早期発見における意義を理解する。	
備考	<p>授業終了後、教科書の関連する箇所を読み、復習する。授業前後に、解剖・生理学の関連する箇所を予復習する。そのほか、成人看護論の分野の教科書などを参考にするとよい。また、新聞、インターネット等を活用し、関連する情報の取得につとめ、知識を確認、更新してゆくとよい。</p> <p>予習・復習については試験前の学習にて補完すること。</p>			

科目名	リハビリテーション概論(看護基盤科目群・健康)			NRB208	講義
担当教員	浅香 満・千木良 佑介・大野 洋一				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	リハビリテーション全般について理解し、その中でリハビリテーション看護について知識・技術を習得し、チーム医療の中で果たすべき役割を理解し、実践できるようになる				
到達目標	1.リハビリテーションの流れを理解し、看護師としての役割を理解する 2.リハビリテーション的評価が実施できる 3.代表的な疾患のリハビリテーションを理解できる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	レポート 50%・筆記試験 50%				
課題に対するフィードバック	レポートへのコメント等				
使用教材	氏家 幸子監修「リハビリテーション患者の看護」 廣川書店				
1	講義内容	リハビリテーション看護について(総論)			
	該当する到達目標	予習	テキストの 3-24 を読む		1.5 時間
	1	復習	リハビリテーション看護について説明できるようになる		1.5 時間
2	講義内容	リハビリテーションの対象・流れについて			
	該当する到達目標	予習	テキストの 31-62.配布資料を		1.5 時間
	1	復習	対象疾患を説明できる。一連の流れを説明できる		1.5 時間
3	講義内容	リハビリテーション看護における評価			
	該当する到達目標	予習	テキストの 64-91 を読む		1.5 時間
	2	復習	評価が実施できる		1.5 時間
4	講義内容	リハビリテーション看護の基礎知識			
	該当する到達目標	予習	テキスト 94-182 を読む		1.5 時間
		復習	リハビリテーション看護に必要な知識を確認する		1.5 時間
5	講義内容	脳血管障害患者のリハビリテーション看護			
	該当する到達目標	予習	テキストの 185-202 を読む		1.5 時間
		復習	脳血管障害のリハビリテーション看護を理解する		1.5 時間
6	講義内容	整形外科疾患患者のリハビリテーション看護			
	該当する到達目標	予習	テキストの 203-230.265-284 を読む		1.5 時間
		復習	整形外科疾患のリハビリテーションを理解する		1.5 時間
7	講義内容	呼吸器患者のリハビリテーション看護			
	該当する到達目標	予習	テキストの 247-265 を読む		1.5 時間
		復習	呼吸器患者のリハビリテーション看護を理解する		1.5 時間
8	講義内容	嚥下障害患者のリハビリテーション看護			
	該当する到達目標	予習	テキストの 99-110.配布資料を読む		1.5 時間
		復習	嚥下障害疾患のリハビリテーションを理解する		1.5 時間
備考	オフィスアワー: 在室時はいつでも質問を受ける。 研究室: 5 号館5階 503(浅香) <a href="mailto:asaka@takasaki-u.ac.jp">アドレス asaka@takasaki-u.ac.jp</a>				

5号館5階502研究室(千木良) [アドレス chigira@takasaki-u.ac.jp](mailto:chigira@takasaki-u.ac.jp)

3号館2階 大野研究室 アドレス ohno@takasaki-u.ac.jp

科目名	臨床医学Ⅰ(内科学・外科学)(看護基盤科目群・健康)			NRB108	講義
担当教員	田中聡一				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	医学知識・技術はすべての医療・介護・福祉・保健分野で必須のものであり、年々その比重は高まっている。本講義では人間の健康と病気に関する勉強の基礎となるものを学び、将来医療・介護・福祉・保健分野で活躍できる知識・技術を習得する。				
到達目標	1. 人間の解剖、生理を説明できる。 2. 疾患の概要(原因、疫学、症状、検査、治療)を説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、授業参加・貢献度 30%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	その日行った授業についての質問事項を紙面にて受ける。次の授業時間でその解説を毎回行う。定期テスト問題を持ち帰ってもらい、原則得点公開をし、自己学習を促す。				
使用教材	教科書「臨床病態学」第2版(1巻、2巻、3巻) 北村聖総編集(ヌーヴェルヒロカワ)ISBN 978-4-86174-049-7 使用教科書と同じものに、ラインやポイントをすでに書き込んだpdfファイルを配付				
1	講義内容	脳血管障害			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、脳血管障害に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
2	講義内容	神経系感染症、脱髄性疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、神経系感染症、脱髄性疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
3	講義内容	神経変性症、筋萎縮性側索硬化症			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、神経変性症、筋萎縮性側索硬化症に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
4	講義内容	末梢神経疾患、筋疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、末梢神経疾患、筋疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間

5	講義内容	呼吸器感染症			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、呼吸器感染症に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
6	講義内容	呼吸器アレルギー性疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、呼吸器アレルギー性疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
7	講義内容	呼吸器閉塞性疾患、拘束性疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、呼吸器閉塞性疾患、拘束性疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
8	講義内容	肺循環障害、換気異常			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、肺循環障害、換気異常に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
9	講義内容	肺癌、胸腔疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、肺癌、胸腔疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
10	講義内容	先天性心疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、先天性心疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
11	講義内容	虚血性心疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、虚血性心疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
12	講義内容	弁膜症			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、弁膜症に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間

13	講義内容	心筋症、肺性心			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、心筋症、肺性心に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
14	講義内容	心不全、血圧異常			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、心不全、血圧異常に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
15	講義内容	上室性不整脈			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、上室性不整脈に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
16	講義内容	心室性不整脈			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、心室性不整脈に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
17	講義内容	血管性疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、血管性疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
18	講義内容	赤血球異常症(貧血、多血症)			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、赤血球異常症(貧血、多血症)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
19	講義内容	白血球異常症(白血病)			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、白血球異常症(白血病)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
20	講義内容	白血球異常症(リンパ腫、多発性骨髄腫)			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、白血球異常症(リンパ腫、多発性骨髄腫)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間

21	講義内容	出血性疾患(血小板系、凝固系)			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、出血性疾患(血小板系、凝固系)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
22	講義内容	食道疾患、胃疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、食道疾患、胃疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
23	講義内容	十二指腸疾患、小腸疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、十二指腸疾患、小腸疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
24	講義内容	大腸疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、大腸疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
25	講義内容	肝炎、代謝系肝疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、肝炎、代謝系肝疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
26	講義内容	肝硬変、肝癌			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、肝硬変、肝癌に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
27	講義内容	胆道系疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、胆道系疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
28	講義内容	脾疾患			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、脾疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間

29	講義内容	急性腎不全、慢性腎不全			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、急性腎不全、慢性腎不全に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
30	講義内容	腎炎、ネフローゼ症候群			
	該当する到達目標	1, 2	予習	既に配付してある、腎炎、ネフローゼ症候群に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜 3-4 限            質問はメールでも受け付ける            メールアドレス stanaka@takasaki-u.ac.jp            研究室 5 号館 6 階 602 研究室            予習・復習については、試験前の学習で補完すること</p>				

科目名	臨床医学Ⅱ(内科学・外科学)(看護基盤科目群・健康)			NRB209	講義
担当教員	田中聡一				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	医学知識・技術はすべての医療・介護・福祉・保健分野で必須のものであり、年々その比重は高まっている。本講義では人間の健康と病気に関する勉強の基礎となるものを学び、将来医療・介護・福祉・保健分野で活躍できる知識・技術を習得する。				
到達目標	1. 人間の解剖、生理を説明できる。 2. 疾患の概要(原因、疫学、症状、検査、治療)を説明できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 85%、授業参加・貢献度 15%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	その日行った授業についての質問事項を紙面にて受ける。次の授業時間でその解説を毎回行う。 定期テスト問題を持ち帰ってもらい、原則得点公開をし、自己学習を促す。				
使用教材	教科書「臨床病態学」第2版(1巻、2巻、3巻) 北村聖総編集(ヌーヴェルヒロカワ)ISBN 978-4-86174-049-7 使用教科書と同じものに、ラインやポイントをすでに書き込んだ pdf ファイルを配付				
1	講義内容	内分泌疾患(内分泌器官と生理学的働き)			
	該当する到達目標 1, 2	予習	既に配付してある、内分泌疾患(内分泌器官と生理学的働き)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。		1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。		1 時間
2	講義内容	内分泌疾患(視床下部・下垂体系)			
	該当する到達目標 1, 2	予習	既に配付してある、内分泌疾患(視床下部・下垂体系)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。		1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。		1 時間
3	講義内容	内分泌疾患(甲状腺・副甲状腺)			
	該当する到達目標 1, 2	予習	既に配付してある、内分泌疾患(甲状腺・副甲状腺)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。		1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。		1 時間
4	講義内容	内分泌疾患(副腎疾患)			
	該当する到達目標 1, 2	予習	既に配付してある、内分泌疾患(副腎疾患)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。		1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。		1 時間

5	講義内容	内分泌疾患(性腺疾患)		
	該当する到達目標 1, 2	予習	既に配付してある、内分泌疾患(性腺疾患)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
6	講義内容	代謝疾患(糖代謝異常症)		
	該当する到達目標 1, 2	予習	既に配付してある、代謝疾患(糖代謝異常症)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
7	講義内容	代謝疾患(脂質代謝異常症、栄養異常、痛風)		
	該当する到達目標 1, 2	予習	既に配付してある、代謝疾患(脂質代謝異常症、栄養異常、痛風)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
8	講義内容	感染症(ウイルス感染症)		
	該当する到達目標 1, 2	予習	既に配付してある、感染症(ウイルス感染症)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
9	講義内容	感染症(細菌感染症)		
	該当する到達目標 1, 2	予習	既に配付してある、感染症(細菌感染症)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
10	講義内容	感染症(真菌感染症、原虫感染症、寄生虫感染症)		
	該当する到達目標 1, 2	予習	既に配付してある、感染症(真菌感染症、原虫感染症、寄生虫感染症)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
11	講義内容	感覚系疾患(皮膚疾患)		
	該当する到達目標 1, 2	予習	既に配付してある、感覚系疾患(皮膚疾患)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間

12	講義内容	感覚系疾患(眼疾患)		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、感覚系疾患(眼疾患)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
13	講義内容	感覚系疾患(耳疾患、鼻疾患)		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、感覚系疾患(耳疾患、鼻疾患)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
14	講義内容	泌尿器・生殖器疾患		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、泌尿器・生殖器疾患に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
15	講義内容	歯科・口腔系疾患(う歯、歯周病)		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、歯科・口腔系疾患(う歯、歯周病)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜 3-4 限            質問はメールでも受け付ける            メールアドレス stanaka@takasaki-u.ac.jp            研究室 5号館 6階 602 研究室            予習・復習については、試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	臨床医学Ⅲ(老年医学)(看護基盤科目群・健康)			NRB210	講義
担当教員	田中聡一				
学年・開講期	2年 前期	必選・単位数	必修 1単位		
講義目標	医学知識・技術はすべての医療・介護・福祉・保健分野で必須のものである。特に高齢社会に突入した日本では、ますます高齢者に対する医学知識・技術は重要性を増している。本講義では高齢者の健康と病気に関する勉強の基礎となるものを学び、将来医療・介護・福祉・保健分野で活躍できる知識・技術を習得する。				
到達目標	1. 高齢者の解剖、生理学的特徴を説明できる。 2. 高齢者に多い疾患の概要(原因、疫学、症状、検査、治療)を説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 85%、授業参加・貢献度 15%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	その日行った授業についての質問事項を紙面にて受ける。次の授業時間でその解説を毎回行う。定期テスト問題を持ち帰ってもらい、原則得点公開をし、自己学習を促す。				
使用教材	教科書「老年看護 病態・疾患論」佐々木英忠編(医学書院) ISBN978-4-260-01804-3				
1	講義内容	高齢者の生理学的特徴(認知機能、知覚機能)			
	該当する到達目標	1	予習	既に配付してある、高齢者の生理学的特徴(認知機能、知覚機能)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
2	講義内容	高齢者の生理学的特徴(呼吸機能、循環機能)			
	該当する到達目標	1	予習	既に配付してある、高齢者の生理学的特徴(呼吸機能、循環機能)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
3	講義内容	高齢者の生理学的特徴(代謝機能、排泄機能)			
	該当する到達目標	1	予習	既に配付してある、高齢者の生理学的特徴(代謝機能、排泄機能)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
4	講義内容	高齢者の生理学的特徴(免疫機能、性機能)			
	該当する到達目標	1	予習	既に配付してある、高齢者の生理学的特徴(免疫機能、性機能)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間

5	講義内容	高齢者の生理学的特徴(運動機能)		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、高齢者の生理学的特徴(運動機能)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
6	講義内容	老年症候群(意識障害、せん妄、睡眠障害、抑うつ)		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、老年症候群(意識障害、せん妄、睡眠障害、抑うつ)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
7	講義内容	老年症候群(熱中症、脱水症、発熱)		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、老年症候群(熱中症、脱水症、発熱)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
8	講義内容	老年症候群(腰背痛、膝痛、転倒、骨折)		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、老年症候群(腰背痛、膝痛、転倒、骨折)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
9	講義内容	老年症候群(排尿障害、便秘)		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、老年症候群(排尿障害、便秘)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
10	講義内容	認知症(総論)		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、認知症(総論)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間
11	講義内容	認知症(アルツハイマー病)		
	該当する到達目標	予習	既に配付してある、認知症(アルツハイマー病)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。	1.5 時間
		復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。	1 時間

12	講義内容	認知症(脳血管性認知症、レビー小体病、前頭側頭型認知症、クロイツフェルト・ヤコブ病)		
	該当する到達目標	2	予習	既に配付してある、認知症(脳血管性認知症、レビー小体病、前頭側頭型認知症、クロイツフェルト・ヤコブ病)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。
				1.5 時間
13	講義内容	治療可能な認知症(水頭症、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍)		
	該当する到達目標	2	予習	既に配付してある、治療可能な認知症(水頭症、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍)に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。
				1.5 時間
14	講義内容	パーキンソン病、うつ病		
	該当する到達目標	2	予習	既に配付してある、パーキンソン病、うつ病に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。
				1.5 時間
15	講義内容	高齢者と薬物		
	該当する到達目標	1	予習	既に配付してある、高齢者と薬物に関する pdf 教材をみて、そのラインやポイントを、自分が持っている教科書にあらかじめ書き込んでおき授業に臨む。
			復習	pdf 教材以外に授業で板書したこと、口頭で伝えたことをさらに教科書に書き込み、その日の授業の理解を深める。
				1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜 3-4 限</p> <p>質問はメールでも受け付ける</p> <p>メールアドレス stanaka@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室 5号館 6階 602 研究室</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	臨床医学Ⅳ(小児科学)(看護基盤科目群・健康)			NRB211	講義
担当教員	鈴木 隆				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	子どもの疾病についての医学的知識の習得を目的とし、病因・病態・診断・検査・治療等について理解する。				
到達目標	小児に特有な疾患と病態を理解する。②診断に必要な所見・検査を理解する。③主な治療法について理解する。④健康障害をもつ子どもとその家族の生活・療養援助について学ぶ。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	レポート30% 期末試験70%				
課題に対する フィードバック	レポートにコメントをつけて返却する。				
使用教材	小児臨床看護各論 医学書院				
1	講義内容	人はなぜ病気になるのか、子どもの体と病気の全体像、染色体異常:ダウ症候群			
	該当する到達目標	予習	進化医学、子どもとメディアについて調べておく。教科書第1章を読んでおく		3時間
		復習	講義資料の重要項目をまとめておく		1時間
2	講義内容	先天性代謝異常・内分泌疾患:糖尿病、下垂体疾患、甲状腺疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書第3章、第4章を読んでおく		1.5時間
		復習	講義資料の重要項目をまとめておく		1.5時間
3	講義内容	アレルギー疾患・免疫疾患・リウマチ性疾患:食物アレルギー、喘息、免疫不全、若年性特発性関節炎			
	該当する到達目標	予習	教科書第5章を読んでおく		1.5時間
		復習	講義資料の重要項目をまとめておく		1.5時間
4	講義内容	感染症 1 ウイルス感染症:インフルエンザ、ムンプス、水痘、風疹、麻疹、ヘルペス属ウイルス			
	該当する到達目標	予習	教科書第6章のB②まで読んでおく		1.5時間
		復習	講義資料の重要項目をまとめておく		1.5時間
5	講義内容	感染症 2 細菌感染症:肺炎球菌、ヒブ、溶連菌、ブドウ球菌			
	該当する到達目標	予習	教科書第6章のB③以降を読んでおく		1.5時間
		復習	講義資料の重要項目をまとめておく		1.5時間
6	講義内容	呼吸器疾患:喉頭炎、気管支炎、肺炎			
	該当する到達目標	予習	教科書第7章を読んでおく		1.5時間
		復習	講義資料の重要項目をまとめておく		1.5時間
7	講義内容	循環器疾患:先天性心疾患、不整脈、心筋疾患、学校心臓健診			
	該当する到達目標	予習	教科書第8章を読んでおく		1.5時間
		復習	講義資料の重要項目をまとめておく		1.5時間
8	講義内容	消化器疾患:先天異常、胃腸炎、肝炎、腸重積、虫垂炎、炎症性腸疾患			
	該当する到達目標	予習	教科書第9章を読んでおく		1.5時間
		復習	講義資料の重要項目をまとめておく		1.5時間
9	講義内容	川崎病:歴史、原因、症状、合併症、検査、治療 についてのレポート発表会			
	該当する到達目標	予習	教科書第8章B③を読んでおく		1時間
		復習	配布された発表レポートを読んでおく		3時間
10	講義内容	血液疾患・悪性新生物:貧血、出血性疾患、白血病、脳腫瘍、胎児性腫瘍			

	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章、11 章を読んでおく	1.5 時間
		復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
11	講義内容	腎泌尿器疾患・皮膚疾患: 尿路奇形、腎炎、ネフローゼ、母斑、湿疹		
	該当する到達目標	予習	教科書第 12 章、15 章を読んでおく	1.5 時間
		復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
12	講義内容	新生児期の疾患・神経疾患: 低出生体重児、新生児黄疸、てんかん、脳性マヒ、脳炎		
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章、第 13 章を読んでおく	1.5 時間
		復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
13	講義内容	耳鼻咽喉疾患・眼疾患・精神疾患: 中耳炎、副鼻腔炎、斜視、結膜炎、発達障害、PTSD		
	該当する到達目標	予習	教科書第 16 章、17 章、18 章を読んでおく	1.5 時間
		復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
14	講義内容	運動器疾患・事故: 先天性股関節脱臼、窒息、交通事故、頭部外傷、誤飲、熱中症		
	該当する到達目標	予習	教科書第 14 章、19 章を読んでおく	1.5 時間
		復習	講義資料の重要項目をまとめておく	1.5 時間
15	講義内容	総まとめ		
	該当する到達目標	予習	1～14回の講義の重要事項をまとめておく	6 時間
		復習		
備考				

科目名	臨床医学V(女性医学)(看護基盤科目群・健康)			NRB212	講義
担当教員	竹中恒久				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	周産期にある経過を理解し、異常な状態や疾患について知識を習得する。 また女性性器におこる疾患についても理解する。				
到達目標	(1) 妊娠、分娩、産褥の生理を理解する (2) 妊娠、分娩、産褥の病理を理解する (3) 出生前診断、不妊症を理解する (4) 女性生殖器の解剖・生理・病態生理を理解する (5) 女性生殖器の診察・検査と治療・処置を理解する (6) 女性生殖器の疾患を理解する				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験				
課題に対する フィードバック	試験の問題文の最後に、その問題に該当するプリントあるいは教科書のページを記載し試験後の学習をやりやすくする。				
使用教材	母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院 成人看護学[9] 女性生殖器 医学書院				
1	講義内容	妊娠の生理① 妊娠の成立、胎児の発育と生理			
	該当する到達目標	予習	教科書2冊のはしがきを読んでおいてください。		0.5時間
	(1)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。		0.5時間
2	講義内容	妊娠の生理② 妊婦と胎児のアセスメント			
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。		0.5時間
	(1)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。		0.5時間
3	講義内容	分娩の生理① 分娩の要素			
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。		0.5時間
	(1)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。		0.5時間
4	講義内容	分娩の生理②産褥の生理 分娩の経過、産褥期の身体的変化			
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。		0.5時間
	(1)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。		0.5時間
5	講義内容	妊娠の異常① ハイリスク妊娠、妊娠期の感染症			
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。		0.5時間
	(2)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。		0.5時間
6	講義内容	妊娠の異常② 妊娠疾患、多胎妊娠、流産、早産、異所性妊娠			
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。		0.5時間
	(2)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。		0.5時間
7	講義内容	分娩の異常① 産道の異常、娩出力の異常、胎位の異常			
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。		0.5時間
	(2)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。		0.5時間
8	講義内容	分娩の異常② 前置胎盤、常位胎盤早期剥離			

	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	(2)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
9	講義内容	分娩の異常③ 分娩時損傷、産科処置と産科手術		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	(2)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
10	講義内容	産褥の異常、新生児の異常 子宮復古不全、新生児仮死、分娩外傷、低出生体重児		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	(2)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
11	講義内容	出生前診断と不妊治療 出生前診断、不妊症の診断治療		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	(3)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
12	講義内容	女性生殖器の構造と疾患① 女性生殖器の構造と機能、症状と病態生理		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	(4)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
13	講義内容	女性生殖器の構造と疾患② 診察・検査と治療・処置		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	(5)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
14	講義内容	女性生殖器の構造と疾患③ 疾患の理解①		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	(6)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
15	講義内容	女性生殖器の構造と疾患④ 疾患の理解②		
	該当する到達目標	予習	配布プリントの講義該当部分を通読する。	0.5 時間
	(6)	復習	教科書の講義内容相当部分を熟読する。	0.5 時間
備考				

科目名	臨床医学VI(精神医学)(看護基盤科目群・健康)			NRB213	講義
担当教員	上原 徹				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	学生が、医療専門職である看護師・保健師・理学療法士として必要となる、精神医学に関する基本的な知識を身につけることができる。精神医療全般についての初級知識を習得し、その視点を生かした援助方法を、自ら考えるきっかけをつかむことができる。				
到達目標	1.精神疾患や心理社会的問題の概要を説明できる 2.こころの健康を保つための基本を解説できる 3.精神障害を援助するために必要な知識を整理できる 4.精神医療における治療法や支援策を解説できる 5.精神保健の現状と課題を理解できる				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	期末筆記試験80%、C ラーニングによる小テスト提出20%で評価するが、授業態度(静粛さや不必要な私語など)に問題がある場合は、個別に厳しく減点する。				
課題に対する フィードバック	専門職としての必要な知識をフィードバックする。必要に応じて、試験問題の解説を行う。				
使用教材	教科書は【専門医がやさしく語る はじめての精神医学】中山書店、渡辺著、改訂第2版を用いるので必携。適宜、DVDなどの視聴覚教材やOHP/スライド上映を加える。				
1	講義内容	精神医学や精神医療のイントロダクション			
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	0.5 時間	
	2,5	復習	資料を用いて自習する。	1 時間	
2	講義内容	定義と分類、面接と検査			
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間	
	1,2,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間	
3	講義内容	神経症とストレス関連疾患			
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間	
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間	
4	講義内容	統合失調症とは?			
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間	
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間	
5	講義内容	双極性障害(躁うつ病)とは?			
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間	
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間	
6	講義内容	外因性精神障害と認知症			
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間	
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間	
7	講義内容	アルコールや物質依存とは?			
	該当する到達目標	予習	特に関心あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1 時間	
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1 時間	

8	講義内容	症状精神病とリエゾン・心身症		
	該当する到達目標	予習	特に興味あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1時間
9	講義内容	PTSD 特論		
	該当する到達目標	予習	特に興味あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1時間
10	講義内容	児童青年期の精神疾患		
	該当する到達目標	予習	特に興味あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1時間
11	講義内容	てんかん、知的障害		
	該当する到達目標	予習	特に興味あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1時間
12	講義内容	睡眠障害など		
	該当する到達目標	予習	特に興味あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1時間
	1,3	復習	資料を用いて自習する。	1時間
13	講義内容	精神科の治療法や支援について		
	該当する到達目標	予習	特に興味あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1時間
	2,3,4	復習	資料を用いて自習する。	1時間
14	講義内容	リハビリテーションや心理社会アプローチ		
	該当する到達目標	予習	特に興味あるテーマについて、自主的に調査研究する。	1時間
	2,3,4	復習	資料を用いて自習する。	1時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	資料を用いて自習する。	2時間
	1,2,3,4,5	復習	試験問題を復習する。	1時間
備考	<p>複数の学科学生が多数で聴講するため、静粛に臨むこと。授業中の不必要な私語や不謹慎な態度は、厳に慎むこと(成績評価に影響する)。予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。</p> <p>オフィスアワー：月4 金3 研究室:1号館5階501</p>			

科目名	心の健康(看護基盤科目群・健康)			NRB109	講義
担当教員	田邊要補				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	学生が、心の健康の基礎を学ぶことで、臨床や対人支援の場面におけるクライアントの行動を理解し、メンタルヘルスについて考察することができる。				
到達目標	学生が、医療支援を受ける人の心理や行動を理解し、対人支援のための姿勢を身につけ、他職種と機能的に連携するための基本を学ぶこと。				
学位授与方針との対応	✓	1.人間理解と倫理観			
	✓	2.論理的思考・問題解決力			
		3.チームの一員としての協調・協働			
		4.国際理解			
		5.生涯学習力			
評価方法	筆記試験 80%、授業参加度 20%で算出し、60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	独自に作成した出席カードに書かれた質問に対しては次の授業開始時に返答する。				
使用教材	教科書:看護学生のための心理学 —第2版— 配布資料。授業に関連した DVD。				
1	講義内容	こころの健康とは			
	該当する到達目標	予習	こころの健康について、自分の考えをまとめる。		1.5 時間
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
2	講義内容	ライフサイクルとメンタルヘルス 誕生から青年			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 A1～B4 に目を通す。		1.5 時間
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
3	講義内容	ライフサイクルとメンタルヘルス 成人から老年			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 C1～D4 に目を通す。		1.5 時間
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
4	講義内容	こころの SOS ① 様々なトラブルや心理的問題			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章 A1～A2・B1～B2 に目を通す。		1.5 時間
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
5	講義内容	こころの SOS ② 精神疾患について			
	該当する到達目標	予習	精神疾患について、自分の考えをまとめる。		1.5 時間
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
6	講義内容	こころのアセスメント 心理検査概論			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 C1～C4、第 8 章 E1～F8 に目を通す。		1.5 時間
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
7	講義内容	こころのサポート 心理社会的アプローチ			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 9 章 A・C1～C5・F1～G5 に目を通す。		1.5 時間
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
8	講義内容	まとめ			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 10 章 A1～B2 に目を通す。		1.5 時間
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
備考	オフィスアワー:火曜日 9:30～13:00 不在時はメール等で問い合わせのこと。Tanabe-y@takasaki-u.ac.jp				

教職必修科目

予習・復習については、試験前の学習で補完すること。

科目名	リラクセーション概論(看護基盤科目群・健康)			NRB110	講義
担当教員	小野寺 由美子				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	心身の健康の維持・増進のための一方法であるリラクセーションについて、講義と実習を通して学ぶ。ストレスによって生じた「筋肉の緊張」をほぐしリラクセーションを体験することで、身体と精神の関係を理解する。また、自己洞察力を深めて感受性を高めることで、将来支援する立場となった時、対象者との人間関係の形成に役立てることをねらいとする。				
到達目標	1. ストレスと身体症状の関係を理解する 2. 心と身体を理解する 3. 身体の緊張のほぐし方を理解する 4. 身体への関わり方と他者との関係を理解する				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	セルフチェック課題(4回)20%、レポート(1回)80%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	セルフチェック課題の実施後に、質疑応答によって理解を深める。				
使用教材	講義のスライドを随時プリントして配付する。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する		1.5 時間
2	講義内容	ストレスと身体症状			
	該当する到達目標	予習	自分のストレスと身体症状との関連を考える		1 時間
		1.	復習	ストレスとは何か、ストレスと身体症状との関連について理解する	
3	講義内容	心と身体の関係			
	該当する到達目標	予習	これまでの自分の体験を通して、心と身体の関係について考える		1 時間
		3.	復習	心と身体の関係について理解する	
4	講義内容	リラクセーションの種類と効果			
	該当する到達目標	予習	リラクセーションの種類とリラクセーション反応について調べる		1 時間
		2.	復習	自分のリラクセーション法を考える	
5	講義内容	身体の緊張のほぐし方			
	該当する到達目標	予習	自分が緊張した時の状態について考える		1 時間
		3.	復習	身体の緊張をほぐしてみる	
6	講義内容	身体への関わり方と他者との関係			
	該当する到達目標	予習	他者に触れる際の留意点を考える		1 時間
		4.	復習	身体への関わり方と他者との関係について理解する	
7	講義内容	リラクセーション技法の習得①			
	該当する到達目標	予習	骨格の繋がりについて調べる		1 時間
		2.3.4.	復習	自分でできるリラクセーションを実践する	
8	講義内容	リラクセーション技法の習得②			

	該当する到達目標	予習	呼吸法について調べる	1 時間
	2.3.4.	復習	家族、友人などへのリラクゼーションを実践する	1.5 時間
備考	講義と合わせ、体育館でリラクゼーションの体験学習を実施する 体育館での授業は、ヨガマットやバスタオルなどの敷物を準備すること 予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。			

科目名	看護学原論(看護専門科目群・専門分野 I・基礎看護学)			NRS110	講義
担当教員	武田貴美子、箕輪千佳				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	看護実践とは何か、看護学とは何かへの問いに対して、多角的視点から学び、看護における対象の理解および看護専門職としての課題と方向性を探求する。また、看護学を構築する上での方向性と課題を探求する。				
到達目標	1.看護実践におけるケアリングについて理解できる。 2.健康・生活・QOLについて理解できる。 3.看護の専門性および専門職として役割について理解できる。 4.自分なりに看護・看護学について考察できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	グループワークのまとめ 30%、レポート 70% 遅刻、欠席、事前準備不足 1回につき-5点				
課題に対する フィードバック	講義で作成したレポートは、担当教員からのコメントを付して返却する。				
使用教材	教材:配布資料 使用教科書:菱沼典子、井上智子、武田利明 編、看護の原理、2009年、ライフサポート社				
1	講義内容	オリエンテーション、看護とは			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読み、講義目標および到達目標を理解する。		1.5時間
	3	復習	講義内容を振り返り、看護に関する理解を深める。		1.5時間
2	講義内容	看護の定義・看護の対象			
	該当する到達目標	予習	テキストの第2部 第1章 第1節(p84~92)を読む。		2時間
	3	復習	講義内容を振り返り、看護の定義・看護の対象に関する理解を深める。		1時間
3	講義内容	看護理論：ナイチンゲール			
	該当する到達目標	予習	テキストの第1部 第1章 第3~4節(p25~29)を読む。		1.5時間
	2,3	復習	講義内容を振り返り、ナイチンゲールの看護論に関する理解を深める。		1.5時間
4	講義内容	看護理論：ヘンダーソン			
	該当する到達目標	予習	テキストの第1部 第1章 第1~2節(p19~24)を読む。		1.5時間
	2,3	復習	講義内容を振り返り、ヘンダーソンのニード論に関する理解を深める。		1.5時間
5	講義内容	看護とナラティブ			
	該当する到達目標	予習	看護場面のナラティブに関する配布資料を読む。		1.5時間
	1	復習	講義内容を振り返り、看護におけるナラティブに関する理解を深める。		1.5時間
6	講義内容	病いの体験（グループワーク）			
	該当する到達目標	予習	闘病記を読み、患者にとっての病いの体験についてまとめる。		2時間
	1,2,3,4	復習	グループで患者にとっての病いの体験についてまとめる。		1時間
7	講義内容	病いの体験（グループ発表 / 質疑応答）			
	該当する到達目標	予習	グループで患者にとっての病いの体験についてまとめる。		2時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、病いの体験に関する理解を深める。		1時間
8	講義内容	看護実践の体験（グループワーク）			

	該当する到達目標	予習	看護場面に関する資料を読み、看護者にとっての看護実践の体験をまとめる。	2時間
	1,2,3,4	復習	グループで看護者にとっての看護実践の体験をまとめる。	1時間
9	講義内容	看護実践の体験（グループ発表 / 質疑応答）		
	該当する到達目標	予習	グループで看護者にとっての看護実践の体験をまとめる。	2時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、看護実践の体験に関する理解を深める。	1時間
10	講義内容	援助関係		
	該当する到達目標	予習	テキストの第1部 第5章 第1節(p66～72)を読む。	2時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、援助関係に関する理解を深める。	1時間
11	講義内容	看護ケア・ケアリング		
	該当する到達目標	予習	テキストの第2部 第4章 第1～7節(p146～170)を読む。	2時間
	1,3	復習	講義内容を振り返り、看護ケア・ケアリングに関する理解を深める。	1時間
12	講義内容	看護過程		
	該当する到達目標	予習	テキストの第3部 はじめに (p206～211)を読む。	1.5時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、看護過程に関する理解を深める。	1.5時間
13	講義内容	看護研究		
	該当する到達目標	予習	テキストの第5部 第1章 第1～6節(p146～170)を読む。	2時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、看護研究に関する理解を深める。	1時間
14	講義内容	看護実践と倫理（講義 / グループワーク）		
	該当する到達目標	予習	事例を読み、倫理的視点からの問題点を考える。	2時間
	1,2,3,4	復習	グループで事例における倫理的問題と対応について考える。	1時間
15	講義内容	看護実践と倫理（グループ発表 / 質疑応答）		
	該当する到達目標	予習	グループで事例における倫理的問題と対応について考える。	2時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、看護実践と倫理に関する理解を深める。	1時間
備考	<p>メールアドレス : <a href="mailto:takeda@takasaki-u.ac.jp">takeda@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>オフィスアワー : 武田(月2,3時限目)</p> <p>個人ワークをもとにグループワークを行うため、事前課題と提示された個人ワークは必ず取り組むこと。</p>			

科目名	人間関係形成論（看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学）			NRS111	講義
担当教員	池田優子 野本悦子 安野朝子				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	人は一人では生きられない。他者と何らかの形で関わりながら、その中でつまずき・成長する。特に対人援助職である看護師を目指す者にとって、人間関係を円滑にできる能力は不可欠である。ここでは、体験学習を通して、人間関係を円滑に進める技術について理解し、人間関係を形成していく方法を学ぶ。				
到達目標	1. 「人間関係とは何か」を知り、自己理解と他者理解を深める。 2. 人間関係の基本であるコミュニケーションの方法を学ぶ。 3. 他者との円滑な人間関係の形成の方法を学ぶ。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	1. 毎回の感想レポートの提出と授業・演習への参加度で40%。 2. 学んだスキル会話場面に関する考察レポートの提出で60%とします。				
課題に対するフィードバック	毎回、講義・演習の感想や質問を書かせ、次の授業でコメントを返し、質問への解説を行う理解できたか学生に確認し、新たな課題や質問が出された場合、その都度回答する				
使用教材	「人間関係トレーニングー私を育てる教育への人間学的アプローチ」津村俊充・山口真人編 ナカニシヤ出版				
1	講義内容	自己理解 who am I 自己の性格行動特性			
	該当する到達目標 1	予習	テキストの1章を読んでくる	1.5時間	
		復習	自分の性格行動特性の結果について整理し、理解を深める	1.5時間	
2	講義内容	体育館での演習「こんにちははよろしく」「他己紹介」「私の夢」			
	該当する到達目標 1	予習	自分の夢や目標について考えてくる	1.5時間	
		復習	皆の夢や目標を分かち合い、人間関係づくりに生かす道筋を考える	1.5時間	
3	講義内容	体育館での演習「私の好きなもの」「私のあこがれるもの」違いを豊かさに			
	該当する到達目標 1	予習	自分が大切にしているものや関心のあるものを考えてくる	1.5時間	
		復習	同じ関心でも、それぞれ違うことを理解し、共有化する方策を考える	1.5時間	
4	講義内容	価値の多様性に気づく「クルーザー物語」演習			
	該当する到達目標 1	予習	テキストの2章を読んでくる	1.5時間	
		復習	違う価値観の人たちを受け入れ、更に理解して共有化することの意義を考察する	1.5時間	
5	講義内容	自己概念と「ジョハリの窓」自己イメージと他者イメージ「動物イメージ」演習			
	該当する到達目標 1	予習	テキストの10章を読んでくる	1.5時間	
		復習	自己概念の理解と他者からのフィードバックによる自己イメージの変化を考える	1.5時間	
6	講義内容	「自分が今までに出会った人々」			
	該当する到達目標 1	予習	生まれたときから、思春期・青年期までの自分を振り返り、自分が何をして他者から何をしてもらったか考えてくる	1.5時間	
		復習	エクササイズをして気づいたことを整理する	1.5時間	
7	講義内容	コミュニケーションとは「一方向と双方向のコミュニケーション」演習			
	該当する到達目標 1,2	予習	テキストの第4章を読んでくる	1.5時間	
		復習	エクササイズを通して、人間の思い込みとコミュニケーションスタイルとの関係を整理する	1.5時間	

	講義内容	話す・聞く		
8	該当する到達目標	予習	テキストの5章を読んでくる	1.5時間
	1,2	復習	話す・聞く役割のロールプレイをして、自分の傾向について考え整理する	1.5時間
	講義内容	日常の人間関係で困った場面		
9	該当する到達目標	予習	人間関係でうまくコミュニケーションが取れないのはどのような時か考える	1.5時間
	1,2	復習	自分が日常の人間関係で困った場面について、1コマ漫画で描いてくる	1.5時間
	講義内容	アサーティブの4つの柱「アサーティブトレーニング」		
10	該当する到達目標	予習	困った場面で自分の思いを伝えられない時、何が邪魔をしているか考える	1.5時間
	1,2	復習	アサーティブトレーニングを実施し、何が難しかったのか整理する	1.5時間
	講義内容	リーダーシップとフォロワーシップ(GW)		
11	該当する到達目標	予習	リーダーシップについての考え方について本やインターネットで調べてくる	1.5時間
	1,2,3	復習	演習をしてみて、感じた自分のリーダーシップの傾向について整理する	1.5時間
	講義内容	グループにおける感情表出(GW)		
12	該当する到達目標	予習	11回で実施した演習の中で感じた自分の気持や感情について考えてくる	1.5時間
	1,2,3	復習	グループワークで体験した、初期の感情や最終の感情について整理する	1.5時間
	講義内容	正解のあるコンセンサス学習 非言語による演習「協力ゲーム」		
13	該当する到達目標	予習	グループダイナミクスについて、本やインターネット等で調べてくる	1.5時間
	1,2,3	復習	言葉を使わないで一つのものを作り、協力し合うためには何が必要か整理する	1.5時間
	講義内容	正解のあるコンセンサス学習 言語を使う演習「匠の里」		
14	該当する到達目標	予習	周りに自分の思っていることや考えを伝えようとするとき、何が壁になるか考える	1.5時間
	1,2,3	復習	演習を通し、言葉を使って共通理解し合うために必要なものは何か考える	1.5時間
	講義内容	支え合う 伝え合う 分かち合う 人間関係を作る(GW)		
15	該当する到達目標	予習	GWを通して、それぞれの考えや思いをどこまでわかったか、考える	1.5時間
	1,2,3	復習	皆の考えや気持ちを分かち合い、人間関係がどのように変化したか整理する	1.5時間
備考	<p>担当教員連絡先: 池田優子 Eメールアドレス yikedada@takasaki-u.ac.jp</p> <p>オフィスアワー: 月曜日3-5限 木曜日1-2限</p> <p>教員からのメッセージ:</p> <p>この科目は人間関係づくりのための体験学習を中心としています。アクティブ・ラーニングを通して気づきを深めつつ、豊かな人間関係を創りあげられるよう、楽しみつつ学びを深めてください</p>			

科目名	フィジカルアセスメント(看護専門科目群専門分野Ⅰ・基礎看護学)			NRS112	講義
担当教員	鈴木 忠				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	対象の身体的な健康状態を観察・評価することをフィジカルアセスメントという。問診に加え頭から爪先まで、身体の部位や器官系ごとに、視診、触診、打診、聴診の4つの技術を使用して実施する。この講義では、専門職として必要なフィジカルアセスメントに関する基礎的知識を理解し説明できるようにする。さらに、身体的な健康状態を実際に観察・評価できるようにする。				
到達目標	正しく身体状況を評価するために、情報収集するためのフィジカルアセスメントの知識と技術を習得できる。 1.全身状態を観察・評価する知識を習得できる。 2.局所所見を観察・評価する知識を習得できる。 3.全身から局所まで一連に観察・評価する主要項目を理解できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	レポート 30%参加度状況 30%態度および試験による総合評価 40%				
課題に対する フィードバック	レポートにはコメントをつけ返却する。				
使用教材	教科書「写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント…アドバンス…」森田美奈子監修(インターメディカ)				
1	講義内容	フィジカルアセスメント入門			
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。		1.0時間
	1.2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。		1.5時間
2	講義内容	バイタルサイン (1)呼吸、脈拍、体温			
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。		1.0時間
	1	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。		1.5時間
3	講義内容	バイタルサイン (2)血圧測定			
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。		1.0時間
	1	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。		1.5時間
4	講義内容	顔面の診察			
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。		1.0時間
	1.2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。		1.5時間
5	講義内容	頭頸部の診察			
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。		1.0時間
	1.2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。		1.5時間
6	講義内容	胸部の診察 (1)呼吸器系			
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。		1.0時間
	1.2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。		1.5時間
7	講義内容	胸部の診察 (2)循環器系			
	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。		1.0時間
	1.2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。		1.5時間
8	講義内容	腹部の診察 (1)視診、聴診、打診			

	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。	1.0時間
	1.2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5時間
	講義内容	腹部の診察 (2)触診		
9	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。	1.0時間
	1.2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5時間
	講義内容	神経系の診察 (1)意識レベル、脳神経系		
10	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。	1.0時間
	1.2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5時間
	講義内容	神経系の診察 (2)体幹、四肢		
11	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。	1.0時間
	1.2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5時間
	講義内容	演習 (1)顔面、神経系		
12	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。	1.0時間
	1.2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5時間
	講義内容	演習 (2)頭頸部、胸部		
13	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。	1.0時間
	1.2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5時間
	講義内容	演習 (3)腹部		
14	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。	1.0時間
	1.2	復習	該当する身体所見・症状の原因となる解剖生理と病態生理を理解する。	1.5時間
	講義内容	まとめ		
15	該当する到達目標	予習	教科書に備わっているDVDをみて観察・評価の実際を学習する。	1.0時間
	1.2.3	復習	全身および局所の観察・評価を一連の流れでできるようにイメージングする。	1.5時間
備考	<p>講義中に2人1組になって実演する場面があるので、スムーズに実演できるよう心がけること。</p> <p>オフィスアワー: 月曜日 12:30~13:30 15:30~16:30 研究室 4号館2階学部長室</p> <p>メールアドレス <a href="mailto:suzuki-t@takasaki-u.ac.jp">suzuki-t@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	基礎看護技術 I (看護専門科目群・専門分野 I・基礎看護学)			NRS113	講義
担当教員	武田貴美子、箕輪千佳、今野康子				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 2 単位		
講義目標	人間の基本的ニーズを充足させるために、看護技術の原理・原則を学習し、基本的援助方法と態度を身につける。また、対象者の健康状態に応じた生活行動を援助するために、基礎看護学の知識を学び、科学的根拠を基とした看護援助方法の基礎看護技術を習得する。				
到達目標	1.看護技術における安全、安楽、コミュニケーション、エビデンスの重要性が理解できる。 2.日常生活援助技術の基本を習得できる。 3.対象の状況に合わせた日常生活援助の方法を考えることができる。 4.看護学生としての倫理的態度について理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験(40%)、看護技術チェック(60%)による総合評価 * 欠席は1回につき-3点、30分未満の遅刻は1回につき-2点、30分以上の遅刻は欠席扱いとする。 * 看護技術チェックにおいては100点満点中60点以上を合格とする。合格点に達しない場合は、再評価を受ける。ただし、再評価で合格点に達しない場合は、再評価での素点を評価対象の得点とする。				
課題に対するフィードバック	講義・演習で作成したレポートおよび看護技術チェックの評価表は、担当教員からのコメントを付して返却する。				
使用教材	使用教材: 配布資料 使用教科書: 香春知永他編, 看護学テキスト NICE 基礎看護技術 (改訂第2版), 南江堂				
1	講義内容	オリエンテーション 看護技術とは (講義)			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読み、講義目標および到達目標を理解する。		1 時間
	1	復習	講義内容を振り返り、看護技術に関する理解を深める。		1.5 時間
2	講義内容	感染予防技術: スタンダードプリコーション / 活動・休息援助技術: ポティメカニクス (講義)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第Ⅲ章 2-A (p87~89)、第Ⅳ章 2-A (p245~246)を読む。		1.5 時間
	1,2	復習	講義内容を振り返り、感染予防およびポティメカニクスに関する理解を深める。		1.5 時間
3	講義内容	感染予防技術: 手洗い (演習)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第Ⅲ章 2-B (p94~95)を読む。		1 時間
	1,2	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、適切な手洗いの練習をする。		2 時間
4	講義内容	環境調整技術: 病床環境とは / ベッドメイキング (講義)			
	該当する到達目標	予習	ベッドメイキングに関する事前課題レポートに取り組む。		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、病床環境に関する理解を深める。		1.5 時間
5	講義内容	環境調整技術: ベッドメイキング (演習)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第Ⅳ章 1-B (p233~236)を読み、看護ケアの流れをイメージする。		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基にベッドメイキングの方法の理解を深める。		1.5 時間
6	講義内容	環境調整技術: ベッドメイキング (演習)			
	該当する到達目標	予習	患者にとって快適なベッドを作成するための留意点について考える。		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポートを作成し、ベッドメイキングの練習をする。		1.5 時間
7	講義内容	活動・休息援助技術: 体位・体位変換 (講義)			

	該当する到達目標	予習	体位変換に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、安楽な体位・体位変換に関する理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	活動・休息援助技術：体位・体位変換（演習）		
	該当する到達目標	予習	Moodleで「演習：体位変換」を視聴し、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に体位変換の方法の理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	活動・休息援助技術：体位・体位変換（演習）		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽な体位変換を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポートを作成し、安楽な体位・体位変換の練習をする。	1.5 時間
10	講義内容	活動・休息援助技術：移乗・移送（講義）		
	該当する到達目標	予習	移乗・移送に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、移乗・移送に関する理解を深める。	1.5 時間
11	講義内容	活動・休息援助技術：移乗・移送（車イス）（演習）		
	該当する到達目標	予習	Moodleで「演習：車椅子移乗」を視聴し、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に車椅子移乗の方法の理解を深める。	1.5 時間
12	講義内容	活動・休息援助技術：移乗・移送（車イス）（演習）		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽な車椅子移乗を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポートを作成し、車椅子移乗の練習をする。	1.5 時間
13	講義内容	環境調整技術：リネン交換（講義）		
	該当する到達目標	予習	リネン交換に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、リネン交換に関する理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	環境調整技術：リネン交換（演習）		
	該当する到達目標	予習	教科書の第IV章 1-B (p237～238)を読み、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基にリネン交換の方法の理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	環境調整技術：リネン交換（演習）		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽なリネン交換を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポートを作成し、リネン交換の練習をする。	1.5 時間
16	講義内容	清潔・衣生活援助技術：更衣・身だしなみ（講義）		
	該当する到達目標	予習	寝衣交換に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、寝衣交換に関する理解を深める。	1.5 時間
17	講義内容	清潔・衣生活援助技術：寝衣交換（演習）		
	該当する到達目標	予習	Moodleで「演習：寝衣交換」を視聴し、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に寝衣交換の方法の理解を深める。	1.5 時間
18	講義内容	清潔・衣生活援助技術：寝衣交換（演習）		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽な寝衣交換を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポートを作成し、寝衣交換の練習をする。	1.5 時間
19	講義内容	清潔・衣生活援助技術：全身清拭（講義）		
	該当する到達目標	予習	全身清拭に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、清潔ケアに関する理解を深める。	1.5 時間
20	講義内容	清潔・衣生活援助技術：全身清拭（演習）		
	該当する到達目標	予習	Moodleで「演習：全身清拭」を視聴し、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に全身清拭の方法の理解を深める。	1.5 時間
21	講義内容	清潔・衣生活援助技術：全身清拭（演習）		
	該当する到達目標	予習	患者にとって安全で安楽な全身清拭を行うための留意点について考える。	1.5 時間

	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための課題を明確にする。	1.5時間
22	講義内容	清潔・衣生活援助技術：全身清拭（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための留意点について考える。	1.5時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための課題を明確にする。	1.5時間
23	講義内容	清潔・衣生活援助技術：全身清拭（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための留意点について考える。	1.5時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポートを作成し、全身清拭の練習をする。	1.5時間
24	講義内容	全身清拭に関するスキルアップ（演習）		
	該当する到達目標	予習	Moodleで「演習：全身清拭」を視聴し、看護ケアの流れをイメージする。全身清拭に関する自分の課題を明確にする。	1.5時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための工夫について考える。	1.5時間
25	講義内容	全身清拭に関するスキルアップ（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための課題を明確にする。	1.5時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための工夫について考える。	1.5時間
26	講義内容	全身清拭に関するスキルアップ（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための課題を明確にする。	1.5時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、全身清拭の練習をする。	1.5時間
27	講義内容	看護技術チェック：体位変換・寝衣交換・全身清拭		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、全身清拭の練習をする。	2時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、患者にとって安全で安楽な全身清拭を行うための留意点について考える	1時間
28	講義内容	看護技術チェック：体位変換・寝衣交換・全身清拭		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、全身清拭の練習をする。	2時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、患者にとって安全で安楽な全身清拭を行うための留意点について考える	1時間
29	講義内容	看護技術チェック：体位変換・寝衣交換・全身清拭		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、全身清拭の練習をする。	2時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、患者にとって安全で安楽な全身清拭を行うための留意点について考える。	1時間
30	講義内容	看護技術チェック：体位変換・寝衣交換・全身清拭		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、全身清拭の練習をする。	2時間
	1,2,3,4	復習	看護技術チェックの評価表をもとに、全身清拭の練習をする。	1時間
31	講義内容	清潔援助技術：洗髪（講義）		
	該当する到達目標	予習	洗髪に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、洗髪に関する理解を深める。	1.5時間
32	講義内容	清潔援助技術：洗髪（ケリーパッド/洗髪台・洗髪車）（演習）		
	該当する到達目標	予習	Moodleで「演習：洗髪（ケリーパッド・洗髪車）」を視聴し、看護ケアの流れをイメージする。	1.5時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に洗髪（ケリーパッド/洗髪台・洗髪車）方法の理解を深める。	1.5時間
33	講義内容	清潔援助技術：洗髪（ケリーパッド/洗髪台・洗髪車）（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、患者にとって安全で安楽な洗髪を行うための留意点について考	1.5時間

	1,2,3,4		える。	
		復習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための課題を明確にする。	1.5 時間
34	講義内容	清潔援助技術：洗髪(ケリーパッド/洗髪台・洗髪車) (演習)		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポートを作成し、洗髪の練習をする。	1.5 時間
35	講義内容	清潔援助技術：洗髪(ケリーパッド/洗髪台・洗髪車) (演習)		
	該当する到達目標	予習	チェックリストを基に洗髪(ケリーパッド/洗髪台・洗髪車)方法の理解を深める。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、患者にとって安全で安楽な洗髪を行うための留意点について考える。	1.5 時間
36	講義内容	清潔援助技術：洗髪(ケリーパッド/洗髪台・洗髪車) (演習)		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための課題を明確にする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための工夫について考える。	1.5 時間
37	講義内容	清潔援助技術：洗髪(ケリーパッド/洗髪台・洗髪車) (演習)		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポートを作成し、洗髪の練習をする。	1.5 時間
38	講義内容	排泄・清潔援助技術：排泄に関する援助 (講義)		
	該当する到達目標	予習	排泄援助に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、排泄援助に関する理解を深める。	1.5 時間
39	講義内容	排泄・清潔援助技術：排泄の援助方法 / 陰部洗浄 (演習)		
	該当する到達目標	予習	Moodleで「演習:排泄援助」および「演習:陰部洗浄」を視聴し、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に排泄援助および陰部洗浄の方法の理解を深める。	1.5 時間
40	講義内容	排泄・清潔援助技術：排泄の援助方法 / 陰部洗浄 (演習)		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、患者にとって安全で安楽な排泄援助および陰部洗浄を行うための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための課題を明確にする。	1.5 時間
41	講義内容	排泄・清潔援助技術：排泄の援助方法 / 陰部洗浄 (演習)		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、患者にとって気持ちよいケアを行うための工夫について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習のまとめレポートを作成し、排泄援助・陰部洗浄の練習をする。	1.5 時間
42	講義内容	食事の援助技術：食事に関する援助 / 清潔援助技術：口腔ケア (講義)		
	該当する到達目標	予習	食事援助に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、食事援助・口腔ケアに関する理解を深める。	1.5 時間
43	講義内容	日常生活技術に関する事例検討 (グループワーク発表・質疑応答)		
	該当する到達目標	予習	提示した事例への日常生活援助に関する具体的な援助方法を考える。	1 時間
	1,2,3,4	復習	グループワークを基に事例に合わせた看護ケアについて具体的に考える。	2 時間
44	講義内容	日常生活技術に関する事例検討 (グループワーク発表・質疑応答)		
	該当する到達目標	予習	提示した事例への日常生活援助に関する具体的な援助方法を考える。	1 時間
	1,2,3,4	復習	グループワークを基に事例に合わせた看護ケアについて具体的に考える。	2 時間
45	講義内容	日常生活技術に関する事例検討 (グループワーク/発表・質疑応答)		
	該当する到達目標	予習	提示した事例への日常生活援助に関する具体的な援助方法を考える。	1 時間
	1,2,3,4	復習	事例検討を振り返り、援助方法に関する理解を深める。	2 時間

備考	<p>メールアドレス : takeda@takasaki-u.ac.jp 、 imano @takasaki-u.ac.jp</p> <p>オフィスアワー : 武田(月 2、3 時限目)、今野(金 3時限目)</p> <p>講義を通して看護技術における目的・適用・方法・留意点について学び、演習では講義を踏まえたうえで基本的な看護援助技術の方法を習得する、講義(1コマ)と演習(2~4 コマ)を組み合わせた科目である。看護援助技術の習得にむけて積極的に自己練習を行い、演習に関する復習を行うこと。</p>
----	--

科目名	基礎看護技術Ⅱ(看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学)			NRS210	講義
担当教員	武田貴美子、箕輪千佳、今野康子				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	健康障害のある対象の援助方法を理解し、科学的根拠を基とした診断・治療・処置を伴う看護援助技術を習得する。				
到達目標	1.看護技術における安全、安楽、コミュニケーション、エビデンスの重要性が理解できる。 2.治療的援助技術の基本を習得できる。 3.対象の状況に合わせた治療的援助の方法を考えることができる。 4.看護学生としての倫理的態度について理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験(40%)、看護技術チェック(60%)による総合評価 * 欠席は1回につき-3点、30分未満の遅刻は1回につき-2点、30分以上の遅刻は欠席扱いとする。 * 看護技術チェックにおいては100点満点中60点以上を合格とする。合格点に達しない場合は、再評価を受ける。ただし、再評価で合格点に達しない場合は、再評価での素点を評価対象の得点とする。				
課題に対するフィードバック	講義・演習で作成したレポートおよび看護技術チェックの評価表は、担当教員からのコメントを付して返却する。				
使用教材	使用教材:配布資料 使用教科書:香春知永他編, 看護学テキスト NiCE 基礎看護技術(改訂第2版), 南江堂				
1	講義内容	オリエンテーション 症状・生体機能管理技術: バイタルサイン測定法(講義)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第三章3(p102~122)を読む。	1.5時間	
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、バイタルサイン測定に関する理解を深める。	1.5時間	
2	講義内容	症状・生体機能管理技術: バイタルサイン測定法<体温・脈拍・呼吸>(演習)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第三章3(p102~122)を読み、バイタルサイン測定の方法をイメージする。	1.5時間	
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基にバイタルサイン測定の方法の理解を深める。	1.5時間	
3	講義内容	症状・生体機能管理技術: バイタルサイン測定法<体温・脈拍・呼吸>(演習)			
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、適切なバイタルサインの測定を実施するための留意点について考える。	1.5時間	
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、適切なバイタルサイン測定を実施するための課題を明確にする。	1.5時間	
4	講義内容	症状・生体機能管理技術: バイタルサイン測定法<体温・脈拍・呼吸>(演習)			
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、適切なバイタルサイン測定を実施するための留意点を考える。	1.5時間	
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、バイタルサイン測定法の練習をする。	4.5時間	
5	講義内容	感染予防技術: スタンダードプリコーション・無菌操作(講義)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第三章2(p87~93)を読む。	1.5時間	
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、感染予防策に関する理解を深める。	1.5時間	
6	講義内容	感染予防技術: スタンダードプリコーション・無菌操作(演習)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第三章2(p96~101)を読み、感染予防策の方法をイメージする。	1.5時間	

	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に感染予防策の方法の理解を深める。	1.5 時間
7	講義内容	感染予防技術：スタンダードプリコーション・無菌操作（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、適切な感染予防策を行うための留意点を考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、防護用具の装着・無菌操作の練習をする。	1.5 時間
8	講義内容	呼吸を整える技術：吸引・吸入・酸素療法（講義）		
	該当する到達目標	予習	呼吸を整えるケアに関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、呼吸を整えるケアに関する理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	呼吸を整える技術：呼吸音聴取／酸素療法／口腔内吸引（演習）		
	該当する到達目標	予習	Moodleで「演習：口腔内吸引」を視聴し、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に酸素療法および口腔内吸引の方法の理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	呼吸を整える技術：呼吸音聴取／酸素療法／口腔内吸引（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、患者にとって安全で効果的な酸素療法および口腔内吸引を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、呼吸音聴取・酸素療法・口腔内吸引の練習をする。	1.5 時間
11	講義内容	安楽に関する技術：罨法<温罨法・冷罨法・足浴>（講義）		
	該当する到達目標	予習	罨法ケアに関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、罨法ケアに関する理解を深める。	1.5 時間
12	講義内容	排泄援助技術：浣腸（講義）		
	該当する到達目標	予習	排便コントロールに関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、排便コントロールに関する理解を深める。	1.5 時間
13	講義内容	安楽に関する技術：罨法<足浴> / 排泄援助技術-グリセリン浣腸・腰部温罨法（演習）		
	該当する到達目標	予習	Moodleで「演習：腰部温罨法」「演習：グリセリン浣腸」を視聴し、それぞれの看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に足浴・腰部温罨法・グリセリン浣腸の方法の理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	安楽に関する技術：罨法<冷罨法・足浴> / 排泄援助技術-グリセリン浣腸・腰部温罨法（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で効果的な足浴・腰部温罨法またはグリセリン浣腸を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、安全で効果的な足浴・腰部温罨法またはグリセリン浣腸を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
15	講義内容	安楽に関する技術：罨法<冷罨法・足浴> / 排泄援助技術-グリセリン浣腸・腰部温罨法（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で効果的な足浴・腰部温罨法またはグリセリン浣腸を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、足浴・腰部温罨法またはグリセリン浣腸の練習をする。	1.5 時間
16	講義内容	安楽に関する技術：罨法<温罨法・足浴> / 排泄援助技術-グリセリン浣腸（演習）		
	該当する到達目標	予習	チェックリストを基に足浴・腰部温罨法またはグリセリン浣腸の方法を理解し、安全で効果的に実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、安全で効果的な足浴・腰部温罨法またはグリセリン浣腸を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
17	講義内容	安楽に関する技術：罨法<温罨法・足浴> / 排泄援助技術-グリセリン浣腸（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で効果的な足浴・腰部温罨法またはグリセリン浣腸を実施	1.5 時間

	1,2,3,4		するための留意点について考える。	
		復習	演習を振り返り、安全で効果的な足浴・腰部温電法またはグリセリン浣腸を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
18	講義内容	安楽に関する技術：電法<温電法・足浴> / 排泄援助技術-グリセリン浣腸(演習)		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で効果的な足浴・腰部温電法またはグリセリン浣腸を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、足浴・腰部温電法またはグリセリン浣腸の練習をする。	1.5 時間
19	講義内容	与薬の技術：筋肉注射（講義）		
	該当する到達目標	予習	筋肉注射に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、筋肉注射に関する理解を深める。	1.5 時間
20	講義内容	与薬の技術：筋肉注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	Moodleで「演習:筋肉注射」を視聴し、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に筋肉注射の方法の理解を深める。	1.5 時間
21	講義内容	与薬の技術：筋肉注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で適切な筋肉注射を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、安全で適切な筋肉注射を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
22	講義内容	与薬の技術：筋肉注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で適切な筋肉注射を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、筋肉注射の練習をする。	1.5 時間
23	講義内容	与薬の技術：皮下注射（講義）		
	該当する到達目標	予習	皮下注射に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、皮下注射に関する理解を深める。	1.5 時間
24	講義内容	与薬の技術：皮下注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	Moodleで「演習:皮下注射」を視聴し、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に皮下注射の方法の理解を深める。	1.5 時間
25	講義内容	与薬の技術：皮下注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で適切な皮下注射を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、安全で適切な皮下注射を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
26	講義内容	与薬の技術：皮下注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	演習を振り返り、安全で適切な皮下注射を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習に関するまとめレポートを作成し、皮下注射の練習をする。	1.5 時間
27	講義内容	与薬の技術：点滴静脈内注射（講義）		
	該当する到達目標	予習	点滴静脈内注射に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、点滴静脈内注射に関する理解を深める。	1.5 時間
28	講義内容	与薬の技術：点滴静脈内注射（演習）		
	該当する到達目標	予習	Moodleで「演習:点滴静脈注射」を視聴し、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に点滴静脈内注射の方法の理解を深める。	1.5 時間
29	講義内容	与薬の技術：点滴静脈内注射（演習）		

	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	演習を振り返り、安全で適切な点滴静脈内注射を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
		復習	演習を振り返り、安全で適切な点滴静脈内注射を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
30	講義内容	与薬の技術：点滴静脈内注射（演習）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	演習を振り返り、安全で適切な点滴静脈内注射を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
		復習	演習に関するまとめレポートを作成し、点滴静脈内注射の練習をする。	1.5 時間
31	講義内容	検査に関する技術：尿検査・血液検査（講義）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	静脈血採血に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
		復習	講義内容を振り返り、尿検査・血液検査に関する理解を深める。	1.5 時間
32	講義内容	検査に関する技術：静脈血採血（演習）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	Moodleで「演習：静脈血採血」を視聴し、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
		復習	チェックリストを基に静脈血採血の方法の理解を深める。	1.5 時間
33	講義内容	検査に関する技術：静脈血採血（演習）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	演習を振り返り、安全で適切な静脈血採血を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
		復習	演習に関するまとめレポートを作成し、静脈血採血の練習をする。	1.5 時間
34	講義内容	看護技術チェック バイタルサイン測定法		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	演習内容を振り返り、バイタルサイン測定法の練習をする。	2 時間
		復習	演習を振り返り、適切なバイタルサイン測定を実施するための課題を明確にする。	1 時間
35	講義内容	看護技術チェック バイタルサイン測定法		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	演習内容を振り返り、バイタルサイン測定法の練習をする。	2 時間
		復習	演習を振り返り、適切なバイタルサイン測定を実施するための留意点を考える。	1 時間
36	講義内容	看護技術チェック バイタルサイン測定法		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	演習内容を振り返り、バイタルサイン測定法の練習をする。	2 時間
		復習	看護技術チェックの評価表をもとに、バイタルサイン測定法の練習をする。	1 時間
37	講義内容	排泄援助技術：導尿法（講義）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	一時的導尿に関する事前課題レポートに取り組む。	1.5 時間
		復習	講義内容を振り返り、導尿法に関する理解を深める。	1.5 時間
38	講義内容	排泄援助技術：一時的導尿法（演習）		
	該当する到達目標	予習	Moodleで「演習：一時的導尿」を視聴し、看護ケアの流れをイメージする。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チェックリストを基に一時的導尿の方法の理解を深める。	1.5 時間
39	講義内容	排泄援助技術：一時的導尿法（演習）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	演習を振り返り、安全で適切な一時的導尿を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
		復習	演習を振り返り、安全で適切な一時的導尿を実施するための課題を明確にする。	1.5 時間
40	講義内容	排泄援助技術：一時的導尿法（演習）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	演習を振り返り、安全で適切な一時的導尿を実施するための留意点について考える。	1.5 時間
		復習	演習に関するまとめレポートを作成し、一時的導尿法の練習をする。	1.5 時間
41	講義内容	バイタルサイン測定に関する事例検討（グループワーク/発表・質疑応答）		

	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	提示した事例患者の病態生理を調べ、バイタルサイン測定に関する具体的な方法を考える。	1時間
		復習	グループワークを基に事例に合わせたバイタルサイン測定について考える。	2時間
42	講義内容	バイタルサイン測定に関する事例検討(グループワーク/発表・質疑応答)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	提示した事例患者の病態生理を調べ、バイタルサイン測定に関する具体的な方法を考える。	1時間
		復習	グループワークを基に事例に合わせたバイタルサイン測定について考える。	2時間
43	講義内容	バイタルサイン測定に関する事例検討(グループワーク/発表・質疑応答)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	提示した事例患者の病態生理を調べ、バイタルサイン測定に関する具体的な方法を考える。	1時間
		復習	グループワークを基に事例に合わせたバイタルサイン測定について考える。	2時間
44	講義内容	バイタルサイン測定に関する事例検討(グループワーク/発表・質疑応答)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	提示した事例患者の病態生理を調べ、バイタルサイン測定に関する具体的な方法を考える。	1時間
		復習	事例検討を振り返り、バイタルサイン測定に関する理解を深める。	2時間
45	講義内容	筆記試験		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	診断・治療・処置を伴う看護援助技術に関する講義・演習を振り返り、各看護援助技術に関する理解を深める。	2時間
		復習	試験内容を基に診断・治療・処置を伴う看護援助技術に関する理解を深める。	1時間
備考	<p>メールアドレス : takeda@takasaki-u.ac.jp 、 imano @takasaki-u.ac.jp</p> <p>オフィスアワー : 武田(月 2、3 時限目)、今野(金 3時限目)</p> <p>講義を通して看護援助技術における目的・適用・方法・留意点について学び、演習では講義を踏まえたうえで基本的な看護援助技術の方法を習得する、講義(1コマ)と演習(2~4 コマ)を組み合わせた科目である。看護援助技術の習得にむけて積極的に自己練習を行い、演習に関する復習を行うこと。</p>			

科目名	看護学方法論Ⅰ(看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学)			NRS114	講義
担当教員	武田貴美子、箕輪千佳、今野康子				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	看護実践の基礎的方法論を学び、看護の対象の健康問題・健康課題を解決するために看護過程を用いて看護を展開する一連のステップを学ぶ。				
到達目標	1.対象の健康課題・健康問題を解決するための方法論である看護過程について理解できる。 2.事例を用いてアセスメントが理解できる。 3.事例を用いて看護診断が理解できる。 4.事例を用いて関連図を描くことが理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	出席点(20%)、筆記試験(80%)による総合評価 遅刻は1回につき-2点、欠席は1回につき-5点 *グループワークへの参加や個人ワークの取り組みが不十分な場合は欠席とみなす。				
課題に対するフィードバック	講義で作成したレポートは、担当教員からのコメントを付して返却する。				
使用教材	①マージョリー・ゴードン, ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 よくわかる機能的健康パターン(第2版), 照林社 ②江口正信編, 検査値早分かりガイド(新訂版第2版), 医学芸術社				
1	講義内容	オリエンテーション・看護過程とは			
	該当する到達目標	1	予習 シラバスの内容を読み、講義目標および到達目標を理解する。	1時間	
			復習 講義内容を振り返り、看護過程に関する理解を深める。	2時間	
2	講義内容	機能的健康パターン(講義)			
	該当する到達目標	1	予習 事例の疾患の病態・症状のメカニズムについて調べてノートに整理する	1.5時間	
			復習 講義内容を振り返り、機能的健康パターンに関する理解を深める。	1.5時間	
3	講義内容	アセスメントの実際：事例Aの排泄パターン(講義)			
	該当する到達目標	1,2	予習 事例の疾患の治療、検査データについて調べてノートに整理する	1.5時間	
			復習 講義内容を振り返り、アセスメントに関する理解を深める。	1.5時間	
4	講義内容	看護診断：事例Aの排泄パターン(講義)			
	該当する到達目標	1,3	予習 テキスト(p164~175)を読む。	1.5時間	
			復習 講義内容を振り返り、看護診断に関する理解を深める。	1.5時間	
5	講義内容	事例Aのアセスメント・看護診断：健康知覚-健康管理パターン(グループワーク/解説)			
	該当する到達目標	1,2,3	予習 健康知覚-健康管理パターンについて、情報の分類・アセスメント・看護診断を行う	2時間	
			復習 講義内容を振り返り、健康知覚-健康管理パターンに関する理解を深める。	1時間	
6	講義内容	事例Aのアセスメント・看護診断：栄養-代謝パターン(グループワーク/解説)			
	該当する到達目標	1,2,3	予習 栄養-代謝パターンについて、情報の分類・アセスメント・看護診断を行う。	2時間	
			復習 講義内容を振り返り、栄養-代謝パターンに関する理解を深める。	1時間	
7	講義内容	事例Aのアセスメント・看護診断：活動-運動パターン(グループワーク/解説)			
	該当する到達目標		予習 活動-運動パターンについて、情報の分類・アセスメント・看護診断を行う。	2時間	

	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、活動-運動パターンに関する理解を深める。	1時間
8	講義内容	事例Aのアセスメント・看護診断：睡眠-休息パターン(グループワーク/解説)		
	該当する到達目標	予習	睡眠-休息パターンについて、情報の分類・アセスメント・看護診断を行う。	2時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、睡眠-休息パターンに関する理解を深める。	1時間
9	講義内容	事例Aのアセスメント・看護診断：認知-知覚パターン(グループワーク/解説)		
	該当する到達目標	予習	認知-知覚パターンについて、情報の分類・アセスメント・看護診断を行う。	2時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、認知-知覚パターンに関する理解を深める。	1時間
10	講義内容	事例Aのアセスメント・看護診断：自己知覚-自己概念パターン(グループワーク/解説)		
	該当する到達目標	予習	自己知覚-自己概念パターンについて、情報の分類・アセスメント・看護診断を行う。	2時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、自己知覚-自己概念パターンに関する理解を深める。	1時間
11	講義内容	事例Aのアセスメント・看護診断：役割-関係パターン(グループワーク/解説)		
	該当する到達目標	予習	役割-関係パターンについて、情報の分類・アセスメント・看護診断を行う。	2時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、役割-関係パターンに関する理解を深める。	1時間
12	講義内容	事例Aのアセスメント・看護診断：セクシュアリティ-生殖パターン(グループワーク/解説)		
	該当する到達目標	予習	セクシュアリティ-生殖パターンについて、情報の分類・アセスメント・看護診断を行う。	2時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、セクシュアリティ-生殖パターンに関する理解を深める。	1時間
13	講義内容	事例Aのアセスメント・看護診断：コーピング-ストレス耐性パターン(グループワーク/解説)		
	該当する到達目標	予習	コーピング-ストレス耐性パターンについて、情報の分類・アセスメント・看護診断を行う。	2時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、コーピング-ストレス耐性パターンに関する理解を深める。	1時間
14	講義内容	事例Aのアセスメント・看護診断：価値-信念パターン(グループワーク/解説)		
	該当する到達目標	予習	価値-信念パターンについて、情報の分類・アセスメント・看護診断を行う。	2時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、価値-信念パターンに関する理解を深める。	1時間
15	講義内容	関連図(講義)		
	該当する到達目標	予習	11パターンの情報の分類・アセスメント・看護診断を見直す。	2時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、関連図に関する理解を深める。	1時間
備考	<p>メールアドレス：takeda@takasaki-u.ac.jp、imano@takasaki-u.ac.jp</p> <p>オフィスアワー：武田(月2、3時限目)、今野(金3時限目)</p> <p>個人ワークをもとにグループワークを行うため、事前課題と提示された個人ワークは必ず取り組むこと。</p> <p>なお、この科目は2年次前期に開講する「看護学方法論Ⅱ」に続きます。</p>			

科目名	看護学方法論Ⅱ(看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学)			NRS211	講義
担当教員	武田貴美子、箕輪千佳、今野康子				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	看護学方法論Ⅰに引き続き、看護の対象の健康問題や健康課題に対して、知識とクリティカルシンキング、技能およびケアリングを基盤とした看護過程を用いて看護を展開する方法を学ぶ。				
到達目標	1.対象の健康課題・健康問題を解決するための方法論である看護過程について理解できる。 2.事例を用いてアセスメントが理解できる。 3.事例を用いて看護診断が理解できる。 4.事例を用いて関連図を描くことが理解できる。 5.事例を用いて看護のゴールと期待される成果の設定が理解できる。 6.事例を用いて優先順位の決定が理解できる。 7.事例を用いて看護計画の立案が理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	出席点(20%)、筆記試験(80%)による総合評価 遅刻は1回につき-2点、欠席は1回につき-5点 *グループワークへの参加や個人ワークの取り組みが不十分な場合は欠席とみなす。				
課題に対するフィードバック	講義で作成したレポートは、担当教員からのコメントを付して返却する。				
使用教材	①マージョリー・ゴードン, ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 よくわかる機能的健康パターン(第2版), 照林社 ②江口正信編, 検査値早分かりガイド(新訂版第2版), 医学芸術社 ③看護学方法論Ⅰの配布資料				
1	講義内容	看護のゴールと期待される成果(講義)			
	該当する到達目標 1,5	予習	事例に関する11パターンの情報の分類・アセスメント・看護診断を見直す。	1.5時間	
		復習	講義内容を振り返り、看護のゴールと期待される成果に関する理解を深める。	1.5時間	
2	講義内容	看護のゴールと期待される成果(グループワーク/解説) 優先順位の決定(講義)			
	該当する到達目標 1,5,6	予習	事例Aの看護のゴールと期待される成果を考える。	2時間	
		復習	講義内容を振り返り、看護のゴールと期待される成果および優先順位の決定に関する理解を深める。	1時間	
3	講義内容	優先順位の決定(グループワーク/解説) 看護計画(講義)			
	該当する到達目標 1,6,7	予習	事例Aの優先順位を考える。	2時間	
		復習	講義内容を振り返り、優先順位の決定および看護計画に関する理解を深める。	1時間	
4	講義内容	看護計画:事例Aの看護問題#2に対する看護計画の立案(グループワーク)			
	該当する到達目標 1,7	予習	事例Aの看護問題#2に対する看護計画を立案する。	2時間	
		復習	グループで看護問題#2に対する看護計画を立案する。	1時間	
5	講義内容	看護計画:事例Aの看護問題#2について立案した看護計画の検討(グループワーク/解説)			
	該当する到達目標	予習	グループで看護問題#2に対する看護計画を立案する。	2時間	

	1,7	復習	講義内容を振り返り、看護問題#2に対する看護計画に関する理解を深める。	1時間
6	講義内容	看護計画：事例Aの看護問題#3に対する看護計画の立案（グループワーク）		
	該当する到達目標	予習	事例Aの看護問題#3に対する看護計画を立案する。	2時間
	1,7	復習	グループで看護問題#2に対する看護計画を立案する。	1時間
7	講義内容	看護計画：事例Aの看護問題#3について立案した看護計画の検討（グループ発表・質疑応答）		
	該当する到達目標	予習	グループで看護問題#3に対する看護計画を立案する。	2時間
	1,7	復習	講義内容を振り返り、看護問題#3に対する看護計画に関する理解を深める。	1時間
8	講義内容	ミニテスト(45分/40点) 実施・評価（講義）		
	該当する到達目標	予習	看護のゴール、期待される成果、優先順位の決定、看護計画に関する理解を深める。	2時間
	1,5,6,7	復習	講義内容を振り返り、実施・評価に関する理解を深める。	1時間
9	講義内容	事例Bのアセスメント・看護診断（グループワーク/ 質疑応答）		
	該当する到達目標	予習	事例Bのアセスメント・看護診断を行う。	2時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、事例Bのアセスメント・看護診断に関する理解を深める。	1時間
10	講義内容	事例Bのアセスメント・看護診断（グループワーク/ 質疑応答）		
	該当する到達目標	予習	事例Bのアセスメント・看護診断を行う。	2時間
	1,2,3	復習	講義内容を振り返り、事例Bのアセスメント・看護診断に関する理解を深める。	1時間
11	講義内容	事例Bの関連図（グループワーク/ 質疑応答）		
	該当する到達目標	予習	事例Bの関連図を作成する。	2時間
	1,2,3,4	復習	講義内容を振り返り、事例Bの関連図に関する理解を深める。	1時間
12	講義内容	事例Bの看護のゴールと期待される成果（グループワーク/ 質疑応答）		
	該当する到達目標	予習	事例Bの看護のゴールと期待される成果を考える。	2時間
	1,5	復習	講義内容を振り返り、事例Bの看護のゴールと期待される成果に関する理解を深める。	1時間
13	講義内容	事例Bの優先順位の決定（グループワーク/ 質疑応答）		
	該当する到達目標	予習	事例Bの優先順位を考える。	2時間
	1,6	復習	講義内容を振り返り、事例Bの優先順位に関する理解を深める。	1時間
14	講義内容	事例Bの看護計画の立案（グループワーク）		
	該当する到達目標	予習	事例Bの看護問題に対する看護計画を立案する。	2時間
	1,7	復習	グループで事例Bの看護問題に対する看護計画を立案する。	1時間
15	講義内容	事例Bの看護計画（グループ発表 / 質疑応答）		
	該当する到達目標	予習	グループで事例Bの看護問題に対する看護計画を立案する。	2時間
	1,7	復習	講義内容を振り返り、看護計画の立案に関する理解を深める。	1時間
備考	<p>メールアドレス：takeda@takasaki-u.ac.jp、imano@takasaki-u.ac.jp</p> <p>オフィスアワー：武田(月2、3時限目)、今野(金3時限目)</p> <p>個人ワークをもとにグループワークを行うため、事前課題と提示された個人ワークは必ず取り組むこと。</p> <p>なお、この科目は1年次後期に開講の「看護学方法論Ⅰ」の続きです。</p>			

科目名	看護倫理学 I (看護専門科目群・専門分野 I・基礎看護学)			NRS301	講義
担当教員	倉林 しのぶ				
学年・開講期	3年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	西洋と日本における倫理観の違いおよび、看護倫理の歴史的発展についての理解を深めながら看護倫理の基本的知識を学ぶ。また、倫理原則や倫理綱領を基盤にしつつ、それだけに頼ることのない倫理的アプローチ方法を探求し、学生としての倫理観、医療現場における看護職者としての倫理的責任と、チームケアにおける看護職者の役割について学習する。				
到達目標	1.看護倫理の基本的知識を習得できる。 2.学生としての倫理的態度が理解できる。 3.医療現場における看護職者としての倫理的責任を理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	レポート50%、授業参加度・態度等50% により総合的に評価します。3 回目以降については毎回、授業内容に関する簡単なレポートを提出していただき、それを出席票として扱います。				
課題に対するフィードバック	各回のレポートについては、コメントをつけて返却する。または、次の回の講義開始前に総評としてコメントする。				
使用教材	使用しない。				
1	講義内容	看護倫理の基礎的知識(倫理とは・看護倫理とは)			
	該当する到達目標	予習	医療倫理・看護倫理のイメージを考えてくる	0.5 時間	
	1.2.	復習	倫理的思考とは何かについて理解する	1.5 時間	
2	講義内容	価値について(医療における価値とは)			
	該当する到達目標	予習		1 時間	
	1.2.	復習	自分と他者との価値観の違いについて理解する	1.5 時間	
3	講義内容	歴史的変遷/徳の倫理・原則の倫理			
	該当する到達目標	予習	よい医療者とは何かについてイメージ化する	1 時間	
	1.	復習	被験者保護の歴史について理解する	1.5 時間	
4	講義内容	原則の倫理(倫理的判断基準としての原則とその限界)			
	該当する到達目標	予習	倫理的問題の判断について考えてくる	1 時間	
	1.	復習	医療に関する4つの倫理原則について理解する	1.5 時間	
5	講義内容	インフォームド・コンセントと自律			
	該当する到達目標	予習	インフォームドコンセントとは何かについて考えてくる	1 時間	
	1.2.	復習	インフォーム(説明)からコンセント(同意)までのプロセスについて理解する	1.5 時間	
6	講義内容	倫理的課題と看護実践 1(ケース検討)			
	該当する到達目標	予習	第1回～第6回の内容を見直す	1 時間	
	1.2.3.	復習	今回のケースについての倫理的判断の根拠とそのプロセスを理解する	1.5 時間	
7	講義内容	倫理的課題と看護実践 2(ケース検討)			
	該当する到達目標	予習	第1回～第6回の内容を見直す	1 時間	
	1.2.3.	復習	今回のケースについての倫理的判断の根拠とそのプロセスを理解する	1.5 時間	
8	講義内容	倫理的課題と看護実践 3(ケース検討)・まとめ			
	該当する到達目標	予習	第1回～第6回の内容を見直す	1 時間	

	1.2.3.	復習	今回のケースについての倫理的判断の根拠とそのプロセスを理解する	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日・火曜日の11:00~13:00</p> <p>質問はいつでも受け付けます。(メール可)※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。</p> <p>E-mail: <a href="mailto:kura@takasaki-u.ac.jp">kura@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>講義はディスカッション中心です。指名されなくても積極的に参加してください。</p> <p>参考文献: 服部健二 医療倫理学ABC第3版(メヂカルフレンド社)</p>			

科目名	基礎看護学実習 I (看護専門科目群・専門分野 I・基礎看護学)		NRS115	実習
担当教員	武田貴美子、箕輪千佳、今野康子			
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	必修 1 単位	
講義目標	患者(家族)とのコミュニケーションや看護ケアへの参加を通して、患者(家族)や患者(家族)のニーズおよび療養環境を理解し、コミュニケーションおよび看護ケアの重要性について考える。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者(家族)とのコミュニケーションを通して、患者(家族)の気持ちおよびニーズを理解する。</li> <li>2. 患者(家族)との関わりを通して、援助関係を形成するためのコミュニケーションの重要性について考察できる。</li> <li>3. 看護ケアへの参加を通して、患者を取り巻く療養環境について考察できる。</li> <li>4. 看護ケアへの参加を通して、看護ケアにおける安全・安楽・個別性について考察できる。</li> <li>5. 看護ケアへの参加を通して、看護ケアの意味について考察できる。</li> <li>6. 看護者としての倫理的態度を身につけることができる。</li> </ol>			
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力		
		3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
		5. 生涯学習力		
評価方法	実習中の看護実践内容(48 点)、倫理的態度・学習態度(40 点)、まとめのレポート(12 点)をもとに評価表に添って評価する。			
課題に対する フィードバック	実習中に作成した各実習記録および実習のまとめレポートは実習担当者からのコメントを付して返却する。			
使用教材	実習要項			
講義内容	<p>実習内容(病院実習 2 日間、学内実習 3 日間、計 5 日間の実習)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者(家族)との関わりを通して、自分の問いと反応を知り、患者(家族)の気持ち(苦痛、気がかり、心配、期待、希望など)を理解する。</li> <li>2. 患者に必要な日常生活援助および診断・治療に関連する看護援助について考えたうえでケアに参加し、患者の療養環境について考察する。</li> <li>3. 患者に必要な日常生活援助および診断・治療に関連する看護援助について考えたうえでケアに参加し、看護ケアについて考察する。</li> <li>4. 1~3 をふまえて看護ケアの重要性および看護師の役割について考察する。</li> <li>5. 看護者としての基本的な態度(倫理的態度)を身につける。</li> </ol> <p>病院実習では、患者(家族)との関わりをナラティブレコードに記述すること、参加した日常生活援助について観察ノートに記述すること、カンファレンス等を通して自分の考えや思いを考察する。また、学内実習では、看護体験を基にコミュニケーションや看護ケアについて言語化し、考察を深め、達成できたことと今後の課題・方向性についてレポートにまとめる。</p>			
	予習	当日の実習目標および行動計画を具体的に考える。		期間中 適宜
	復習	実習での体験を振り返り、指定の各記録用紙に観察した場面および考えたことを記述する。		期間中 適宜
備考	<p>メールアドレス : takeda@takasaki-u.ac.jp 、 imano @takasaki-u.ac.jp</p> <p>オフィスアワー : 武田(月 2、3 時限目)、今野(金 3 時限目)</p> <p>予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習前に前に実習目標および実習目的を確認しながら自己学習したうえで実習に臨むと共に、実習後は一日の実習を丁寧に振り返りながら記録用紙への記述を心掛ける。</p>			

科目名	基礎看護学実習Ⅱ(看護専門科目群・専門分野Ⅰ・基礎看護学)		NRS212	実習
担当教員	武田貴美子、箕輪千佳、今野康子			
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 3単位	
講義目標	コミュニケーションや日常生活援助等の看護ケアを通してケアリングを体験し、入院加療している患者(家族)の反応、健康問題・健康課題および病いの体験について理解する。さらに、患者(家族)の健康問題・健康課題に対する看護ケアについて看護過程を用いて展開し、看護ケアの意味を考える。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.患者(家族)の症状や生活における反応や病気に対する思い(心配・気がかり・期待・希望)に関心を向ける。</li> <li>2.患者の病態や臨床所見(徴候や検査データ)と患者の反応や思いを関連づけて理解する。</li> <li>3.コミュニケーションや日常生活援助等の看護ケアを通してケアリングを体験し、患者(家族)の病いの体験を理解する。</li> <li>4.実施した看護ケアに対する安全・安楽・個別性について考察し、看護ケアの意味を考える。</li> <li>5.健康問題・健康課題に対する看護ケアについて看護過程を用いて展開する。</li> <li>6.看護者としての基本的な態度(倫理的態度)を身につける。</li> </ol>			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力		
		3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
		5. 生涯学習力		
評価方法	実習中の看護実践内容(80点)、倫理的態度・学習態度(20点)、まとめのレポート(10点)をもとに評価表に添って評価する。			
課題に対するフィードバック	実習中に作成した各実習記録および実習のまとめレポートは実習担当者からのコメントを付して返却する。			
使用教材	<ol style="list-style-type: none"> <li>①看護学実習要項、基礎看護学実習Ⅱ要項</li> <li>②実習に関連する授業のテキストおよび資料</li> <li>③看護ケア学習プログラムの資料</li> </ol>			
講義内容	<p>実習内容(5日間の学内実習、7日間の病院実習、病院実習後3日間の学内実習)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.患者(家族)の反応、心配や気がかり(病気、症状、生活等)に関心を向ける。</li> <li>2.患者の病態や臨床所見(徴候や検査データ)と患者の症状や生活・生活行動を関連づけて理解する。</li> <li>3.コミュニケーションや日常生活援助等の看護ケアを通してケアリングを体験し、患者(家族)の病いの体験を理解する。</li> <li>4.実施した看護ケアに対する安全・安楽・個別性について考察し、看護ケアの意味を考える。</li> <li>5.健康問題・健康課題に対する看護ケアについて看護過程を用いて展開する。</li> <li>6.看護者としての基本的な態度(倫理的態度)を身につける。</li> </ol> <p>病院実習では、患者(家族)との関わりをナラティブレコードに記述すること、患者の疾患に関する病態生理・臨床所見・症状について調べてまとめること、患者の症状や生活における反応を記述し、患者が必要としている看護ケアについて考えること、実施した看護ケアの意味について考える。さらにカンファレンス等を通して自分の考えや思いを考察する。また、学内実習では、病院実習での看護実践について看護過程を用いて検討を深め、患者(家族)の病いの体験および実施した看護ケアの意味を考える。</p>			
	予習	当日の実習目標および行動計画を具体的に考える。 看護ケアの実施に関しては必要性、援助方法、留意点を明確にする。		期間中 適宜
	復習	実習での体験を振り返り、指定の各記録用紙の項目について記述する。		期間中 適宜
備考	<p>メールアドレス : takeda@takasaki-u.ac.jp、imano@takasaki-u.ac.jp</p> <p>オフィスアワー : 武田(月2、3時限目)、今野(金 3時限目)</p>			

予習、復習に必要な時間は明記しないが、実習前に前に実習目標および実習目的を確認しながら自己学習したうえで実習に臨むと共に、実習後は一日の実習体験を振り返りながら記録用紙にまとめ、翌日の実習につなげる。

科目名	成人看護学概論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）			NRS120	講義
担当教員	吉田 久美子				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	成人期の特徴を理解し、様々な健康レベルにある対象の特徴と看護の役割について習得する。また、成人期にある対象の健康増進や疾病からの回復、疾病との共存を支援するために必要となる基礎的な理論や概念を習得する。				
到達目標	1. 成人期の特徴を理解し、様々な健康レベルにある対象の特徴と看護の役割について説明できる。 2. 成人期にある対象の健康増進や疾病からの回復、疾病との共存を支援するために必要となる基礎的な理論や概念が説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	・出席状況・レポート 30% 筆記試験 70%で評価する。 ・総合評価 60点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	・レポートにはコメントなどを付けて返却する。 ・定期試験の前に、学習内容の要点と予習・復習の意図を関連付け資料によって示す。				
使用教材	・大西和子他編集 成人看護学概論 ヌーヴェルヒロカワ ISBN978-4-86174-021-3 ・毎回の授業時に構造的に学習内容を記載した資料を配付する。				
1	講義内容	第1章 成人看護学の特性 I 成人看護学の対象と援助の概要			
	該当する到達目標	予習	成人看護学に含まれる対象についてテキストを読む。		1時間
	1	復習	ライフサイクルにおける区分と各期の特徴を理解する。		1.5時間
2	講義内容	第1章 成人看護学の特性 II 成人期の特徴			
	該当する到達目標	予習	成人期における各期の身体的・心理的・社会的特徴の概要をとらえる。		1時間
	1	復習	成人期の特徴と現代における発達課題について関連させ理解する。		1.5時間
3	講義内容	第1章 成人看護学の特性 III 成人期にある人の健康問題			
	該当する到達目標	予習	1)生活習慣病として代表的な3つの疾患名をあげる。 2)1)であげた疾患の2つについて、①原因の臓器の解剖生理、②生活習慣との関連、③症状、④主な治療や療養法について調べる。		1時間
	1	復習	成人期にある人が罹患しやすい生活習慣病と必要な療養法の要点をまとめる。		1.5時間
4	講義内容	第2章 健康レベルにおける対象と看護の特徴 I 急性期にある対象の特徴と看護			
	該当する到達目標	予習	対象の特徴について、1)成人が遭遇する身体侵襲の種類と、2)急性期にある対象の健康状態の特徴についてテキストを読む。		1時間
	1	復習	急性期にある対象の身体的・心理的変化をふまえた看護の要点をまとめる。		1.5時間
5	講義内容	第2章 健康レベルにおける対象と看護の特徴 II 回復期にある対象の特徴と看護			
	該当する到達目標	予習	1)リハビリテーションとリハビリテーション看護の定義、2)リハビリテーション看護の内容、3)リハビリテーション看護の事例について調べる。		1時間
	1	復習	回復期にある対象のリハビリテーションを促す看護の要点をまとめ確認する。		1.5時間
6	講義内容	第2章 健康レベルにおける対象と看護の特徴 III 慢性期にある対象の特徴と看護 ①			
	該当する到達目標	予習	慢性期にある対象の特徴として、1)各系統別にみた主な慢性疾患の疾患名と、2)肝臓の機能、肝硬変の症状と主な治療法について調べる。		1時間
	1	復習	慢性期にある対象の悪化を防ぐための看護の要点をまとめ確認する。		1.5時間
7	講義内容	第2章 健康レベルにおける対象と看護の特徴 III 慢性期にある対象の特徴と看護 ②			

1	該当する到達目標	予習	慢性期にある対象の特徴と看護として、1)がんの主な治療法と化学療法の副作用と、2)治療中のがん患者に対する看護の例を調べる。	1時間
		復習	治療期にあるがん患者の看護の要点についてまとめ理解する。	1.5時間
8	講義内容	<b>第2章 健康レベルにおける対象と看護の特徴 IV 終末期にある対象の特徴と看護</b>		
	該当する到達目標	予習	1).緩和ケアの定義、2)全人的苦痛に含まれる主な苦痛、3)終末期の患者に対する看護の例について調べる。	1時間
	1	復習	終末期にある対象の全人的苦痛をふまえた看護の要点をまとめ確認する。	1.5時間
9	講義内容	<b>第3章 成人看護学の展開に活用される理論 1 ストレス理論 2 危機理論</b>		
	該当する到達目標	予習	1).ストレス理論のストレス、ストレッサー、コーピングの意味について調べる。 2).危機の意味、フインクの危機モデルの内容と例を調べる。	1時間
	1,2	復習	強いストレスを抱える対象に向けた看護の要点をまとめ確認する。	1.5時間
10	講義内容	<b>第3章 成人看護学の展開に活用される理論 3 セルフケア理論</b>		
	該当する到達目標	予習	1)セルフケアの定義 と、2)セルフケアを支援する看護の例を調べる。	1時間
	1,2	復習	セルフケアを必要とする対象に向けた看護の要点をまとめ確認する。	1.5時間
11	講義内容	<b>第4章 成人看護学の展開に活用される理論 4 アンドラゴジー 5 病みの軌跡</b>		
	該当する到達目標	予習	1)アンドラゴジーとペダゴジーの違い、2)成人学習者の特性について調べる。	1時間
	1,2	復習	アンドラゴジーの考え方について読み確認する。	1.5時間
12	講義内容	<b>第5章 成人看護学における看護倫理</b>		
	該当する到達目標	予習	看護倫理の定義と、成人看護にまつわる今日的な倫理的課題について調べる。	1時間
	1,2	復習	看護倫理の重要性と JNA の倫理綱領についてテキストを読み確認する。	1.5時間
13	講義内容	<b>第6章 成人看護学における看護過程 1 展開の概要</b>		
	該当する到達目標	予習	1)看護過程の目的と、2)ゴードンの機能的健康パターンの分類を調べる。	1時間
	1,2	復習	看護過程の各プロセスにおける要点についてテキストと資料を読み確認する。	1.5時間
14	講義内容	<b>第6章 成人看護学における看護過程 2 展開の方法</b>		
	該当する到達目標	予習	テキストの事例を購読し、脳梗塞と糖尿病について調べる。	1時間
	1,2	復習	事例における看護過程の展開のポイントを確認する。	1.5時間
15	講義内容	<b>【まとめ】</b>		
	該当する到達目標	予習	授業資料から第1～14回までの要点を確認する。	1時間
	1,2	復習	全般的に授業内容を振り返り、到達目標に向け体系的に知識をまとめる	1.5時間
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員連絡先: E メールアドレス <a href="mailto:yoshikumi@takasaki-u.ac.jp">yoshikumi@takasaki-u.ac.jp</a></li> <li>・オフィスアワー : 月曜日 1～4 限・火曜日 1～4 限</li> <li>・予習や復習と、授業内で提示された課題にはテキストや授業資料、参考文献などを活用し積極的に取り組むこと。</li> <li>・各回の授業資料をファイリングし、学習が効果的に積み重ねられるよう活用すること。</li> </ul>			

科目名	成人看護学方法論 1-A(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学)		NRS220	講義
担当教員	石田順子 砂賀道子 藤本桂子			
学年・開講期	2年 前期	必選・単位数	必修 1単位	
講義目標	周手術期にある人とその家族の身体的、心理・社会的特徴について理解し、その特徴をふまえた看護実践を行うための基礎知識について学習する。また健康状態が急激に変化し、危機的状態にある人の回復過程について知識を深め、具体的な看護および看護の役割について学習する。			
到達目標	1.周手術期にある人とその家族の身体的、心理・社会的特徴について理解できる。 2.手術を受ける人の術前・術中・術後の看護実践を行うための基礎的知識が理解できる。 3.急激な外科的侵襲によって危機的状態にある人の回復過程について理解できる。 4.急激な外科的侵襲によって危機的状態にある人への具体的な看護と看護の役割について理解できる。			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
	✓	2. 論理的思考・問題解決力		
	✓	3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
		5. 生涯学習力		
評価方法	定期試験 80%、レポート(1回)20%で評価する。 総合評価で 60%以上を合格とする。			
課題に対するフィードバック	レポート等にはコメントをつけて返却する。 定期試験の後に出题傾向を掲示によって示す。			
使用教材	教科書「NURSING 看護学テキスト Nice 成人看護学急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 改訂第2版」(南江堂)ISBN978-4-524-26136-9 2,800円+税 講義の要点をまとめてプリントして配布する			
1	講義内容	周手術期看護とは？ 周手術期にある人とその家族の特徴について		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第1章に目を通す。	1時間
	1,2	復習	周手術期と「周手術期にある人とその看護の特徴について理解する。	1.5時間
2	講義内容	手術前期の看護 手術前の患者の基本的看護の技術		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第2章に目を通す	1時間
	1,2	復習	手術前期にある患者の特徴と、手術前期の基本的看護技術を理解する。	1.5時間
3	講義内容	手術中の看護 手術中の患者の基本的看護技術		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第3章に目を通す	1時間
	1,2	復習	手術室看護と手術室において提供される看護について理解する。-	1.5時間
4	講義内容	手術後期の看護① 手術侵襲への生体反応と侵襲からの回復過程の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第1部の2と第2部ノ1に目を通す	1時間
	1,2	復習	手術から受ける侵襲及び、手術侵襲から回復するための看護を理解する。	1.5時間
5	講義内容	手術後期の看護② 術後合併症と術後の回復を促進するケア		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第IV, V章に目を通す	1時間
	1,2	復習	手術することで起こる合併症と術後の回復を促進するケアについて理解する。	1.5時間
6	講義内容	統制機能(脳神経機能)の再確立—開頭腫瘍摘出術を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第VI章の1に目を通す。	1時間
	3,4	復習	開頭腫瘍摘出術を受ける人の特徴と看護について理解する。	1.5時間
7	講義内容	呼吸機能の再確立—肺葉切除術を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第VI章の2に目を通す。	1時間

	3,4	復習	肺葉切除術を受ける人の特徴と看護について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	循環機能の再確立—冠動脈バイパス術を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第VI章の3に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	冠動脈バイパス術を受ける人の特徴と看護について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	摂取機能の再確立—胃切除術を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第VI章の4に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	胃切除術を受ける人の特徴と看護について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	消化機能の再確立—胆嚢切除術(腹腔鏡手術)を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第VI章の5に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	胆嚢摘出術および腹腔鏡手術を受ける人の特徴と看護について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	排泄機能の再確立①—低位前方切除術を受ける人の看護 4		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第VI章の6に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	低位前方切除術を受ける人の特徴と看護について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	排泄機能の再確立②—経尿道的前立腺切除術を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第VI章の7に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	経尿道的前立腺切除術を受ける人の特徴と看護について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	運動機能の再確立—人工股関節置換術を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第VI章の8に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	人工関節置換術を受ける人の特徴と看護について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	生殖機能の再確立①—乳房切除術を受ける人の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第VI章の9に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	乳房切除術を受ける人の特徴と看護について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	生殖機能の再確立②—子宮摘出術を受ける人の看護 まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部第VI章の10に目を通す。	1 時間
	3,4	復習	子宮摘出術を受ける人の特徴と看護について理解周と周手術期看護のまとめ	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 火曜日 2 限目と 4 限目、質問はメールでも受ける          メールアドレス: 石田(jishida@takasaki-u.ac.jp)、砂賀(sunaga@takasaki-u.ac.jp)          研究室 5 号館 4 階: 石田(405) 砂賀(406)          予習・復習については試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	成人看護学方法論 I -B(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学)			NRC221	講義
担当教員	石田 順子 砂賀 道子 藤本桂子				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	我が国の救急医療の現状を理解し、救急看護の役割、救急患者のアセスメント法、救急外来および集中治療室における看護について学習する。また、急性期にある人の看護過程の展開を行い、具体的な看護を学習する。				
到達目標	1.救急医療の現状および救急看護の役割について理解できる。 2.救急に特徴的な看護方法について理解できる 3.急性期にある人の看護過程を通して、急性期に起こりやすい看護問題と具体的な看護が理解できる。 4.急性期および救急看護における基本的な看護技術を習得できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 60%、看護過程の展開 40%で評価する。 総合評価は 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	看護過程は、コメントをつけ返却する。 看護過程を返却後、看護過程の展開のポイントについて掲示する。 定期試験の後に、出題の意図を掲示する。				
使用教材	教科書「NURSING 看護学テキスト Nice 成人看護学急性期看護Ⅱ 救急看護 改訂第2版」(南江堂) ISBN978-4-524-26136-9 看護診断ハンドブック(医学書院) 看護過程に使用する資料を配布する 「術後観察演習ノート」を配布する。 講義の要点をまとめたプリントまたは講義のスライドを随時プリントして配布する				
1	講義内容	急性期看護と救急看護の概要 一次救命・二次救命・トリアージについて			
	該当する到達目標	予習	教科書第Ⅰ章、第Ⅲ章、第Ⅳ章に目を通す。	1時間	
	1,2	復習	一次救命、二次救命、トリアージについて理解する。	1.5時間	
2	講義内容	救急外来・集中治療下での看護 救急外来での看護と集中治療室(ICU)での看護			
	該当する到達目標	予習	教科書第Ⅱ章、第Ⅴ章、第Ⅵ章に目を通す。	1時間	
	1,2	復習	救急外来での看護、集中治療科での看護および患者の特徴を理解する。	1.5時間	
3	講義内容	救急看護の特徴 循環器疾患および呼吸器疾患に特徴的な看護			
	該当する到達目標	予習	教科書第Ⅹ章の1、3に目を通す。	1時間	
	1,2	復習	救急に運ばれてくる循環器疾患、呼吸器疾患患者の看護を理解する。	1.5時間	
4	講義内容	救急看護・災害看護の実際 救急におけるフライトナースの役割と看護			
	該当する到達目標	予習	教科書第Ⅰ章の3、第Ⅷ章に目を通す。	1時間	
	1,2	復習	救急看護・災害看護およびフライトナースの役割と看護を理解する。	1.5時間	
5	講義内容	【演習】急性期看護に必要な看護技術①「術後観察技術」			
	該当する到達目標	予習	配布された「術後観察ノート」に沿って、学習する。	1時間	
	4	復習	術後の観察について、必要性が理解できる。	1.5時間	
6	講義内容	【演習】急性期看護に必要な看護技術②「術後観察技術」			
	該当する到達目標	予習	配布された「術後観察ノート」に沿って、学習する。	1時間	

	4	復習	術後の観察について必要性が理解できる。	1.5 時間
7	講義内容	急性期にある人の看護過程① 1.事例紹介 2.「手術侵襲」とは		
	該当する到達目標	予習	前期の講義資料「手術後期の看護①」に目を通す。	1 時間
	3	復習	事例を熟読し理解する。手術侵襲を理解し、看護過程の中で使用できる。	1.5 時間
8	講義内容	急性期にある人の看護過程② 情報収集とアセスメントについて		
	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	1 時間
	3	復習	事例の看護過程の展開を行う。	1.5 時間
9	講義内容	急性期にある人の看護過程③ 関連図について		
	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	1 時間
	3	復習	事例の看護過程の展開を行う。	1.5 時間
10	講義内容	急性期にある人の看護過程④ 看護診断について		
	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	1 時間
	3	復習	事例の看護過程の展開を行う。	1.5 時間
11	講義内容	急性期にある人の看護過程⑤問題リストと看護計画について		
	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	1 時間
	3	復習	事例の看護過程の展開を行う。	1.5 時間
12	講義内容	急性期にある人の看護過程⑥		
	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	1 時間
	3	復習	事例の看護過程の展開を行う。	1.5 時間
13	講義内容	【演習】救急看護に必要な看護技術①「BLS(一次救命処置)」		
	該当する到達目標	予習	配布された事前学習課題に沿って学習する。	1 時間
	3	復習	BLS の手順が理解できる。	1.5 時間
14	講義内容	【演習】救急看護に必要な看護技術②「BLS(一次救命処置)」		
	該当する到達目標	予習	配布された事前学習課題に沿って学習する。	1 時間
	4	復習	BLS の手順が理解できる。	1.5 時間
15	講義内容	急性期看護、救急看護のまとめ		
	該当する到達目標	予習	第1回～第5回の講義資料、「術後観察演習ノート」、BLS の資料に目を通す。	1 時間
	4	復習	急性期看護と救急看護の特徴について理解する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 火曜日2限目と4限目、質問はメールも受ける。</p> <p>メールアドレス: 石田 (jishida@takasaki-u.ac.jp)、砂賀 (sunaga@takasaki-u.ac.jp)</p> <p>研究室 5 号館 4 階: 石田 (405) 砂賀 (406)</p> <p>予習・復習については試験前の学習および看護過程の展開で補完すること</p>			

科目名	成人看護学方法論Ⅱ-A (看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学)			NRS222	講義	
担当教員	吉田 久美子・福島直子・鈴木恵理					
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1単位			
講義目標	慢性期にあり、生涯、疾病をコントロールする必要のある対象の特徴の理解し、疾病の悪化を予防するために対象のセルフケアを促進するための看護について習得できる。また、治療を受けながら緩和ケアを必要としている対象の特徴と看護について習得できる。					
到達目標	1.慢性期にあり、生涯、疾病をコントロールする必要のある対象の特徴について説明できる。 2.疾病の悪化を予防するために対象のセルフケアを促進するための看護について説明できる。 3.治療を受けながら緩和ケアを必要としている対象の特徴と看護について説明できる。					
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観				
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力				
	✓	3. チームの一員としての協調・協働				
		4. 国際理解				
		5. 生涯学習力				
評価方法	出席状況・レポート 30% 筆記試験 70%で評価する。 総合評価 60 点以上を合格とする。					
課題に対するフィードバック	・レポートにはコメントなどを付けて返却する。 ・定期試験の前に、学習内容の要点と予習・復習の意図を関連付け資料によって示す。					
使用教材	・鈴木志津枝, 藤田佐和編集, 慢性期看護論, ヌーヴェルヒロカワ.ISBN978-4-86174-061-9 ・毎回の授業時に構造的に学習内容を記載した資料を配付する。					
1	講義内容	第1章 慢性期にある対象の特徴と看護の基本 1.慢性疾患の考え方と特徴				
	該当する到達目標	予習	慢性疾患の特徴についてテキストⅠ章 慢性期看護の考え方を読んでおく。		1時間	
	1	復習	テキストⅠ章-2,3を読み、講義内容と関連づけまとめておく。		1.5時間	
2	講義内容	第1章 慢性期にある対象の特徴と看護の基本 2.慢性疾患がある対象の看護の基本				
	該当する到達目標	1,2	予習	慢性疾患がある対象の特徴についてテキストのⅡ章 慢性期にある人の特徴と理解を読んでおく。		1時間
			復習	・テキスト p41「人は実際にどのような思いを抱くか」事例1~3を読み患者が抱く思いについて考察する。・テキスト p496 の事例2を読み看護のポイントを考察する。		1.5時間
3	講義内容	第1章 慢性期にある対象の特徴と看護の基本 3.緩和ケアを受けるがん患者の特徴と看護の基本				
	該当する到達目標	3	予習	成人看護学概論の授業資料を使用し緩和ケアの定義と WHO の主なサービスを読んでおく。		1時間
			復習	緩和ケアを必要とする対象の特徴と看護の基本について要点をまとめる。		1.5時間
4	講義内容	第2章 呼吸機能障害がある対象の看護 1.慢性閉塞性肺疾患の患者の看護				
	該当する到達目標	1,2	予習	呼吸器系の解剖と生理について確認しておく。		1時間
			復習	テキストⅣ章-2を読み COPD の患者の教育的支援の重要性について考察する。		1.5時間
5	講義内容	第2章 呼吸機能障害がある対象の看護 1 肺がんの患者の看護				
	該当する到達目標	1,2	予習	肺の解剖と生理について読んでおく。		1時間
			復習	テキストⅣ章-4 と、放射線療法を受ける患者の看護(p476~487)を読み、肺がん患者の特徴と看護のポイントをまとめる。		1.5時間
6	講義内容	第2章 呼吸機能障害がある対象の看護 2 肺がんの患者の看護				
	該当する到達目標	1,3	予習	緩和ケアの定義と WHO の主なサービスについて授業資料を読んでおく。		1時間
			復習	肺がんの患者に対する緩和ケアを考察する。		1.5時間
7	講義内容	第3章 循環機能障害がある対象の看護 1.心筋梗塞の患者の看護				

	該当する到達目標	予習	肺循環・体循環と心臓の解剖・生理について読んでおく。	1時間
	1,2	復習	テキスト V章-1と3を読み、心筋梗塞の患者の特徴と看護をまとめる。	1.5時間
8	講義内容	<b>第3章 循環機能障害がある対象の看護 2.心不全の患者の看護</b>		
	該当する到達目標	予習	右・左心不全の症状を生理学や病態と関連づけまとめておく。	1時間
	1,2	復習	心不全の特徴をもとに、患者の看護を体系的にまとめておく。	1.5時間
9	講義内容	<b>第4章 栄養摂取・代謝障害がある対象の看護 1.肝炎・肝硬変の患者の看護</b>		
	該当する到達目標	予習	肝臓の解剖生理、肝硬変の病態について確認しておく。	
	1,2	復習	・テキストⅦ章-3を読み症状と生活への影響をもとにアセスメントの要点をまとめる。 ・テキスト パートⅢ 事例編 事例2を読み、看護のポイントを確認する。	1.5時間
10	講義内容	<b>第4章 栄養摂取・代謝障害がある対象の看護 2.胃がんの患者の看護</b>		
	該当する到達目標	予習	終末期の定義や患者の特徴について、成人看護学概論の授業資料を活用し確認しておく。	1時間
	1,3	復習	緩和ケアをうける胃がんの患者の看護の要点を授業資料等を活用しまとめる。	1.5時間
11	講義内容	<b>第4章 栄養摂取・代謝障害がある対象の看護 3.大腸がんの患者の看護</b>		
	該当する到達目標	予習	大腸の解剖生理と、大腸がんの病態について確認しておく。	1時間
	1,2	復習	テキスト Ⅶ章-6 大腸がん患者への看護を読み、看護のポイントを考察する。	1.5時間
12	講義内容	<b>第5章 脳・神経系に障害がある対象の看護 難病の患者の看護</b>		
	該当する到達目標	予習	脳・神経系の解剖と生理について復習をしておく。	1時間
	1,2	復習	テキストⅥ章-3を読み、ALSの患者の看護について要点をまとめておく。	1.5時間
13	講義内容	<b>【演習】慢性疾患がある対象のセルフケアを促進する援助方法 [循環機能障害がある対象の看護]</b>		
	該当する到達目標	予習	心筋梗塞の患者の特徴と看護について確認しておく。	1時間
	1,2	復習	心電図検査をうける患者への看護の要点をまとめる。	1.5時間
14	講義内容	<b>【演習】慢性疾患がある対象のセルフケアを促進する援助方法 [循環機能障害がある対象の看護]</b>		
	該当する到達目標	予習	心筋梗塞の患者の主要なパターンについてアセスメントの要点を確認しておく。	
	1,2	復習	心筋梗塞の患者のセルフケアを促すための看護の要点をまとめる。	
15	講義内容	<b>【まとめ】</b>		
	該当する到達目標	予習	授業資料から第1～14回までの要点を確認する。	1時間
	1,2,3	復習	授業内容を全般的に振り返り、到達目標に向け体系的に知識をまとめる	1.5時間
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員連絡先: Eメールアドレス <a href="mailto:yoshikumi@takasaki-u.ac.jp">yoshikumi@takasaki-u.ac.jp</a></li> <li>・オフィスアワー : 月曜日 1～4 限・火曜日 1～4 限</li> <li>・予習や復習と、授業内で提示された課題などには積極的に取り組むこと。</li> <li>・各回の授業資料をファイリングし、学習を積み重ねられるよう活用すること。</li> </ul>			

科目名	成人看護学方法論Ⅱ-B (看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学)			NRS223	講義
担当教員	吉田 久美子・福島直子・鈴木恵理				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	慢性期にあり、生涯、疾病をコントロールする必要のある対象の特徴の理解し、疾病の悪化を予防するために対象のセルフケアを促進するための看護について習得できる。				
到達目標	1.慢性期にあり、生涯、疾病をコントロールする必要のある対象の特徴について説明できる。 2.疾病の悪化を予防するために対象のセルフケアを促進するための看護について説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	・出席状況とレポート 30%・筆記試験 70%で評価する。 ・総合評価 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	・レポートにはコメントなどを付けて返却する。 ・定期試験の前に、学習内容の要点と予習・復習の意図を関連付け資料によって示す。				
使用教材	・鈴木志津枝、藤田佐和編集、慢性期看護論、ヌーヴェルヒロカワ.ISBN978-4-86174-061-9 ・毎回の授業時に構造的に学習内容を記載した資料を配付する。				
1	講義内容	第1章 慢性期にある対象の看護過程 1.看護過程の概要 2.アセスメント			
	該当する到達目標 1,2	予習	ゴードンの健康的機能パターンについて成人看護学概論の授業資料など活用し各パターンにおける焦点を読み理解する。		1時間
		復習	事例の慢性疾患患者の主要なパターンのアセスメントを記載する。		1.5時間
2	講義内容	第1章 慢性期にある対象の看護過程 2.アセスメント			
	該当する到達目標 1,2	予習	アセスメントガイドを読み主要なパターンにおける分析の視点を理解する。		1時間
		復習	事例の慢性疾患患者の主要なパターンのアセスメントを用い関連図を作成する。		1.5時間
3	講義内容	第1章 慢性期にある対象の看護過程 3.関連図			
	該当する到達目標 1,2	予習	看護診断の記載方法について授業資料とハンドブックで確認する。		1時間
		復習	事例の慢性疾患患者の関連図の記載内容から看護診断を記載する。		1.5時間
4	講義内容	第1章 慢性期にある対象の看護過程 4.患者目標・看護計画			
	該当する到達目標 1,2	予習	看護診断に対する目標と看護計画の立案の仕方について確認する。		1時間
		復習	事例の慢性疾患患者の看護診断に対応した短期目標と看護計画を記載する。		1.5時間
5	講義内容	第1章 慢性期にある対象の看護過程 5.看護計画・実施・評価			
	該当する到達目標 1,2	予習	看護計画の実施時の注意点と、評価の方法について確認する。		1時間
		復習	慢性疾患患者の看護過程の一連のプロセスについて要点をまとめる。		1.5時間
6	講義内容	第2章 生体防御機能障害がある対象の看護 1.HIV/AIDSの患者の看護			
	該当する到達目標 1,2	予習	HIV の病態について確認する。		1時間
		復習	HIV/AIDS の患者の特徴をふまえセルフケアを支援する看護の要点をまとめる。		1.5時間
7	講義内容	第2章 生体防御機能障害がある対象の看護 2.白血病の患者の看護			
	該当する到達目標 1,2	予習	白血病の病態について確認する。		1時間
		復習	白血病の患者の特徴をふまえ、セルフケアを支援する看護の要点をまとめる。		1.5時間
8	講義内容	第3章 調節機能障害がある対象の看護 3.糖尿病の患者の看護①			
	該当する到達目標 1,2	予習	糖尿病の病態を確認し、テキストⅧ章 慢性の代謝機能障害をもつ患者の看護を読む。		1時間

		復習	糖尿病の患者の特徴をふまえ、セルフケアを促す看護について要点をまとめる。	1.5時間
9	講義内容	<b>第3章 調節機能障害がある対象の看護 3.糖尿病の患者の看護②</b>		
	該当する到達目標	予習	糖尿病の急性合併症と慢性合併症について確認する。	1時間
	1,2	復習	慢性合併症を併発した糖尿病の患者の看護について要点をまとめる。	1.5時間
10	講義内容	<b>第4章 内部環境調節障害がある対象の看護 腎不全の患者の看護①</b>		
	該当する到達目標	予習	腎不全の病態について確認し、テキストⅩ章 1～3 を読む。	1時間
	1,2	復習	腎不全の患者の特徴をふまえ、看護の要点を授業資料など活用しまとめる。	1.5時間
11	講義内容	<b>第4章 内部環境調節障害がある対象の看護 腎不全の患者の看護②</b>		
	該当する到達目標	予習	テキストⅩ章 1～3 を読み、腎不全Ⅲ期の患者の看護について要点をまとめる。	1時間
	1,2	復習	事例の患者のセルフケアを促すことを焦点に看護過程を展開する。	1.5時間
12	講義内容	<b>【演習】慢性疾患がある対象のセルフケアを促進する援助方法 [調節機能障害がある対象の看護]</b>		
	該当する到達目標	予習	糖尿病の患者の食事療法の方法についてテキストと資料を読む。	1時間
	1,2	復習	食事療法を学習中の患者の看護について考察する。	1.5時間
13	講義内容	<b>【演習】慢性疾患がある対象のセルフケアを促進する援助方法 [調節機能障害がある対象の看護]</b>		
	該当する到達目標	予習	自己血糖測定の目的や方法についてテキストと資料を用いて読む。	1時間
	1,2	復習	自己血糖測定を学習中の糖尿病の患者の看護について考察する。	1.5時間
14	講義内容	<b>【まとめ1】慢性疾患がある対象のQOLの向上に向けた看護</b>		
	該当する到達目標	予習	糖尿病の患者の特徴と基本的な看護について覚える。	1時間
	1,2	復習	糖尿病の患者についてセルフケアを促す看護を体系的にまとめ考察する。	1.5時間
15	講義内容	<b>【まとめ2】学習内容の要点の確認・慢性疾患がある患者の看護の体系化</b>		
	該当する到達目標	予習	第1～14回までの授業資料を用いて要点を確認する。	1時間
	1,2	復習	授業内容を全般的に振り返り、到達目標に向け体系的に知識をまとめる。	1.5時間
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員連絡先: E メールアドレス <a href="mailto:yoshikumi@takasaki-u.ac.jp">yoshikumi@takasaki-u.ac.jp</a></li> <li>・オフィスアワー : 月曜日 1～4 限・火曜日 1～3 限</li> <li>・予習や復習と、授業内で提示された課題についてテキストや授業資料、参考文献を活用し積極的に取り組むこと。</li> <li>・各回の授業資料をファイリングし、学習を積み重ねられるよう活用すること。</li> </ul>			

科目名	セルフケア論（看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学）			NRS224	講義
担当教員	吉田久美子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	選択必修 1単位		
講義目標	慢性疾患がある対象にセルフケア理論と関連する理論について理解し、対象のセルフケアを促進するための看護の方法について習得できる。				
到達目標	1. 慢性疾患がある対象にセルフケア理論と関連する理論について説明できる。 2. 対象のセルフケアを促進するための看護の方法について説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	・出席状況・レポート 30%、筆記試験 70%で評価する。 ・総合評価 60点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	・レポートなどにはコメントなどを付けて返却する。 ・課題については学習内容の要点と予習・復習の意図を関連付け示し、資料によってフィードバックする。				
使用教材	・安酸史子他編 成人看護学 セルフマネジメント,MC 医学社, ISBN978-4-8404-4129-2 C3347 ・毎回の授業時に学習内容を構造的に記載した資料を配付する。				
1	講義内容	第1章 セルフケアの基本 1.セルフケアの定義とオレム理論			
	該当する到達目標	予習	セルフケア理論におけるセルフケアの定義とセルフケア要件を読み理解する。	1時間	
	1	復習	セルフケア理論のセルフケア不足理論と看護システムについて理解する	1.5時間	
2	講義内容	第1章 セルフケアの基本 2.セルフケアに関連する理論			
	該当する到達目標	予習	セルフマネジメントと自己効力感理論についてテキストを読み、概要を理解する。	1時間	
	1	復習	セルフマネジメントと自己効力感理論における看護の要点をまとめる。	1.5時間	
3	講義内容	第1章 セルフケアの基本 3.セルフケアを促す基本的看護			
	該当する到達目標	予習	看護過程の健康知覚-健康管理パターンの分析ポイントを確認する。	1時間	
	1,2	復習	看護過程における支持・教育看護システムの活用について要点をまとめる。	1.5時間	
4	講義内容	第2章 セルフケアを促進する看護方法 1.がんとともに生きる患者のセルフケアを支える看護①			
	該当する到達目標	予習	緩和ケアの定義と主なサービスについて成人看護学概論の授業資料を読む。	1時間	
	1,2	復習	がん患者のセルフケアを支援する看護師の役割と方法の要点をまとめる。	1.5時間	
5	講義内容	第2章 セルフケアを促進する看護方法 1.がんとともに生きる患者のセルフケアを支える看護②			
	該当する到達目標	予習	終末期の患者の特徴と全人的苦痛について復習し要点を確認する。	1時間	
	1,2	復習	終末期における患者のセルフケアを支援する看護の要点を考察する。	時間	
6	講義内容	第2章 セルフケアを促進する看護方法 2.リハビリテーション看護を基盤にした看護方法			
	該当する到達目標	予習	リハビリテーション看護の定義と方法について復習し要点を確認する。	1時間	
	1,2	復習	ADLの支援を中心にリハビリテーション看護の要点をまとめ確認する。	1.5時間	
7	講義内容	第3章 セルフケアを促進する看護			
	該当する到達目標	予習	セルフケア理論と関連するセルフマネジメントや自己効力感について復習する	1時間	
	1,2	復習	セルフケア理論と関連する理論を活用した看護の要点をまとめる	1.5時間	
8	講義内容	【まとめ】			
	該当する到達目標	予習	セルフケアを促進する看護の方法について授業で学習した内容を確認する。	1時間	
	1,2	復習	セルフケアを促進する看護の方法を活用し事例について考察する。	1.5時間	

備考	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当教員のメールアドレス: <a href="mailto:yoshikumi@takasaki-u.ac.jp">yoshikumi@takasaki-u.ac.jp</a></li><li>・オフィスアワー : 月曜 1~3 限・火曜日 1~3 限</li><li>・予習や復習、また授業内で提示された課題にはテキストや授業資料、参考文献を活用し積極的に取り組むこと。</li><li>・各回の授業資料をファイリングし、学習を積み重ねられるよう活用すること。</li></ul>
----	--

科目名	感染看護(看護専門科目群・専門分野Ⅰ・成人看護学)			NRS225	講義
担当教員	安野 朝子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	<p>感染に関わる知識と感染をコントロールする技術を統合し、対象者となる人を感染症から守り、職業人として働く自分を守るための方法を学習する科目です。</p> <p>感染成立の鎖を理解し、医療関連感染の現状を理解しその対策を学び、新興・再興感染症とその対策を知ることが目標です。病院や地域における、感染対策全般の考え方を学びます。</p>				
到達目標	<p>1.感染の成り立ちを説明できる。</p> <p>2.感染予防策と感染の成り立ちの関連について説明できる。</p> <p>3.医療関連感染の内容を説明でき、感染予防策が立案できる。</p> <p>4.新興・再興感染症の内容を説明でき、これらの感染症対策の動向について情報検索できる。</p> <p>5.医療関連感染が起こった時、医療関連感染のアウトブレイクが発生した時、自分が感染症になった時、それぞれの立場でどのような心情になるのかを考えることができる。</p>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	レポートA4 用紙2枚程度にまとめ提出 講義回数が少ないので出席回数も考慮します。				
課題に対するフィードバック	毎回の講義に対する感想・質問を提出(小さい用紙で)、次回講義でフィードバック レポートはコメントを付け評価後に返却				
使用教材	毎回プリントで提示 参考文献は初回に案内				
1	講義内容	講義概要の説明および「感染の鎖」を理解する			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで講義の目標を理解する	1時間	
	1.2	復習	感染の鎖について理解を深める	1.5時間	
2	講義内容	<p>新興・再興感染症の課題 薬剤耐性菌の出現と国際的な感染の広がり</p> <p>エボラ出血熱 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE) HIV 感染症 結核 多剤耐性緑膿菌</p> <p>ジカウイルス感染症 鳥インフルエンザ</p>			
	該当する到達目標	予習	上記の感染症について調べる	1.5時間	
	2.4.5	復習	新興感染症・再興感染症の対策について理解を深める	1時間	
3	講義内容	<p>感染防止技術</p> <p>標準予防策・経路別対策 滅菌・消毒・洗浄とスποルディングの分類 職業感染防止</p>			
	該当する到達目標	予習	基礎看護技術で学んだ内容を復習する	1時間	
	1.2	復習	感染防止技術が実施できるよう知識を整理する	1.5時間	
4	講義内容	<p>医療関連感染サーベイランス</p> <p>血管内留置カテーテル関連血流感染、尿路カテーテル関連尿路感染、人工呼吸器関連肺炎、手術部位感染</p>			
	該当する到達目標	予習	医療関連感染がどのような場面で発生しているか実習を通して考えてくる	1時間	
	2.3.5	復習	どのようにすれば医療関連感染が予防できるのかを述べられる	1.5時間	
5	講義内容	<p>地域における感染対策</p> <p>在宅看護、介護老人施設、学校、その他</p>			
	該当する到達目標	予習	病院以外での感染対策について、感染症の種類とその対策は何か求められるのか考える	1.5時間	
2.3.5					



科目名	成人看護学実習Ⅰ(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・成人看護学)		NRS320	実習
担当教員	石田 順子 砂賀 道子 藤本桂子			
学年・開講期	3年 通年	必選・単位数	必修 3単位	
講義目標	既習の知識、技術を活用し、急性期・回復期に問題のある成人期の対象を総合的にとらえ、健康障害からの回復と社会復帰に向けて看護過程を展開し、看護の実践能力を養う。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周手術期にある対象の特徴をふまえて、対象を理解できる。</li> <li>2. 対象の傷害された健康段階を知り、健康障害の状況にある対象を理解できる。</li> <li>3. 対象の看護上の問題を把握し、看護過程を展開することができる。</li> <li>4. 対象のストレスとコーピング、ボディイメージ変化の受容、喪失と悲嘆のプロセスを理解し、必要な援助が理解できる。</li> <li>5. 手術を受ける対象の外科的侵襲に伴う著しい変化を理解し、心身の回復や社会への適応をはかれるよう援助が理解できる。</li> <li>6. 周手術期の対象を取り巻く家族・地域・職場などの環境を理解し、その対象に必要な援助のための保健・医療・福祉チームアプローチの必要性を理解できる。</li> <li>7. 健康の維持・増進のための社会資源の活用と援助について理解できる。</li> </ol>			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力		
	✓	3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
		5. 生涯学習力		
評価方法	実習目的、目標達成度、実習の態度等に関して成人看護学実習Ⅰの評価表で評価する。			
課題に対するフィードバック	<p>開講時に実習専用の記録用紙を配布する。</p> <p>その記録用紙に必要な記録を行い、期限までに提出された記録を評価対象とし、なおかつ以下の基準満たしていること評価の条件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病院実習中に自分の受け持ち患者の事例カンファレンスを行う。</li> <li>2. 3週目の学内実習における症例発表会で自分の受け持ち患者のサマリーを発表する。</li> </ol>			
使用教材	<p>成人看護学実習Ⅰ実習要項を配布する。</p> <p>実習全体要項(1年次配布)、術後観察ノート(2年次配布)、アセスメントガイド(2年次配布)</p> <p>成人看護学方法論Ⅰ-Aで使用した教科書、看護診断ハンドブック(医学書院)</p>			
講義内容	<p>I. 実習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成人の急性期または回復期の健康障害を持つ患者を受け持ち、受け持ち患者の看護過程を展開する。また、受け持ち患者と関連する病棟以外の部門の見学実習等も行う。</li> <li>2. カンファレンス(グループ・全体)により学びを深める。</li> <li>3. 看護過程記録、事前レポート、終了時レポートなどの記録を実施し提出する。</li> </ol> <p>II. 実習計画</p> <p>3週間の実習期間を通して、急性期・回復期にある患者に対して看護過程を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1週目:手術を受ける患者を各1名受け持たせていただく。そして受け持ち患者の情報収集、アセスメント、問題の抽出、看護計画の立案を行う。受け持ち患者の状況に応じて手術見学等を行う。</li> <li>2週目:受け持ち患者の看護計画に基づき実践し、評価を行う。状況に応じ、手術等の見学も同時に行う。</li> <li>3週目:実習のまとめとして、演習を行う。また、受け持ち事例をまとめ、事例検討会を行う。</li> </ol>			
	予習	事前課題、受け持ち患者の疾患レポートの作成を行う。日々の実習において指導された課題の学習を行う。実習の要項に沿って必要な課題の学習を行う。		期間中適宜
	復習	実習で行った学習内容を日々まとめる。収集した情報の整理やアセスメントなど看護		期間中適宜

	<p>過程の展開を行う。また、当日の看護を振り返り、経過記録を書く。 ・実習で受け持った患者について、理解できたことをまとめておく。</p>	
備考	<p>オフィスアワー; 火曜日、質問は適宜メールでも受ける。 メールアドレス: 石田 (<a href="mailto:jishida@takasaki-u.ac.jp">jishida@takasaki-u.ac.jp</a>)、砂賀 (<a href="mailto:sunaga@takasaki-u.ac.jp">sunaga@takasaki-u.ac.jp</a>) 予習・復習として実習期間中は実習に入る前に必ず教わったことや調べたことをチェックし、帰宅後は必ず思い出して指示されたことや教わったことを書き出すなどの行為が必要である。積極的に自分が経験したいことは、学習することが必要である。 成人看護学概論、成人看護学方法論 I -A、I -B の学習内容を整理しておくこと。</p>	

科目名	成人看護学実習Ⅱ(学外・学内)(看護専門科目群・専門分野Ⅱ)		NRS321	実習
担当教員	吉田 久美子・福島直子・鈴木恵理			
学年・開講期	3年 通年	必修・単位数	必修 3単位	
講義目標	慢性疾患がある成人期の対象の特徴をとらえ、QOLの向上をめざしセルフケアを促進する看護を学習する。また、終末期にある対象の生命の尊厳を重視し、全人的苦痛を緩和するための看護を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.慢性疾患を抱える対象の身体的・心理的・社会的特徴について述べるができる。</li> <li>2.看護過程のプロセスを経て、対象に適したセルフケアの確立に向けた援助ができる。</li> <li>3.対象の日常生活行動の援助の重要性や適した方法を理解し、援助ができる。</li> <li>4.検査や治療について目的や方法、生じやすい身体的・心理的な影響を理解し援助ができる。</li> <li>5.終末期にある対象の全人的苦痛の理解に努め、緩和ケアについて理解し援助ができる。</li> <li>6.慢性期・終末期にある対象の看護を考察できる。</li> </ol>			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力		
	✓	3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
		5. 生涯学習力		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中は適宜面接を行い、最終的に評価表を用い実習目標への達成度を評価する。</li> <li>・総合評価 60 点以上を合格とする。</li> </ul>			
課題に対するフィードバック	病棟実習期間中の日々の実習記録や学内実習で作成したグループワークによる資料について、担当教員よりコメントを付しフィードバックする。習熟度の向上に向け、追加修正された箇所についてもコメントする。			
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する科目の授業資料:成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅱ-A・Ⅱ-B、セルフケア論</li> <li>・成人看護学実習Ⅱの実習要項と事前配付資料など。</li> </ul>			
講義内容	<p>病棟実習を2週間(1日8時間、週4日)行い、学内実習・治療室実習を1週間((1日8時間、週5日)行う。到達目標の達成に向け下記の学習内容について実習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 慢性疾患を抱える対象の身体的・心理的・社会的特徴について述べるができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)慢性期にある対象の身体的特徴を記述する。</li> <li>2)慢性期にある対象の心理的特徴を記述する。</li> <li>3)慢性期にある対象の社会的特徴を記述する。</li> </ol> </li> <li>2. 看護過程のプロセスを経て、対象に適したセルフケアの確立に向けた援助ができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)対象の生活習慣や自己管理に関する情報を収集する。</li> <li>2)セルフケアに関して対象が抱えている問題を分析する。</li> <li>3)分析に基づき対象の状態に応じた目標と計画を立案する。</li> <li>4)看護師と共に指導を実施する。</li> <li>5)セルフケアの評価をする。</li> <li>6)慢性疾患をもつ対象の家族への看護を考える。</li> </ol> </li> <li>3. 対象の日常生活行動の援助の重要性や適した方法を理解し、援助ができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)日々の援助に参加し、疾病や治療により日常生活行動や心理面に影響している状況を分析する。</li> <li>2)1)をふまえ、目標や看護計画を立案する。</li> <li>3)2)の看護計画を対象の状況に応じ実施し、評価する。</li> </ol> </li> <li>4. 検査や治療について目的や方法、生じやすい身体的・心理的な影響を理解し援助ができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)検査や治療の目的と方法をふまえ、検査や治療によって生じる危険性のある合併症、身体的・心理的な影響を分析する。</li> <li>2)1)をふまえ、目標や看護計画を立案する。</li> <li>3)2)の看護計画を対象の状況に応じ実施し、評価する。</li> </ol> </li> <li>5. 終末期にある対象の全人的苦痛の理解に努め、緩和ケアについて理解し援助ができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)対象が抱えている全人的苦痛の理解に努める。</li> <li>2)対象が全人的苦痛を抱え生活していることを考え、共感的態度で対話する。</li> <li>3)対象の全人的苦痛の緩和や家族への支援に向け、援助を実施する。</li> </ol> </li> </ol>			

	<p>6. 慢性期・終末期にある対象の看護を考察できる。</p> <p>1) 実習で遭遇した現象について、背景や意味について洞察し理解を深めるよう関連する概念や理論を学習し考察する。</p> <p>2) 慢性疾患患者の援助について、既習学習をふまえカンファレンスやグループワークから対象の QOL の向上に向けた看護を考察する。</p> <p>※病棟実習期間中は実習指導者による指導も受ける。</p>		
	予習	慢性疾患患者の特徴や、受け持ち患者に関する疾患や看護について学習する。	実習前
	復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習先で指導を受けたことをふまえ、受け持ち患者記録を記載し追加修正を加える。</li> <li>・病棟実習で得た経験からの学びなど記録の準備など計画的に進める。</li> <li>・学内実習で得た学びなどを記録し、提出レポートなど記録物をまとめる。</li> </ul>	期間中適宜
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目責任者のメールアドレスは次の通り。<a href="mailto:yoshikumi@takasaki-u.ac.jp">yoshikumi@takasaki-u.ac.jp</a></li> <li>・オフィスアワーは前期・後期(金曜 2 時限目)。</li> <li>・受講するためには実習承認基準を満たしていることが必要となる。その他、関連する選択科目のセルフケア論の履修を推奨する。</li> <li>・予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習期間中は病棟実習に入る前に必ず事前学習を行い、帰宅後は必ず「日々の記録」と「受け持ち患者記録」を、指導を受けた内容をふまえ記載することが必要である。</li> <li>・学内実習では病棟実習の経験をふまえグループで資料作成など行うため、成人看護学概論や成人看護学方法論 II-A・II-B、セルフケア論で学習した理論や概念を復習しておくことも勧める。</li> </ul>		

科目名	老年看護概論(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・老年看護学)			NRS130	講義
担当教員	小池洋子、内田真理子、星野千春、大澤幸枝				
学年・開講期	1 年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	老年看護の対象である高齢者とその家族を、加齢や疾病・障害、過去から現在までの社会・生活状況などから多角的に理解し、老年期に起こりやすい健康障害や諸問題の特徴を学習する。また、高齢者を援助する看護の役割を理解し、その人らしさを支え権利擁護できる心構えを学習する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者とは、老いるということ、超高齢社会等、老年看護を学ぶ上で必要な社会情勢が理解できる。高齢者に対するイメージや理解度を自覚できる。</li> <li>2. 高齢者の生理機能(①感覚・運動・神経系 ②消化・腎-排泄系 ③循環・呼吸器系)が理解できる。</li> <li>3. 高齢者看護の基本である高齢者看護の特性、諸理論、倫理的視点が理解できる。</li> <li>4. 高齢者看護の基本である高齢者のアセスメントが理解できる。</li> <li>5. 高齢者体験を通して高齢者の理解が深まる。高齢者の死を考える事ができる。</li> <li>6. 高齢者を取りまく社会(家族・制度・社会資源・権利擁護など)やヘルスプロモーションが理解できる。</li> <li>7. 高齢者の生活を支える看護が理解できる。</li> <li>8. 高齢者の看護の役割が理解できる。</li> </ol>				
学位授与方法との対応	✓	1.人間理解と倫理観			
	✓	2.論理的思考・問題解決力			
	✓	3.チームの一員としての協調・協働			
		4.国際理解			
		5.生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%と、3つの課題レポート・出席状況・学習態度で 30%の評価 総合評価 60%以上を合格とする				
課題に対するフィードバック	演習・特別講演・フィールドワークの各課題に基づいて提出されたレポート内容に関し、授業時間を用いて、公表やコメントする。				
使用教材	教科書 ナーシンググラフィカ 老年看護学①－高齢者の健康と障害－堀内ふきら編著 メディカ出版 ISBN978-8404-5379-0 C3347 教科書 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 北川公子著者代表 医学書院 ISBN978-4-260-01815-9 C3347 講義用資料を随時配布する				
1	講義内容	シラバス内容の説明、高齢者のイメージ、高齢者理解の程度を確認			
	該当する到達目標	予習	特に必要なし。		0 時間
	1	復習	フィールドワークでの健康高齢者インタビュー等の準備。		1.5 時間
2	講義内容	高齢者とは、高齢者の特徴、高齢者の OOL の理解			
	該当する到達目標	予習	教科書 老年看護学① 1 高齢者の理解 を読んでくる。		1.5 時間
	1	復習	フィールドワークでの健康高齢者インタビュー等の準備。		1.5 時間
3	講義内容	高齢者の生理機能①DVD (感覚・運動・神経系)			
	該当する到達目標	予習	教科書 老年看護学① 1 高齢者の理解 「加齢に伴う変化」を読んでくる。		1.5 時間
	2	復習	教科書 老年看護学 第 4 章 高齢者のアセスメント内容と配布資料の復習。		1.5 時間
4	講義内容	高齢者の生理機能②DVD (消化・腎-排泄系 )			
	該当する到達目標	予習	教科書 老年看護学① 1 高齢者の理解 「加齢に伴う変化」を読んでくる。		1.5 時間
	2	復習	教科書 老年看護学 第 4 章 高齢者のアセスメント、第 5 章 高齢者の生活機能を整える を読む。配布資料を復習。		1.5 時間

5	講義内容	高齢者の生理機能③DVD (循環・呼吸器系)		
	該当する到達目標	予習	教科書 老年看護学① 1 高齢者の理解「加齢に伴う変化」を読んでくる。	1.5 時間
	2	復習	教科書 老年看護学 第4章 高齢者のアセスメント内容と配布資料の復習。	1.5 時間
6	講義内容	高齢者看護の特性、諸理論、倫理的視点		
	該当する到達目標	予習	教科書 老年看護学① 4 高齢者看護の基本 を読んでくる。	1.5 時間
	3.	復習	講義時の配布資料を見直し、理解する。	1.5 時間
7	講義内容	高齢者のアセスメント		
	該当する到達目標	予習	教科書 老年看護学① 4 高齢者看護の基本 を読んでくる。	1.5 時間
	4	復習	講義時の配布資料を見直し、理解する。	1.5 時間
8	講義内容	高齢者体験(半数ずつ) 高齢者の死(老衰死の DVD):視聴後の感想提出(時間内)		
	該当する到達目標	予習	事前の演習体験資料に基づいて、目的・体験内容を理解する。	1.5 時間
	5	復習	体験を通しての課題に基づき、レポート提出	2 時間
9	講義内容	高齢者体験(半数ずつ) 高齢者の死(老衰死の DVD):視聴後の感想提出(時間内)		
	該当する到達目標	予習	事前の演習体験資料に基づいて、目的・体験内容を理解する。	1.5 時間
	5	復習	体験を通しての課題に基づき、レポート提出	2 時間
10	講義内容	高齢者を取りまく社会(家族・制度・社会資源・権利擁護など)		
	該当する到達目標	予習	教科書 老年看護学① 2 高齢者を取り巻く社会 を読んでくる。	1.5 時間
	6	復習	講義時の配布資料を見直し、理解する。	1.5 時間
11	講義内容	高齢者のヘルスプロモーション。		
	該当する到達目標	予習	教科書 老年看護学① 2 高齢者のヘルスプロモーション を読んでくる。	1.5 時間
	6	復習	講義時の配布資料を見直し、理解する。	1.5 時間
12	講義内容	特別講演:地域で療養する高齢者の理解(複合型サービスを利用している高齢者)		
	該当する到達目標	予習	教科書 老年看護学① 2 高齢者を取り巻く社会 を読んでくる。	1.5 時間
	1. 6. 7	復習	講演後に課題に基づいてレポート提出	2 時間
13	講義内容	高齢者の生活を支える看護(コミュニケーション、食生活、)		
	7	予習	教科書 老年看護学① 6 生活を支える看護 を読んでくる。	1.5 時間
		復習	第3~5回の高齢者の生理機能に照らし深める	1.5 時間
14	講義内容	高齢者の生活を支える看護(セクシャリティ、住まい、経済状態、社会参加など)		
	該当する到達目標	予習	教科書 老年看護学① 6 生活を支える看護 を読んでくる。	1.5 時間
	7	復習	第3~5回の高齢者の生理機能に照らし深める	1.5 時間
15	講義内容	高齢者看護の役割		
	該当する到達目標	予習	教科書 老年看護学① 4 高齢者看護の基本 を読んでくる。 教科書 老年看護学 第3章 老年看護の基盤 を読んでくる。	1.5 時間
	1~8	復習	今までの授業を参考に、フィールドワークで健康高齢者にインタビューしたものをレポートにまとめ提出。	2 時間
備考	<p>オフィスアワー: 火曜日の1限~2限、質問はメールで受け付けます。</p> <p>メールアドレス: <a href="mailto:oosawa-y@takasaki-u.ac.jp">oosawa-y@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>研究室: 4号館 4階 411 研究室</p>			

科目名	老年看護学方法論Ⅰ(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・老年看護学)			NRS230	講義
担当教員	内田真理子、星野千春、星河純子				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	治療を必要とする高齢者、援助を必要とする要介護高齢者、終末期の高齢者など、様々な健康レベルにある高齢者の、障害や症状に応じた看護方法を学習することを目的とする。				
到達目標	1.加齢による生活機能への影響を理解し、高齢者の生活機能を整える看護について理解できる。 2.高齢者にとっての検査・治療を理解し、検査・治療を受ける高齢者の看護について理解できる。 3.高齢者に特徴的な疾患を理解し、疾患を抱える高齢者の看護について理解できる。 4.高齢者の尊厳、QOLをふまえ、その人らしい日常生活を送るための看護について理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1.人間理解と倫理観			
	✓	2.論理的思考・問題解決力			
	✓	3.チームの一員としての協調・協働			
		4.国際理解			
		5.生涯学習力			
評価方法	筆記試験 80%、レポート 15%、授業参加度・学習態度 5%				
課題に対するフィードバック	課題に基づいて提出されたレポート内容について、授業時間を用いて公表やコメントを行う。				
使用教材	① 北川公子:系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護学2016,医学書院 ② 堀内ふきら編著:ナースングラフィカ老年看護学① 高齢者の健康と障害2016,メディカ出版 ③ 堀内ふきら編著:ナースングラフィカ老年看護学② 高齢者看護の実践2016,メディカ出版 講義資料を随時配布する。				
1	講義内容	高齢者の生活機能を整える看護の展開1 日常生活を支える基本的活動			
	該当する到達目標 1,4	予習	教科書①第5章A、教科書③1-5に目を通す。		1時間
		復習	加齢による運動機能の低下から起こる生活障害を理解し、高齢者の日常生活を支える基本的活動への援助方法を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。		1.5時間
2	講義内容	高齢者の生活機能を整える看護の展開2 排泄			
	該当する到達目標 1,4	予習	教科書①第5章C、教科書③1-2に目を通す。		1時間
		復習	加齢による機能低下から起こる排泄への影響を理解し、高齢者の尊厳に配慮した排泄の援助を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。		1.5時間
3	講義内容	高齢者の生活機能を整える看護の展開3 清潔			
	該当する到達目標 1,4	予習	教科書①第5章D、教科書②1-5、6、教科書③1-3に目を通す。		1時間
		復習	加齢による機能低下から起こる清潔活動への影響を理解し、高齢者の清潔を保つ援助を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。		1.5時間
4	講義内容	高齢者の生活機能を整える看護の展開4 栄養・食事			
	該当する到達目標 1,4	予習	教科書①第5章B、第6章A②、教科書②1-1~3、教科書③1-1に目を通す。		1時間
		復習	加齢による機能低下から起こる食生活への影響を理解し、高齢者の食生活を支える援助を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。		1.5時間
5	講義内容	高齢者の生活機能を整える看護の展開5 生活リズム			
	該当する到達目標 1,4	予習	教科書①第5章E、教科書③1-4に目を通す。		1時間
		復習	加齢による機能低下から起こる生活リズムへの影響を理解し、高齢者の生活リズムを整える援助を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。		1.5時間
6	講義内容	検査・治療を受ける高齢者の看護ケア1 薬物療法			
	該当する到達目標	予習	教科書①第6章A③、教科書③3-1に目を通す。		1時間

	1,2,4	復習	加齢による機能低下から起こる薬物動態への影響を理解し、薬物療法における高齢者の特徴とその支援を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
7	講義内容	検査・治療を受ける高齢者の看護ケア2 検査、放射線療法、手術療法(周手術期含む)		
	該当する到達目標	予習	教科書①第6章A①、④、⑤、教科書③3-2.4に目を通す。	1時間
	1,2,4	復習	検査、放射線療法、手術療法における高齢者の特徴と、それらを受ける高齢者への安全・安楽・確実な援助を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
8	講義内容	検査・治療を受ける高齢者の看護ケア3 感染症、褥瘡		
	該当する到達目標	予習	教科書①第6章B④、⑥、⑨、教科書②1-13、16に目を通す。	1時間
	1,2,4	復習	感染症および褥瘡における高齢者の特徴と感染症・褥瘡を持つ高齢者への援助を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
9	講義内容	特別講義「高齢者のための音楽療法」		
	該当する到達目標	予習	教科書②2-1、教科書③2-1に目を通す。音楽療法について調べる。	1時間
	1,4	復習	音楽療法の目的、効果、活用方法について理解し、高齢者へのかかわりについて考察する。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
10	講義内容	特別講義「高齢者のための音楽療法」		
	該当する到達目標	予習	教科書②2-1、教科書③2-1に目を通す。音楽療法について調べる。	1時間
	1,4	復習	音楽療法の目的、効果、活用方法について理解し、高齢者へのかかわりについて考察する。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
11	講義内容	疾患を持つ高齢者への看護1 うつ・せん妄		
	該当する到達目標	予習	教科書①第6章C①、②、教科書③2-2、3に目を通す。	1時間
	1,3,4	復習	うつ、せん妄の発症の背景や経過を理解し、うつ、せん妄状態にある高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
12	講義内容	疾患を持つ高齢者への看護2 認知症		
	該当する到達目標	予習	教科書①第6章C③、教科書③2-1に目を通す。	1時間
	1,3,4	復習	認知症の特徴と認知機能低下から起こる生活障害を理解し、認知症高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
13	講義内容	疾患を持つ高齢者への看護3 終末期の看護(エンドオブライフ)		
	該当する到達目標	予習	教科書①第6章D、教科書②4-3-3・4、教科書③4に目を通す。	1時間
	1,3,4	復習	高齢者の終末期とその意思決定プロセスを理解し、終末期にある高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
14	講義内容	高齢者のリスクマネジメント 高齢者と医療安全		
	該当する到達目標	予習	教科書①第8章A、教科書②4-8、5-3、教科書③3-7に目を通す。	1時間
	1,4	復習	高齢者に起こりやすい事故とその予防策について理解し、高齢者と医療安全をふまえた看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義資料に目を通す。	1時間
	1~4	復習	加齢による生活機能への影響や特徴的な疾患など高齢者の特徴を理解し、高齢者の尊厳やQOLをふまえた高齢者への支援方法を理解する。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
備考	<p>オフィスアワー：金曜日2限、3限 不在時はメール等で問い合わせのこと。</p> <p>メールアドレス：内田(uchida-m@takasaki-u.ac.jp)、星野(hoshino-c@takasaki-u.ac.jp)、          星河(hoshikawa@takasaki-u.ac.jp)</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	老年看護学方法論Ⅱ(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・老年看護学)			NRS231	講義
担当教員	内田真理子、星野千春、星河純子				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	治療を必要とする高齢者や援助を必要とする要介護高齢者など、様々な健康レベルにある高齢者の障害や症状に応じた看護方法を学習し、老年期にある対象の看護実践が具体的に考えられる。				
到達目標	1.様々な健康レベルにある高齢者の障害や症状に応じた看護方法が理解できる。 2.既習の高齢者に対する看護を学生各自が臨地実習で活用できるよう理解を深めることができる。 3.既習内容から高齢者に対する看護過程をグループワークでまとめることができる。				
学位授与方針との対応	✓	1.人間理解と倫理観			
	✓	2.論理的思考・問題解決力			
	✓	3.チームの一員としての協調・協働			
		4.国際理解			
		5.生涯学習力			
評価方法	筆記試験 60%、グループ演習 20%、課題レポート 15%、授業参加度・学習態度 5%				
課題に対するフィードバック	課題に基づいて提出されたレポート内容について、授業時間を用いて公表やコメントを行う。 事例検討においては、発表会資料を配布し、発表会においてコメントする。				
使用教材	① 北川公子:系統看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護学.2016,医学書院 ② 堀内ふきら編著:ナースングラフィカ老年看護学① 高齢者の健康と障害.2016,メディカ出版 ③ 堀内ふきら編著:ナースングラフィカ老年看護学② 高齢者看護の実践.2016,メディカ出版 講義資料を随時配布する。 【参考文献】山田律子:生活機能からみた 老年看護過程+病態+生活機能関連図.2008,医学書院				
1	講義内容	疾病をもつ高齢者への看護1 骨粗鬆症、骨折(大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折等)			
	該当する到達目標	予習	教科書①第5章A②、第6章B⑦、⑧、教科書②4-6、教科書③1-5に目を通す。		1時間
	1,2	復習	骨粗鬆症、骨折の概要と高齢者の特徴、骨粗鬆症・骨折を持つ高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。		1.5時間
2	講義内容	疾病をもつ高齢者への看護2 肺炎、呼吸不全			
	該当する到達目標	予習	教科書①第5章B⑤、教科書②4-6、教科書③1-6に目を通す。		1時間
	1,2	復習	肺炎、呼吸不全の概要と高齢者の特徴、肺炎、呼吸不全を持つ高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。		1.5時間
3	講義内容	疾病をもつ高齢者への看護3 心不全、パーキンソン病			
	該当する到達目標	予習	教科書①第6章B②、教科書②4-6、教科書②1-5、6、教科書③1-6・7に目を通す。		1時間
	1,2	復習	心不全、パーキンソン病の概要と高齢者の特徴、心不全、パーキンソン病を持つ高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。		1.5時間
4	講義内容	疾病をもつ高齢者への看護4 脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)			
	該当する到達目標	予習	教科書①第6章B①、教科書②4-6、第6章A②、教科書②1-1~3、教科書③1-1に目を通す。		1時間
	1,2	復習	脳卒中の概要と高齢者の特徴、脳卒中を持つ高齢者の看護を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。		1.5時間
5	講義内容	事例検討1 GWでの看護過程の展開演習			
	該当する到達目標	予習	教科書①付章、教科書③5に目を通す。事例に目を通し、看護過程の展開に必要な項目(病態生理、看護など)を学習する。		1時間
	1~3	復習	グループワークでの検討において、不足していた項目について学習をする。グ		1.5時間

			ループワークを振り返り、自己の記録を加筆修正する。	
6	講義内容	事例検討2 GWでの看護過程の展開演習		
	該当する到達目標	予習	教科書①付章、教科書③5に目を通す。 看護過程の展開に必要な項目(病態生理、看護など)を学習する。	1時間
	1~3	復習	グループワークでの検討において、不足していた項目について学習をする。グループワークを振り返り、自己の記録を加筆修正する。	1.5時間
7	講義内容	事例検討3 GWでの看護過程の展開演習		
	該当する到達目標	予習	教科書①付章、教科書③5に目を通す。 看護過程の展開に必要な項目(病態生理、看護など)を学習する。	1時間
	1~3	復習	グループワークでの検討において、不足していた項目について学習をする。グループワークを振り返り、自己の記録を加筆修正する。	1.5時間
8	講義内容	事例検討4 GWでの看護過程の展開演習		
	該当する到達目標	予習	教科書①付章、教科書③5に目を通す。 看護過程の展開に必要な項目(病態生理、看護など)を学習する。	1時間
	1~3	復習	グループワークでの検討において、不足していた項目について学習をする。グループワークを振り返り、自己の記録を加筆修正する。	1.5時間
9	講義内容	事例検討5 GWでの看護過程の展開演習		
	該当する到達目標	予習	教科書①付章、教科書③5に目を通す。 看護過程の展開に必要な項目(病態生理、看護など)を学習する。	1時間
	1~3	復習	グループワークでの検討において、不足していた項目について学習をする。グループワークを振り返り、自己の記録を加筆修正する。	1.5時間
10	講義内容	特別講義「老人専門看護師による実践活動」		
	該当する到達目標	予習	老人専門看護師(制度、役割、活動など)について調べる。	1時間
	1,2	復習	老人専門看護師の活動の実際から、高齢者へのかかわりについて考察する。配布資料を復習する。	1.5時間
11	講義内容	高齢者看護に必要な基本的看護1 演習:口腔ケア(義歯の取り扱い、口腔洗浄等)		
	該当する到達目標	予習	教科書①第5章B、事前配布資料に目を通す。ワークシートを作成する。	1時間
	1~3	復習	演習を通しての学びをワークシートにまとめる。安全・安楽に配慮し、自立支援に向けた高齢者の口腔ケアの方法を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
12	講義内容	高齢者看護に必要な基本的看護1 演習:口腔ケア(義歯の取り扱い、口腔洗浄等)		
	該当する到達目標	予習	教科書①第5章B、事前配布資料に目を通す。ワークシートを作成する。	1時間
	1~3	復習	演習を通しての学びをワークシートにまとめる。安全・安楽に配慮し、自立支援に向けた高齢者の口腔ケアの方法を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
13	講義内容	高齢者看護に必要な基本的看護2 演習:排泄ケア(おむつ交換)		
	該当する到達目標	予習	教科書①第5章C、事前配布資料に目を通す。ワークシートを作成する。	1時間
	1~3	復習	演習を通しての学びをワークシートにまとめる。安全・安楽、尊厳に配慮し、自立支援に向けた高齢者の排泄ケアの方法を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
14	講義内容	高齢者看護に必要な基本的看護2 演習:排泄ケア(おむつ交換)		
	該当する到達目標	予習	教科書①第5章C、事前配布資料に目を通す。ワークシートを作成する。	1時間
	1~3	復習	演習を通しての学びをワークシートにまとめる。安全・安楽、尊厳に配慮し、自立支援に向けた高齢者の排泄ケアの方法を学ぶ。教科書、配布資料を復習する。	1.5時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義資料に目を通す。	1時間

	1~3	復習	加齢による生活機能への影響や特徴的な疾患など高齢者の特徴を理解し、高齢者の尊厳やQOLをふまえた高齢者への支援方法を理解する。教科書、配布資料を復習する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー : 金曜日 2 限、3 限 不在時はメール等で問い合わせのこと。</p> <p>メールアドレス : 内田(<a href="mailto:uchida-m@takasaki-u.ac.jp">uchida-m@takasaki-u.ac.jp</a>)、星野(<a href="mailto:hoshino-c@takasaki-u.ac.jp">hoshino-c@takasaki-u.ac.jp</a>)、          星河(<a href="mailto:hoshikawa@takasaki-u.ac.jp">hoshikawa@takasaki-u.ac.jp</a>)</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	老年看護学実習(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・老年看護学)		NRS330	実習
担当教員	星野千春、星河純子、内田真理子			
学年・開講期	3年 通年	必選・単位数	必修 3単位	
講義目標	老年期にある対象の健康上および生活上の問題を把握し、その個人と家族を支援する看護実践に必要な知識・技術・態度を習得する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.老年期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴の理解とともに、発達課題や家族のあり方について理解する。</li> <li>2.老年期にある対象の健康上および生活上の問題を解決するための看護を実施する。</li> <li>3.高齢者ケアにおける保健・医療・福祉のシステムやチームの連携の必要性を理解する。</li> <li>4.臨地実習を通して高齢者理解を深め、「老いること」「老いを生きること」について、自分の考えを述べることができる。</li> <li>5.高齢者の意思決定・権利・尊厳について考え、述べることができる。</li> </ol>			
学位授与方針との対応	✓	1.人間理解と倫理観		
	✓	2.論理的思考力・問題解決力		
	✓	3.チームの一員としての協調・協働		
		4.国際理解		
		5.生涯学習力		
評価方法	<p>実習中は適宜面接を行い、最終的に評価表を用いて評価する。</p> <p>実習参加度・学習態度、実習目的・目標の達成状況、看護援助の実施状況、実習記録(事前学習課題を含む)を評価項目とし、評価表において60点以上を合格とする。</p>			
課題に対するフィードバック	<p>実習の事前課題、実習記録等を提出期限内に提出した学生には、実習担当者からのコメントを付して返却する。看護援助場面、カンファレンス、実習報告会等でその都度コメントを行う。</p>			
使用教材	既習の老年看護学における使用教材および臨地実習要項、老年看護学実習要項、事前配布資料			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.老年期にある対象を理解するために必要な情報を収集し、老化や疾病によって生じた機能障害の状態をアセスメントする。</li> <li>2.病態関連図を作成し、老年期にある対象の生活上の課題を明らかにする。</li> <li>3.優先順位上位の課題についての看護計画を立案する。</li> <li>4.看護計画に基づき、受け持ち患者の反応に応じた援助を実施する(安全・安楽・自立・自律・倫理性に配慮する)。</li> <li>5.患者の状態・状況の変化に応じて再アセスメントし、計画を修正する。</li> <li>6.受け持ち患者の今後の生活を考え、継続看護の必要性を理解する。</li> <li>7.医療連携における看護の役割を理解する。</li> <li>8.施設実習を通して、施設を利用する高齢者の看護について理解する。</li> <li>9.臨地実習を振り返り、学びを記録にまとめる。</li> <li>10.臨地実習を通して得られた自己の看護観を明らかにする。</li> </ol>			
	予習	事前に提示された学習課題をまとめ、実習で活用できるようにする。事前情報や実習中に得られた情報から実習で必要と予測される項目(演習を含む)について、学習をする。		期間中適宜
	復習	実習を通して得られた情報をもとに、実習記録を整理する。実習で行った看護援助を振り返り、自己の課題を見出す。実習での学びをまとめ、実習報告会及び記録に反映する。		期間中適宜
備考	<p>オフィスアワー : 金曜日 2限、3限 不在時はメール等で問い合わせのこと。</p> <p>メールアドレス : 内田(uchida-m@takasaki-u.ac.jp)、星野(hoshino-c@takasaki-u.ac.jp)、星河(hoshikawa@takasaki-u.ac.jp)</p>			

**【自己学習の内容】**

老年看護学概論および老年看護学方法論 I・II を復習し、様々な健康レベルにある高齢者への個別的な援助について、学生自らが考え臨地実習で活用できるよう自己学習しておくことが望ましい。  
実習期間中はその都度、指示されたことや学んだことを書き出すなど、学習内容を整理する必要がある。

科目名	小児看護学概論(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・小児看護学)			NRS140	講義
担当教員	櫻井美和・星野美穂				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	小児期にある子どもの健康と成長・発達および子どもを取り巻く社会環境を理解し、小児看護の役割・機能を学習する。				
到達目標	1.小児看護の対象と環境、目標、および役割・機能を理解する。 2.小児看護における子どもの権利とその重要性および倫理的課題を理解する。 3.子どもを抱える家族の特徴とその機能を理解する。 4.母子保健統計の変遷、母子保健、小児保健の関係法規および行政施策を理解する。 5.小児期にある子どもの成長・発達の特徴を理解する。 6.小児期各期に生じやすい健康問題と疾病の予防、健康の維持・増進に向けた支援を理解する。 7.上記1～6に基づき、日本における小児看護の課題および小児看護の役割・機能を考察する。				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
	✓	論理的思考力・問題解決力			
	✓	チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	授業態度・出席状況(10%)、定期試験(60%)、課題レポート(30%)により、総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付して返却する				
使用教材	・奈良間美保他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論, 医学書院, ¥2,800 ・適宜、授業資料を配布する				
1	講義内容	科目オリエンテーション 小児看護の特徴と理念／子どもを取り巻く社会環境[1] —小児看護の対象と環境、子ども観・家族間の変遷—			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の小児看護学概論 第1章-A、Cを精読する。		1時間
		復習	Bronfenbrenner の生態学的環境モデル、小児看護の対象(子どもと家族)と環境の関係を理解する。また、自己の子ども観、家族観をまとめる。また、新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する。		1.5時間
2	講義内容	小児看護の特徴と理念／子どもを取り巻く社会環境[2] —小児看護における倫理—			
	該当する到達目標 2	予習	教科書の小児看護学概論 第1章-Dを精読する。		1時間
		復習	子どもの権利、小児看護領域で特に留意すべき権利と必要な看護行為、子どもの権利が脅かされる社会問題について理解する。また、新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する。		1.5時間
3	講義内容	小児看護の特徴と理念／子どもを取り巻く社会環境[3] —子どもを抱える家族の特徴とその機能—			
	該当する到達目標 3	予習	教科書の小児看護学概論 第7章を精読する。		1時間
		復習	家族のライフサイクルと段階別にみた基本的発達課題、家族の置かれている状況と子どもへの影響について理解する。また、新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する。		1.5時間
4	講義内容	小児看護の特徴と理念／子どもを取り巻く社会環境[4] —小児保健統計の変遷、母子保健、小児保健の関係法規および行政施策—			

4	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第1章-B、第8章を精読する。	1時間
		復習	新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する講義内容を参考に、子どもに関連する施策や社会問題について取り上げ、自分の意見をまとめる。	1.5時間
5	講義内容	小児看護の特徴と理念／子どもを取り巻く社会環境[5] —小児看護の目標、役割・機能—		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	教科書の小児看護学概論 第1章-A、Eを精読する。	1時間
		復習	第1～5回までの授業内容に基づき、小児看護の目標、役割・機能を理解する。	1.5時間
6	講義内容	子どもの成長・発達と看護[1] —成長・発達の概念、一般的原則、影響因子—		
	該当する到達目標 1,5	予習	教科書の小児看護学概論 第2章-A、B、Cを精読する。	1時間
		復習	成長発達の影響要因について調べ、まとめる。	1.5時間
7	講義内容	子どもの成長・発達と看護[2] —各発達段階の形態的・機能的発達の特徴と看護(呼吸、循環、血液・造血[免疫も含む]、消化)—		
	該当する到達目標 1,5	予習	教科書の小児看護学概論 第4・5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。また、各器官の解剖生理を学習する。	1時間
		復習	子どもの身体的発育および発達の特徴を理解する。	1.5時間
8	講義内容	子どもの成長・発達と看護[3] —各発達段階の形態的・機能的発達の特徴と看護(形態、脳・神経、運動、感覚、免疫、体温)—		
	該当する到達目標 1,5	予習	教科書の小児看護学概論 第4・5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。また、各器官の解剖生理を学習する。	1時間
		復習	子どもの身体的発育および発達の特徴を理解する。	1.5時間
9	講義内容	子どもの成長・発達と看護[4] —各発達段階の心理・社会的発達の特徴と看護(情緒、認知、愛着、言語)—		
	該当する到達目標 1,5	予習	教科書の小児看護学概論 第4～6章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1時間
		復習	Bridgesの情緒の分化、Piagetの認知発達理論、Bowlbyの愛着理論、言語・コミュニケーションの発達の特徴に基づき、子どもの心理・社会的発達の特徴を理解する。	1.5時間
10	講義内容	子どもの成長・発達と看護[5] —各発達段階の心理・社会的発達の特徴と看護(発達課題理論)、発育・発達の評価の方法—		
	該当する到達目標 1,5	予習	事前配布資料、教科書の小児看護学概論 第2章-D、Eを精読する。	1時間
		復習	Favighust、Eriksonの発達課題理論に基づき、子どもの心理・社会的発達の特徴を理解する。また、発育評価および発達方法について理解するとともに、母子保健手帳等を活用し、自己の発育を評価し、レポートとしてまとめる。	1.5時間
11	講義内容	子どもの成長・発達と看護[6] —各発達段階の日常生活習慣の自立過程とその支援(育児・しつけの概念、食事・栄養、排泄)—		
	該当する到達目標 1,5	予習	教科書の小児看護学概論 第5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1時間
		復習	子どもの排泄行動の発達の特徴とその支援を理解する。また、教科書の第3章や専門書を活用し、子どもの食生活の発達上の特徴とその支援を調べ、レポートとしてまとめる。	1.5時間
12	講義内容	子どもの成長・発達と看護[7] —各発達段階の日常生活習慣・行動の自立過程とその支援(清潔・衣生活、活動[遊び・学習])—		
	該当する到達目標 1,5	予習	教科書の小児看護学概論 第5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1時間
		復習	子どもの遊びと学習の特徴とその支援について理解する。また、子どもの清潔、衣生活の発達上の特徴とその支援について調べる。	1.5時間
13	講義内容	子どもの健康問題と看護[1]		

		—子どもの健康問題の概況、子どもの健康の維持・増進に向けた支援(子どもの睡眠、予防接種等)—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1時間
	1,6	復習	幼児期にある子どもと家族の健康問題および課題とその支援について理解する。また、新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する。	1.5時間
	講義内容	子どもの健康問題と看護[2] —子どもの事故とその支援(予防、安全教育等)、子どもの心の健康問題とその支援—		
14	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1時間
	1,6	復習	幼児期、学童期、思春期にある子どもと家族の健康問題および課題とその支援について理解する。また、新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する。	1.5時間
	講義内容	総括:小児看護の課題と小児看護の役割・機能		
15	該当する到達目標	予習	教科書の小児看護学概論 第1章を再度精読する。	1時間
	7	復習	これまでの授業内容を再確認し、小児看護の役割・機能をまとめる。	1.5時間
備考	<p>・本科目は、小児看護学方法論Ⅰ、小児看護学方法論Ⅱ、小児看護学実習へと連動して授業展開される基盤となる科目であるため、授業シラバス、授業計画を必ず確認し、予習・復習を十分行い、積極的に授業に臨む。</p> <p>・本科目は、養護教諭一種資格取得に関わる科目である。</p> <p>・授業の進行過程において、各自がポートフォリオを作成する。また、ポートフォリオを持参し、内容を補充しながら授業に臨む。</p> <p>・授業中に提示された課題は、提出期限を厳守し必ず提出する。未提出の場合には単位修得に影響する。</p> <p>・学習過程において疑問・質問が生じた場合には、下記の方法で対応する。</p> <p>①オフィスアワー:火曜日2限、金曜日1限(5号館4階、櫻井研究室)</p> <p>②随時メールでも受け付ける。E-mail: sakurai-m@takasaki-u.ac.jp(櫻井)</p> <p>・参考文献:</p> <p>①中野綾美編:ナーシング・グラフィカ 小児看護学①—小児の発達と看護, メディカ出版.</p> <p>②舟島なをみ:看護のための人間発達学 第4版, 医学書院.</p>			

科目名	小児看護学方法論Ⅰ(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・小児看護学)			NRS240	講義
担当教員	櫻井美和・星野美穂				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	健康障害を抱える子どもの発達段階、健康状態(疾患、疾患・治療に起因する症状、病期、治療・検査・処置など)に応じた看護を実践する上で必要な基本的知識・技術を学習する。				
到達目標	1.小児期に生じやすい健康障害の経過、症状、治療を理解し、健康問題が子どもと家族に及ぼす影響を統合的に理解する 2.健康障害を抱える子どもと家族の特徴的な看護問題とその看護を理解する 3.子どもの発達段階、健康状態に応じた看護を実践する上で基本となる小児看護技術を習得する。				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
	✓	論理的思考力・問題解決力			
	✓	チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	授業参加度(10%)、試験(80%)、課題レポートおよび小テスト(10%)により、総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付して返却する。また、小テストを返却し、解説する。				
使用教材	・奈良間美保他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論, 医学書院, ¥2,800 ・適宜、授業資料を配布する				
1	講義内容	科目オリエンテーション 病気、障害や入院が子どもと家族に与える影響と看護[1] —病気、障害および入院による子どもへの影響と看護—			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の小児臨床看護総論 第1・2章のうち、講義内容と関連する項を精読する。		1 時間
		復習	健康障害を抱える子どもの体験と子どもへの看護について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	病気、障害や入院が子どもと家族に与える影響と看護[2] —子どもの病気、障害および入院による家族への影響と看護—			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の小児臨床看護総論 第1・2章のうち、講義内容と関連する項を精読する。		1 時間
		復習	健康障害を抱える子どもの家族(母親、父親、きょうだい)の体験と家族へ看護について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	病気、障害や入院が子どもと家族に与える影響と看護[3] —医療を受ける子どもの権利、子どもの病気の理解と説明—			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の小児看護学概論 第1章-D章を精読するとともに、小児看護学概論授業資料(小児看護における倫理)に目を通す。		1 時間
		復習	健康障害を抱える子どもの権利が脅かされる状況を調べ、看護のあり方を考える。		1.5 時間
4	講義内容	病気、障害や入院が子どもと家族に与える影響と看護[4] —病気、障害を抱える子どもへの日常生活支援—			
	該当する到達目標 1,3	予習	教科書の小児臨床看護総論 第1・2章のうち、講義内容と関連する項を精読するとともに、小児看護学概論授業資料(各発達段階の日常生活習慣の自立過程とそ		1 時間

			の支援)に目を通す。また、子どもの日常生活習慣の獲得過程について調べ、レポートにまとめる。	
		復習	新聞、報道等により、子どもと家族に関する社会的問題または課題について情報収集する講義内容を参考に、子どもに関連する施策や社会問題について取り上げ、自分の意見をまとめる。	1.5 時間
5	講義内容	治療・検査・処置を必要とする子どもと家族への看護[1] —治療・検査・処置を受ける子どもの体験、検査を受ける子どもへの看護(採血、腰椎穿刺、骨髄穿刺)—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第6章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1 時間
	1,2,3	復習	子どもの採血、腰椎穿刺、骨髄穿刺に関わる知識・技術を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	治療・検査・処置を必要とする子どもと家族への看護[2] —治療を受ける子どもへの看護(輸液療法、与薬)、発達に応じたプレパレーション—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第6章のうち、講義内容と関連する項を精読する。	1 時間
	1,2,3	復習	子どもへの輸液療法、与薬に関わる知識・技術を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	治療・検査・処置を必要とする子どもと家族への看護[3] —手術を受ける子どもと家族への看護—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第3章-Cを精読する。	1 時間
	1,2	復習	手術を受ける子どもの手術前・後の看護を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	子どもの示す主な症状とその看護[1]—不機嫌および啼泣、痛み、発熱、脱水—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。また、子どものコミュニケーション、体温調節機能、腎機能などの発達の特徴を再学習する。	1 時間
	1,2,3	復習	症状のメカニズムと症状緩和方法を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	子どもの示す主な症状とその看護[2]—呼吸困難、けいれん、意識障害—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第5章のうち、講義内容と関連する項を精読する。また、子どもの呼吸、脳・神経系の発達の特徴を再学習する。	1 時間
	1,2,3	復習	症状のメカニズムと症状緩和方法、合併症予防の方法を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	健康障害の病期別の子どもと家族への看護[1]—急性期にある子どもと家族への看護—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第3章-Bを精読する。また、川崎病の病態生理、治療を調べる。	1 時間
	1,2	復習	急性期にある川崎病の子どもと家族への看護を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	健康障害の病期別の子どもと家族への看護[2] —長期療養を必要とする子どもと家族への看護—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第3章-Aを精読する。また、ネフローゼ症候群の病態生理、治療を調べる。	1 時間
	1,2	復習	慢性期にあるネフローゼ症候群の子どもと家族への看護を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	健康障害の病期別の子どもと家族への看護[3] —予後不良の疾患を抱える子どもと家族への看護—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第3章-Dを精読する。	1 時間
	1,2	復習	子どもの死の概念の発達と、終末期にある子どもと家族への緩和ケアを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	さまざまな状況にある子どもと家族への看護[1]—外来における子どもと家族への看護—		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第2章-Bを精読する。	1 時間
	1,2	復習		1.5 時間
14	講義内容	さまざまな状況にある子どもと家族への看護[2] —医療的ケアを必要とする子どもと家族への在宅看護—		

	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第2章-Cを精読する。	1時間
	1,2	復習	小児在宅ケアの現状と課題、在宅療養を必要とする子どもと家族への看護を理解する	1.5時間
15	講義内容	総括		
	該当する到達目標	予習	教科書の小児臨床看護総論 第1章を再度精読する。	1時間
	1,2,3	復習	これまでの授業内容を再確認し、健康障害を抱える子どもと家族への看護をまとめる。	1.5時間
備考	<p>・本科目は、小児看護学方法論Ⅱ、小児看護学実習へと連動して授業展開される科目であるため、授業シラバス、授業計画を必ず確認する。また、小児看護学概論での既習の知識を活用するとともに、予習・復習を十分行い、積極的に授業に臨む。</p> <p>・授業の進行過程において、各自がポートフォリオを作成する。また、ポートフォリオを持参し、内容を補充しながら授業に臨む。</p> <p>・授業中に提示された課題は、提出期限を厳守し必ず提出する。未提出の場合には単位修得に影響する。</p> <p>・学習過程において疑問・質問が生じた場合には、下記の方法で対応する。</p> <p>①オフィスアワー：火曜日2限、金曜日1限(5号館4階、櫻井研究室)</p> <p>②随時メールでも受け付ける。E-mail: sakurai-m@takasaki-u.ac.jp(櫻井)</p> <p>・参考文献：</p> <p>①奈良間美保他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論，医学書院。</p> <p>②中野綾美編：ナーシング・グラフィカ 小児看護学①ー小児の発達と看護，メディカ出版。</p> <p>③中野綾美編：ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ー小児の疾患と看護，メディカ出版。</p>			

科目名	小児看護学方法論Ⅱ(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・小児看護学)			NRS241	講義
担当教員	櫻井美和・星野美穂・松崎奈々子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	健康障害を抱える子どもの発達段階、健康状態(疾患、疾患・治療に起因する症状、病期、治療・検査・処置など)、個別性に応じた看護過程を展開する方法および看護を実践する上で必要な看護技術を学習する。				
到達目標	1.小児期特有の症状や疾患を抱える子どもと家族への看護を理解する。 2.健康障害を抱える子どもの特徴をふまえ、看護過程の基本的考え方を理解する。 3.健康障害を抱える子どもの顕在的・潜在的な健康問題とその支援の必要性をアセスメントする。 4.健康障害を抱える子どもの顕在的・潜在的な健康問題の解決および回避に向けた個別的な看護計画を立案する 5.子どもの発達段階、健康状態に応じた看護を実践する上で基本となる小児看護技術を習得する。				
学位授与方針	✓	人間理解と倫理観			
との対応	✓	論理的思考力・問題解決力			
	✓	チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	授業参加度、看護過程の課題レポートや小テスト(35%)、小児看護技術演習の課題レポートおよび演習記録(15%)、試験(50%)により、総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付して返却する。また、小テストを返却し、解説する。				
使用教材	1)奈良間美保他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論, 医学書院, ¥2,800 2) 奈良間美保他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院, ¥3,300 ・適宜、授業資料を配布する				
	講義内容	科目オリエンテーション モデル事例に基づく看護過程演習[1]—小児看護における看護過程、アセスメントの特徴			
1	該当する到達目標	予習	ヘンダーソンの看護理論について、学習する。		1時間
	2	復習	ヘンダーソンの看護理論に基づく看護過程の特徴と前提となる考え方を理解する。		1.5時間
	講義内容	モデル事例に基づく看護過程演習[2] —アセスメント—			
2	該当する到達目標	予習	教科書2)の第5章の気管支喘息の病態生理、治療、および看護と関連する項を精読する。		1時間
	3	復習	講義内容に基づき、モデル事例をアセスメントする。		1.5時間
	講義内容	モデル事例に基づく看護過程演習[3]—アセスメント—			
3	該当する到達目標	予習	小児看護学概論の機軸の知識を活用し、4歳の子どもの身体的、心理的、社会的発達の特徴と主要な看護を学習する。		1時間
	3	復習	講義内容に基づき、モデル事例をアセスメントする。		1.5時間
	講義内容	モデル事例に基づく看護過程演習[4]—アセスメント—			
4	該当する到達目標	予習	1~3回の授業内容に基づき、モデル事例をアセスメントする。		1時間
	3	復習	講義内容に基づき、モデル事例をアセスメントする。		1.5時間
	講義内容	モデル事例に基づく看護過程演習[5]—関連図の作成—			
5	該当する到達目標	予習	他の科目で学習した関連図の作成方法について確認する。		1時間

	3	復習	講義内容に基づき、モデル事例の関連図を作成する。	1.5時間
6	講義内容	モデル事例に基づく看護過程演習[6]—看護問題・共同問題の抽出と優先順位の決定		
	該当する到達目標 4	予習	他の科目で学習した看護問題・共同問題の抽出と優先順位の決定方法について確認する。	1時間
		復習	講義内容に基づき、モデル事例の看護問題・共同問題、優先順位を検討する。	1.5時間
7	講義内容	モデル事例に基づく看護過程演習[7]—目標設定、看護計画の立案—		
	該当する到達目標 4	予習	他の科目で学習した目標設定、看護計画の立案方法について確認する。	1時間
		復習	講義内容に基づき、モデル事例の目標と看護計画の方向性を検討する。	1.5時間
8	講義内容	小児期特有の症状や疾患を抱える子どもと家族への看護[1]—ハイリスク新生児と家族への看護—		
	該当する到達目標 1	予習	教科書2)の2章のうち、低出生体重児と関連する項を精読する。	1時間
		復習	低出生体重児の身体的・生理的特徴、合併しやすい障害や症状、重要な看護を理解する。	1.5時間
9	講義内容	小児期特有の症状や疾患を抱える子どもと家族への看護[2] —心身障害を抱える子どもと家族への看護		
	該当する到達目標 1	予習	教科書1)の小児臨床看護総論 第7章を精読する。	1時間
		復習	重症心身障害を抱える子どもの身体的・生理的特徴、合併しやすい障害や症状、重要な看護を理解する。	1.5時間
10	講義内容	小児看護技術[1]—フィジカルアセスメント、演習オリエンテーション—		
	該当する到達目標 5	予習	教科書1)の小児臨床看護総論 第4章を精読する。	1時間
		復習	フィジカルアセスメントの目的、基本技術、活用方法を理解する。また、演習で行う小児看護技術の内容と目標を確認する。	1.5時間
11	講義内容	小児看護技術[2] —演習(バイタルサイン測定、心肺蘇生法、経口与薬、プレパレーション・教育的支援)—		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	演習で行う小児看護技術について調べ、事前学習課題レポートに取り組む。また、演習で行う小児看護技術の目標を確認する。	1時間
		復習	演習で行った小児看護技術における学びと自己の課題を明確にし、ワークシートを記入する。	1.5時間
12	講義内容	小児看護技術[3] —演習(バイタルサイン測定、心肺蘇生法、経口与薬、プレパレーション・教育的支援)—		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	演習で行う小児看護技術について調べ、事前学習課題レポートに取り組む。また、演習で行う小児看護技術の目標を確認する。	1時間
		復習	演習で行った小児看護技術における学びと自己の課題を明確にし、ワークシートを記入する。	1.5時間
13	講義内容	小児看護技術[4] —演習(バイタルサイン測定、心肺蘇生法、経口与薬、プレパレーション・教育的支援)—		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	演習で行う小児看護技術について調べ、事前学習課題レポートに取り組む。また、演習で行う小児看護技術の目標を確認する。	1時間
		復習	演習で行った小児看護技術における学びと自己の課題を明確にし、ワークシートを記入する。	1.5時間
14	講義内容	小児看護技術[5] —演習(バイタルサイン測定、心肺蘇生法、経口与薬、プレパレーション・教育的支援)—		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	演習で行う小児看護技術について調べ、事前学習課題レポートに取り組む。また、演習で行う小児看護技術の目標を確認する。	1時間
		復習	演習で行った小児看護技術における学びと自己の課題を明確にし、ワークシート	1.5時間

			を記入する。	
15	講義内容	総括		
	該当する到達目標	予習	これまでの授業資料を見直す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	これまでの授業内容を再確認し、健康障害を抱える子どもと家族への看護をまとめるとともに、小児看護技術に関わる知識・技術を理解する。	1.5 時間
備考	<p>・本科目は、小児看護学実習へと連動して授業展開される科目であるため、授業シラバス、授業計画を必ず確認する。また、小児看護学概論、小児看護学方法論 I での既習の知識を活用するとともに、予習・復習を十分行い、積極的に授業に臨む。</p> <p>・授業の進行過程において、各自がポートフォリオを作成する。また、ポートフォリオを持参し、内容を補充しながら授業に臨む。</p> <p>・授業中に提示された課題は、提出期限を厳守し必ず提出する。未提出の場合には単位修得に影響する。</p> <p>・小児看護技術[演習]を欠席した場合には、担当教員に申し出る。演習を未実施のまま単位修得することはできない。</p> <p>・学習過程において疑問・質問が生じた場合には、下記の方法で対応する。</p> <p>①オフィスアワー:火曜日 2 限、金曜日 1 限(5 号館 4 階、櫻井研究室)</p> <p>②随時メールでも受け付ける。 E-mail: sakurai-m@takasaki-u.ac.jp(櫻井)</p> <p>・参考文献:</p> <p>①中野綾美編:ナーシング・グラフィカ 小児看護学②—小児看護技術, メディカ出版.</p> <p>②中野綾美編:ナーシング・グラフィカ 小児看護学③—小児の疾患と看護, メディカ出版.</p>			

科目名	小児看護学実習(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・小児看護学)		NRS340	実習
担当教員	櫻井美和・星野美穂・松崎奈々子			
学年・開講期	3年 通年	必修・単位数	必修 2 単位	
講義目標	さまざまな健康状態、発達段階にある子どもとその家族を統合的に理解し、疾病の予防、健康の維持・増進、健康問題の解決を目指した個別性に応じた看護を実践するための基礎的能力を養うとともに、小児看護の役割・機能を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.小児期にある対象の成長・発達や家族の特性をふまえ、援助関係を構築する。</li> <li>2.小児期にある対象を身体的、心理的、社会的側面から統合的に理解する。</li> <li>3.小児期にある対象の顕在的・潜在的な健康問題とその支援の必要性を身体的、心理的、社会的側面からアセスメントする。</li> <li>4.小児期にある対象の顕在的・潜在的な健康問題の解決および回避に向けた個別的な看護計画を立案、実施、評価する。</li> <li>5.小児期にある対象の理解および看護実践をととして、小児看護の役割・機能とその意義を理解する。</li> <li>6.小児期にある対象と家族をとりまく保健医療福祉および教育にかかわる多職種チームの一員として行動する。</li> <li>7.看護学の初学者として、看護の役割・機能を果たすための責任感、および態度を修得する。</li> </ol>			
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観		
	✓	論理的思考力・問題解決力” ””		
	✓	チームの一員としての協調・協働		
		国際理解		
		生涯学習力		
評価方法	実習目標を評価基準として、実習、学内実習、カンファレンスにおける学生の言動、記録物・レポートの記載内容、および、実習参加度により統合的に評価する。			
課題に対するフィードバック	・事前学習課題実習を提出期限内に提出した学生には、授業担当者からのコメントを付して返却する。			
使用教材	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)奈良間美保他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論, 医学書院.</li> <li>2)奈良間美保他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院.</li> <li>3)学科作成の小児看護学実習要項</li> <li>4)その他、小児看護学概論、小児看護学方法論Ⅰ、小児看護学方法論Ⅱで配布した授業資料も活用する。</li> </ol>			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習期間および実習施設 実習期間は 2 週間で、保育園および病院において実習する。なお、病院実習では、小児専門病院、総合病院、一般病院、重症心身障害児施設のいずれかにおいて実習を行う。</li> <li>2. 実習内容 <ol style="list-style-type: none"> <li>1)保育園実習 対象となる子どもや子どもを取り巻く人的・物理的環境を観察する。また、保育場面、日常生活支援場面(遊び、昼食、片付け、手洗いうがいなど)において、子どもと関わりながら参加観察を実施する。そして、乳幼児期にある健康な子どもの成長・発達の特徴および生じやすい健康問題について理解を深めるとともに、健康な子どもへの支援のあり方とその意義について考察する。</li> <li>2)病棟実習 上記1. に記載したいずれかの病院・施設に入院している子どもを受け持ち、看護過程を展開するとともに、日常生活の支援(食事・清潔・排泄・遊び等)、治療・検査・処置にかかわる支援を実施する。さらに受け持ち患者への看護実践を通して、健康障害を抱える子どもとその家族への支援のあり方と意義を探求する。</li> <li>3)学内演習(統合カンファレンス)</li> </ol> </li> </ol>			

	<p>保育園実習、病棟実習での学びをグループメンバー間で共有し、小児看護の役割・機能とその意義を考察するとともに、自己の課題を明確にする。</p>	
予習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児看護学実習における対象の理解、看護過程の展開、看護実践、看護の本質を探究する上で必要な知識・技術に関して学習し、ポートフォリオを作成する。</li> <li>・日々の実習においては学習行動計画用紙を活用し、翌日の学習目標および目標を達成するための学習計画をたてて実習に臨む。</li> <li>・実習指導教員、実習指導者の助言に基づき、受け持ち患者への看護過程の展開や看護実践に必要な知識・技術について日々学習し、実習に臨む。</li> </ul>	期間中適宜
復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習行動計画用紙を活用して日々の実習を振り返り、目標の達成状況の自己評価を行う。</li> <li>・保育園実習・病棟実習での学びを統合し、以下の内容のレポートを作成する。</li> <li>①小児期にある対象の理解および看護実践をとおして経験したこと、学んだことを具体的に提示し、『小児看護の特徴と看護者の役割・機能』について考察する。</li> <li>②小児看護学実習をとおし、今後の自己の課題を具体的に考察する。</li> </ul> <p>指定の期日までに、上記レポートと実習記録を提出する。</p>	期間中適宜
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目は、1年時からの学習の積み重ねが重要であるため、小児看護学概論、小児看護学方法論Ⅰ、小児看護学方法論Ⅱを中心に十分に復習しておくこと。</li> <li>・各自で作成したポートフォリオを活用し、実習に臨むこと。</li> <li>・本科目は、養護教諭一種資格取得に関わる科目である。</li> <li>・学習過程において疑問・質問が生じた場合には、下記の方法で対応する。</li> <li>①オフィスアワー：火曜日2限、金曜日1限(5号館4階、櫻井研究室)</li> <li>②随時メールでも受け付ける。E-mail: <a href="mailto:sakurai-m@takasaki-u.ac.jp">sakurai-m@takasaki-u.ac.jp</a>(櫻井)</li> </ul>	

科目名	母性看護学概論(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・母性看護学)			NRS150	講義
担当教員	茂木佐智子・大石時子・久保田隆子・河内浩美・新井基子				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	リプロダクティブヘルス/ライツの考え方を基盤として、女性の健康をめぐる今日的な問題を身体・心理・社会的な観点から学習するとともに、ヘルスプロモーションの視点から女性の健康支援に関する看護の役割を考える。				
到達目標	1. リプロダクティブヘルス/ライツの概念を説明できる。 2. 医療や看護における女性をめぐる出来事について説明できる。 3. ライフステージ各期にある女性の健康の特徴を説明できる。 4. 女性の健康支援についてヘルスプロモーションの視点から考察できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	試験 70%、レポート 20%、授業参加態度等 10%				
課題に対するフィードバック	課題にはコメントを付けて返却する。				
使用教材	教科書「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学1 母性看護学概論」森恵美他(医学書院) ISBN978-4-260-02188-3 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	リプロダクティブヘルス/ライツについて			
	該当する到達目標	予習	教科書の前書きと第1章Dに目を通す。	0.5時間	
	1	復習	プリント教科書を読み返し、復習する。	0.5時間	
2	講義内容	母性看護の対象			
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章Bに目を通す。	0.5時間	
	3	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	0.5時間	
3	講義内容	母性看護の歴史的変遷			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章A①に目を通す。	0.5時間	
	2	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	0.5時間	
4	講義内容	母子保健統計の動向			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章A②に目を通す。	0.5時間	
	2	復習	自分が住む地域の母性に関する統計を調べる。	0.5時間	
5	講義内容	母性看護に関する法律と母子保健施策			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章A③④に目を通す。	0.5時間	
	2	復習	自分が住む地域の母子保健施策を調べる。	0.5時間	
6	講義内容	母性看護における安全・事故予防			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章Hに目を通す。	0.5時間	
	2	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	0.5時間	
7	講義内容	母性看護における倫理			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章Gに目を通す。	0.5時間	
	2	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	0.5時間	
8	講義内容	思春期の女性に対する疾病予防・健康増進に向けた支援① 月経に関する健康教育			

	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 B に目を通す。	0.5 時間
	3, 4	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	0.5 時間
9	講義内容	思春期の女性に対する疾病予防・健康増進に向けた支援② 家族計画・人工妊娠中絶		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 A・D に目を通す。	0.5 時間
	3, 4	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	0.5 時間
10	講義内容	思春期の女性に対する疾病予防・健康増進に向けた支援③ 性感染症と予防		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 B に目を通す。	0.5 時間
	3, 4	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	0.5 時間
11	講義内容	成熟期の女性に対する疾病予防・健康増進に向けた支援① 妊娠・出産		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 C に目を通す。	0.5 時間
	3, 4	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	0.5 時間
12	講義内容	成熟期の女性に対する疾病予防・健康増進に向けた支援② 母乳育児		
	該当する到達目標	予習	母乳育児に関する事前配布資料に目を通す。	0.5 時間
	3, 4	復習	プリントと資料を読み返し、復習する。	0.5 時間
13	講義内容	成熟期の女性に対する疾病予防・健康増進に向けた支援③ 不妊		
	該当する到達目標	予習	不妊に関する事前配布資料に目を通す。	0.5 時間
	3, 4	復習	プリントと資料を読み返し、復習する。	0.5 時間
14	講義内容	更年期の女性に対する疾病予防・健康増進に向けた支援 更年期症状		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 D に目を通す。	0.5 時間
	3, 4	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの配布資料に目を通す。	0.5 時間
	1, 2, 3, 4	復習	プリントを読み返し、復習する。	0.5 時間
備考	<p>連絡先: 茂木 <a href="mailto:motegi-s@takasaki-u.ac.jp">motegi-s@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>研究室: 4 号館 3 階 304</p> <p>オフィスアワー: 水曜日の 3 時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>予習・復習についての時間は参考程度である。</p> <p>1 単位を修得するには、講義時間(30 時間(実質 90 分 × 15 回)) + 自習時間(15 時間)が必要であるため、各自で自習時間を補完すること。</p>			

科目名	母性看護学方法論Ⅰ(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・母性看護学)			NRS250	講義
担当教員	茂木佐智子・新井基子				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	<p>母性看護学の対象は、妊産褥婦とその子ども、将来子どもを産み育てる女性、および過去においてその役目を果たした女性のみならず、リプロダクティブヘルス・ライツという観点から、女性と生殖や育児のパートナーとしての男性、子どもが生まれ乳児を育てる家族、その家族が生活する地域社会も含む。このうち、妊産褥婦とその子どもは脆弱性が高く、保護的な支援や健康の保持・増進に向け家族を含めた看護が必要不可欠である。そこで、この科目は、妊産婦とその家族に焦点をあてる。</p> <p>講義・演習を通じて、妊産婦の身体的変化と胎児の発育、妊婦とその家族の心理・社会的特性について学習するとともに、妊婦の胎児の健康の保持・増進のために必要な看護を家族の看護も含めて学習することを目標とする。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊娠の成立・維持のしくみを説明できる。</li> <li>2. 妊婦の身体的変化、心理・社会的特性を説明できる。</li> <li>3. 妊婦と胎児の健康状態のアセスメントに必要な情報とその視点を述べる。</li> <li>4. 妊婦と胎児の健康の保持・増進のための、妊婦のセルフケア能力を高める支援を具体的に述べる。</li> <li>5. 分娩現象を理解するための基本的な用語や概念を説明できる。</li> <li>6. 産婦の身体的変化、心理・社会的変化を説明できる。</li> <li>7. 産婦の健康状態のアセスメントに必要な情報とその視点を述べる。</li> <li>8. 産婦がより安全・安楽に分娩期を過ごすための看護ケアを具体的に述べる。</li> <li>9. 妊産婦の看護に関わる技術について、その目的・方法・留意点がわかり、資料を見ながら実施できる。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	試験 70%、レポート 20%、授業参加態度 10%				
課題に対するフィードバック	課題にはコメントを付けて返却する。				
使用教材	<p>教科書「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学2 母性看護学各論」森恵美他(医学書院) ISBN978-4-260-02179-1</p> <p>サブテキスト「根拠と事故防止からみた母性看護技術 第2版」石村由利子編(医学書院) ISBN978-4-260-02499-0</p> <p>参考書「病気がみえる vol.10 産科」井上裕美他監(メディックメディア) ISBN978-4-89632-463-1</p> <p>講義のスライドを随時プリントして配布する。</p>				
1	講義内容	ガイダンス 妊娠期間と分娩の経過			
	該当する到達目標 1, 5	予習	シラバスを読み、講義の目標と内容を理解する。 教科書の第3章A①, 第4章A①B①に目を通す。		1.0時間
		復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。		1.5時間
2	講義内容	正常な妊娠経過と胎児の成長			
	該当する到達目標 1, 2	予習	教科書の第3章A②③・B①②に目を通す。		1.0時間
		復習	妊娠経過における母体の変化と胎児の発育について復習する。		1.5時間
3	講義内容	妊婦と胎児のアセスメント			
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章C、サブテキストの第1章1に目を通す。		1.0時間

	3	復習	妊婦健康診査について復習する。	1.5時間
4	講義内容		妊婦の看護① 母子保健サービスと保健指導	
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章D①②、サブテキストの第1章2に目を通す。	1.0時間
	4	復習	母子保健サービスと妊娠中の過ごし方について復習する。	1.5時間
5	講義内容		妊婦の看護② 妊婦のリスクと看護ケア（妊娠高血圧症候群、切迫流・早産など）	
	該当する到達目標	予習	教科書の第7章I C②・E②・G⑥⑦に目を通す。	1.0時間
	4	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	1.5時間
6	講義内容		妊婦の看護③ 親になるための準備教育	
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章D③に目を通す。	1.0時間
	4	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	1.5時間
7	講義内容		分娩の経過及び分娩が胎児や出生直後の新生児に及ぼす影響	
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章Bに目を通す。	1.0時間
	5,6	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	1.5時間
8	講義内容		産婦と胎児、家族のアセスメント	
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章C、サブテキストの第2章1に目を通す。	1.0時間
	7	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	1.5時間
9	講義内容		産婦の看護① 分娩第1期～4期までの看護ケア	
	該当する到達目標	予習	教科書の第4章D・E、サブテキストの第2章2・3に目を通す。	1.0時間
	8	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	1.5時間
10	講義内容		産婦の看護② 産婦のリスクと看護ケア（前期破水、胎児機能不全など）	
	該当する到達目標	予習	教科書の第7章II Jに目を通す。	1.0時間
	8	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	1.5時間
11	講義内容		産婦の看護③ 助産師による産婦の看護の実際	
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章D③（バースプラン、出産場所の選択）に目を通す。	1.0時間
	4,8	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	1.5時間
12	講義内容		実技演習① レオポルド触診法・胎児心音聴取・妊産婦の疑似体験	
	該当する到達目標	予習	演習に関する事前配布資料に目を通す。 サブテキストの第1章1-4-②・1-6・2-4～7に目を通す。	1.0時間
	9	復習	演習で学習したことをプリントにまとめる。	1.5時間
13	講義内容		実技演習② レオポルド触診法・胎児心音聴取・妊産婦の疑似体験	
	該当する到達目標	予習	演習に関する事前配布資料に目を通す。 サブテキストの第1章1-4-②・1-6・2-4～7に目を通す。	1.0時間
	9	復習	演習で学習したことをプリントにまとめる。	1.5時間
14	講義内容		実技演習③ レオポルド触診法・胎児心音聴取・妊産婦の疑似体験	
	該当する到達目標	予習	演習に関する事前配布資料に目を通す。 サブテキストの第1章1-4-②・1-6・2-4～7に目を通す。	1.0時間
	9	復習	演習で学習したことをプリントにまとめる。	1.5時間
15	講義内容		まとめ	
	該当する到達目標	予習	これまでの配布資料に目を通す。	1.0時間
	1～9	復習	プリントを読み返し、復習する。	1.5時間
備考	連絡先: 茂木 <a href="mailto:motegi-s@takasaki-u.ac.jp">motegi-s@takasaki-u.ac.jp</a> 研究室: 4号館3階304 オフィスアワー: 水曜日の3時限、質問はメールでも受け付ける。			

予習・復習についての時間は参考程度である。

1単位を修得するには、講義時間(30時間(実質90分×15回))＋自習時間(15時間)が必要であるため、各自で自習時間を補完すること。

科目名	母性看護学方法論Ⅱ(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・母性看護学)			NRS251	講義
担当教員	茂木佐智子・新井基子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	この科目は、褥婦と新生児およびその家族に焦点をあてる。 褥婦の身体的変化、心理・社会的変化、新生児の胎外生活適応への過程を学習するとともに、褥婦と新生児の健康の保持・増進のために必要な看護を家族の看護も含めて学習することを目標とする。				
到達目標	1.褥婦の身体的変化、心理・社会的変化を説明できる。 2.褥婦の健康状態のアセスメントに必要な情報とその視点について述べる。 3.褥婦の健康の保持・増進のために必要な看護ケアを具体的に述べる。 4.新生児の生理的特徴が説明できる。 5.新生児の健康状態のアセスメントに必要な情報とその視点について述べる。 6.新生児の健康の保持・増進のために必要な看護ケアを述べる。 7.褥婦と新生児とその家族を対象とした看護過程の展開方法が理解できる。 8.褥婦や新生児の看護に関わる技術について、その目的・方法・留意点がわかり、資料を見ながら実施できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	試験 50%、看護過程 30%、演習レポート 10%、授業参加態度等 10%				
課題に対するフィードバック	課題にはコメントを付けて返却する。				
使用教材	教科書「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学2 母性看護学各論」森恵美他(医学書院) ISBN978-4-260-02179-1 サブテキスト「根拠と事故防止からみた母性看護技術 第2版」石村由利子編(医学書院) ISBN978-4-260-02499-0 参考書「病気がみえる vol.10 産科」井上裕美他監(メディックメディア) ISBN978-4-89632-463-1 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	ガイダンス 正常な産褥経過と心理・社会的変化			
	該当する到達目標 1	予習	シラバスを読み、講義の目標と内容を理解する。 教科書の第6章Aに目を通す。		1.0時間
		復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。		1.5時間
2	講義内容	褥婦のアセスメント			
	該当する到達目標 2	予習	教科書の第6章B、サブテキストの第3章1に目を通す。		1.0時間
		復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。		1.5時間
3	講義内容	褥婦の看護① 全身の回復や復古を促すための看護ケア			
	該当する到達目標 3	予習	教科書の第6章C、サブテキストの第3章2・3に目を通す。		1.0時間
		復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。		1.5時間
4	講義内容	褥婦の看護② 母乳育児を支援するための看護ケア			
	該当する到達目標 3	予習	サブテキストの第3章4に目を通す。		1.0時間
		復習	プリントとサブテキストを読み返し、復習する。		1.5時間
5	講義内容	褥婦の看護③ 褥婦のリスクと看護ケア(帝王切開による分娩、マタニティブルーと産後うつ病など)			

	該当する到達目標	予習	教科書章Ⅱ⑤・K, IVA・Dに目を通す。	1.0時間
	3	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	1.5時間
6	講義内容	新生児の生理的特徴とアセスメント		
	該当する到達目標	予習	教科書の第5章A・B、サブテキスト第4章1に目を通す。	1.0時間
	4,5	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	1.5時間
7	講義内容	新生児の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第5章C、サブテキスト第4章2・3・4に目を通す。	1.0時間
	6	復習	プリントと教科書を読み返し、復習する。	1.5時間
8	講義内容	看護過程の展開① アセスメント		
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章・付章Dに目を通す。	1.0時間
	7	復習	課題に取り組む。	1.5時間
9	講義内容	看護過程の展開② アセスメント		
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章・付章Dに目を通す。	1.0時間
	7	復習	課題に取り組む。	1.5時間
10	講義内容	看護過程の展開③ 計画立案		
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章・付章Dに目を通す。	1.0時間
	7	復習	課題に取り組む。	1.5時間
11	講義内容	実技演習① 褥婦の子宮復古の観察、新生児の観察、沐浴		
	該当する到達目標	予習	演習に関する事前配布資料に目を通す。サブテキストの第3章1-7、第4章1・3-7に目を通す。	1.0時間
	8	復習	演習で学習したことをプリントにまとめる。	1.5時間
12	講義内容	実技演習② 褥婦の子宮復古の観察、新生児の観察、沐浴		
	該当する到達目標	予習	演習に関する事前配布資料に目を通す。サブテキストの第3章1-7、第4章1・3-7に目を通す。	1.0時間
	8	復習	演習で学習したことをプリントにまとめる。	1.5時間
13	講義内容	実技演習③ 褥婦の子宮復古の観察、新生児の観察、沐浴		
	該当する到達目標	予習	演習に関する事前配布資料に目を通す。サブテキストの第3章1-7、第4章1・3-7に目を通す。	1.0時間
	8	復習	演習で学習したことをプリントにまとめる。	1.5時間
14	講義内容	看護過程の展開④ 発表		
	該当する到達目標	予習	発表に備え、看護過程の展開の一連のプロセスを見直しておく。	1.0時間
	7	復習	プリントを読み返し、復習する。	1.5時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの配布資料に目を通す。	1.0時間
	1~8	復習	プリントを読み返し、復習する。	1.5時間
備考	<p>連絡先: 茂木 <a href="mailto:motegi-s@takasaki-u.ac.jp">motegi-s@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>研究室: 4号館3階304</p> <p>オフィスアワー: 水曜日の3時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>予習・復習についての時間は参考程度である。</p> <p>1単位を修得するには、講義時間(30時間(実質90分×15回)) + 自習時間(15時間)が必要であるため、各自で自習時間を補完すること。</p>			

科目名	母性看護学実習(専門科目群・専門分野Ⅱ・母性看護学)		NRS350	実習
担当教員	茂木佐智子・新井基子			
学年・開講期	3年 通年	必修・単位数	必修 2単位	
講義目標	母性看護学概論・方法論において学習した内容を統合し、妊産褥婦と新生児とその家族を対象として、よりよい健康状態を促進するための基本的な看護を学習するとともに、母性看護の役割を考察する。			
到達目標	1. 妊娠・分娩・産褥期の経過を観察し、妊産褥婦および胎児・新生児の生理的変化を理解できる。 2. 褥婦・新生児の健康状態をアセスメントし、基本的な看護を実施できる。 3. 母性看護における健康教育や保健指導の意義を考察できる 4. 地域で生活する女性の健康支援や子育て支援を考察できる。 5. 性や生命の尊重について自己の考えを述べる。			
学位授与方針との対応	✓	1. 豊かな人間性と倫理観		
	✓	2. 専門知識・技術の活用力		
	✓	3. 論理的思考力		
		4. チームへの貢献力		
		5. 生涯学習力		
評価方法	実習目標に基づく評価基準による。詳細は、母性看護学実習要項Ⅶ. 評価の項「評価表」に示す。 目標1(15%),目標2(50%), 目標3(10%), 目標4(5%), 目標5(20%)			
課題に対するフィードバック	実習期間中に提出された記録は、担当教員から随時コメントし返却する。実習終了時に提出された記録物は、コメントを付して返却する。			
使用教材	母性看護学実習要項 ナーシング・グラフィカ 母性看護学(1) 母性看護実践の基本(メディカ出版) ナーシング・グラフィカ 母性看護学(2) 母性看護技術(メディカ出版) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学2 母性看護学各論 森恵美他(医学書院) 根拠と事故防止からみた母性看護技術 第2版 石村由利子編(医学書院) 母性看護学概論、母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱのプリント資料ほか			
講義内容	<b>【実習期間】2週間</b> <b>【母性看護学実習施設】</b> 産科婦人科出張館 佐藤病院 医療法人星陽会 いしもとレディスクリニック 群馬中央医療生活協同組合 前橋協立病院 <b>【実習方法】①受け持ちケース実習&lt;1週間&gt;</b> 正常に経過する褥婦と新生児を受け持ち、基本的な看護を実施する。(到達目標1,2,3,4,5) <b>②機能別ローテーション実習&lt;1週間&gt;</b> 産婦人科外来・分娩室においては、妊産婦に対して行われている看護活動の実際を見学する。 (到達目標1,3,4,5) 新生児室においては、新生児の基本的看護を実施する。(到達目標1,2,5) ※詳細は、母性看護学実習要項参照			
	予習	母性看護学概論・方法論において学習した知識と技術の確認。 実習オリエンテーションで配布した資料の確認。		期間中適宜
	復習	実習場で体験したことを実習目標と照らし合わせて学習到達度を自己評価し、課題を明確にして翌日の実習に臨む。 看護の実施や考察に必要な知識の補完。		期間中適宜
備考	連絡先: 茂木 <a href="mailto:motegi-s@takasaki-u.ac.jp">motegi-s@takasaki-u.ac.jp</a> 研究室: 4号館3階304 オフィスアワー: 水曜日の3時限、質問はメールでも受け付ける。			

科目名	精神看護学概論(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・精神看護学)			NRS160	講義
担当教員	田邊要補				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	心の健康問題についての理解を深め、現代社会における精神保健・医療・福祉の活動とあり方を考える。また、精神保健福祉制度を理解し、精神看護の機能と役割を学習し、精神障がい者の人権について学ぶ。				
到達目標	1.精神看護学の基本的な考え方を理解できる。 2.精神の健康と障がいを理解できる。 3.人間の心のはたらきを理解できる。 4.精神障がいの治療の歴史及び法制度を理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1.人間理解と倫理観			
	✓	2.論理的思考・問題解決力			
	✓	3.チームの一員としての協調・協働			
		4.国際理解			
		5.生涯学習力			
評価方法	筆記試験 70%、レポート 20%(第 11 回、第 14・15 回)、授業参加度 10%で算出し、60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートは評価をしたうえで、返却する。また、独自に作成した出席カードに書かれた質問に対しては次の授業開始時に返答する。				
使用教材	教科書:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学[1] 配布資料。授業に関連した DVD。				
1	講義内容	ころについて考える			
	該当する到達目標	予習	ころについて、自分の考えをまとめる。		1.5 時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
2	講義内容	精神看護学について1 課題			
	該当する到達目標	予習	教科書の序章 1～2-4 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
3	講義内容	精神看護学について2 基本的な考え方			
	該当する到達目標	予習	教科書の序章 3-1～6 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
4	講義内容	精神の健康と障がい 精神の健康とは			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 A1～C2 に目を通す。		1.5 時間
	2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
5	講義内容	人間の心のはたらき1 人間の心の諸活動			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 A1～A6 に目を通す。		1.5 時間
	2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
6	講義内容	人間の心のはたらき2 心のしくみと人格の発達①(防衛機制)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 B1～B4 に目を通す。		1.5 時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
7	講義内容	人間の心のはたらき3 心のしくみと人格の発達②(発達の理論)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 B5～B6 に目を通す。		1.5 時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
8	講義内容	人間の心のはたらき4 心の危機とストレス			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 C1～C4 に目を通す。		1.5 時間
	2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間

9	講義内容	関係のなかの個人1 全体としての家族		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章A1～A9に目を通す。	1.5時間
	2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間
10	講義内容	関係のなかの個人2 人間と集団		
	該当する到達目標	予習	教科書の第3章B1～B7に目を通す。	1.5時間
	2,3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間
11	講義内容	社会の中の精神障害1 精神障害と治療の歴史(レポート)		
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章A1～A10に目を通す。	1.5時間
	2,4	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間
12	講義内容	社会の中の精神障害2 精神障がいと文化・社会学		
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章B1～D3に目を通す。	1.5時間
	2,4	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間
13	講義内容	社会の中の精神障害3 精神障がいと法制度		
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章E1～E3に目を通す。	1.5時間
	2,4	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間
14	講義内容	「A Beautiful Mind」(レポート)		
	該当する到達目標	予習	第12回、第13回の講義の内容を中心に予習すること。	2時間
	2,3,4	復習	精神看護学概論全体の授業を思い出し、しっかりと復習すること。	時間
15	講義内容	「A Beautiful Mind」(レポート)		
	該当する到達目標	予習	第12回、第13回の講義の内容を中心に予習すること。	時間
	2,3,4	復習	精神看護学概論全体の授業を思い出し、しっかりと復習すること。	3時間
備考	<p>オフィスアワー:火曜日 9:30～13:00          不在時はメール等で問い合わせのこと。Tanabe-y@takasaki-u.ac.jp          教職必修科目。          第14回・第15回は2コマ続き。          予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	精神看護学方法論 I (看護専門科目群・専門分野 II・精神看護学)			NRS260	講義
担当教員	田邊要補				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	精神看護を実践するための具体的な知識・技術について学習する。				
到達目標	1.ケアの原則・方法やケアをする上での関係を理解できる。 2.精神科における看護の役割を理解できる。 3.地域で生活するための原則や法制度および地域での看護の実際を理解できる。 4.精神科以外での精神看護を理解できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1.人間理解と倫理観			
	✓	2.論理的思考・問題解決力			
	✓	3.チームの一員としての協調・協働			
		4.国際理解			
		5.生涯学習力			
評価方法	筆記試験 80%、課題 10%(第 2 回)、授業参加度 10%で算出し、60 点以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	レポートは評価をしたうえで、添削して返却する。また、独自に作成した出席カードに書かれた質問に対しては次の授業開始時に返答する。				
使用教材	教科書:系統看護学講座 専門分野 II 精神看護の展開 精神看護学[2] 配布資料。授業に関連した DVD。				
1	講義内容	ケアの人間関係1 ケアの原則			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章 A1～C5 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
2	講義内容	ケアの人間関係2 関係をアセスメントする:プロセスレコード			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章 D1～D4 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
3	講義内容	ケアの人間関係3 患者－看護師関係でおこること			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章 E1～E6 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
4	講義内容	精神科における看護の役割1 入院治療の意味を理解する			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 A1～A3 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
5	講義内容	精神科における看護の役割2 治療的環境をつくる			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 B1～B6 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
6	講義内容	精神科における看護の役割3 安全をまもる			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 C1～C2 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
7	講義内容	精神科における看護の役割4 緊急事態に対処する			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 D1～D3 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
8	講義内容	精神科における看護の役割5 回復を助ける			
	該当する到達目標	予習	教科書の第 8 章 E1～E6 に目を通す。		1.5 時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。		1 時間
9	講義内容	身体をケアする1 精神科の治療と身体のケア①			

	該当する到達目標	予習	教科書の第9章 A～C1に目を通す。	1.5時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間
10	講義内容	身体をケアする1 精神科の治療と身体のケア②		
	該当する到達目標	予習	教科書の第9章 C2～C3に目を通す。	1.5時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間
11	講義内容	身体をケアする2 身体合併症		
	該当する到達目標	予習	教科書の第9章 D1～G6に目を通す。	1.5時間
	1,2	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間
12	講義内容	地域における精神看護1 地域で生活するための原則		
	該当する到達目標	予習	教科書の第10章 A1～B2に目を通す。	1.5時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間
13	講義内容	地域における精神看護2 地域での看護の実際		
	該当する到達目標	予習	教科書の第10章 C1～C6に目を通す。	1.5時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間
14	講義内容	精神科以外での精神看護1 身体疾患と精神看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第11章 A1～A7に目を通す。	1.5時間
	4	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間
15	講義内容	精神科以外での精神看護2 リエゾン精神看護		
	該当する到達目標	予習	教科書の第11章 C1～C2に目を通す。	1.5時間
	4	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間
備考	<p>オフィスアワー: 火曜日 9:30～13:00</p> <p>不在時はメール等で問い合わせのこと。Tanabe-y@takasaki-u.ac.jp</p> <p>教職必修科目</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	精神看護学方法論Ⅱ(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・精神看護学)			NRS261	講義
担当教員	田邊要補				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	精神に特徴的な疾患や症状をもつ人に対しての具体的な看護援助方法を学習する。				
到達目標	1.精神に特徴的な疾患や症状に応じた看護方法を理解できる。 2.精神看護学で看護過程を展開する方法を理解できる。 3.精神に障がいのある方の理解を深める。				
学位授与方針 との対応	✓	1.人間理解と倫理観			
	✓	2.論理的思考・問題解決力			
	✓	3.チームの一員としての協調・協働			
		4.国際理解			
		5.生涯学習力			
評価方法	筆記試験50%、事例展開(個人)20%、事例展開(グループ)20%、授業参加度10%で算出し、60点以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	レポートは評価をしたうえで、添削して返却する。また、独自に作成した出席カードに書かれた質問に対しては次の授業開始時に返答する。				
使用教材	教科書:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学[1]・精神看護の展開 精神看護学[2] 参考書:新クイックマスター改訂版「精神看護学」監修:松下正明・坂田三允・樋口輝彦発行:医学芸術社 配布資料。授業に関連したDVD。				
1	講義内容	統合失調症患者の看護			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第4章C2及び第9章を中心にまんべんなく目を通す。	1.5時間	
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間	
2	講義内容	気分障害患者の看護			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第4章C3及び第9章を中心にまんべんなく目を通す。	1.5時間	
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間	
3	講義内容	精神科の症状と看護			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第4章C2～C8を中心にまんべんなく目を通す。	1.5時間	
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間	
4	講義内容	アセスメントの視点、CP値換算			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の第8章A4及び第5章B2に目を通す。	1.5時間	
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間	
5	講義内容	事例展開①(個人)			
	該当する到達目標 1,2	予習	第5回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について予習すること。	1.5時間	
		復習	配布された事例を基に、第5回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について、しっかりと復習すること。	1時間	
6	講義内容	事例展開②(個人)			
	該当する到達目標 1,2	予習	第5回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について予習すること。	1.5時間	
		復習	配布された事例を基に、第5回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について、しっかりと復習すること。	1時間	
7	講義内容	精神看護技術:意思の尊重			
	該当する到達目標 1	予習	教科書の第9章D1～G6に目を通す。	1.5時間	
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間	
8	講義内容	当事者を支える視点・働きかけ。地域で生活している当事者の体験談。			

	該当する到達目標	予習	教科書の第10章A1～C6に目を通す。	3時間
	3	復習	当事者の発表内容を振り返り、精神障がい者が地域で暮らすことの意義を考える。	1時間
9	講義内容	当事者を支える視点・働きかけ。地域で生活している当事者の体験談。		
	該当する到達目標	予習	教科書の第10章A1～C6に目を通す。	1時間
	3	復習	当事者の発表内容を振り返り、精神障がい者が地域で暮らすことの意義を考える。	2時間
10	講義内容	事例展開①（グループ）		
	該当する到達目標	予習	自分がまとめた事例を振り返るとともに、第5回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について予習すること。	1.5時間
	1,2	復習	配布された事例をグループでまとめるとともに、第5回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について、しっかりと復習すること。	1時間
11	講義内容	事例展開②（グループ）		
	該当する到達目標	予習	自分がまとめた事例を振り返るとともに、第5回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について予習すること。	1.5時間
	1,2	復習	配布された事例をグループでまとめるとともに、第5回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について、しっかりと復習すること。	1時間
12	講義内容	感情労働とメンタルヘルス		
	該当する到達目標	予習	教科書の終章A～G4に目を通す。	1.5時間
	1	復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間
13	講義内容	事例の看護過程のグループ発表①		
	該当する到達目標	予習	発表内容に目を通すとともに、発表方法の練習・確認する。	1.5時間
	1,2	復習	発表を振り返るとともに、第5回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について、しっかりと復習すること。	1時間
14	講義内容	事例の看護過程のグループ発表②		
	該当する到達目標	予習	発表内容に目を通すとともに、発表方法の練習・確認する。	1.5時間
	1,2	復習	発表を振り返るとともに、第5回の授業内容及び統合失調症の治療・看護について、しっかりと復習すること。	1時間
15	講義内容	経験者（精神に障害のあるかた）の体験談話		
	該当する到達目標	予習	教科書の第10章A1～C6に目を通す。	1.5時間
	3	復習	配布された資料に目を通し、伊勢崎地域活動センターの概要を復習する。また、当事者の発表内容を振り返り、精神障がい者が地域で暮らすことの意義を考える。	1時間
備考	<p>オフィスアワー：火曜日 9:30～13:00</p> <p>不在時はメール等で問い合わせのこと。<a href="mailto:Tanabe-y@takasaki-u.ac.jp">Tanabe-y@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>第8回・第9回は2コマ続きである。</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	精神看護学実習(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・精神看護学)		NRS360	実習
担当教員	田邊要補			
学年・開講期	3年 通年	必修・単位数	必修 2単位	
講義目標	既習の知識を統合して、精神医療における看護の役割・機能および精神を障がいされた個人とその家族の理解を深める。精神の健康回復への援助およびその過程を通して、自己の内面の変化を洞察し、自己理解・看護観を深める。			
到達目標	精神疾患をもつ人々とのかかわりを通して自己洞察を深め、共感・受容・距離の意味を体験的に説明することができる。			
学位授与方針との対応	✓	1.人間理解と倫理観		
	✓	2.論理的思考・問題解決力		
	✓	3.チームの一員としての協調・協働		
		4.国際理解		
		5.生涯学習力		
評価方法	実習中は適宜面接を行い、最終的には実習目的・実習目標の達成度について、評価表を用いて評価する。			
課題に対するフィードバック	実習の事前学習及び実習期間内に提出した記録物については、授業担当者からのコメントを付して返却する。ケースカンファレンスにおける記録物については、その場でコメントする。			
使用教材	学科作成の実習要項。精神看護学実習に関連する授業のテキストおよび資料。			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.精神障がいをもつ対象を理解し、健康回復のために必要な援助ができる。</li> <li>2.精神障がいをもつ対象のコミュニケーションの特徴を理解できる。</li> <li>3.対象の看護上の問題を把握し、看護計画を立案・実施・評価できる。</li> <li>4.医療チームメンバーの役割を認識し、看護の役割を認識できる。</li> <li>5.実施した看護を報告できる。</li> <li>6.対象者への援助を通して、自己洞察できる。</li> </ol>			
	予習	実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認		期間中適宜
	復習	実習先で教わったことの再確認、現場で得た実体験のまとめ、報告会用資料準備		期間中適宜
備考	健大のメールアドレスは次の通り。Tanabe-y@takasaki-u.ac.jp、オフィスアワーは1週目(金3時限目)、2週目(木4時限目)。受講するためには実習指導の履修登録が必要である。その他、関連する科目(精神看護学概論、精神看護学方法論Ⅰ、精神看護学方法論Ⅱ)の履修が必要である。予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習期間中は現場に入る前に必ず教わったことや調べたことをチェックし、帰宅後は必ず思い出して指示されたことや教わったことを書き出すなどの行為が必要である。			

科目名	在宅看護学概論(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・在宅看護学)			NRS270	講義
担当教員	棚橋さつき				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	在宅看護の目的と特性を知り、在宅で生活する療養者とその家族に必要な看護を提供するための基礎知識、および在宅療養者を支える社会資源やサポートシステムについて、学ぶ、				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅看護の変遷や関連する制度について社会情勢などを踏まえながら理解できる。</li> <li>2. 在宅療養者や家族機能について理解できる。</li> <li>3. 継続看護の方法について理解できる。</li> <li>4. 在宅療養者を支える社会資源やサポートシステムを理解できる。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	・筆記試験(60点以下の場合再試験)60%、ミニテスト10%、レポート15%、授業参加度15%の総合評価とする				
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニテスト終了後、毎回解説する</li> <li>・まとめの試験後に問題出題意図を説明する</li> <li>・グループワーク時に適宜、グループに合わせた指導を行う</li> </ul>				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新版 在宅看護論 医歯薬出版株式会社 2400円(税別):随時使用</li> <li>・ステーション日記 800円(税別):レポート提出課題書籍 ・その他、必要時に資料配布</li> </ul>				
1	講義内容	ガイダンスおよび在宅看護の目的と特性			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書p.2~p.9を読んでおくこと		1時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。		1.5時間
2	講義内容	在宅療養者の理解とサポートシステム			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書p.13~p.23を読んでおくこと		1時間
	1.2.4	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと		1.5時間
3	講義内容	在宅看護にかかわる法律と制度(介護保険制度、医療保険制度)			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書p.204~p.210を読んでおくこと		1時間
	1.4	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと		1.5時間
4	講義内容	在宅における社会資源とその活用について			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書p.137~p.143を読んでおくこと		1時間
	4.	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと		1.5時間
5	講義内容	ケアマネジメントについて理解する			
	該当する到達目標	予習	専門用語の意味を理解しておくこと		1時間
	1.2	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと		1.5時間
6	講義内容	訪問看護制度とその活動について理解する			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書p.196~p.203を読んでおくこと		1時間
	1.4	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと		1.5時間
7	講義内容	訪問看護におけるマナーと実際について理解する			
	該当する到達目標	予習	指定した教科書p.40~p.45を読んでおくこと		1時間
	1.4	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと		1.5時間

8	講義内容	在宅移行への継続看護について理解する		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書p.157~p.166を読んでおくこと	1時間
	2.3	復習	今までの講義内容について復習しておくこと	1.5時間
9	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	病院と在宅看護における違いについて学習しておく。	1時間
	1.2.3.4	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと	1.5時間
10	講義内容	病院と在宅、施設看護について理解する①		
	該当する到達目標	予習	指定した教科書p.150~p.156を読んでおくこと	1時間
	2.3	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと	1.5時間
11	講義内容	病院と在宅、施設看護について理解する②		
	該当する到達目標	予習	病院と在宅看護における違いについて学習しておく。	1時間
	2.3	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと	1.5時間
12	講義内容	病院と在宅、施設看護について理解する③グループ発表		
	該当する到達目標	予習	在宅における社会資源について学習しておく。	1時間
	2.3	復習	次回授業内容にかかわるミニテストを実施するので復習しておくこと	1.5時間
13	講義内容	在宅での事例から在宅看護を理解する①		
	該当する到達目標	予習	在宅に置ける事例を学習しておく。	1時間
	1.2.3.4	復習	事例の展開をどのようにするかグループで確認する	1.5時間
14	講義内容	在宅での事例から在宅看護を理解する② グループ発表		
	該当する到達目標	予習	在宅看護における事例を学習しておく。	1時間
	1.2.3.4	復習	グループ発表の方法等をグループで確認する。	1.5時間
15	講義内容	在宅看護の展望と総括		
	該当する到達目標	予習	今後の在宅看護の展望等についての書籍等を読んでおくこと。	1時間
	1.2.3.4	復習	今までの講義内容を復習しておく。	1.5時間
備考	<p>・今まで学習した専門科目の知識を統合していく学習となります。他の科目も復習しながら学習に臨んでください。</p> <p>・毎回、ミニテストをしながら学習の確認を行いますので、しっかり復習してください。</p> <p>・オフィスアワー:13:00~14:00(月)</p> <p>上記以外の日程でも可能な限り調整します。メール等で問い合わせてください。</p> <p>tanahashi@takasaki-u.ac.jp</p>			

科目名	在宅看護学方法論Ⅰ(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・在宅看護学)			NRS271	講義
担当教員	新井明子、田村直子、棚橋さつき				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	様々な発達段階、健康段階、生活環境にある在宅療養者と家族が安心して生活するための看護支援方法、多職種連携、社会資源について学ぶ。				
到達目標	1.在宅看護における対象別看護の特徴を理解できる。 2.在宅における看護課題を解決するための日常生活援助、多職種連携、社会資源について理解できる。 3.在宅看護過程について理解できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験60%(試験の点数が6割未満の場合は再試となる)、課題レポート10点、看護過程のレポート・取り組み20%、授業参加状況10%(欠席や遅刻は減点する)とする。総合評価60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	課題レポート(エンドオブライフケア)、看護過程のレポートにはコメントをつけて返却する。 第14回・第15回の看護過程の発表に対して、良かった点、修正が必要な点をコメントする。				
使用教材	よくわかる在宅看護改訂第2版 角田直枝編著 学研。新版在宅看護論 木下由美子編著 医歯薬出版。 講義のスライドを配布する。				
1	講義内容	対象の理解:高齢者、認知症のある療養者			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書(よくわかる在宅看護 p50-54、新版在宅看護論 p108-110)を事前に読む。		1.0 時間
		復習	高齢者の特徴と看護支援を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	対象の理解:難病療養者			
	該当する到達目標 1,2	予習	医療保険による訪問看護の対象、介護保険制度の16特定疾病を理解する。		1.0 時間
		復習	授業で使用したワークシートを復習する。		1.5 時間
3	講義内容	対象の理解:精神疾患のある療養者と終末期にある療養者			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書(新版在宅看護論 p112-119)を事前に読む。		1.0 時間
		復習	精神疾患のある療養者と終末期にある療養者の看護支援を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	在宅におけるエンドオブライフケア			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書(新版在宅看護論 p115-119)を事前に読む。第3回講義資料の見直し。		1.0 時間
		復習	課題を提示する。		1.5 時間
5	講義内容	対象者の理解:小児			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書(新版在宅看護論 p110-112)を事前に読む。		1.0 時間
		復習	小児を対象にした訪問看護師の役割を理解する。		1.5 時間
6	講義内容	日常生活援助:環境調整、在宅リハビリテーション			
	該当する到達目標 1,2	予習	介護保険制度や障害者総合支援法による福祉用具貸与や購入の対象物品、住宅改修について理解する。		1.0 時間
		復習	在宅リハビリテーションの役割と多職種連携について理解する。		1.5 時間
7	講義内容	日常生活援助:服薬管理、食生活支援			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書(よくわかる在宅看護 p159-170)を事前に読む。		1.0 時間
		復習	在宅看護における服薬管理と食生活支援の看護を理解する。		1.5 時間
8	講義内容	日常生活援助:清潔ケアと排泄ケア			
	該当する到達目標	予習	教科書(よくわかる在宅看護 p145-158)を事前に読む。		1.0 時間

	1,2	復習	在宅看護における清潔ケアと排泄ケアの方法、注意点を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	中間のまとめ(対象理解と日常生活援助)		
	該当する到達目標	予習	第1回から第8回までの講義資料をよく見直す	1.0 時間
	1,2	復習	対象の理解と日常生活援助について、理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	在宅看護過程①		
	該当する到達目標	予習	教科書(新版在宅看護論 p53-65)を事前に読む。	1.0 時間
	1,2,3	復習	在宅看護過程の特徴を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	在宅看護過程②		
	該当する到達目標	予習	教科書(新版在宅看護論 p53-65)を事前に読む。	1.0 時間
	1,2,3	復習	病院での看護過程と在宅看護過程の違いを理解する。	1.5 時間
12	講義内容	在宅看護過程③グループワーク		
	該当する到達目標	予習	個人ワークの課題を提示する。	1.0 時間
	1,2,3	復習	グループワークにより得た他者の意見を参考に、個人ワークを加筆修正する。	1.5 時間
13	講義内容	在宅看護過程④グループワーク		
	該当する到達目標	予習	個人ワークの課題を提示する。	1.0 時間
	1,2,3	復習	グループワークにより得た他者の意見を参考に、個人ワークを加筆修正する。	1.5 時間
14	講義内容	在宅看護過程⑤発表		
	該当する到達目標	予習	自分達の発表内容について確認する。	1.0 時間
	1,2,3	復習	他グループの発表を参考に、加筆修正し個人ワークを仕上げる。	1.5 時間
15	講義内容	在宅看護過程⑥発表		
	該当する到達目標	予習	自分達の発表内容について確認する。	1.0 時間
	1,2,3	復習	他グループの発表を参考に、加筆修正し個人ワークを仕上げる。	1.5 時間
備考	オフィスアワー 後期木曜日 4 限目、その他の時間はメールで随時対応する。教員(新井)のメールアドレスは、 <a href="mailto:arai@takasaki-u.ac.jp">arai@takasaki-u.ac.jp</a> である。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	在宅看護学方法論Ⅱ(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・在宅看護学)			NRS370	講義
担当教員	新井明子、田村直子、棚橋さつき				
学年・開講期	3年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	在宅看護で特徴的な医療処置の基本的知識と看護技術を習得する。特に医療依存度が高い在宅療養者とその家族に対する看護支援方法について学習する。				
到達目標	1.在宅で特徴的な医療処置と看護技術の基本的知識と技術を理解できる。 2.在宅で特徴的な医療処置と看護技術を必要とする対象の看護支援方法が理解できる。 3.在宅におけるリスクマネジメントについて理解できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 80%(試験の点数が6割未満の場合は再試となる)、授業参加状況 20%(欠席や遅刻は減点する)とする。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	演習で使用するワークシートには、コメントをつけて返却する。				
使用教材	よくわかる在宅看護改訂第2版 角田直枝編著 学研。新版在宅看護論 木下由美子編著 医歯薬出版。講義のスライドを配布する。				
1	講義内容	在宅における呼吸管理①吸引、カニューレの構造、HOT(講義)			
	該当する到達目標	予習	教科書(よくわかる在宅看護 p62-70、77-83、98-108)を事前に読む。		1.5時間
	1,2,3	復習	講義資料と教科書で、在宅呼吸管理について復習する。		2.0時間
2	講義内容	在宅における呼吸管理②人工呼吸療法(講義)			
	該当する到達目標	予習	教科書(よくわかる在宅看護 p84-97)を事前に読む。		1.5時間
	1,2,3	復習	講義資料と教科書で、在宅呼吸管理について復習する。		2.0時間
3	講義内容	在宅における呼吸管理③(演習)			
	該当する到達目標	予習	教科書(よくわかる在宅看護 p62-70、77-108)を事前に読む。		1.5時間
	1,2,3	復習	授業で配付したワークシート		2.0時間
4	講義内容	在宅におけるストーマケアと褥瘡ケア(講義)			
	該当する到達目標	予習	教科書(よくわかる在宅看護 p171-202)を事前に読む。		2.0時間
	1,2,3	復習	講義資料と教科書で、ストーマケアと褥瘡ケアについて復習する。		2.0時間
5	講義内容	在宅におけるストーマケアと褥瘡ケア(演習)			
	該当する到達目標	予習	教科書(よくわかる在宅看護 p171-202)を事前に読む。		1.5時間
	1,2,3	復習	授業で配付したワークシート		2.0時間
6	講義内容	在宅における栄養管理ー経管栄養とHPN(講義)ー			
	該当する到達目標	予習	教科書(よくわかる在宅看護 p118-144)を事前に読む。		2.0時間
	1,2,3	復習	講義資料と教科書で、経管栄養とHPNの看護について復習する。		2.0時間
7	講義内容	在宅における栄養管理ー経管栄養とHPN(演習)ー			
	該当する到達目標	予習	教科書(よくわかる在宅看護 p118-144)を事前に読む。		1.5時間
	1,2,3	復習	授業で配付したワークシート		2.0時間
8	講義内容	在宅におけるリスクマネジメント			
	該当する到達目標	予習	教科書(新版在宅看護論 p120-124)を事前に読む。		1.5時間
	3	復習	講義資料と教科書で、在宅看護におけるリスクマネジメントについて復習する。		2.0時間

備考	オフィスアワー 前期木曜日 4 限目、その他の時間はメールで随時対応する。教員(新井)のメールアドレスは、 <a href="mailto:arai@takasaki-u.ac.jp">arai@takasaki-u.ac.jp</a> である。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。
----	--

科目名	在宅看護学実習(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・在宅看護学)		NRS371	実習
担当教	棚橋さつき 新井明子 田村直子			
学年・開講期	3年 通年	必選・単位数	必修 2単位	
講義目標	在宅で療養する療養者と家族を総合的に理解するとともに、家族を支える社会資源や制度を学ぶ。また、様々な発達段階、健康レベルの人々を「生活の場」で支えていく在宅看護の意義と課題について実習の中から学んでいく。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域における在宅療養者と家族が理解できる。</li> <li>2. 在宅と施設看護の違いを述べることができる。</li> <li>3. 「生活の場」に沿った訪問看護計画を立案できる。</li> <li>4. 社会資源の種類や利用方法を説明することができる。</li> </ol>			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力		
	✓	3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
		5. 生涯学習力		
評価方法	実習記録、訪問看護計画、事前・事後レポートその他提出物、実習参加度、学習態度などによる総合評価			
課題に対するフィードバック	実習記録、訪問看護計画等に関して随時指導、コメントを付して返却する。また、学生と同行することにより実習の成果を高める。			
使用教材	学科作成の実習要項、及び領域で作成した在宅看護学実習要項			
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習先に訪問看護ステーションおよび関連施設で2週間(1日8時間、7日間)通い、上記の到達目標達成に向けて受講する。訪問看護ステーションでは療養者1名を受け持ち、実習中に1回又は2回以上訪問看護に同行し看護過程を展開する。また、受け持ち以外の療養者にも同行する。</li> <li>・学内カンファレンスを実習2週目に行う。カンファレンスでは看護過程の展開について意見交換を行い、在宅療養者の生活や理解を深める。また、訪問看護を提供している事業所の特徴や関係機関との連携、在宅に置ける工夫、チーム医療の重要性について実習の成果を伝える場とする。</li> </ul> <p>※実習内容の詳細は配属される実習先によって異なるが、次に掲げる事項について学生は教員や実習指導者により指導を受ける。</p>			
	予習	実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認		期間中適宜
	復習	実習先で教わったことの再認識、現場で得た実践のまとめ		期間中適宜
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健大のメールアドレス:<a href="mailto:kendai@takasaki-u.ac.jp">kendai@takasaki-u.ac.jp</a> オフィスアワーは前期、後期とも(金1時限目)</li> <li>・実習期間中は特に予習、復習については明記しないが関連する科目の学習も必要である。</li> </ul>			

科目名	公衆衛生看護学概論(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・公衆衛生看護学)			NRS280	講義
担当教員	深澤 英子				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	公衆衛生看護学の全体像を把握するため、公衆衛生看護の歴史から見る健康課題の変遷と、公衆衛生看護の役割及び活動の特徴を理解する。				
到達目標	1. 社会環境や生活状況から生じる健康課題をとらえることができる。 2. 公衆衛生看護活動の場と活動の概要を理解することができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、レポート 20%、出席 10%				
課題に対するフィードバック	課題として、提示した複数の健康テーマから各自1つを選んでレポート提出をする。その後、グループワークでそれぞれのテーマをシェアすることにより、より深い理解へと発展させる。				
使用教材	教科書「公衆衛生看護学」編集荒賀直子 後閑容子（インターメディカル） ISBN978-4-900828-66-7 C3047 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	公衆衛生看護の特徴			
	該当する到達目標	予習	教科書第1章Ⅰ①を読んでくる	1時間	
	1,2	復習	公衆衛生看護の特徴を理解する	1.5時間	
2	講義内容	公衆衛生看護のはじまり			
	該当する到達目標	予習	教科書第1章Ⅰ③を読んでくる	1時間	
	1,2	復習	公衆衛生及び公衆衛生看護のはじまりと歴史的背景について理解する	1.5時間	
3	講義内容	日本の公衆衛生看護の歴史			
	該当する到達目標	予習	教科書第1章Ⅰ③を読んでくる	1時間	
	1,2	復習	公衆衛生看護活動の変遷について理解する	1.5時間	
4	講義内容	社会環境の変化と健康課題			
	該当する到達目標	予習	教科書第1章Ⅱ④を読んでくる	1時間	
	1,2	復習	社会環境の変化と健康課題について理解する	1.5時間	
5	講義内容	ヘルスプロモーション			
	該当する到達目標	予習	教科書第1章Ⅰ②を読んでくる	1時間	
	1,2	復習	プライマリヘルスケア及び、ヘルスプロモーションについて理解する	1.5時間	
6	講義内容	日本における健康づくり運動「健康日本21」			
	該当する到達目標	予習	教科書第1章Ⅰ②を読んでくる	1時間	
	1,2	復習	健康づくり運動の目的と取り組みについて理解する	1.5時間	
7	講義内容	第二次「健康日本21」と「健康格差」			
	該当する到達目標	予習	提示資料「健康の社会的決定要因」に目を通しておく	1時間	
	1,2	復習	健康格差と社会的要因との関係性について理解する	1.5時間	
8	講義内容	公衆衛生看護活動の場と内容			
	該当する到達目標	予習	教科書第1章Ⅱ①②を読んでくる	1時間	
	1,2	復習	保健師の活動の場と役割について理解する	1.5時間	
9	講義内容	保健行動と保健活動			

	該当する到達目標	予習	教科書第1章Ⅱ⑤を読んてくる	1時間
	1,2	復習	保健行動と行動変容へのアプローチについて理解する	1.5時間
10	講義内容	公衆衛生看護活動で用いられる技術①(地区診断・計画策定)		
	該当する到達目標	予習	教科書第2章Ⅰ①③④を読んてくる	1時間
	1,2	復習	地域保健計画策定の目的と方法について理解する	1.5時間
11	講義内容	公衆衛生看護活動で用いられる技術①(保健指導)		
	該当する到達目標	予習	教科書第1章Ⅱ③、第3章Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを読んてくる	1時間
	1,2	復習	地域保健活動のツールについて概要を理解する	1.5時間
12	講義内容	保健医療福祉システムと法体系		
	該当する到達目標	予習	教科書第1章Ⅰ⑤を読んてくる	1時間
	1,2	復習	保健医療福祉システムについて理解する	1.5時間
13	講義内容	産業保健		
	該当する到達目標	予習	教科書第6章Ⅱを読んてくる	1時間
	1,2	復習	労働安全衛生法について理解する	1.5時間
14	講義内容	学校保健		
	該当する到達目標	予習	教科書第6章Ⅰを読んてくる	1時間
	1,2	復習	学校保健安全法について理解する	1.5時間
15	講義内容	地域の健康づくりを推進するために		
	該当する到達目標	予習	教科書第2章Ⅱを読んてくる	1時間
	1,2	復習	地区組織活動と地域ケアシステムについて理解する	1.5時間
備考	オフィスアワー:水曜日 場所1号館保健室 予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること。			

科目名	公衆衛生看護学方法論(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・公衆衛生看護学)		NRS281	講義
担当教員	倉林 しのぶ 赤堀 八重子			
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 2単位	
講義目標	地域住民の健康生活を支援する公衆衛生看護活動全般と保健師の役割について学ぶ。保健所における保健活動と市町村における保健活動の実際を学び、母子、成人、高齢者等のライフサイクル別、また、健康課題に応じた個人と家族への支援、また集団を対象とした支援等、地域における保健師活動の実際を学習する。			
到達目標	1.地域における看護職としての保健師の機能と役割を理解する 2.保健所および市町村保健師の機能と役割を理解する 3.保健指導、家庭訪問、健康相談、健康教育、健康診査等の保健師業務と役割を学ぶ 4.公衆衛生看護活動のなかでの連携、チームケアにおける保健師の役割を学ぶ			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
	✓	2. 論理的思考・問題解決力		
	✓	3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
		5. 生涯学習力		
評価方法	試験 70%、授業参加度・授業態度等 30%を総合して評価します			
課題に対するフィードバック	個々の学生から質問等については、講義前に全体に向けて再度解説します。			
使用教材	公衆衛生看護学, 荒賀直子,後閑容子, インターメディカル, ￥4400 国民衛生の動向, 最新版, 厚生労働統計協会, ￥2500			
1	講義内容	保健師業務1(保健指導とは・家庭訪問)		
	該当する到達目標	予習	テキスト第3章「家庭訪問」の項を読んでおく	1時間
	1.2.3.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
2	講義内容	保健師業務2(健康相談・健康教育・健康診査)		
	該当する到達目標	予習	テキスト第3章「健康相談、健康教育、健康診査」の項を読んでおく	1時間
	1.2.3.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
3	講義内容	母子保健活動(日本の現状と課題)		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章「母子保健概論」から「母子保健施策」までを読んでおく	1時間
	1.2.3.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
4	講義内容	母子保健活動と保健師の役割		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章「母子保健活動の実際」を読んでおく	1時間
	1.2.3.4.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
5	講義内容	成人保健活動(日本の現状と課題)		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章「成人保健概論」から「施策」までを読んでおく	1時間
	1.2.3.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
6	講義内容	成人保健活動と保健師の役割		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章「成人保健活動の実際」を	1時間
	1.2.3.4.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
7	講義内容	メタボリックシンドローム/特定健診・特定保健指導		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章「生活習慣病と保健指導」の項を読んでおく	1時間
	1.2.3.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
8	講義内容	高齢者保健活動(日本の現状と課題)		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章「高齢者保健概論」から「施策」までを読んでおく	1時間

	1.2.3.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
9	講義内容	高齢者保健活動と保健師の役割		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章「高齢者保健活動の実際」「要介護高齢者」を読んでおく	1時間
	1.2.3.4.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
10	講義内容	難病／障害者保健活動と保健師の役割		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章 v 難病保健活動VI障害者保健活動を読んでおく	1時間
	1.2.3.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
11	講義内容	感染症保健活動と保健師の役割		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章VIII感染症保健活動を読んでおく	1時間
	1.2.3.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
12	講義内容	災害保健活動・危機管理		
	該当する到達目標	予習	テキスト第5章健康危機管理を読んでおく	1時間
	1.2.3.4.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
13	講義内容	歯科保健活動と保健師の役割		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章IX歯科口腔保健活動を読んでおく	1時間
	1.2.3.4.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
14	講義内容	産業保健活動と保健師の役割		
	該当する到達目標	予習	テキスト第6章II産業保健の項を読んでおく	1時間
	1.2.3.4.	復習	配布した講義資料の見直し	1.5時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	テキスト第7章公衆衛生看護管理の項を読んでおく	1時間
	1.2.3.4.	復習	第1～15回までの講義資料の見直し	1.5時間
備考	<p>オフィスアワー：月曜日・火曜日の11:00～13:00</p> <p>質問はいつでも受け付けます。(メール可)※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。</p> <p>E-mail: <a href="mailto:kura@takasaki-u.ac.jp">kura@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>次回の授業範囲についてテキストに目を通しておくこと。</p> <p>授業の復習をし、不明な点は授業時間以外でも構わないので積極的に質問してください。</p>			

科目名	地域ケアシステム実習(看護専門科目群・専門分野Ⅱ・公衆衛生看護学)		NRS380	実習
担当教員	倉林しのぶ 赤堀八重子 武居明美			
学年・開講期	3年 通年	必修・単位数	必修 1単位	
講義目標	地域社会で生活する在宅療養者と家族の個別的ニーズを捉え、介護保険制度を中心とした地域ケアシステムを理解する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.地域における保健・医療・福祉の連携のあり方を学ぶ</li> <li>2.ケアマネジャーを中心とした地域ケアシステムの概要を理解することができる。</li> <li>3.介護保険における予防給付および介護給付サービスを理解し、各サービスの目的と役割について理解できる。</li> <li>4.在宅療養者の多様な住環境や自立を支える生活支援の実際を学ぶことができる。</li> </ol>			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
	✓	2. 論理的思考・問題解決力		
	✓	3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
		5. 生涯学習力		
評価方法	実習参加度・態度(30%)、報告会・カンファレンスの参加度(30%)、実習中・後の記録物(30%) 事前学習(10%)			
課題に対するフィードバック	記録に関しては、教員が内容を確認し、コメントを付して返却する。また、最終レポートに関しては教員が内容を確認後、返却する。			
使用教材	公衆衛生看護学.jp、荒賀直子編、インターメディカル(4,400円+税)、 国民衛生の動向、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会(2,500円税込) その他介護保険に関するテキストおよび資料			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.実習先である介護保険施設、その他施設に3日間、長寿センターに4時間通い、上記の到達目標達成に向けて実習を受講する。 ※実習内容の詳細は配属される実習先によって異なるが、次に掲げる事項について学生は実習指導者による指導を受ける <ol style="list-style-type: none"> <li>1)在宅療養者やその関係職種、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーション今人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成について</li> <li>2)在宅療養者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成</li> <li>3)在宅療養者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護及び支援(エンパワメントを含む。)とその評価、多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際</li> <li>4)保健医療従事者としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解</li> <li>5)介護保険に基づくサービスの実際、管理運営の実際</li> </ol> </li> <li>2.学内実習にて、各施設における活動について情報共有を行い、地域ケアシステムに関する理解を深める。</li> </ol>			
	予習	介護保険制度について、実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認		期間中適宜
	復習	介護保険制度、地域ケアシステムについての確認、実習先で教わったことの再確認、実習先で得た実体験のまとめ、報告会用資料準備		期間中適宜
備考	<p>オフィスアワー：月曜日・火曜日 11:00～13:00 質問はいつでも受付可(メールの場合は、学科、学年、学籍番号、氏名を必ず記載すること)。 e-mail:<a href="mailto:kura@takasaki-u.ac.jp">kura@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習に臨む前に必ず介護保険制度についての復習を行うこと。実習期間中は現場に入る前に必ず教わったことや調べたことをチェックし、帰宅後は指示されたことや学んだことについて書き出すこと。</p>			

科目名	健康教育論(看護専門科目群・統合分野)			NRS290	講義
担当教員	青柳千春・倉林しのぶ・望月経子・水出房子・池田優子				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	あらゆるライフステージの人々の健康の保持増進と疾病からの回復や QOL の向上を目指した健康教育の意義を理解し、個別的・集団的健康教育の方法と実際を学ぶ				
到達目標	1.健康教育の目指すものと目的を理解する 2.健康教育の対象と方法を理解する				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	試験 80%、その他 20%				
課題に対するフィードバック	定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材	新しい健康教育～理論と事例から学ぶ健康増進への道～ 保健同人社				
1	講義内容	新しい健康教育の目指すもの 地域における健康教育の実際			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1.5 時間
	1	復習	健康教育の歴史、目指すもの、地域における健康教育について理解する		1.5 時間
2	講義内容	学校と健康教育			
	該当する到達目標	予習	教科書184－197pに目を通す		1.5 時間
	1. 2	復習	学校における健康教育の特徴を理解する		1.5 時間
3	講義内容	学校における健康教育の実際			
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目を通しておく		1.5 時間
	1. 2	復習	学校における健康教育の実際を理解する		1.5 時間
4	講義内容	病院における健康教育の実際			
	該当する到達目標	予習	教科書209－217pに目を通す		1.5 時間
	1. 2	復習	病院における患者教育の特徴やその実際を理解する		1.5 時間
5	講義内容	グループ課題「スマートライフ」をテーマに健康教育プログラムを作成			
	該当する到達目標	予習	「スマートライフ」に関連する図書や資料に目を通す		1.5 時間
	1. 2	復習	グループワークで必要な資料等の準備をする		1.5 時間
6	講義内容	グループワーク、プログラムの作成			
	該当する到達目標	予習	グループワークで必要な資料等の準備をする		1.5 時間
	1. 2	復習	グループ発表へ向けて準備をする		1.5 時間
7	講義内容	グループワークの発表			
	該当する到達目標	予習	グループ発表へ向けて準備をする		1.5 時間
	1. 2	復習	発表を受け、健康教育の目的・対象と方法について理解をふかめるようにする		1.5 時間
8	講義内容	仲間教育の意義と実際			
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目を通す		1.5 時間
	1. 2	復習	ピアエディケーションの実際を理解する		1.5 時間
備考	オフィスアワー:(青柳)水曜日及び金曜日の1限 メールアドレス:(青柳)aooyagi@takasaki-u.ac.jp 研究室: (青柳)3号館 2階 207				

科目名	ケアネットワーク論(看護専門科目群・統合分野)			NRS490	講義
担当教員	棚橋さつき				
学年・開講期	4年 前期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	看護活動におけるネットワークの意義を理解し、地域の様々な健康課題に対する効果的援助を進めるために、関係者・施設間の連携とネットワークングの実際と看護職の役割を学ぶ。				
到達目標	4. 多職種とその役割について理解できる 5. 地域におけるネットワークと必要性について理解できる。 6. 地域包括ケアシステムについて理解できる。 7. 在宅ケアを進めていくための必要なサービスと職種との連携について理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加への積極性 20%、レポート 80% (課題は講義の中で提示)				
課題に対するフィードバック	グループワークも取り入れながら、随時学生に質疑応答しながら学生に内容をフィードバックしていく。				
使用教材	講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	ガイダンス・ケアネットワークについて			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1時間
	2	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。		1時間
2	講義内容	地域における看護活動の理解			
	該当する到達目標	予習	最近の多職種連携に関連する書籍、雑誌等を読んでおく		1時間
	1.2.4	復習	看護師と多職種の役割との違い、連携について講義内容なら復習しておく。		1時間
3	講義内容	他職種との連携について			
	該当する到達目標	予習	他職種について事前に書籍等で学習する。		1時間
	1.	復習	他職種について、その役割を理解する。		1時間
4	講義内容	地域におけるネットワーク①			
	該当する到達目標	予習	「地域におけるネットワーク活動」等について調べておく。		1時間
	2.4.	復習	地域活動について他学生と意見交換し学習を深める		1時間
5	講義内容	地域におけるネットワーク②			
	該当する到達目標	予習	「地域におけるネットワーク活動」等について調べておく。		1時間
	2.4.	復習	地域活動について他学生と意見交換し学習を深める		1時間
6	講義内容	地域包括ケアシステムについて			
	該当する到達目標	予習	図書館等にある書籍等で事前に用語の学習をしておくこと。		1時間
	2.3	復習	参考資料を熟読する。		1時間
7	講義内容	在宅医療・介護連携総合事業について			
	該当する到達目標	予習	在宅医療・介護連携総合事業について学習しておく。		1時間
	2.3	復習	配布資料を熟読する。		1時間
8	講義内容	ケアネットワーク構築について			

	該当する到達目標	予習	今までの講義資料を熟読しておく。	1時間
	1.2.3.4	復習	地域におけるケアネットワークについて理解する。	1時間
備考	<p>キーワード: 専門職、ネットワーク、連携</p> <p>・オフィスアワー: 13:00~14:00(月)</p> <p>上記以外の日程でも可能な限り調整します。メール等で問い合わせてください。</p> <p><a href="mailto:tanahashi@takasaki-u.ac.jp">tanahashi@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>予習・復習については試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	家族看護論(看護専門科目群・統合分野)			NRS291	講義
担当教員	茂木佐智子・河内浩美・櫻井美和・石田順子・大澤幸枝・新井明子・田邊要補				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	家族をひとつのユニット、家族機能をひとつのシステムとして捉え、個人及びその家族が持っているセルフケア能力を高める看護について学習する。また、家族のライフサイクルの段階に応じた発達課題、直面する危機や健康問題に対する支援のあり方を学ぶ。				
到達目標	1.現代家族における「家族」の多様性を理解できる。 2.家族看護における看護職の役割を理解できる。 3.家族アセスメントの方法と家族支援のあり方を理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	レポート80%、授業参加度・態度等20%により評価する。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付けて返却する。				
使用教材	教科書「家族看護学―理論と実践 第4版」鈴木和子他(日本看護協会出版会) ISBN978-4-8180-1697-2 スライド資料を配布する。				
1	講義内容	ガイダンス 家族および家族看護の基本概念			
	該当する到達目標 1	予習	シラバスを読み、講義の目標と内容を理解する。 教科書の第1章・第2章に目を通す。		1時間
		復習	家族看護学とは何か、看護学における家族の捉え方の特徴を理解する。		1.5時間
2	講義内容	子どもの誕生期にある家族への支援			
	該当する到達目標 2,3	予習	教科書の第6章に目を通す。		1時間
		復習	子どもの誕生によって家族が受ける影響と援助について理解する。		1.5時間
3	講義内容	入院治療を受ける病児をもつ家族への支援			
	該当する到達目標 2,3	予習	教科書の第7章に目を通す。		1時間
		復習	児の入院治療によって家族が受ける影響と援助について理解する。		1.5時間
4	講義内容	がん患者の家族への支援			
	該当する到達目標 2,3	予習	教科書の第11章に目を通す。		1時間
		復習	がん患者の家族と援助について理解する。		1.5時間
5	講義内容	高齢者介護を行っている家族への支援			
	該当する到達目標 2,3	予習	教科書の第10章に目を通す。		1時間
		復習	高齢者介護を行っている家族と援助について理解する。		1.5時間
6	講義内容	難病患者の介護を行っている家族への支援			
	該当する到達目標 2,3	予習	教科書の第10章に目を通す。		1時間
		復習	難病患者の介護を行っている家族と援助について理解する。		1.5時間
7	講義内容	精神疾患をもつ患者の家族への支援			
	該当する到達目標 2,3	予習	教科書の第9章に目を通す。		1時間
		復習	精神疾患をもつ患者の家族と援助について理解する。		1.5時間
8	講義内容	まとめ			
	該当する到達目標	予習	教科書の第5章に目を通す。		1時間

	1,2,3	復習	家族看護における看護者の役割について理解する。	1.5 時間
備考	<p>連絡先: 茂木 <a href="mailto:motegi-s@takasaki-u.ac.jp">motegi-s@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>研究室: 4 号館3階 304</p> <p>オフィスアワー: 水曜日の 3 時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>予習・復習についての時間は参考程度である。</p> <p>1 単位を修得するには、講義時間(15 時間(実質 90 分×8 回)) + 自習時間(30 時間)が必要であるため、各自で自習時間を補完すること。</p>			

科目名	看護研究概論（看護専門科目群・統合分野）			NRS390	講義
担当教員	吉田久美子・倉林しのぶ・石田順子・田邊要補・櫻井美和				
学年・開講期	3年 後期	必選・単位数	必修 1単位		
講義目標	看護学における研究の必要性和看護実践における研究の意義を理解し、看護研究の基礎的能力を培う				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護学における研究の必要性和看護実践における研究の意義について理解できる。</li> <li>2. 基本的な研究方法(実験・準実験研究、質問紙調査、事例研究、内容分析)について理解できる。</li> <li>3. 文献検索の方法と文献のクリティーク方法が理解できる。基本的な統計処理方法について理解できる。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 70%、レポート・授業参加状況 30%で評価する。</li> <li>・総合評価 60 点以上を合格とする。</li> </ul>				
課題に対するフィードバック	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レポートなどは特に要点についてコメントを返す。</li> <li>2. 課題に対し資料などを配布しフィードバックを行う。</li> </ol>				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小笠原知枝・松木光子編集, これからの看護研究—基礎と応用—, ヌーベルヒロカワ, ISBN978-4-86174-012-1</li> <li>・各授業で主な学習内容を含めた資料を配付する。</li> </ul>				
1	講義内容	看護研究とは: 看護学における研究の意義・研究デザイン			
	該当する到達目標 1,2,3,5	予習	看護研究の目的や意義について教科書の第1章[研究の意味]を読んてくること	1時間	
		復習	看護研究の目的、意義、研究デザインについてテキストと資料をもとにまとめる。	1.5時間	
2	講義内容	文献検索			
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書の第2章[研究テーマの発見の仕方]を読んてくること。	1時間	
		復習	文献検索の目的、方法についてテキストと授業資料をもとにまとめること。	1.5時間	
3	講義内容	量的研究 ① 量的研究のプロセス			
	該当する到達目標 1,2	予習	研究計画の立て方について教科書の第3章[研究計画の立て方]と、第5章[調査研究]を読んてくること	1時間	
		復習	量的研究のプロセスの要点について授業資料を活用しまとめること。	1.5時間	
4	講義内容	量的研究 ② 質問紙調査			
	該当する到達目標 2	予習	教科書の第5章 調査研究 に目を通す。	1.5時間	
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間	
5	講義内容	4年生の研究発表会への参加			
	該当する到達目標 1,2,3,5	予習	研究テーマの発見の仕方について教科書の第2章を読んてくること。	1時間	
		復習	研究発表会に参加し得た気づき、興味関心、疑問をまとめること。	1.5時間	
6	講義内容	統計処理 ①			
	該当する到達目標 2	予習	調査研究について教科書の第5章[調査研究]と、統計に関して第10章[研究における統計学の基礎知識と検定の方法]を読んてくること。	1時間	
		復習	授業内容の看護の調査研究における統計学の基礎的内容をまとめること。	1.5時間	
7	講義内容	統計処理 ②			
	該当する到達目標 2	予習	演習では Excel を使うので、Excel の基本的な操作ができるようにすること。	1.5時間	
		復習	配布された資料に目を通し、しっかりと復習すること。	1時間	
8	講義内容	質的研究 ① 質的研究の概要とプロセス			

	該当する到達目標	予習	教科書の第7章[質的研究]に目を通す	1.5時間
	標 2,5	復習	配布された資料に目を通し、量的研究と質的研究の相違を意識しながら、質的研究の特徴、意義を理解する	1時間
9	講義内容	質的研究 ② 質的研究の手法—データ収集および分析方法		
	該当する到達目標	予習	教科書の第5章[調査研究—調査研究のデータ収集の仕方]、第19章[内容分析による質的研究]に目を通す	1.5時間
	標 2,5	復習	配布された資料に目を通し、量的研究と質的研究の相違を意識しながら、質的研究のデータ収集および分析の方法を理解する	1時間
	講義内容	質的研究 ③ 事例研究		
10	該当する到達目標	予習	教科書の第6章[事例研究]に目を通す	1.5時間
	標 2,5	復習	配布された資料に目を通し、事例研究の特徴、意義、手順、限界を理解する	1時間
11	講義内容	文献クリティーク・研究計画書の作成		
	該当する到達目標	予習	研究計画の立て方について教科書第3章を読んでくること。	1時間
	1,2,3,5	復習	研究計画書の具体的作成方法と留意点についてまとめること。	1.5時間
12	講義内容	【演習】文献検索と文献レビューと計画書の作成		
	該当する到達目標	予習	文献検索と文献レビューに関するこれまでの授業資料を読んでくること。	1時間
	1,2,3,5	復習	文献検索と文献レビュー、計画書の作成について演習からの学びをまとめること	1.5時間
13	講義内容	【演習】文献検索と文献レビューと計画書の作成		
	該当する到達目標	予習	文献検索と文献レビューに関するこれまでの授業資料を読んでくること。	1時間
	1,2,3,5	復習	文献検索と文献レビュー、計画書の作成について演習からの学びをまとめること	1.5時間
14	講義内容	【演習】文献クリティークのレポート作成		
	該当する到達目標	予習	文献クリティークに関するこれまでの授業資料を読んでくること。	1時間
	1,2,3,5	復習	文献クリティークについて演習からの学びをまとめること。	1.5時間
15	講義内容	【演習】プレ研究計画書作成		
	該当する到達目標	予習	研究計画書の作成について教科書第3章と授業資料を読んでくること。	1時間
	1,2,3,5	復習	研究計画書の作成の要点をまとめること。	1.5時間
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員連絡先: 吉田 久美子 Eメールアドレス <a href="mailto:yoshikumi@takasaki-u.ac.jp">yoshikumi@takasaki-u.ac.jp</a></li> <li>・オフィスアワー : 月曜日 1~4 限・火曜日 1~4 限</li> <li>・予習や復習、授業内に提示された課題についてテキストや授業資料、文献を活用し積極的に取り組むこと。</li> <li>・オムニバス形式で進めるため、各回の授業資料をファイリングし、学習を積み重ねられるよう活用すること。</li> </ul>			

科目名	看護管理学 I (看護専門科目群・統合分野)			NRS491	講義
担当教員	野本悦子 下平きみ子				
学年・開講期	4年 前期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	今まで学んできた個別的ケアの延長ではなく、病院における看護活動はマネジメントなしでは成立しないことを理解し、「組織の中の看護」を学ぶ				
到達目標	1.看護管理(マネジメント)が役職者だけでなく、すべての看護師の役割であることが理解できる 2.基礎教育で学んだ個別的ケアの力を「組織の中の看護」の中で位置づけ直し、臨床の看護へ向けた準備ができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度と課題レポートで30%、定期末試験70%で評価する。総合得点60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	毎回の授業感想カードに対するフィードバックを次回授業初めに行なう。 提出レポートに必要な応じてコメントをする				
使用教材	教科書「系統看護学講座「看護管理」看護の統合と実践(1)」上泉和子他著(医学書院) スライドと使用資料をプリントして配布				
1	講義内容	看護管理とは何か			
	該当する到達目標	予習	教科書 P.2~P.13 をよく読んでおくこと		1.5 時間
	1	復習	P2 第1章「本章で学ぶこと」4点について答え、理解する。		1 時間
2	講義内容	看護ケアのマネジメント			
	該当する到達目標	予習	P16~22 及び P60~74 をよく読んでおく		1.5 時間
	1,2	復習	P16 本章で学ぶこと5点について答え、理解する		1 時間
3	講義内容	看護倫理にもとづく「安心の看護の提供」			
	該当する到達目標	予習	P.25~59 をよく読んでおく		1.5 時間
	1,2	復習	安全管理、院内感染、チーム医療について要点をまとめる		1 時間
4	講義内容	看護サービスのマネジメント①			
	該当する到達目標	予習	P.76~117 をよく読んでおく		1.5 時間
	1,2	復習	P.76 の本章で学ぶこと上位4項目について答え、理解する。		1 時間
5	講義内容	看護サービスのマネジメント②			
	該当する到達目標	予習	P.118~148 をよく読んでおく		1.5 時間
	1,2	復習	P.76 の本章で学ぶこと下位3項目について答え、理解する。		1 時間
6	講義内容	看護と経営 組織の中の個人			
	該当する到達目標	予習	P80~P117 及び 210~216 をよく読んでおく		1.5 時間
	1,2	復習	HP 等で1つ以上の病院看護部の概要について調べ、授業の内容とすり合わせる。		1 時間
7	講義内容	マネジメントに必要な知識と技術			
	該当する到達目標	予習	p184~209 をよく読んでおく		1.5 時間
	1,2	復習	自身のエゴグラム結果について、考察する		1 時間
8	講義内容	看護を取り巻く諸制度			
	該当する到達目標	予習	p152~179、及び 219~253 をよく読み、理解しておく		1.5 時間
	1,2	復習	統合分野における看護師国家試験問題を調べ回答する		1 時間

備考	<p>オフィスアワー: 火曜日 3・4 限</p> <p>メールアドレス: <a href="mailto:nomoto@takasaki-u.ac.jp">nomoto@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>研究室: 5 号館 4 階 412</p> <p>医療や看護の現場で問題になっていることについて新聞や雑誌からトピックスを取り上げ整理しておくこと。</p> <p>・予習、復習は、課題レポート作成、試験前学習で補完する。</p>
----	--

科目名	看護管理学Ⅱ(看護専門科目群・統合分野)			NRS492	講義
担当教員	野本悦子 下平きみ子 池田優子				
学年・開講期	4年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	最終学年の最後として、看護の学びを統合し、臨床への移行がスムーズにできるよう、「看護マネジメント」の視点から学びを深める。				
到達目標	1.臨床への移行に向けて、臨床に適応できるための準備と心構えができる。 2.看護マネジメントに必要な様々な理論とスキルを磨く				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	授業や演習への参加度を40%、看護管理に関する課題レポートの評価を60%として、総合評価60%以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	前回の授業振り返りカードの内容を、次回授業のはじめにコメントする。 レポート返却時に必要に応じてコメントをする				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書:「系統看護学講座「看護管理」看護の統合と実践(1)」上泉和子他著(医学書院)(前期看護管理学Ⅰで使用したもの)</li> <li>・スライドと使用資料をプリントして配布</li> <li>・参考文献:「育成・連携・交渉の上手な会話術」池田優子(日総研)</li> </ul>				
1	講義内容	新人看護師を取り巻く現状と課題			
	該当する到達目標	予習	統合実習からの学び及び新人看護職研修制度について学習してくる		1.5時間
	1	復習	講義目標の意図を自身の状況に照らし合わせ、理解する		1時間
2	講義内容	看護ケアのマネジメントの促進			
	該当する到達目標	予習	教科書第2章を読んで前期の復習をしてくる		1.5時間
	1	復習	臨床における日常看護業務について整理し、イメージ化しておく		1時間
3	講義内容	医療制度の変化と看護の質向上			
	該当する到達目標	予習	社会における看護をとり巻く状況について学習してくる		1.5時間
	1	復習	臨床におけるチーム医療について整理し、イメージ化しておく		1時間
4	講義内容	キャリアデベロップメントと専門職論・生涯学習論			
	該当する到達目標	予習	自己のキャリア開発について考えてくる		1.5時間
	1,2	復習	自己のキャリアデザイン(アクションプラン)を完成させる		1時間
5	講義内容	看護管理の理論とスキル			
	該当する到達目標	予習	入職予定の病院(施設)と看護部の概要について調べてくる		1.5時間
	2	復習	組織における自身の役割について考察し、まとめる		1時間
6	講義内容	モチベーションマネジメント・ストレスマネジメント			
	該当する到達目標	予習	教科書P210~216を読んで前期の復習をしてくる		1.5時間
	2	復習	自身のストレス状況について、振り返り、考察する		1時間
7	講義内容	コーチングを活用した会話術・交渉術			
	該当する到達目標	予習	教科書P210~216を読んで前期の復習をしてくる		1.5時間
	2	復習	自身のストレス状況について、振り返り、考察する		1時間
8	講義内容	まとめ			
	該当する到達目標	予習	到達目標1.2.に対して、自身の到達状態について、国試対策等を含めた考察を		1.5時間

	1,2		しておく。	
		復習	入職までの学習、生活計画表を作成する	1 時間
備考	<p>オフィスパワー: 火曜日 3・4 限</p> <p>メールアドレス: <a href="mailto:nomoto@takasaki-u.ac.jp">nomoto@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>研究室: 5 号館 4 階 412</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークやワールドカフェ形式を行なう。</li> <li>・予習、復習は、施設の概要の検索、キャリアデザインアクションプランの作成、試験レポート作成で補完する</li> </ul>			

科目名	看護倫理学Ⅱ(看護専門科目群・統合分野)			NRS493	講義
担当教員	倉林しのぶ				
学年・開講期	4年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	医療をめぐる環境は大きく変化し、医療の高度化や複雑化の中で、新たな倫理的課題が浮かび上がってきている。ここでは、今まで受けた講義や実習経験の「統合」として、倫理的課題の実践的解決へ向けた道筋を考える力を養う。				
到達目標	1. 「看護における倫理とは何か」について理解する。 2. 臨地実習の中で直面した倫理的ジレンマと課題を明確化できる。 3. どのような態度と行動を取ってゆけばいいか、倫理的判断力と意思決定プロセスが歩める。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	毎回の感想レポート及び参加態度を40%。倫理的ジレンマとその解決に向けたレポートで60%として評価します				
課題に対するフィードバック	各回のレポートについては、コメントをつけて返却する。または、次の回の講義開始前に総評としてコメントする。				
使用教材	使用教材については講義前に提示します。事前課題は必ずしてきてください。				
1	講義内容	看護における倫理			
	該当する到達目標	予習	3年次の看護倫理学Ⅰについて復習しておく		1 時間
	1.	復習	看護における倫理とは何かについて整理しておく		1.5 時間
2	講義内容	看護の中における倫理的課題①			
	該当する到達目標	予習	実習全般における倫理的課題について整理しておく		1 時間
	1.	復習	4分割法についてまとめておく		1.5 時間
3	講義内容	看護の中における倫理的課題②			
	該当する到達目標	予習	倫理的課題を4分割法で整理してみる		1 時間
	2.3.	復習	課題を4分割法にまとめてみる		1.5 時間
4	講義内容	学生が臨地実習でぶつかった倫理的ジレンマ①			
	該当する到達目標	予習	実習(老年看護)の中で抱えた倫理的ジレンマについて、整理しておく		1 時間
	2.3.	復習	倫理的ジレンマの根拠と課題解決のプロセスを理解する		1.5 時間
5	講義内容	学生が臨地実習でぶつかった倫理的ジレンマ②			
	該当する到達目標	予習	実習(精神看護)の中で抱えた倫理的ジレンマについて、整理しておく		1 時間
	2.3.	復習	倫理的ジレンマの根拠と課題解決のプロセスを理解する		1.5 時間
6	講義内容	学生が臨地実習でぶつかった倫理的ジレンマ③			
	該当する到達目標	予習	実習(小児看護)の中で抱えた倫理的ジレンマについて、整理しておく		1 時間
	2.3.	復習	倫理的ジレンマの根拠と課題解決のプロセスを理解する		1.5 時間
7	講義内容	学生が臨地実習でぶつかった倫理的ジレンマ④			
	該当する到達目標	予習	実習(母性看護)の中で抱えた倫理的ジレンマについて、整理しておく		1 時間
	2.3.	復習	倫理的ジレンマの根拠と課題解決のプロセスを理解する		1.5 時間
8	講義内容	まとめ			
	該当する到達目標	予習	臨床における倫理的課題について整理しておく		1 時間

	3.	復習	倫理的課題の解決に向けた方策についてまとめる	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日・火曜日の11:00~13:00</p> <p>質問はいつでも受け付けます。(メール可)※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。</p> <p>E-mail: <a href="mailto:kura@takasaki-u.ac.jp">kura@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>看護の倫理的課題について文献や新聞記事の中から課題を整理しレポートする。自分自身の課題として、倫理的問題を考えてもらうため、今までの実習の中で抱えた倫理的ジレンマについて、整理しておくこと。整理した課題をもとにグループワークを行います。</p>			

科目名	ヘルスカウンセリング（看護専門科目群・統合分野）			NRS292	講義
担当教員	池田優子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 1 単位		
講義目標	患者とのコミュニケーションを通してその思いを聴ける技術を身につけることは看護するものにとって不可欠な要素である。本講義では看護に必要なカウンセリングマインドについて理解し、患者の理解と健康へ向けた専門的支援方法としてのヘルスカウンセリングを学ぶ。				
到達目標	1. カウンセリングの「4つの基本的姿勢」が理解できる。 2. [傾聴]の大切さが理解でき、実施できる。 3. 自分のブロッキングに気づき、確認のための「共感的くり返し」が実施できる。 4. カウンセリングとガイダンス、指導の違いを理解し、使い分けが理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	1. 演習ごとの感想レポートと授業への参加度で40%。 2. ヘルスカウンセリングの実施と分析、考察のテスト・レポート60%で評価します。				
課題に対するフィードバック	毎回、講義・演習の感想や質問を書かせ、次の授業でコメントを返し、質問への解説を行う理解できたか学生に確認し、新たな課題や質問が出された場合、その都度回答する				
使用教材	その都度資料を配布とDVDを3回聴取				
1	講義内容	ガイダンス カウンセリングの概要と自己理解 ヘルスカウンセリングとは			
	該当する到達目標	予習	1年次実施の自己理解のチェックリストを整理しておく		1.5 時間
		復習	DVD・来談者中心療法の意義やガイダンスとカウンセリングの違いをまとめる		1.5 時間
2	講義内容	自己の感情に焦点を当てる セルフカウンセリングの実施			
	該当する到達目標	予習	自分が普段感じる様々な感情を思い浮かべ、整理しておく		1.5 時間
		復習	実施したセルフカウンセリングでの気づきをまとめる		1.5 時間
3	講義内容	ヘルスカウンセリングの基本姿勢 傾聴の演習			
	該当する到達目標	予習	「観察」「傾聴」「確認」「共感」について調べておく		1.5 時間
		復習	傾聴の演習を実施し、どのような態度をとると傾聴が可能になるか整理する		1.5 時間
4	講義内容	確認と共感の理解 「印象に残ったこと」のカウンセリング演習			
	該当する到達目標	予習	確認と共感について、1年次の医療コミュニケーションで学んだことを整理する		1.5 時間
		復習	演習を実施して、何がスムーズなカウンセリングを阻害するかまとめる		1.5 時間
5	講義内容	「印象に残ったこと」のモデリング学習			
	該当する到達目標	予習	前回のカウンセリング演習での課題を整理して臨む		1.5 時間
		復習	モデリング場面を見て、自分の行ったカウンセリングと何が違うのか考察する		1.5 時間
6	講義内容	モデリング学習の振り返りと最後までのカウンセリングの実施			
	該当する到達目標	予習	モデリング場面を振り返り、自己の課題を明らかにしておく		1.5 時間
		復習	実際に2人組で最後まで実施して、前回と比較してうまくいったところの要因を整理する		1.5 時間
7	講義内容	心象風景連想法 カウンセリングとガイダンス・指導の違い クライアント状況別支援法			
	該当する到達目標	予習	カウンセリングとガイダンス・指導の特徴をまとめる		1.5 時間
		復習	対象のニーズに応じた支援法について整理する		1.5 時間
8	講義内容	総まとめ			

	該当する到達目標	予習	7回の学習の中で学べたことをまとめる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	カウンセリングを進めるうえで大切な基本姿勢について整理する	1.5 時間
備考	<p>担当教員連絡先: 池田優子 Eメールアドレス yikedada@takasaki-u.ac.jp</p> <p>オフィスアワー: 月曜日3-5限 木曜日1-2限</p> <p>教員からのメッセージ:</p> <p>この科目はカウンセリングの基本姿勢を身につけるための体験学習を中心としています。安心と安全な環境が作られないとカウンセリングはうまくいきません。2人の共同作業で、ゆっくり学んでいきましょう。</p>			

科目名	医療コミュニケーション論 (看護専門科目群 統合分野)			NRS190	講義
担当教員	池田優子 野本悦子 安野朝子				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	医療におけるコミュニケーションの重要性を理解し、医療場面におけるコミュニケーションの特徴の理解と、状況に応じたコミュニケーション技術を学ぶ				
到達目標	1. 医療におけるコミュニケーションの特徴が理解できる 2. 効果的なコミュニケーションの方法を知り、実施する 3. 患者の状況に応じたコミュニケーションのあり方について考えられる				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	1. 毎回の感想と、施設における高齢者とのコミュニケーション体験のレポートで50点 2. 最終回に事例を基にロールプレイを実施し、プロセスレコードの考察のレポートで50点				
課題に対する フィードバック	毎回、講義・演習の感想や質問を書かせ、次の授業でコメントを返し、質問への解説を行う 理解できたか学生に確認し、新たな課題や質問が出された場合、その都度回答する				
使用教材	「看護コミュニケーションー基礎から学ぶスキルとトレーニング」篠崎恵美子・藤井徹也著 医学書院				
1	講義内容	医療の場において看護が果たす役割とコミュニケーション			
	該当する到達目標 1	予習	テキストの序章を読んでくる	1.5時間	
		復習	患者理解とケアのためにコミュニケーションが果たす役割を整理する	1.5時間	
2	講義内容	医療場面の看護活動とコミュニケーションの理解			
	該当する到達目標 1	予習	医療の場がどのようなところか、どのようなコミュニケーションが必要かまとめる	1.5時間	
		復習	DVD[あなたの声が聞きたい]を聴取し、コミュニケーションの特徴を整理する	1.5時間	
3	講義内容	患者の理解			
	該当する到達目標 1	予習	自分や家族の闘病体験を思い出し、看護師のコミュニケーションについて考える	1.5時間	
		復習	がん患者さんの話を聞き、看護師に必要な姿勢とコミュニケーションを整理する	1.5時間	
4	講義内容	コミュニケーションの構成要素と落とし穴			
	該当する到達目標 1	予習	テキストの第1章・第3章を読んでくる	1.5時間	
		復習	伝言ゲームによりコミュニケーションエラーがどのようにして起きるか整理する	1.5時間	
5	講義内容	基本的なコミュニケーションスキル(言語・非言語)			
	該当する到達目標 1, 2	予習	テキストの第2章を読んでくる	1.5時間	
		復習	DVD[コミュニケーションの基本]で学べたスキルと自己の課題を整理する	1.5時間	
6	講義内容	コミュニケーションのスキル学習 (準備・聴く)			
	該当する到達目標 1, 2	予習	テキストの第6章を読んでくる	1.5時間	
		復習	DVD[スキル学習 I]で学べたスキルと自己の課題を整理する	1.5時間	
7	講義内容	質問のスキル「閉じた質問・開いた質問・肯定質問・未来質問			
	該当する到達目標 1,2	予習	テキストの第5章を読んでくる	1.5時間	
		復習	DVD[スキル学習 II]で学べたスキルと自己の課題を整理する	1.5時間	
8	講義内容	慢性の病を抱える患者とのコミュニケーション			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	家族の体験や闘病記を読み、どのようなコミュニケーションが必要か考える	1.5時間	
		復習	事例のロールプレイの中で、実施できたスキルと課題を整理する	1.5時間	
9	講義内容	老年期における患者とのコミュニケーション			

	該当する到達目標	予習	テキストの第10章を読んでくる	1.5時間
	1,2,3	復習	事例のロールプレイの中で実施できたスキルと課題を整理する	1.5時間
10	講義内容	高齢者施設におけるコミュニケーションの実施 I		
	該当する到達目標	予習	テキスト10章を読み返し、必要な姿勢とコミュニケーションについてまとめる	1.5時間
	1,2,3	復習	コミュニケーション体験をプロセスレコードに起こす	1.5時間
11	講義内容	高齢者施設におけるコミュニケーションの実施 II		
	該当する到達目標	予習	テキスト10章を読み返し、必要な姿勢とコミュニケーションについてまとめる	1.5時間
	1,2,3	復習	コミュニケーション体験をプロセスレコードに起こす	1.5時間
12	講義内容	高齢者とのコミュニケーション体験の振り返り		
	該当する到達目標	予習	高齢者に対する自分のコミュニケーションの傾向と課題をまとめておく	1.5時間
	1,2,3	復習	全体の振り返りの中で出された課題と解決策を整理する	1.5時間
13	講義内容	実習で起きやすいブロッキング		
	該当する到達目標	予習	3回のロールプレイで、自分がどのように変化してきたかまとめておく	1.5時間
	1,2,3	復習	自己に起きやすいブロッキングについて分析する	1.5時間
14	講義内容	コミュニケーションの分析と改善策を見つける		
	該当する到達目標	予習	ブロッキングを整理し、どのようにかわれば改善できるか考える	1.5時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションの分析方法を基に自分の課題を明らかにする	1.5時間
15	講義内容	総まとめと演習		
	該当する到達目標	予習	今まで学んだコミュニケーションスキルやロールプレイを整理しておく	1.5時間
	1,2,3	復習	総まとめを理解し、実施したロールプレイについて考察する	1.5時間
備考	<p>担当教員連絡先: 池田優子 Eメールアドレス yikeda@takasaki-u.ac.jp</p> <p>オフィスアワー: 月曜日3-5限 木曜日1-2限</p> <p>教員からのメッセージ:</p> <p>この科目はコミュニケーションの基本を身につけるための体験学習を中心としています。コミュニケーション実習に向けて、学んだ基本姿勢やスキルを少しでも活かせるよう、前向きに授業に臨んでください</p>			

科目名	専門看護活動論 I (クリティカルケア) (看護専門科目群・統合分野)		NRS494	講義
担当教員	石田 順子 砂賀 道子			
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位	
講義目標	生命の危機状態にある対象の特徴を学び、救急医療と救急看護における看護師の活動を通して専門的な看護の役割と機能を学ぶ。さらに、クリティカルにおける倫理的課題に対して知見を深める。			
到達目標	1. クリティカルケアの概念および対象とその家族の特徴について説明できる。 2. クリティカルにおける看護の専門性について理解できる。 3. クリティカルにおける倫理的課題について考え、説明することができる。			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力		
	✓	3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
	✓	5. 生涯学習力		
評価方法	レポート 80%、授業参加度 20%(グループワークの発表内容) 総合評価 60%以上を合格とする。			
課題に対するフィードバック	グループワークのまとめは講義中にコメントする。 レポートにはコメントをつけて返却する。			
使用教材	教科書「系統看護学講座別巻クリティカルケア看護学」(医学書院) ISBN978-4-260-00561-6 2,100 円+税 教科書「NURSING 看護学テキスト Nice 成人看護学急性期看護 II 救急看護 改訂第 2 版」(南江堂) ISBN978-4-524-26136-9 2,800 円+税 (2 年次の教科書と同じ)			
1	講義内容	クリティカルケアとは:クリティカルケアの概念と特徴 クリティカルにおける専門性		
	該当する到達目標	予習	教科書(医学書院)第 1 章、第 6 章 A(3,4,5)、B(1,2,3)に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	クリティカルケアの専門性について理解できる。	1.5 時間
2	講義内容	クリティカルケアの対象と家族の特徴 クリティカルな場面におけるインフォームドコンセント		
	該当する到達目標	予習	教科書(医学書院)第 2 章と第 6 章の A に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	クリティカルケアの対象と家族の特徴を理解し、クリティカルな場面における倫理について理解する。	1.5 時間
3	講義内容	集中ケア認定看護師の役割と実際の活動		
	該当する到達目標	予習	集中ケア認定看護師について調べる。	1 時間
	2	復習	集中ケア認定看護師の専門性について理解できる。	1.5 時間
4	講義内容	救急看護認定看護師の役割と実際の活動		
	該当する到達目標	予習	救急看護認定看護師について調べる。	1 時間
	2	復習	救急看護認定看護師の専門性について理解できる。	1.5 時間
5	講義内容	倫理的課題を考える①呼吸機能に異常のある患者の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書(医学書院)第 5、7 章の B、教科書(南江堂)X 章の 6 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	呼吸機能に異常のある患者の看護特徴について理解できる。	1.5 時間
6	講義内容	倫理的課題を考える②熱傷患者の看護		
	該当する到達目標	予習	教科書(医学書院)第 5 章 C と教科書(南江堂)X 章の 7 に目を通す。	1 時間
	3	復習	熱傷患者の看護の特徴を理解できる。	1.5 時間
7	講義内容	【演習】グループワーク:クリティカルにおける倫理的課題について		

	該当する到達目標	予習	第 1 回目、第 2 回目の講義資料に目を通す。	1 時間
	3	復習	事例の問題に対してそれぞれの立場(患者の家族、医師、看護師等)における倫理的課題が理解できる。	1.5 時間
8	講義内容	【演習】グループワーク:クリティカルにおける倫理的課題について		
	該当する到達目標	予習	第 1 回目、第 2 回目の講義資料に目を通す。	1 時間
	3	復習	事例の問題に対してそれぞれの立場(患者の家族、医師、看護師等)における倫理的課題が理解できる。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 火曜日 2 限目、4 限目、質問はメールでも受ける。</p> <p>メールアドレス: 石田 (<a href="mailto:jishida@takasaki-u.ac.jp">jishida@takasaki-u.ac.jp</a>) 砂賀 (<a href="mailto:sunaga@takasaki-u.ac.jp">sunaga@takasaki-u.ac.jp</a>)</p> <p>研究室 5 号館 5 階: 石田 (405) 砂賀 (406)</p> <p>予習・復習については、レポート作成時の学習で補完すること</p>			

科目名	専門看護活動論Ⅱ(ターミナルケア)(看護専門科目群・統合分野)			NRS495	講義
担当教員	吉田 久美子				
学年・開講期	4年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	人生の終末期にある患者の特徴を理解し、患者及び家族のQOLの向上を目指した緩和ケアを基盤に看護について習得する。				
到達目標	1.終末期にある患者と家族を支援するための緩和ケアの主な内容について説明できる。 2.終末期にあり全人的苦痛を抱える対象に向けた専門的看護について説明できる。 3.終末期にある対象の家族に向けた専門的看護について説明できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	・出席状況30%と最終レポート70%で評価する。 ・総合評価60点以上を合格とする。				
課題に対する フィードバック	・レポートにはコメントなどを付けて返却する。 ・最終回の講義において到達目標と全回の学習内容の要点を関連付け説明する。				
使用教材	・毎回の授業時に構造的に学習内容を記載した資料を配付する。				
1	講義内容	1.緩和ケアの概念、歴史、動向			
	該当する到達目標 1	予習	緩和ケアの定義とWHOの主なサービスについて読み確認する。		1時間
		復習	緩和ケアの定義や動向、看護の状況について参考文献などを活用しまとめる。		1.5時間
2	講義内容	2.全人的苦痛に対する援助 1)終末期にあるがん患者の身体的苦痛と援助(1)			
	該当する到達目標 1,2	予習	全人的苦痛について確認しておく。		1時間
		復習	身体的苦痛となる主な症状と看護について授業資料などを活用しまとめる。		1.5時間
3	講義内容	2.全人的苦痛に対する援助 1)終末期にあるがん患者の身体的苦痛と援助(2)			
	該当する到達目標 1,2	予習	身体的苦痛となる主な症状と看護についてまとめた内容を確認する。		1時間
		復習	事例の患者の身体的苦痛となる主な症状と看護について考察する。		1.5時間
4	講義内容	2.全人的苦痛に対する援助 2)終末期にあるがん患者の心理的苦痛と援助			
	該当する到達目標 1,2	予習	全人的苦痛と援助のポイントについて授業資料を読み確認する。		1時間
		復習	終末期がん患者の心理的苦痛に焦点をあてた看護について要点をまとめる		1.5時間
5	講義内容	2.全人的苦痛に対する援助 3)終末期にあるがん患者の社会的苦痛と援助(4)スピリチュアルペインと援助			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	終末期がん患者が抱えやすい社会的苦痛とスピリチュアルペインについて確認する。		1時間
		復習	終末期がん患者の社会的苦痛とスピリチュアルペインに焦点をあてた看護について要点をまとめる。		1.5時間
6	講義内容	3.終末期にある患者と家族を支援する看護			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	全人的苦痛と援助について読み確認する。		1時間
		復習	授業で提示した事例の患者と家族について看護を考察する。		1.5時間
7	講義内容	4.緩和ケアにおけるチーム医療の重要性和患者の役割			
	該当する到達目標 1,2,3	予習	チーム医療の目的、構成される職種と各職種の役割について復習をしておく。		1時間
		復習	授業で提示した事例の患者と家族について看護を考察する。		1.5時間
8	講義内容	8.まとめ			

	該当する到達目標	予習	授業資料を用いて第 1～7 回までの要点を確認する。	1 時間
	1,2,3	復習	全般的に授業内容を振り返り、到達目標に向け体系的に知識をまとめる	1.5 時間
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員連絡先:E メールアドレス <a href="mailto:yoshikumi@takasaki-u.ac.jp">yoshikumi@takasaki-u.ac.jp</a></li> <li>・オフィスアワー :月曜日 1～4 限・火曜日 1～4 限</li> <li>・予習と復習、授業内で提示された課題に向けテキスト、授業資料、参考文献を活用し積極的に取り組むこと。</li> <li>・各回の授業資料をファイリングし、学習を積み重ねられるよう活用すること。</li> </ul>			

科目名	専門看護活動論Ⅲ(災害看護)(看護専門科目郡・統合分野)			NRS496	講義
担当教員	望月経子、李孟蓉				
学年・開講期	4年 前期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	災害という非日常的な事態において人的・物資的資源がない状況で、命の危険にさらされた被災者を救助し「避けられた死」を防ぐべく災害時の特殊な場面に対応するための、初動体制のあり方と看護の技術を習得する。				
到達目標	1.災害時の初動体制の原則を知る。 2.災害に特有な外傷の処置方法を習得する。 3.災害時、傷病者に優先順位をつける意味を理解し実践できる。 4.資材が限られた状況での傷病者の搬送、応急処置のための技術を習得する。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	レポート課題 50%、参加度 50%				
課題に対するフィードバック	レポートはコメントを付けて返却する。 レポートの中でみられた疑問や課題を授業の中で再確認する。				
使用教材	「災害看護学」酒井明子編(南江堂) ISBN987-4-524-26688-3、配布資料				
1	講義内容	骨折の固定法			
	該当する到達目標	予習	これまで学んできた骨折の固定技術を再確認する。		1.5 時間
	1,2	復習	緊急時に行われる固定法と平常時に行われる固定法の違いを理解する。		1 時間
2	講義内容	骨折の固定法(演習)			
	該当する到達目標	予習	第1回目の授業内容と演習オリエンテーション内容を再度確認する。		1.5 時間
	1,2	復習	演習を振り返り、自分自身の課題を整理して解決方法を考える。		1 時間
3	講義内容	トリアージ			
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章 災害時に必要な技術 1A~Cに目を通す。		1.5 時間
	1,2,3	復習	トリアージ実施時における援助者の動きを理解する。		1 時間
4	講義内容	トリアージ(演習)			
	該当する到達目標	予習	第3回目の授業内容と演習オリエンテーション内容を再度確認する。		1.5 時間
	1,2,3	復習	トリアージ実施時における援助者の役割を理解する。		1 時間
5	講義内容	搬送法(講義と演習)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章 災害時に必要な技術 2Bに目を通す。		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、自分自身の課題を整理して解決方法を考える。		1 時間
6	講義内容	基本的応急処置(演習)初動体制における処置(AED,CRP、安楽体位)			
	該当する到達目標	予習	これまで学んできたED,CRP、安楽体位の技術を再確認する。		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、自分自身の課題を整理する。		1 時間
7	講義内容	特殊応急処置(演習)患者メイクと処置:ガラス・棒・やけど			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する資料に目を通す。		1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習を振り返り、自分自身の課題を整理する。		1 時間
8	講義内容	事例演習			
	該当する到達目標	予習	事前に配布するプリントを読み、必要な援助を考える。		1.5 時間

	1,2,3,4	復習	限られた条件における緊急時の初動体制のあり方を理解する。	1 時間
備考	オフィスアワー:水曜日の3限、質問はメールでも対応する。 メールアドレス: <a href="mailto:mochizuki@takasaki-u.ac.jp">mochizuki@takasaki-u.ac.jp</a> 講義・演習の中でバズセッションを入れます。積極的に参加し自分の意見を述べること。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	国際看護学(看護基盤科目群・統合分野)			NRS191	講義
担当教員	望月経子、李孟蓉				
学年・開講期	1年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	世界における様々な格差の実態を知って、看護者として世界平和・全人類の繁栄と福祉を願いつつ国際協力の必要性和意義を理解し、看護活動の場を地球的視野で認識できる。看護における国際協力の理論と実際を学びながら、国際協力に必要な知識や方法を習得できる。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護による国際協力の意義、活動の場所と対象を理解できる。</li> <li>2. 世界の健康問題とそれらに対する戦略、および課題を理解できる。</li> <li>3. 国際協力における看護の方法論について理解できる。</li> <li>4. 異文化看護の理論を理解できる。</li> <li>5. 国際看護活動に影響を与える因子を理解できる。</li> <li>6. 日本国内における国際看護を理解できる。</li> </ol>				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験 70%、レポート課題 20%、授業参加度 10%				
課題に対するフィードバック	レポートはコメントを付けて返却する。 レポートの中でみられた疑問や課題を授業の中で再確認する。				
使用教材	教科書看護の統合と実践「国際看護学」田村やよひ編(メジカルフレンド社) ISBN978-8392-3282-5				
1	講義内容	国際看護の概念			
	該当する到達目標	予習	教科書の序章のⅠ～Ⅳ、第1章Ⅰ、第2章Ⅰに目を通す。		1時間
	1	復習	国際看護の定義や対象、歴史的変遷を理解する。		1.5時間
2	講義内容	世界の健康問題			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章Ⅱ、第2章Ⅱに目を通す。		1時間
	1,2	復習	世界で起きている健康問題と支援の必要性を理解する。		1.5時間
3	講義内容	健康格差に対する世界の取り組み			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章Ⅱ、第2章Ⅱに目を通す。		1時間
	1,2	復習	健康格差の定義や格差がもたらす健康問題と支援の実際を理解する。		1.5時間
4	講義内容	異文化理解と異文化看護論			
	該当する到達目標	予習	教科書の第5章Ⅰ～Ⅲに目を通す。		1時間
	1,3,4	復習	文化が与える看護への影響と文化を超えた看護の展開のためのサンライズモデルを理解する。		1.5時間
5	講義内容	国際看護活動に影響を与える因子①社会的背景			
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章Ⅰ～Ⅱに目を通す		1時間
	1,3,4,5	復習	政治、経済などの社会的背景が国際看護活動へ与える影響を理解する。		1.5時間
6	講義内容	国際看護活動に影響を与える因子②文化的背景			
	該当する到達目標	予習	教科書の第6章のⅢに目を通す。		1時間
	1,3,4,5	復習	歴史、宗教、慣習などが国際看護活動に与える影響を理解する。		1.5時間
7	講義内容	在留外国人の背景と特性			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章のⅢに目を通す。		1時間

	1,3,4,6	復習	在留外国人を取り巻く健康問題とその特性を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	在留外国人への看護と健康支援		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章Ⅲ、第 6 章Ⅳに目を通す。	1 時間
	1,3,4,6	復習	在留外国人に行われている健康支援を理解する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー:水曜日の 3 限、質問はメールでも対応する。</p> <p>メールアドレス:<a href="mailto:mochizuki@taakasaki-u.ac.jp">mochizuki@taakasaki-u.ac.jp</a></p> <p>研究室:3 号館 2 階 209</p> <p>講義の中でグループワークなどを取り入れていきます。積極的に参加し自分の意見を述べること。</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	災害看護学(看護専門科目群・統合分野)			NRS391	講義
担当教員	望月経子、今井家子、李孟蓉				
学年・開講期	3年 前期	必選・単位数	必修 1単位		
講義目標	災害の概念について多角的に学び、被災者の特性や生活上の困難さ、健康への影響を理解できる。そのうえで災害時の看護師の役割を理解し、災害の時期・場所・対象特性を考慮した適切な看護を提供するために必要な知識と技術を習得できる。また、公助・共助・自助の意味を理解し、自らの防災力を高められる。				
到達目標	1.災害の概念を理解し、災害が健康に及ぼす影響を理解できる。 2.災害看護の概念を理解できる。 3.災害各期に応じた看護の特徴を理解できる。 4.災害時要援護者の特性とその看護を理解できる。 5.災害時に必要な応急処置法を習得できる。 6.災害時の精神的ケアの方法を習得できる。 7.災害時の公助を理解するとともに自助能力を高められる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験(70%)、レポート(20%)、授業参加度(10%)				
課題に対する フィードバック	提出された課題レポートはコメントを付けて返却する。 提出された課題の中でみられた疑問や課題を授業の中で再確認する。				
使用教材	「災害看護」酒井明子編(南江堂) ISBN978-4-524-26688-3				
1	講義内容	災害および災害看護の概念(CSCATTT 含む)			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章1～2に目を通す。		1.5時間
	1,2	復習	災害の歴史と看護、災害看護の定義を理解する。		1時間
2	講義内容	災害時の疾病構造			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章3～4に目を通す。		1.5時間
	1,2	復習	災害種類別の疾病構造を理解する。災害関連死や災害時要援護者の定義を理解する。		1時間
3	講義内容	災害サイクルに応じた看護:急性期			
	該当する到達目標	予習	教科書の第IV章 1.A～Cに目を通す。		1.5時間
	1,3	復習	災害急性期(超急性期～亜急性期)における看護を理解する。		1時間
4	講義内容	災害サイクルに応じた看護:急性期に必要な看護技術(包帯法)			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。		1.5時間
	1,3,4	復習	包帯法が理解でき実践できる。		1時間
5	講義内容	災害サイクルに応じた看護:急性期に必要な看護技術(三角布法)			
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。		1.5時間
	1,3,4	復習	三角巾法が理解でき実践できる。		1時間
6	講義内容	災害サイクルに応じた看護:中長期			
	該当する到達目標	予習	教科書の第IV章 1.Dに目を通す。		1.5時間
	1,3	復習	災害慢性期における看護を理解する。		1時間
7	講義内容	災害サイクルに応じた看護:静穏期			
	該当する到達目標	予習	教科書の第IV章 1.Eに目を通す。		1.5時間

	1,3	復習	災害静穏期における看護を理解する。	1時間
8	講義内容	災害と感染コントロール		
	該当する到達目標	予習	教科書の第IV章2、第2部各論7に目を通す。	1.5時間
	1,3	復習	災害時における感染症の予防、対策について理解する。	1時間
9	講義内容	被災者の生活と災害時要援護者		
	該当する到達目標	予習	教科書の第IV章A~C、第2部各論2~6、8に目を通す。	1.5時間
	1,3,4	復習	災害時要援護者の定義と支援の必要性が理解できる。	1時間
10	講義内容	災害時要援護者への看護①母性・小児・障害者		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部各論2、3、8に目を通す。	1.5時間
	1,3,4	復習	妊産婦・褥婦、こども、障害者への支援とその特徴を理解する。	1時間
11	講義内容	災害時要援護者への看護②高齢者・慢性疾患患者・外国人		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部各論4、6、8に目を通す。	1.5時間
	1,3,4	復習	高齢者、慢性疾患患者、外国人への支援とその特徴を理解する。	1時間
12	講義内容	災害とストレス		
	該当する到達目標	予習	教科書の第三章1~2に目を通す。	1.5時間
	1,3,6	復習	被災者が抱えるこころの問題の理解とその支援を理解する。	1時間
13	講義内容	災害と精神保健		
	該当する到達目標	予習	教科書の第2部各論5に目を通す。	1.5時間
	1,3,6	復習	災害発生時における精神疾患患者が受ける影響と支援が理解できる。	1時間
14	講義内容	災害と法制度		
	該当する到達目標	予習	教科書の第二章1~3に目を通す。	1.5時間
	1,2,7	復習	災害対策基本法、災害救助法、被災者生活再建支援法の内容を理解する。	1時間
15	講義内容	看護と防災		
	該当する到達目標	予習	教科書の第V章1~3、第七章、第八章2に目を通す。	1.5時間
	1,2,7	復習	防災対策における看護の役割を理解する。	1時間
備考	<p>オフィスアワー:水曜日の3限、質問はメールでも対応する。</p> <p>メールアドレス:mochizuki@taakasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室:3号館2階209</p> <p>講義の中でグループワークなどを取り入れていきます。積極的に参加し自分の意見を述べること。</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	看護学特論（看護専門科目群・統合分野）			看 130	演習
担当教員	吉田 久美子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	成人看護学に関するトピックス的な事柄についてゼミナール形式で学び、看護者としての役割を探求する。				
到達目標	1.成人看護学に関して最近のトピックス的な事柄を契機とし、今後の課題および看護者としての役割について考察し、述べるができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての強調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習中の参加・活動状況 30%、まとめのレポート 70%とし総合的に評価する。</li> <li>・総合評価 60 点以上を合格とする。</li> </ul>				
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人あるいはグループで作成した記録や資料に対してコメントを付して返却する。</li> <li>・カンファレンスでコメントし、学習内容や課題の要点を確認する。</li> </ul>				
使用教材	各授業で講義内容に向けた資料や文献などを配布する。				
1	講義内容	1.がんサバイバーシップの概念、がん医療の現状			
	該当する到達目標	予習	がんの罹患率など疫学について読んでくること。		1 時間
	1	復習	がんサバイバーシップの概念、がん医療の現状について資料をもとにまとめる。		1.5 時間
2	講義内容	2-1 がんサバイバーと家族を支える看護 (1)事例の患者の看護を検討			
	該当する到達目標	予習	がんサバイバーの各期の特徴について第 1 回目の授業資料を読んでくること。		1 時間
	1	復習	がんサバイバーと家族を支える看護について、事例の患者の看護を考察する。		1.5 時間
3	講義内容	2-2 がんサバイバーと家族を支える看護 (2)臨床の看護師との交流から臨床の看護実践を検討			
	該当する到達目標	予習	がんサバイバーの各期の特徴について第 1 回目の授業資料を読んでくること。		1 時間
	1	復習	授業で検討した事例への看護実践と課題について内容をまとめておくこと		1.5 時間
4	講義内容	2-3 がんサバイバーと家族を支える看護 (3)家族の特徴と看護			
	該当する到達目標	予習	緩和ケアについて復習をしておくこと。		1 時間
	1	復習	緩和ケアを必要とするがん患者の家族の特徴と看護の要点を考察しておくこと。		1.5 時間
5	講義内容	2-4 がんサバイバーと家族を支える看護 (4)「がん看護のスペシャリストとは」			
	該当する到達目標	予習	緩和ケアにおける看護師の役割について復習をしておくこと。		1 時間
	1	復習	緩和ケアを必要とするがん患者の特徴と看護の要点を考察しておくこと。		時間
6	講義内容	2-5 がんサバイバーと家族を支える看護 (5) 看護研究における看護の現状と課題			
	該当する到達目標	予習	がん患者の看護に関する文献を購読しておくこと。		1 時間
	1	復習	授業で購読した文献に対する考察をまとめておくこと。		1.5 時間
7	講義内容	【まとめ 1】			
	該当する到達目標	予習	がんサバイバーの時期と必要な看護について資料を読み直しておくこと。		1 時間
	1	復習	がんサバイバーへの看護についてこれまでの学習内容を加味し考察すること。		1.5 時間
8	講義内容	【まとめ 2】			
	該当する到達目標	予習	第 1～7 回までの学習内容を振り返っておくこと。		1 時間
	1	復習	カンファレンスで検討された内容も含め、がんサバイバーシップを踏まえた看護について考察をすること。		1.5 時間
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員のメールアドレス: <a href="mailto:yoshikumi@takasaki-u.ac.jp">yoshikumi@takasaki-u.ac.jp</a></li> <li>・オフィスアワー : 月曜 1～3 限・火曜日 1～3 限</li> </ul>				

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・予習や復習、また授業内で提示された課題にはテキストや授業資料、参考文献を活用し積極的に取り組むこと。</li><li>・各回の授業資料をファイリングし、学習を積み重ねられるよう活用すること。</li></ul> |
|--|

科目名	チーム医療アプローチ演習(看護専門科目群・統合分野)			NRS497	講義
担当教員	棚橋さつき				
学年・開講期	4年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	チーム医療が必要な事例を用いて、福祉・医療系の各専門職の役割・活動および患者、家族に必要な福祉・医療活動について検討する。さらにチーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性、および専門職の連携の課題について学ぶ。				
到達目標	8. 各専門職の役割と活動について理解できる。 9. 患者・家族に必要な福祉・医療活動が理解できる。 10. チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性が理解できる。 11. チーム医療における専門職の連携を促進するための課題を考察できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加への積極性 20%、レポート 50%、グループ発表の内容 30%の総合評価				
課題に対する フィードバック	双方向型講義を行い、学生の考えや意見を導入しながら講義を展開し、その都度学生にフィードバックする。				
使用教材	関連する資料を随時プリントして配布する。				
1	講義内容	ガイダンス / チーム医療アプローチについて			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		1時間
	1.2.3.4.	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。		1時間
2	講義内容	グループワークの事例説明			
	該当する到達目標	予習	専門職について書籍等を読んでおく		1時間
	2.3.	復習	事例について不明な部分について学習しておく		1時間
3	講義内容	患者・家族に必要な福祉、医療活動について①「制度」から考える			
	該当する到達目標	予習	福祉、医療活動の種類について学習する。		1時間
	2.3.	復習	グループ内で事例を読み合わせておく。		1時間
4	講義内容	患者・家族に必要な福祉、医療活動について②「社会資源」から考える			
	該当する到達目標	予習	福祉、医療活動の具体的活動について学習する。		1時間
	2.3.	復習	グループ内で事例について病状グループ内で事例を読み合わせておく。		1時間
5	講義内容	チーム医療における各専門職の役割と活動について①「コメディカル」の役割			
	該当する到達目標	予習	専門職の種類、役割や専門用語について調べておく		1時間
	1.2.3.4.	復習	グループ内で専門職の役割と活動について意見交換をし学習を深める。		1時間
6	講義内容	チーム医療における各専門職の役割と活動について②「コメディカル」の活動			
	該当する到達目標	予習	専門職の種類、役割や専門用語について調べておく		1時間
	1.2.3.4	復習	グループ内で専門職の役割と活動について意見交換をし学習を深める。		1時間
7	講義内容	チーム医療における連携について			
	該当する到達目標	予習	チーム医療についての用語について事前学習しておくこと。		1時間
	1.2.3.4	復習	配布資料等を熟読する。		1時間
8	講義内容	チーム医療における専門職連携を促進するための課題			

	該当する到達目標	予習	今までの講義内容、及び事例について学習しておく。	1 時間
	1.2.3.4	復習	連携を促進するための課題について理解する。	1 時間
備考	<p>キーワード: 専門職、チーム医療、多職種連携</p> <p>・オフィスアワー: 13:00~14:00(月)</p> <p>上記以外の日程でも可能な限り調整します。メール等で問い合わせてください。</p> <p><a href="mailto:tanahashi@takasaki-u.ac.jp">tanahashi@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること</p>			

科目名	統合実習(看護専門科目群・統合分野)		NRS498	実習						
担当教員	看護学科 教員									
学年・開講期	4年 後期	必修・単位数	必修 2単位							
講義目標	基礎看護学実習、各専門領域看護学実習(成人、老年、小児、母性、精神、在宅、地域)を踏まえて、既習の知識と技術を統合し、看護実践能力の向上を目指す。									
到達目標	在宅療養の必要な患者の入院中から退院および外来通院までの継続看護の実際を学び、在宅移行期にある患者および家族の看護ニーズを理解し、在宅移行期における看護に必要な知識と技術を習得する。また、在宅移行期にある患者および家族をサポートするチーム医療の実際を学び、チーム医療における専門職としての看護活動および役割について考察する。									
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観								
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力								
	✓	3. チームの一員としての強調・協働								
		4. 国際理解								
	✓	5. 生涯学習力								
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中の看護活動、記録物、まとめのレポートなどから評価表をもとに実習目標の達成度を評価する。</li> <li>・総合評価 60 点以上を合格とする。</li> </ul>									
課題に対するフィードバック	個人で作成した実習記録に対して担当者からのコメントを付して返却する。 実習報告会に向けて作成した資料は資料集として発表会の当日配布し、全体的にコメントする。									
使用教材	・統合実習要項、事前配布資料。・関連科目のテキストや授業資料。									
講義内容	<p>●学習内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.在宅療養・通院治療が必要な患者および家族との関わりを通して、在宅移行期にある患者および家族の看護ニーズを理解する。</li> <li>2.在宅療養・通院治療が必要な患者および家族の退院調整や退院指導、あるいは外来相談などを通して、在宅移行期に必要な看護について考察する。</li> <li>3.退院調整や退院指導、あるいは外来相談などにおけるチーム医療への参加を通して、患者および家族を中心とした他職種との連携のあり方について学び、チーム医療の一員としての看護職の活動と役割について考察する。</li> </ol> <p>●実習方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.実習期間は2週間とする。</li> <li>2.病棟実習3日間、外来・関連施設等2日間の実習から複数の患者および家族との関わり(コミュニケーション、ケアの参加・見学)、学内実習5日間とする。</li> <li>3.実習場所は群馬県内の主な病院などの施設と学内とする。</li> <li>4.実習の展開方法は、各実習施設で決定し、オリエンテーションで連絡をする。</li> <li>5.記録は事前学習レポート、病棟・外来実習での日々の記録、テーマレポートを作成する。</li> </ol> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">予習</td> <td style="width: 80%;">実習施設に関して患者の状況など確認する。施設での実習に向け資料や文献を読む。</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">期間中適宜</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">復習</td> <td>実習先で学習したことを再確認し得た学びをまとめる。</td> <td style="text-align: center;">期間中適宜</td> </tr> </table>				予習	実習施設に関して患者の状況など確認する。施設での実習に向け資料や文献を読む。	期間中適宜	復習	実習先で学習したことを再確認し得た学びをまとめる。	期間中適宜
予習	実習施設に関して患者の状況など確認する。施設での実習に向け資料や文献を読む。	期間中適宜								
復習	実習先で学習したことを再確認し得た学びをまとめる。	期間中適宜								
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員の連絡先:実習オリエンテーションでメールアドレスを連絡する。</li> <li>・オフィスアワー:金曜日1~2限。</li> <li>・受講するためには1・2・3年次までの看護専門科目群 必修科目の全ての単位を修得していることが必要となる。</li> <li>・その他、特に関連する科目や事前配付資料などの学習を推奨する。</li> <li>・予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習期間中は臨床に入る前に必ず教わったことや調べたことをチェックし、帰宅後は必ず指示されたことや教わったことを記録用紙に記載し学習することが必要である。</li> <li>・報告会を全履修学生で2週間目の最終日に予定しているため、実習期間中から報告会資料の作成に着手することを勧める。</li> </ul>									

科目名	研究ゼミナール（看護専門科目群・統合分野）		NRS499	演習
担当教員	看護学科 教員			
学年・開講期	4年 通年	必修・単位数	必修 4単位	
講義目標	自らの関心に基づき、主体的にテーマを選び文献検討を踏まえて研究目的を明確にする。目的に沿った研究手法を用いてデータ収集後に分析を行い、結果を考察し論文を作成する。その一連の過程を通して、研究的な思考(批判的思考・論理的思考)や態度を養う。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献検討を踏まえて研究目的を明確化できる。</li> <li>2. 目的にあった研究方法を決定できる。</li> <li>3. データ収集、データ分析ができる。</li> <li>4. 結果を多角的に検討し考察できる。</li> <li>5. 研究論文を作成できる。</li> </ol>			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力		
	✓	3. チームの一員としての協調・協働		
	✓	4. 国際理解		
	✓	5. 生涯学習力		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究への取り組み姿勢・態度、テーマの明確化、文献検討、研究計画、論文作成などを考慮し、各指導教員が総合的に評価する。</li> <li>・総合評価 60 点以上を合格とする。</li> </ul>			
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画書など作成した資料にはコメントなどを付けて返却する。</li> <li>・分析結果や図表、また論文全体にコメントなどを付けて返却する。</li> </ul>			
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護研究概論の授業資料</li> <li>・小笠原知枝・松木光子編集:これからの看護研究—基礎と応用—,第2版,ヌーヴェルヒロカワ, ISBN978-4-86174-012-1</li> </ul>			
講義内容	<p>4～5月 研究を倫理的に進めるために必要な内容を含めた研究計画書を作成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 研究の背景・動機が体系的に記載し研究目的を明確に記載する。</li> <li>2) 研究方法に対象者、調査方法、調査内容、分析方法、倫理的配慮などの事項を記載する。</li> </ol> <p>6～7月 計画書に記載した調査方法や調査内容を確認しながらデータを収集する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) データ収集の手順や対象者への細かな配慮についても検討した上で、収集に取り組む。</li> <li>2) 得られたデータと研究目的や分析との適合性を確認し、データ収集を行う。</li> </ol> <p>8～9月 計画書に記載した分析方法に基づき順序立て分析を行い、結果を系統的に図表も用いまとめる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) データを計画書に記載した分析方法をもとに分析を行う。</li> <li>2) 分析結果に適した図表を作成し、結果を表現する。</li> </ol> <p>10～11月 論文の内容を熟考し、表記の適切性にも考慮し作成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 論文として緒言から結語まで、研究目的に対し一貫性や客観性を確認しながら作成する。</li> <li>2) 研究目的へ対応し、研究結果に対する考察を作成する。</li> <li>3) 論文と図表、プレゼンテーション資料について適切な記載方法で作成する。</li> </ol> <p>卒業研究発表会において、研究のプロセスに沿って発表し成果を提示する。</p>			
	予習	研究プロセスに応じ授業時に課題を提示	期間中適宜	
	復習	研究プロセスに応じ授業時に課題を提示	期間中適宜	
備考	<p>1.授業外学習の進め方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)研究のプロセスにおける要点を理解しながら積極的に進めること。</li> <li>2)関連文献を有効に活用し研究活動を行うこと。</li> </ol>			

- |  |   |
|--|---|
|  | <p>2.予習・復習の時間 : 各授業の内容に取り組むためには、授業前後に 60 分以上の時間をかける必要がある。</p> <p>3.オフィスアワー・担当教員連絡先: :金曜 1~2 限。他は担当教員へ確認すること。E-mail アドレスを活用すること。</p> |
|--|---|

科目名	保健統計学(保健師課程科目)			NRP310	講義
担当教員	宮崎 有紀子				
学年・開講期	3年 後期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	わが国の主要な衛生関係統計資料の概要、および公衆衛生看護活動の基盤となる健康指標について学び、地域の健康水準の把握方法を習得する。また、健康に関連するデータ解析に必要な統計学の知識を習得する。				
到達目標	1.地域診断に必要な統計資料の意義について理解でき、説明できる。 2.健康水準を表す指標について理解でき、説明できる。 3.指標の標準化の意義および算出方法について理解できる。 4.データの整理、図表化、読み取り、考察ができる。 5.基礎的な統計処理について理解できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
		3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	小テスト 75%, 提出物(レポート)25% 総合評価 60%以上を合格とする				
課題に対する フィードバック	レポートにコメントをつけて返却する				
使用教材	教科書・国民衛生の動向(厚生労働統計協会) ・最新保健学 6 疫学/保健統計 編集・丸井英二 (メヂカルフレンド社)ISBN978-4-8392-2184-3 ・講義の内容をプリントにて配布する				
1	講義内容	人口統計			
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」第2編第1章, 2章に目を通す		1 時間
	1,2	復習	「国民衛生の動向」第2編第1章, 2章に目を通しながら講義内容を復習する		1.5 時間
2	講義内容	保健統計調査			
	該当する到達目標	予習	「国民衛生の動向」第2編第3章, 4章に目を通す		1 時間
	1,2	復習	課題プリントで復習する		1.5 時間
3	講義内容	年齢調整			
	該当する到達目標	予習	「最新保健学 6 疫学/保健統計」疫学 第3章 1-G に目を通す		1 時間
	3	復習	課題プリントで復習する		1.5 時間
4	講義内容	PC 演習 (1) 保健統計資料とグラフ作成			
	該当する到達目標	予習	「最新保健学 6 疫学/保健統計」保健統計 第1章 2-A, 2-B に目を通す		1 時間
	1,2,4	復習	課題レポート作成		1.5 時間
5	講義内容	統計の基礎 (1) 代表値とばらつき			
	該当する到達目標	予習	「最新保健学 6 疫学/保健統計」保健統計 第1章 3-A~3-D に目を通す		1 時間
	5	復習	課題プリントで復習する		1.5 時間
6	講義内容	統計の基礎 (2) 正規分布の性質			
	該当する到達目標	予習	「最新保健学 6 疫学/保健統計」保健統計 第1章 5-A~5-D に目を通す		1 時間
	5	復習	課題プリントで復習する		1.5 時間
7	講義内容	統計の基礎 (3) 推定と検定			
	該当する到達目標	予習	「最新保健学 6 疫学/保健統計」保健統計 第1章 4-A~4-C に目を通す		1 時間

	5	復習	課題プリントで復習する	1.5 時間
8	講義内容	PC 演習 (2) エクセルの活用		
	該当する到達目標	予習	「最新保健学6 疫学／保健統計」保健統計 第1章6～10に目を通す	1 時間
	5	復習	課題プリントで復習する	1.5 時間
備考	予習・復習については試験前の学習で補完すること オフィスアワー: 授業の前後			

科目名	公衆衛生看護活動論 I (保健師課程科目)			NRP311	講義
担当教員	倉林しのぶ、赤堀八重子				
学年・開講期	3年 後期	必修・単位数	選択 2 単位		
講義目標	地域住民の健康生活を支援する公衆衛生看護活動の考え方と展開方法・技術を学ぶ。母子、成人、高齢者等のライフサイクルに応じた個人と家族への支援、また集団を対象とした支援等、地域における保健師活動の実際を学習する。				
到達目標	1.保健指導、家庭訪問、健康相談、健康教育、健康診査等における保健師活動の実際を学習する。 2.ライフサイクルにおける保健施策と保健師の役割を学ぶ。 3.演習を通して基本的な保健指導技術を学ぶ。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	演習参加度(30%)、授業参加度(30%)、授業態度(20%)、レポート(10%)				
課題に対するフィードバック	演習では、教員からのアドバイスを適宜行う。 レポートには教員がコメントを入れて返却する。				
使用教材	公衆衛生看護学.jp、荒賀直子編、インターメディカル(4,400円+税) 最新保健師講座対象別公衆衛生看護活動3 松田正巳著、医学書院(3,300円+税) 国民衛生の動向、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会(2,500円税込)				
1	講義内容	母子保健活動1 母子保健施策・母子保健計画			
	該当する到達目標	予習	教科書およびシラバスの内容を読み、講義の目標を理解する。		1 時間
	1,2	復習	講義内容を確認する。		1.5 時間
2	講義内容	母子保健活動2 各種健康診査、予防接種			
	該当する到達目標	予習	母子保健活動における健康診査、予防接種について目を通しておく。		1 時間
	1,2	復習	母子保健活動における健康診査、予防接種について確認する。		1.5 時間
3	講義内容	成人保健活動1 成人保健施策・成人保健活動			
	該当する到達目標	予習	特定健康診査・特定保健指導について目を通しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で学んだ内容について確認する。		1.5 時間
4	講義内容	成人保健活動2 生活習慣病と保健指導			
	該当する到達目標	予習	メタボリックシンドローム、生活習慣病について目を通しておく。		1 時間
	1,2	復習	効果的な保健指導についてまとめる。		1.5 時間
5	講義内容	成人保健活動3 メンタルヘルス			
	該当する到達目標	予習	精神保健活動について目を通しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で学んだことを確認する。		1.5 時間
6	講義内容	高齢者保健活動1 保健福祉制度・介護保険			
	該当する到達目標	予習	高齢者保健活動に関する福祉制度、介護保険について目を通しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で学んだ知識を確認し、高齢者保健活動の全体像を理解する。		1.5 時間
7	講義内容	高齢者保健活動2 要支援・要介護高齢者と介護者への援助			
	該当する到達目標	予習	要支援・要介護者について確認しておく。		1 時間
	1,2	復習	高齢者保健活動における保健師の役割についてまとめる。		1.5 時間
8	講義内容	演習オリエンテーション(課題の提示と準備)			
	該当する到達目標	予習	乳幼児の成長発達、乳幼児健診について確認しておく。		1 時間

	1,2,3		特定健康診査・特定保健指導の目的、内容について確認しておく。	
		復習	課題をまとめる。	1.5 時間
9	講義内容	演習準備(グループワーク、資料作成)		
	該当する到達目標	予習	資料作成に必要な基礎知識について確認しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	資料を作成する。	1.5 時間
10	講義内容	演習準備(グループワーク、資料作成)		
	該当する到達目標	予習	資料作成に必要な基礎知識について確認しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	資料を作成する。	1.5 時間
11	講義内容	演習(問診)		
	該当する到達目標	予習	演習準備で作成した資料や自身の役割を確認し、演習の準備をしておく。	1 時間
	1,2,3	復習	演習を通して学んだことについてまとめる。	1.5 時間
12	講義内容	演習(問診)		
	該当する到達目標	予習	演習準備で作成した資料や自身の役割を確認し、演習の準備をしておく。	1 時間
	1,2,3	復習	演習を通して学んだことについてまとめる。	1.5 時間
13	講義内容	演習(保健指導)		
	該当する到達目標	予習	演習準備で作成した資料や自身の役割を確認し、保健指導のロールプレイを行うための準備をしておく。	1 時間
	1,2,3	復習	演習を通して学んだことについてまとめ、保健指導技術についての確認を行う。	1.5 時間
14	講義内容	演習(保健指導)		
	該当する到達目標	予習	演習準備で作成した資料や自身の役割を確認し、保健指導のロールプレイを行うための準備をしておく。	1 時間
	1,2,3	復習	演習を通して学んだことについてまとめ、保健指導技術についての確認を行う。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	講義で学んだことについて確認しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	ライフサイクルに応じた保健師の役割を理解する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー：月曜日・火曜日11:00～13:00</p> <p>質問はいつでも受付可(メールの場合は、学科、学年、学籍番号、氏名を必ず記載すること)。</p> <p>e-mail:<a href="mailto:kura@takasaki-u.ac.jp">kura@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習に臨む前に必ず公衆衛生看護学についての復習を行うこと。</p> <p>公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱを実施するにあたり、本授業での演習体験は重要なので、しっかり準備をしたうえで、演習に臨むこと。</p>			

科目名	公衆衛生看護活動論Ⅱ(保健師課程科目)			NRP411	講義
担当教員	倉林しのぶ 赤堀八重子				
学年・開講期	4年 前期	必選・単位数	選択 2単位		
講義目標	地域住民の健康生活を支援する公衆衛生看護活動の考え方と展開方法・技術を学ぶ。地域住民のヘルスニーズの把握方法と、ヘルスニーズに対応した地域保健活動の計画立案方法を理解する。				
到達目標	1.地区把握の方法が理解できる。 2.地区診断の方法が理解できる。 3.保健事業計画立案の方法が理解できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	試験60%、演習20%、授業参加度10%、授業態度等10%を総合して評価します。				
課題に対するフィードバック	講義で使用する既存資料、また、インターネットからの情報については、グループ(地区)ごとに解説をします。また、プラン検討時には助言をします。				
使用教材	最新保健学講座 公衆衛生看護管理論:平野かよ子, メジカルフレンド社, ¥3000				
1	講義内容	オリエンテーション			
	該当する到達目標	予習	テキストの内容に目を通す		1時間
		復習	公衆衛生看護学実習に向けた事前学習として捉え目標を立てる		1.5時間
2	講義内容	地区診断とは			
	該当する到達目標	予習	地域を診断するということの意味を考えてくる。		1時間
		1.	復習	地区診断の流れをPDCAサイクルの視点で見直す	
3	講義内容	既存資料からの情報収集①			
	該当する到達目標	予習	配布された既存資料に目を通しておく		1時間
		1.	復習	収集した情報をまとめる	
4	講義内容	既存資料からの情報収集②			
	該当する到達目標	予習	配布された資料およびインターネットから取得した情報に目を通しておく		1時間
		1.	復習	収集した情報をまとめる	
5	講義内容	地区視診①			
	該当する到達目標	予習	視診を実施する地域についての情報を収集しておく		1時間
		2.	復習	視診で得た情報をまとめる	
6	講義内容	地区視診②			
	該当する到達目標	予習	視診を実施する地域についての情報を収集しておく		1時間
		2.	復習	視診で得た情報をまとめる	
7	講義内容	地区視診③			
	該当する到達目標	予習	視診を実施する地域についての情報を収集しておく		1時間
		2.	復習	視診で得た情報をまとめる	
8	講義内容	情報の整理			
	該当する到達目標	予習	視診で得た情報を整理し一覧にする		1時間
		2.	復習	グループで持ち寄った情報を見直す	
9	講義内容	情報の分析、健康課題抽出①			

	該当する到達目標	予習	視診で得た情報および既存資料からの情報を整理する	1時間
	2.3.	復習	整理しまとめた情報から導き出される課題を検討する。	1.5時間
10	講義内容	情報の分析、健康課題抽出②		
	該当する到達目標	予習	視診で得た情報および既存資料からの情報を整理する	1時間
	2.3.	復習	整理しまとめた情報から導き出される課題を検討する。	1.5時間
11	講義内容	地域保健活動計画立案①		
	該当する到達目標	予習	導き出された課題と得られた情報を再度見直しプランを検討する。	1時間
	2.3.	復習	検討されたプランが地域のニーズに結びついているか検討する。	1.5時間
12	講義内容	地域保健活動計画立案②		
	該当する到達目標	予習	導き出された課題と得られた情報を再度見直しプランを検討する。	1時間
	2.3.	復習	検討されたプランが地域のニーズに結びついているか検討する。	1.5時間
13	講義内容	地域保健活動計画立案③		
	該当する到達目標	予習	導き出された課題と得られた情報を再度見直しプランを検討する。	1時間
	2.3.	復習	検討されたプランが地域のニーズに結びついているか検討する。	1.5時間
14	講義内容	発表・情報の共有		
	該当する到達目標	予習	PDCA サイクルに沿った発表方法を検討する。	1時間
	2.3.	復習	各グループ(各地域)のニーズとプランを理解する。	1.5時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	各グループ(各地域)のニーズとプランを見直す。	1時間
	1.2.3.	復習	地域診断から導き出されるニーズとプラン、評価について理解する。	1.5時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日・火曜日の11:00~13:00</p> <p>質問はいつでも受け付けます。(メール可)※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。</p> <p>E-mail: <a href="mailto:kura@takasaki-u.ac.jp">kura@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>保健師として必要な知識、技術についてしっかりと準備をした上で演習に臨むこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の復習をし、不明な点は授業時間外でも構わないので積極的に質問してください。</li> <li>・公衆衛生看護実習を実施するにあたり、本授業での演習体験は重要です。</li> </ul>			

科目名	母子保健論(保健師課程科目)			NRP410	講義
担当教員	倉林しのぶ、赤堀八重子				
学年・開講期	4年 前期	必修・単位数	選択 1単位		
講義目標	地域における主な母子保健施策および母子保健活動の実際について学び、母子の健康生活を支援するために必要な知識・技術を習得する。				
到達目標	1.母子保健の現状と課題、主な保健施策について理解することができる。 2.乳幼児の発育・発達の評価ができる。 3.育児に関する課題や悩みについて理解し、課題解決に向けて支援することができる。 4.虐待の予防と対応、および連携する組織について理解することができる。 5.母子保健事業に関わる連携職種や住民組織について理解することができる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度・態度(20%)、演習態度(10%)、試験(70%)				
課題に対する フィードバック	事例検討では、教員からのアドバイスを適宜行う。 レポートにはコメントをつけて返却する。				
使用教材	公衆衛生看護学.jp、荒賀直子編、インターメディカル(4,400円+税) 最新保健師講座対象別公衆衛生看護活動3 松田正巳著、医学書院(3,300円+税) 国民衛生の動向、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会(2,500円税込)				
1	講義内容	母子保健の概要			
	該当する到達目標	予習	教科書およびシラバスの内容を読み、講義の目標を理解する。		1時間
	1,5	復習	講義内容を確認する。		1.5時間
2	講義内容	健康診査と発育・発達評価			
	該当する到達目標	予習	乳幼児の発育・発達について目を通しておく。		1時間
	2	復習	乳幼児の発育・発達、評価法について確認する。		1.5時間
3	講義内容	栄養指導			
	該当する到達目標	予習	妊娠期の栄養について、離乳食について目を通しておく。		1時間
	3	復習	講義で学んだことを基に、栄養指導における保健師の役割を理解する。		1.5時間
4	講義内容	育児相談			
	該当する到達目標	予習	乳幼児健診時に多い、相談内容について目を通しておく。		1時間
	3,4	復習	育児相談における保健師の役割について確認し、理解する。		1.5時間
5	講義内容	家庭訪問計画			
	該当する到達目標	予習	家庭訪問の意義・目的について目を通しておく。		1時間
	2,3,4	復習	家庭訪問の必要性について理解を深める。		1.5時間
6	講義内容	家庭訪問(演習)			
	該当する到達目標	予習	演習がスムーズに実施できるよう、家庭訪問の実際について目を通しておく。		1時間
	2,3,4	復習	演習で気づいた点、学んだことをまとめ、理解する。		1.5時間
7	講義内容	ハイリスク事例の検討			
	該当する到達目標	予習	ハイリスクの児の支援に関連する法律やサービスについて確認しておく。		1時間
	1,3,4,5	復習	事例検討を振り返り、支援の方法について理解する。		1.5時間
8	講義内容	まとめ			

	該当する到達目標	予習	母子保健論での学びを確認しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	母子保健活動における制度、保健師の役割について確認する。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日・火曜日 11:00~13:00</p> <p>質問はいつでも受付可(メールの場合は、学科、学年、学籍番号、氏名を必ず記載すること)。  e-mail: <a href="mailto:kura@takasaki-u.ac.jp">kura@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習に臨む前に必ず公衆衛生看護学についての復習を行うこと。  母子保健活動において、乳幼児の発育・発達についての知識は必須なので、しっかり予習・復習を行い知識として習得すること。  母子保健論は、公衆衛生看護学実習 I・II を実施するにあたり重要なので、しっかり予習等を行い、講義・演習に臨むこと。</p>			

科目名	産業保健論(保健師課程科目)			NRP412	講義
担当教員	帆苅 なおみ				
学年・開講期	4 年 前期	必修・単位数	選択 1 単位		
講義目標	産業保健の目的を自主的に達成するために、産業看護職が事業者、労働者の双方に対して行う健康支援について実際の活動事例を通して学ぶ。また、わが国の労働衛生対策を知り、医療や福祉などの現場で働く労働者の健康管理支援について、その課題と対策について学習する。				
到達目標	1.産業保健の目的と産業看護の役割を理解できる 2.産業保健の歴史と課題を理解できる 3.産業保健の 5 管理を理解できる 4.実際の産業看護活動を PDCA サイクルで理解することができる 5.産業保健の動向や今後の課題を理解することができる 6.実際の産業保健現場を想定した健康教育が企画できる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
	✓	4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	試験 70%、授業参加度・授業態度等 30%を総合して評価します。				
課題に対するフィードバック	試験解答用紙に記載事項へのコメントをつけて返却をする。				
使用教材	河野啓子:「産業保健・産業看護論」日本看護協会出版会講義で使用する PPT 資料を印刷して配布				
1	講義内容	産業看護の理念と背景			
	該当する到達目標	予習	教科書第 1 章に目を通す		1 時間
	1	復習	産業看護職の役割と活動の目的を理解できるよう復習する		1 時間
2	講義内容	わが国における産業保健・看護活動の実態			
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章、1 回目講義資料に目を通す		1 時間
	2	復習	産業看護の現状と課題について統計値や傾向を復習する		1 時間
3	講義内容	産業保健活動の基本と産業看護活動			
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章、2 回目講義資料に目を通す		1 時間
	3	復習	労働衛生の 5 管理を復習する		1 時間
4	講義内容	主な産業保健の実際①			
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章、3 回目講義資料に目を通す		1 時間
	4	復習	産業看護活動の実際を PDCA サイクルで理解する		1 時間
5	講義内容	主な産業保健の実際②←(②の間違いででは? 4回とかぶるため副題で補完を)			
	該当する到達目標	予習	教科書 4 章、5 章、4 回目講義資料に目を通す		1 時間
	4	復習	産業看護活動の実際を PDCA サイクルで理解する		1 時間
6	講義内容	産業看護の課題・動向			
	該当する到達目標	予習	教科書第 6 章と 5 回目資料に目を通す		1 時間
	5	復習	産業看護の課題を国内外の動向を理解する		1 時間
7	講義内容	働く人の健康課題と対策 グループワーク			
	該当する到達目標	予習	第 4 章 健康教育、今までの講義資料に目を通す		1 時間
	6	復習	グループワークでの気づきを振り返り理解を深める		1 時間
8	講義内容	まとめ			

2017 年度 保健医療学部看護学科

	該当する到達目標	予習	今までの講義資料に目を通し、質問事項を考える	1時間
	1,2,3,4,5,6	復習	全講義を通じて学んだこと、気づいたことをまとめる	1時間
備考	予習復習については、試験前後の学習で補完すること。			

科目名	学校保健論(保健師課程科目)			NRP413	講義
担当教員	青柳千春				
学年・開講期	4年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	学校保健の目的・意義を理解し、児童生徒の現代的健康課題に対する対応策及び学校保健活動における教諭・養護教諭の職務と役割について学ぶ				
到達目標	1.学校保健関係法令、学校保健の構造領域とその活動内容について説明することができる。 2.養護教諭の職務内容について説明することができる。 3.児童生徒の具体的な健康課題及びその対応策について説明することができる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験(50%)提出物、授業への参加度・学習態度等(50%)				
課題に対する フィードバック	レポート及びワークシートにはコメントをつけて返却する。 定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材	「養護教諭のための学校保健(第13版)」出井 美智子他 少年写真新聞社				
1	講義内容	学校保健の制度、児童生徒の現代的健康課題			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1.5時間
	1.3	復習	学校保健活動の目的・意義、対象・領域、学校保健活動の歴史について理解するとともに、児童生徒の現代的健康課題(不登校、いじめ、虐待、発達障害)について理解する		1.5時間
2	講義内容	養護教諭の制度の変遷、保健室経営と保健室経営計画			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	2	復習	資料を読んで、講義内容を理解する。		1.5時間
3	講義内容	学校保健組織活動、学校における保健教育			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1.2	復習	学校保健組織活動、保健教育の領域と特質、教科保健と特別活動の目標と内容、指導、評価の違いについて理解する		1.5時間
4	講義内容	学校における保健管理(1)			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1.2.3	復習	学校環境衛生の目的、法的根拠と学校環境衛生規準及び学校・子供の安全を巡る状況、学校における安全教育と危機管理について理解する		1.5時間
5	講義内容	学校における保健管理(2)			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1.2.3	復習	健康診断の意義と目的、計画の立て方と実施の流れ、職員の健康診断、就学時健康診断、疾病管理について理解する		1.5時間
6	講義内容	学校における保健管理(3)			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1.2.3	復習	健康観察の目的、機会と内容、手順、と疾病管理の目的、注意事項、実際について理解する。学校で行われる救急処置について理解する		1.5時間
7	講義内容	学校における保健管理(4)			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間

	1.2.3	復習	学校で行われる健康相談について理解する	1.5 時間
8	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1.2.3	復習	資料を読んで、講義内容を理解する。学校保健における精神・心理的疾患及び特別支援教育について理解する。レポートを作成して提出する	1.5 時間
備考	<p>課題に対するレポート提出1回。</p> <p>オフィスアワー:(青柳)水曜日及び金曜日の1限</p> <p>メールアドレス:(青柳)<a href="mailto:aoyagi@takasaki-u.ac.jp">aoyagi@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>研究室: (青柳)3号館 2階 207</p>			

科目名	健康危機管理論(保健師課程科目)			NRP414	講義
担当教員	倉林しのぶ 赤羽潤子				
学年・開講期	4年 前期	必修・単位数	必修 1単位 (保健師選択)		
講義目標	自然災害、大規模な事故、感染症等、個人が日常的に遭遇する病気や事故とは規模・性質の異なる健康の安全を脅かす状況に対する公衆衛生上の体制、対応と、保健師がかかわる健康危機管理事例について学習する。				
到達目標	1.健康危機管理システムと保健所、市町村等の役割について理解できる。 2.平常時、災害発生時、災害復旧・復興対策期等、各期に応じて必要な保健師の活動が理解できる。 3.地域住民への啓発と相互支援力について理解することができる。 4.健康危機管理に必要な保健師の管理能力について理解することができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	授業参加度 60%、レポート 40%				
課題に対するフィードバック	国家試験過去問題についてはその都度解答について解説をし、講義と問題を結び付けて考えられるようにする。				
使用教材	公衆衛生看護学.jp , 荒賀直子,後閑容子, インターメディカル, ¥4400				
1	講義内容	健康危機管理システムと対策			
	該当する到達目標	予習	テキストに目を通してくる		1時間
	1.2.	復習	危機管理に関する保健所・市町村の役割について理解する。		1.5時間
2	講義内容	災害と保健活動①			
	該当する到達目標	予習	テキストの災害各期の保健活動のページを読んでくる。		1時間
	1.2.	復習	災害各期に必要な支援について理解する。		1.5時間
3	講義内容	災害と保健活動②			
	該当する到達目標	予習	テキストの災害各期の保健活動のページを読んでくる。		1時間
	1.2.3.	復習	災害各期の保健所・市町村保健師の役割を理解する。		1.5時間
4	講義内容	災害と保健活動③			
	該当する到達目標	予習	災害に関する保健師国家試験の過去問題を解く		1時間
	1.2.3.	復習	国試過去問の見直しをする		1.5時間
5	講義内容	演習(自然災害時の対策と対応①)			
	該当する到達目標	予習	事前に配布された資料を読んでおく		1時間
	3.4.	復習	自分の住んでいる地域の災害マップを確認する		1.5時間
6	講義内容	演習(自然災害時の対策と対応②)			
	該当する到達目標	予習	事前に配布された資料を読んでおく		1時間
	3.4.	復習	自分の住んでいる地域の災害マップを確認する		1.5時間
7	講義内容	演習(自然災害時の対策と対応③)			
	該当する到達目標	予習	事前に配布された資料を読んでおく		1時間
	3.4.	復習	自分の住んでいる地域の災害マップを確認する		1.5時間
8	講義内容	まとめ			
	該当する到達目標	予習	1～7回の講義資料の見直し		1時間

	34.	復習	各自治体単位での災害危機管理体制について理解する	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜日・火曜日の11:00~13:00</p> <p>質問はいつでも受け付けます。(メール可)※ただし、メールの場合は学科・学年・氏名を必ず記載のこと。</p> <p>E-mail: <a href="mailto:kura@takasaki-u.ac.jp">kura@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>健康危機発生時の体制及び組織における保健師の管理能力について学習します。また、自然災害が起きたことを想定した机上での演習を行います。保健師は地域で住民を対象とした災害保健活動に関わることも多いため、地域看護・地域看護管理で学んだ知識を基に、さらに理解を深めてください。</p>			

科目名	公衆衛生看護組織論(保健師課程科目)			NRP415	講義
担当教員	深澤 英子				
学年・開講期	4年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	地方自治体における保健計画策定・施策化・予算の仕組みについて学ぶ。また、関係機関、地区組織との連携及び地域ケアシステムの構築について学ぶ。				
到達目標	1. 地方自治体における計画策定・施策化・予算のしくみについて理解できる。 2. 保健活動に関係する組織や関係者間の連携について理解できる。 3. 他区組織やグループ活動支援における保健師の役割について理解できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 90%、演習発表 10%				
課題に対する フィードバック	演習発表については個別にコメントする。				
使用教材	教科書「公衆衛生看護学」編集荒賀直子 後閑容子 (インターメディカル) ISBN978-4-900828-66-7 C3047 講義のスライドを随時プリントして配布する。				
1	講義内容	保健医療福祉システムと法体系			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章Ⅰ⑤、第8章Ⅲ①を読んでもくること		1時間
	1,2,	復習	保健医療福祉システムと、期待される保健師活動について理解する		1.5時間
2	講義内容	健康課題と健康づくり施策			
	該当する到達目標	予習	教科書の第1章Ⅱ①～④を読んでもくること		1時間
	2,3	復習	健康課題の変遷と施策について理解する		1.5時間
3	講義内容	地域特性の把握			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章Ⅰ①を読んでもくること		1時間
	2,3	復習	地域特性の把握方法について理解する		1.5時間
4	講義内容	地方自治体における計画策定			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章Ⅰ③を読んでもくること		1時間
	1,2	復習	地域保健計画の目的と策定方法について理解する		1.5時間
5	講義内容	事業計画と予算の仕組み			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章Ⅰ③④、第7章Ⅰ①②を読んでもくること		1時間
	1,2,	復習	事業計画と地方自治体予算の仕組みについて理解する		1.5時間
6	講義内容	住民参加と地区組織活動			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章Ⅱ③を読んでもくること		1時間
	2,3	復習	住民参加と地区組織活動について理解する		1.5時間
7	講義内容	地域におけるグループ支援と組織化			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章Ⅱ①②を読んでもくること		1時間
	2,3	復習	グループ支援の意義と保健師の役割について理解する		1.5時間
8	講義内容	地域ケアシステムと保健師の役割			
	該当する到達目標	予習	教科書の第2章Ⅱ④を読んでもくること		1時間
	2,3	復習	地域ケアシステムと保健師の役割について理解する		1.5時間
備	オフィスアワー:水曜日 場所1号館保健室				

考	第7回に、自助グループの代表としてゲストスピーカーを招く予定。 予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること。
---	--

科目名	公衆衛生看護学実習 I (保健師課程科目)		NRP312	実習
担当教員	倉林しのぶ 赤堀八重子			
学年・開講期	3年 後期	必修・単位数	必修 2 単位	
講義目標	地域および地域に暮らす人々の特徴とニーズを理解した上で、地域住民を対象とした「健康教育」を実施する。対象地域に即したテーマの選定、企画、運営、評価、また、地域住民との関わりを通して、公衆衛生看護活動の具体的な理解を深める。			
到達目標	1.保健指導技術のひとつである「健康教育」の目的と役割を理解できる。 2.地域の課題を明確にし、優先順位と目標を設定した上で計画を立案し実施できる。 3.健康教育実施後に、そのプロセス評価ができる。			
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観		
	✓	2. 論理的思考・問題解決力		
	✓	3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
		5. 生涯学習力		
評価方法	グループワーク参加度・貢献度(40%)、実習状況・報告会(40%)、記録物(20%)			
課題に対するフィードバック	記録に関しては実習指導者および教員が確認し、コメントまたは確認印を押して返却する。 実習報告会に向けて作成した資料は当日配布を予定している。			
使用教材	健康教育テーマに関する資料			
講義内容	<p>健康教育の実践は、地域公民館で実施する。なお、グループワークには積極的に参加し、情報共有を図ったうえで企画に結びつけること。健康教育の実施当日は、住民やボランティアの方々と積極的にコミュニケーションをとりながら進めること。</p> <p>※健康教育のテーマは、実習先により異なるが、次に掲げる事項を視点におき実習を行う。健康教育計画書や媒体の作成に関しては、担当教員から適宜指導を受ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 既存のデータや地区踏査を通して、対象とする地域の特徴を理解する。</li> <li>2) 地域で活動する民生委員やボランティアとの関わりの中で、地域の特徴や住民のニーズを理解する。</li> <li>3) 対象に合ったテーマを選定し、健康教育の企画立案を行う。</li> <li>4) 対象の特徴や条件を考慮した健康教育の運営を行う。</li> <li>5) 対象にあわせた媒体を使用し、効果的な健康教育を実施する。</li> <li>6) 実施した健康教育を評価し、地域にフィードバックする。</li> </ol>			
	予習	健康教育の目的、地区踏査の目的の把握 高齢者保健活動、健康教育のテーマに関する資料の確認 健康教育等の評価法の確認		期間中適宜
	復習	健康教育テーマに関する情報等の確認、教員からのアドバイスの確認、健康教育を実施して学んだことについてのまとめ、報告会用資料準備		期間中適宜
備考	<p>オフィスアワー：月曜日・火曜日11:00～13:00 質問はいつでも受付可(メールの場合は、学科、学年、学籍番号、氏名を必ず記載すること)。 e-mail: <a href="mailto:kura@takasaki-u.ac.jp">kura@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習に臨む前に必ず公衆衛生看護学、健康教育についての復習を行うこと。</p> <p>健康教育を実施するには、テーマに関する知識を十分に習得する必要があるため、テーマに関する最新の知識をしっかりと調べること。</p>			

科目名	公衆衛生看護学実習Ⅱ(保健師課程科目)		NRP416	実習
担当教員	倉林しのぶ 赤堀八重子			
学年・開講期	4年 前期	必修・単位数	必修 3単位	
講義目標	地域社会で生活する住民や家族の保健ニーズと地域の健康課題を包括的にとらえ、課題を解決するための公衆衛生看護活動の基本的実践方法を習得する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.地域における公衆衛生活動の実際が理解できる。</li> <li>2.住民が生活している地域全体の特徴と健康課題が理解できる。</li> <li>3.公衆衛生活動を展開している保健所、市町村の役割と機能が理解できる。</li> <li>4.個人や家族・集団・地域という単位での身体的・精神的・社会的特性を理解し、あらゆる健康レベルにある対象に応じた援助が実践できる。</li> <li>5.住民に対する看護活動(家庭訪問・健康診査・健康相談・健康教育等)を体験し、各種保健事業の展開を理解することができる。</li> <li>6.地域における保健・医療・福祉の連携の在り方を学び、地域ケアシステムにおける保健師の役割を理解できる。</li> </ol>			
学位授与方針	✓	1. 人間理解と倫理観		
との対応	✓	2. 論理的思考・問題解決力		
	✓	3. チームの一員としての協調・協働		
		4. 国際理解		
		5. 生涯学習力		
評価方法	実習参加度・態度(40%)、報告会・カンファレンスの参加度(20%)、実習中・後の記録物(30%)、事前学習(10%)			
課題に対する フィードバック	記録に関しては実習指導者および教員が確認し、コメントまたは確認印を押して返却する。 実習報告会に向けて作成した資料は資料集として当日配布を予定している。			
使用教材	最新保健師講座対象別公衆衛生看護活動3 松田正巳著、医学書院(3,300円+税) 国民衛生の動向、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会(2,500円税込)、その他事業に関する資料等			
講義内容	<p>群馬県内の保健所および市町村において、3週間の実習を行う。保健所では主に広域的・専門的な公衆衛生看護活動の実際を学ぶ。市町村では地域の特性と地域に暮らす人々の健康課題を把握し、市町村で展開される公衆衛生看護活動の実際を学ぶ。保健所・市町村それぞれの公的機関としての機能・役割および保健師の機能・役割を理解し、公衆衛生看護活動について総合的に学ぶ。</p> <p>※実習内容の詳細は配属される実習先により異なるが、次に掲げる事項について学生は実習指導者による指導を受ける</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)保健所および関係職種、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションなどの円滑な人間関係の形成について</li> <li>2)個人および家族、地域住民との援助関係の形成、個人および家族、地域住民への権利擁護及び支援(エンパワメントを含む。)とその評価。多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際</li> <li>3)根拠法に基づくサービスの実際、行政組織の一員としての役割と責任への理解</li> </ol>			
	予習	実習先に関する予習、参加する事業の根拠法等、実習指導で準備した資料の確認		期間中適宜
	復習	事業の根拠法の確認、実習先で教わったこと得た体験のまとめ、報告会用資料準備		期間中適宜
備考	<p>オフィスアワー：月曜日・火曜日11:00～13:00 質問はいつでも受付可(メールの場合は、学科、学年、学籍番号、氏名を必ず記載すること)。e-mail:<a href="mailto:kura@takasaki-u.ac.jp">kura@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>予習、復習に必要な時間は特に明記しないが、実習に臨む前に必ず公衆衛生看護学についての復習を行い、参加する事業について事前学習を行うこと。実習期間中は現場に入る前に調べたことをチェックし、帰宅後は指示されたことや学んだことについて書き出しを行うこと。</p>			

科目名	学校保健(教職に関する科目)			NRT220	講義
担当教員	青柳千春・水出房子				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	学校保健の目的・意義を理解するとともに、保健管理・保健教育に関する基礎的知識と技術を習得して、養護教諭として学校保健活動をすすめるために必要な実践力の基礎を身に付ける。				
到達目標	1.学校教育の目標、学校保健の目標を述べることができる。 2.学校が抱える課題を説明することができる。 3.保健教育の内容と機会、教職員の役割を理解できる。 4.保健管理の内容と教職員の役割を理解できる。 5.組織活動の内容と、連携について理解できる。 6.関連法規を理解できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験(50%)、提出物、授業への参加度・学習態度等(50%)				
課題に対する フィードバック	レポート及びワークシートにはコメントをつけて返却する。 定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材	「養護教諭のための学校保健(第13版)」出井 美智子他 少年写真新聞社				
1	講義内容	オリエンテーション、学校保健の目的と内容			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1.5時間
	1.2	復習	学校保健活動の目的・意義、対象・領域、学校保健活動の歴史について理解する		1.5時間
2	講義内容	児童生徒の心身の発達と健康(1)			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	2	復習	心身の発達、形態の発育、体力・運動能力の現状について理解する		1.5時間
3	講義内容	児童生徒の心身の発達と健康(2)			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	2	復習	児童生徒の健康課題(不登校、いじめ、虐待、発達障害)について理解する		1.5時間
4	講義内容	健康診断			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	4.5.6	復習	健康診断の意義と目的、計画の立て方と実施の流れ、職員の健康診断、就学時健康診断について理解する		1.5時間
5	講義内容	健康観察・保健指導			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	4.5.6	復習	健康観察の目的、機会と内容、手順について理解する		1.5時間
6	講義内容	疾病管理			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	4.5.6	復習	疾病管理の目的、注意事項、実際について理解する		1.5時間
7	講義内容	感染症対策			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	4.5.6	復習	感染症発生の3大要因と予防法を理解し、演習①～③に取り組む。		1.5時間
8	講義内容	救急処置(1)			

	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	4.5.6	復習	学校における救急処置の目的、適切な見極めと判断、救急体制づくりを理解する。	1.5 時間
9	講義内容	救急処置(2)		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	4.5.6	復習	簡単なけがの手当てをできるようにする	1.5 時間
10	講義内容	学校安全		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	4.5.6	復習	危機管理および学校安全の構造を理解する	1.5 時間
11	講義内容	健康教育(1)		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	3.5.6	復習	保健教育の領域と特質、教科保健と特別活動の目標と内容、指導、評価の違いについて理解する	1.5 時間
12	講義内容	健康教育(2)		
	該当する到達目標	予習	指導案を作成し、模擬授業の準備をする	1.5 時間
	3.5.6	復習	模擬授業を振り返り、指導案や資料の修正を行い、提出する	1.5 時間
13	講義内容	精神保健		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	2.4.5	復習	学校保健における精神・心理的疾患及び特別支援教育について理解する レポートを作成して提出する	1.5 時間
14	講義内容	学校環境衛生		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	4.5.6	復習	学校環境衛生の目的、法的根拠と学校環境衛生規準について理解する	1.5 時間
15	講義内容	学校保健計画及び保健組織活動		
	該当する到達目標	予習	学校保健委員会運営案に目を通す	1.5 時間
	1.5	復習	学校保健計画の法的根拠とその意義及び保健室経営の在り方について理解するとともに、参加した学校保健委員会の振り返りを行いレポートを提出する	1.5 時間
備考	<p>課題に対するレポート提出 2 回と学習指導案の提出 1 回。</p> <p>オフィスアワー:(青柳)水曜日及び金曜日の 1 限 (水出)後日連絡</p> <p>メールアドレス:(青柳)<a href="mailto:aoyagi@takasaki-u.ac.jp">aoyagi@takasaki-u.ac.jp</a> (水出)<a href="mailto:mizuide@takasaki-u.ac.jp">mizuide@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>研究室: (青柳)3 号館 2 階 207 (水出)5 号館 2 階 保健室</p>			

科目名	養護概説(養護に関する科目)			NRT221	講義
担当教員	青柳千春				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	学校保健を推進する中核的役割を持つ養護教諭の職務と機能、役割を理解し、児童生徒の健康問題の解決方法と技術について、専門的・実践的に学習する。				
到達目標	1.養護の本質や概念、職務内容について、説明することができる。 2.保健室経営の計画を立てることができる。 3.保健学習の指導案を書いて実践的な指導ができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	筆記試験(50%)提出物、授業への参加度・学習態度等(50%)				
課題に対するフィードバック	レポート及びワークシートにはコメントをつけて返却する 作成した指導案は冊子にして配布する				
使用教材	「新養護概説(第9版)」采女智津江 少年写真新聞社				
1	講義内容	教育関係法令と教育行政			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1.5時間
	1	復習	教育関係法令等、教育行政、教育改革の動向		1.5時間
2	講義内容	学校教育と学校保健			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1	復習	教育の目的、学校経営とは、教育課程と学習指導要領、学校保健とはについて理解する		1.5時間
3	講義内容	養護教諭の職務			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1.2.3	復習	養護教諭の制度の変遷、養護教諭に関する法律・審議会答申等、養護教諭の職業倫理、養護教諭の役割について理解する		1.5時間
4	講義内容	学校における救急処置			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1	復習	学校における救急処置の目的、適切な見極めと判断、救急体制づくりについて理解するとともに、簡単なけがの手当てができるようにする		1.5時間
5	講義内容	健康診断			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1	復習	健康診断の意義と目的、法的根拠、計画の立て方と実施の流れを理解する		1.5時間
6	講義内容	健康観察と疾病管理			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1	復習	健康観察の目的、機会と内容、法的根拠及び疾病管理の目的と内容及び留意点について理解する		1.5時間
7	講義内容	精神保健・健康相談と養護教諭の役割			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1	復習	学習内容を基にレポートを作成し、提出する		1.5時間
8	講義内容	学校環境衛生			

	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1	復習	学校環境衛生の目的、学校環境衛生の法的根拠と学校環境衛生基準、学校環境衛生に関する活動における養護教諭の役割を理解する	1.5 時間
9	講義内容	保健室経営		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	2	復習	保健室経営の重要性、保健室の機能と保健室経営を理解し、保健室経営計画の作成手順を確認する	1.5 時間
10	講義内容	組織活動 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の役割と職務内容		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1	復習	組織活動の必要性、学校保健委員会、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の役割と連携について理解する	1.5 時間
11	講義内容	児童生徒の発育発達と健康課題		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1	復習	幼児期、児童期、青年前期・後期の発育発達と子どもの健康課題の推移を理解し、各発達段階に即した保健指導を考察する	1.5 時間
12	講義内容	保健教育(効果的な教材の活動)		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	3	復習	教材とは何かを理解し、効果的な教材の活用について考察する	1.5 時間
13	講義内容	保健教育(保健学習及び保健指導)		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	3	復習	教科保健(保健学習)と保健指導のねらい、内容、進め方、教材の活用について理解する	1.5 時間
14	講義内容	保健教育(授業構想と指導案作成)		
	該当する到達目標	予習	グループで、学級活動における保健指導の案を構想する	1.5 時間
	3	復習	構想した保健指導をまとめ、学級活動(2)学習指導案を作成する	1.5 時間
15	講義内容	現代的健康課題の解決思案		
	該当する到達目標	予習	構想した保健指導を発表できるようにする	1.5 時間
	1.. 2. 3	復習	授業検討を受け、提案した保健指導の振り返りを行う	1.5 時間
備考	<p>課題に対するレポート提出 1 回とグループで作成した学習指導案の提出 1 回。</p> <p>オフィスアワー:水曜日及び金曜日の 1 限、</p> <p>メールアドレス: aoyagi@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室:3 号館 2 階 207</p>			

科目名	健康相談 I (養護に関する科目)			NRT320	講義
担当教員	水出 房子				
学年・開講期	3年 後期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	健康相談の基礎的知識・技術を踏まえ、保健室における健康相談を進める上での必要な実践力を身に付ける				
到達目標	1.養護教諭の行う健康相談の特徴が理解できる 2.ヘルスカウンセリングや教育相談で学んだ知識・スキルを健康相談に生かすことができる 3.関係者と連携した支援の在り方を考えられる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	講義及びグループワークへの参加度・貢献度(30%) 課題レポート(70%)				
課題に対するフィードバック	レポート及びワークシートにはコメントを付け返却する。				
使用教材	「養護教諭の行う健康相談」大谷直子 東山書房 講義内容・ワークシートを随時プリントして配布				
1	講義内容	養護教諭と健康相談			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1.5 時間
	2	復習	養護教諭の役割と活動・職務における健康相談・健康相談の概念を理解する		1.5 時間
2	講義内容	養護教諭の特性と保健室の機能を生かす			
	該当する到達目標	予習	教科書13～32pに目を通す		1.5 時間
	2.3	復習	健康相談の基礎と背景・養護教諭と保健室について理解する		1.5 時間
3	講義内容	健康相談に活用できる理論			
	該当する到達目標	予習	教科書40～63pに目を通す		1.5 時間
	2.3	復習	健康相談に活用できるカウンセリング理論と技術を理解する		1.5 時間
4	講義内容	子どもの支援体制と学校内外の連携			
	該当する到達目標	予習	教科書65～75pに目を通す		1.5 時間
	2	復習	支援体制と学校内外の連携と法律を理解する		1.5 時間
5	講義内容	児童生徒理解、保健室来室場面での健康相談			
	該当する到達目標	予習	教科書83～115pに目を通す		1.5 時間
	1.2.3	復習	保健室での子供理解の方法と保健室来室者への対応について理解する		1.5 時間
6	講義内容	健康相談の記録			
	該当する到達目標	予習	教科書116～124pに目を通す		1.5 時間
	1.2	復習	記録の意義・目的・管理と個人情報について理解する。		1.5 時間
7	講義内容	危機管理と養護教諭			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	1.2	復習	危機管理的な対応・自傷行為と自殺について理解する。		1.5 時間
8	講義内容	「いじめ理解」と支援・対応			
	該当する到達目標	予習	教科書175～176に目を通す。配布されたプリントに目を通す。		1.5 時間
	1.2.3	復習	「いじめの」と養護教諭の役割について理解する。 レポートを作成し提出する		1.5 時間
備	第1回・第2回・第8回 ワークシート提出				

考	課題に対するレポート提出1回 オフィスアワー: 火曜日及び木曜日1限 メールアドレス: mizuide@takasaki-u.ac.jp 研究室: 4号館 保健室
---	--

科目名	健康相談Ⅱ(養護に関する科目)			NRT420	講義
担当教員	水出 房子				
学年・開講期	4年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	健康相談の基礎的知識・技術を踏まえ、保健室における健康相談を進める上での必要な実践力を身に付ける				
到達目標	1.養護教諭の行う健康相談の特徴が理解できる 2.ヘルスカウンセリングや教育相談で学んだ知識・スキルを健康相談に生かすことができる 3.関係者と連携した支援の在り方を考えられる				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考力・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	講義及びグループワークへの参加度・貢献度(30%) 課題レポート(70%)				
課題に対する フィードバック	レポート及びワークシートにはコメントを付け返却する。				
使用教材	「養護教諭の行う健康相談」大谷直子 東山書房 講義内容・ワークシートを随時プリントして配布				
1	講義内容	虐待の理解と支援・対応			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	1.2.3	復習	虐待とその対応について理解する		1.5 時間
2	講義内容	発達障害を持つ子どもの理解とその対応			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	1.2.3	復習	発達障害とその対応について理解する		1.5 時間
3	講義内容	不登校・保健室登校の理解とその対応			
	該当する到達目標	予習	教科書174～175pと配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	1.2.3	復習	不登校・保健室登校とその対応について理解する		1.5 時間
4	講義内容	慢性疾患の理解と対応			
	該当する到達目標	予習	教科書164～165pと配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	1.2.3	復習	慢性疾患とその対応について理解する		1.5 時間
5	講義内容	性感染症の理解と対応			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	1.2.3	復習	性感染症とその対応について理解する		1.5 時間
6	講義内容	薬物乱用の理解と対応			
	該当する到達目標	予習	教科書184～185pと配布されたプリントに目を通す		1.5 時間
	1.2.3	復習	薬物乱用とその対応について理解する		1.5 時間
7	講義内容	事例検討(研究)の意義と進め方			
	該当する到達目標	予習	教育実習で学んだ事例をまとめる		1.5 時間
	1.2.3	復習	事例検討の意義と方法について理解する		1.5 時間
8	講義内容	まとめ			
	該当する到達目標	予習	健康相談で学んだことをまとめて発表できるよう準備しておく		1.5 時間
	1.2.3	復習	健康相談を行う上で必要な資質能力を理解し、自分の得意とする分野と、今後の課題を明確にする。課題に対するレポートを作成し提出する。		1.5 時間
備	事例ごとにロールプレイ等の演習を実施・ワークシート活用				

考	課題に対するレポート提出1回 オフィスアワー: 火曜日及び木曜日1限 メールアドレス: mizuide@takasaki-u.ac.jp 研究室: 4号館 保健室
---	--

科目名	教師論(教職に関する科目)			NRT120	講義
担当教員	深見 匡				
学年・開講期	1年 後期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	この講義では、教職を目指すにあたって以下のことを目標とする。 ①現代の教師や学校、公教育制度に関わる基礎的な知識を修得すること。 ②教職の意義・役割を理解し、教師に必要な基礎的な資質・能力について説明でき、実践できること。				
到達目標	1.公教育に関わる基本的な法律・制度について説明できる。 2.「学習指導要領」等、教育課程に関わる基本的な事項について説明できる。 3.学校の組織や運営に関わる基本的な事項について説明できる。 4.教育方法に関わる基本的な事項について説明し、実践できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、平常点 30%(出席、レポート提出、授業態度など)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対する フィードバック	レポートは必要に応じてコメントを付して返却する。定期試験については試験後、関連講義において解説する。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	講義用のテキストプリントを使用する(毎回配布)。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法などを理解する。		1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
2	講義内容	現代的教育問題と公教育			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2,3	復習	現代的教育問題について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
3	講義内容	現代的教育問題と公教育法制 ① 日本国憲法・教育基本法			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2,3	復習	現代的教育問題、公教育法制(憲法・教育基本法等)について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
4	講義内容	現代的教育問題と公教育法制 ② 学校教育法			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2,3	復習	現代的教育問題、公教育法制(学校教育法等)について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
5	講義内容	教育課程について ① 学習指導要領			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2	復習	教育課程について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
6	講義内容	教育課程について ② 学習指導要領(歴史的事項)			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2	復習	教育課程について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
7	講義内容	教育課程について ③ 学習指導要領(教科書制度など)			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2	復習	教育課程について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間

8	講義内容	教育課程について ④ 学習指導要領(教科・各領域など)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2	復習	教育課程について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	学校の組織・運営について ① 教職員の職務		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	学校の組織・運営について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	学校の組織・運営について ② 教育評価		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	学校の組織・運営について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	学校の組織・運営について ③ 学校運営		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	学校の組織・運営について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	教育方法について		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,4	復習	教育方法に関わる歴史や思想を理解し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	現代的な教育課題と教師の職務 ① 学力問題		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	3,4	復習	教育課題(学力問題)と教育実践の実際を整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	現代的な教育課題と教師の職務 ② 生徒指導や生活指導		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	3,4	復習	教育課題(生徒指導)と教育実践の実際を整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	現代的な教育課題と教師の職務 ③ 教育改革動向		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	近年の注目される教育改革動向を整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜 4 限、水曜 4 限、メールでの問い合わせ可。</p> <p>メールアドレス: fukami@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 1 号館 307 室</p> <p>予習・復習については、試験前の学習等で補完すること。</p>			

科目名	教育基礎論(教職に関する科目)			NRT222	講義
担当教員	深見 匡				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	この講義では、教職を目指すにあたって以下のことを目標とする。 ①教育の理念や思想、歴史に関わる基礎的な知識、また公教育制度に関わる基礎的な知識、現代的な教育課題に関わる基礎的な知識を修得すること。 ②教師に必要な基礎的な資質・能力について説明でき、実践できること。				
到達目標	1.教育の理念や思想、歴史に関わる基本的な事項について説明できる。 2.「学習指導要領」等、教育課程に関わる基本的な事項について説明できる。 3.近現代日本の教育の歴史に関わる基本的な事項について説明できる。 4.現代的な教育問題に関わる事項について説明できる。				
学位授与方針 との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、平常点 30%(出席、レポート提出、授業態度など)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対する フィードバック	レポートについては必要に応じてコメントを付して返却する。定期試験については関連講義において解説する。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	講義用のテキストプリントを使用する(毎回配布)。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	1,2,3,4	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法などを理解する。	1時間
			復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5時間
2	講義内容	教育の理念・思想について ① 近代			
	該当する到達目標	1	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1時間
			復習	教育思想家に関わる基本的な事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5時間
3	講義内容	教育の理念・思想について ② 近現代			
	該当する到達目標	1	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1時間
			復習	教育思想家に関わる基本的な事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5時間
4	講義内容	教育の理念・思想について ③ 発達理論			
	該当する到達目標	1	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1時間
			復習	子どもの発達理論の基本的な事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5時間
5	講義内容	教育の理念・思想について ④ 現代(批判理論等)			
	該当する到達目標	1,4	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1時間
			復習	現代の教育思想に関わる基本的な事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5時間
6	講義内容	近現代日本の教育の歴史について ① 戦前期			
	該当する到達目標	1,2,3	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1時間
			復習	主として戦前期日本の教育史に関わる基本的な事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5時間
7	講義内容	近現代日本の教育の歴史について ② 戦後期			
	該当する到達目標		予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1時間

	1,2,3	復習	主として戦後期日本の教育史に関わる基本的事項について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	学習指導要領の変遷 ① 1960年代まで		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3	復習	学習指導要領を通して教育政策の変遷を整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	学習指導要領の変遷 ② 1970年代以降		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3	復習	学習指導要領を通して教育政策の変遷を整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	学習指導要領の変遷 ③ 2016年改訂について		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	学習指導要領を通して教育政策の変遷を整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	現代的な教育課題について ① 教育における不平等		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	能力主義や貧困の問題の概要を整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	現代的な教育課題について ② 学力と階層格差		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	子どもの学力と社会階層の問題の概要を整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	現代的な教育課題について ③ 階層格差と教育政策・教育実践		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	不平等問題に関わる教育政策・教育実践について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	現代的な教育課題について ④ 諸外国の動向		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	子どもの学力問題に関わる諸外国の教育政策について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	現代的な教育課題について ⑤ 諸外国の動向		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,4	復習	不平等問題に関わる諸外国の教育政策について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜 4 限、水曜 4 限、メールでの問い合わせ可。</p> <p>メールアドレス: <a href="mailto:fukami@takasaki-u.ac.jp">fukami@takasaki-u.ac.jp</a></p> <p>研究室: 1 号館 307 室</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	教育心理学(教職に関する科目)			NRT223	講義
担当教員	宮内 洋				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	<p>本科目は、中等教育段階の学校の教員を目指す上で理解しておくべき、教育心理学に関する基本的な知識の理解・修得をめざす。</p> <p>その際には、教育心理学に関する知識を生涯発達各発達段階毎に理解し、人間の生涯発達を通じた視野を持ちながら理解できるようになる。また、各段階における障害とその支援についても学ぶ。</p> <p>臨床発達心理士である講師としては、机上の空論や理想論ではなく、より現実的な内容に徹したい。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育心理学に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>2. 人間の生涯発達を通じた視野を持ち、各発達段階毎の学びについて理解している。</li> <li>3. 「発達障害」等についての基礎的な事項を理解し、支援の正しいあり方を理解している。</li> </ol>				
学位授与方針	✓	人間理解と倫理観			
との対応	✓	論理的思考力・問題解決力			
	✓	チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	全講義終了後に実施される定期試験(85%)と、講義期間中に課せられる課題(10%)、講義に臨む態度・参加する姿勢(5%)によって、総合的に判断する。				
課題に対するフィードバック	講義終了時に可能な限り感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。				
使用教材	教科書は指定しない。必要に応じて、資料を配付する。また、より知りたい・学びたい人のために、参考文献や映画やマンガ等の種々の作品を、講義の中で適宜紹介する。				
1	講義内容	ガイダンス:発達とは何か			
	該当する到達目標	予習	なし		0時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
2	講義内容	生涯発達と「優生思想」			
	該当する到達目標	予習	人間の生涯発達について客観的に考察できるように準備しておくこと。		1時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
3	講義内容	新生児期・乳児期における学び(1):「無能な赤ちゃん」というイメージ			
	該当する到達目標	予習	自らの乳児期の体験を可能な限り聞き、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
4	講義内容	新生児期・乳児期における学び(2):「有能な赤ちゃん」と脳科学			
	該当する到達目標	予習	脳科学について客観的に考察できるように準備しておくこと。		1時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
5	講義内容	幼児期における学び(1):学びの基礎			
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
6	講義内容	幼児期における学び(2):認知発達を中心に			
	該当する到達目標	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。		1時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		1時間
7	講義内容	児童期における学び(1):記憶研究を中心に			

	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
8	講義内容	児童期における学び(2):学習		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
9	講義内容	児童期における学び(3):動機付け		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
10	講義内容	障害のある児童・生徒の心身の発達と学び		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
11	講義内容	思春期・青年期における学び		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
12	講義内容	成人期以降の学び(1):学びの効果的支援		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの学びに関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
13	講義内容	成人期以降の学び(2):学んだ成果の評価		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの学びに関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
14	講義内容	老年期における学び		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	なし	0時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	これまでの講義内容の理解を深めておく。	6時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
備考	非常勤講師なのでオフィスアワーはありません。 講義を妨害する者の受講は基本的に認めない。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	教育制度論(教職に関する科目)			NRT321	講義
担当教員	深見 匡				
学年・開講期	3年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	この講義では、教職を目指すにあたって以下のことを目標にする。①公教育における教育制度の意義と役割について理解すること、②教育制度に関する知識を修得すること、③これらを実践(学校運営)に活用する力を身に付けること。				
到達目標	1.公教育が社会的に組織される意義や役割について基本的な説明ができる。 2.公教育(学校教育)の基本的な制度や仕組みについて説明できる。 3.学校教育の運営や経営に必要となる基本的事項について説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、平常点 30%(出席、レポート提出、授業態度など)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対するフィードバック	レポートは必要に応じてコメントを付して返却する。定期試験については試験後、関連講義において解説する。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	講義用のテキストプリントを使用する(毎回配布)。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法など理解する。		1時間
	1,2,3	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
2	講義内容	教育の組織化			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2	復習	公教育が組織化される意義について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
3	講義内容	教育の歴史 ① 近代公教育			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2	復習	近代における教育の組織化を整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
4	講義内容	教育の歴史 ② 現代公教育			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2	復習	現代的な公教育の組織化について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
5	講義内容	教育の諸制度 ① (教育基本法)			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2,3	復習	憲法や教育基本法と学校教育の関係を整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
6	講義内容	教育の諸制度 ② (学校体系)			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2,3	復習	様々な学校体系について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
7	講義内容	教育の諸制度 ③ (教育内容)			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2,3	復習	教育課程に関わる仕組みについて整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
8	講義内容	教育の諸制度 ④ (教科書制度)			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2,3	復習	教科書に関わる仕組みについて整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間

9	講義内容	教育の諸制度 ⑤ (学校運営や校務分掌)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	学校の組織や運営・経営について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	教育の諸制度 ⑥ (教職員)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教職員に関わる諸制度について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	教育制度の現代的課題 ① (教育財政)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育の機会均等や教育費の問題について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	教育制度の現代的課題 ② (教育の多様化・能力主義)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育の多様化や競争の問題について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	教育制度の現代的課題 ③ (参加と選択)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	教育における参加・選択の問題について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	教育制度の現代的課題 ④ (国際的な動向)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	諸外国(英米圏)の教育政策について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	教育制度の現代的課題 ⑤ (国際的な動向)		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	諸外国(その他)の教育政策について整理、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜 4 限、水曜 4 限、メールでの問い合わせ可。</p> <p>メールアドレス: fukami@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 1 号館 307 室</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	道徳教育の研究(教職に関する科目)			NRT224	講義
担当教員	深見 匡				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	この講義では、教職を目指すにあたって以下のことを目標とする。①公教育における道徳の意義や役割を理解すること、②公教育における道徳の基礎的な知識を修得すること、③道徳教育を実践する上で必要となる資質・能力の基本的な事項を身に付ける。				
到達目標	1.民主主義社会での法や規範、道徳の意義や役割についての基本的事項を説明できる。 2.学校教育の中での道徳の意義や役割について説明できる。 3.道徳教育の実践に求められる基本的な知識・技能について説明し、実践できる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、平常点 30%(出席、レポート提出、授業態度など)で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。詳細はガイダンス時に指示する。				
課題に対するフィードバック	レポートは必要に応じてコメントを付して返却する。定期試験については試験後、関連講義において解説する。個別の質疑等には対応する。				
使用教材	講義用のテキストプリントを使用する(毎回配布)。				
1	講義内容	ガイダンス			
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標・講義内容・評価方法など理解する。		1時間
	1,2	復習	講義内容について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
2	講義内容	道徳の定義・理論について ①			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2	復習	社会の価値体系と道徳を関係づけて整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
3	講義内容	道徳の定義・理論について ②			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2	復習	人権や民主主義と道徳を関係づけて整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
4	講義内容	子どもの発達と道徳 ①			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	2,3	復習	子どもの発達理論(社会化や愛着)と道徳を関係づけて整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
5	講義内容	子どもの発達と道徳 ②			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	2,3	復習	子どもの発達理論(ピアジェ等)と道徳を関係づけて整理し、指示された課題に取り組む		1.5時間
6	講義内容	子どもの発達と道徳 ③			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	2,3	復習	道徳性発達の理論(コールバーグ等)と道徳を関係づけて整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間
7	講義内容	学校教育における道徳 ①			
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。		1時間
	1,2,3	復習	日本の道徳教育の歴史について整理し、指示された課題に取り組む。		1.5時間

8	講義内容	学校教育における道徳 ②		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	現学習指導要領における道徳教育の役割について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	道徳教育の実際 ①		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3	復習	道徳に関わる問題群(人権)と実践について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	道徳教育の実際 ②		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3	復習	道徳に関わる問題群(いじめ)と実践について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	道徳教育の実際 ③		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3	復習	道徳に関わる問題群(SNS 等でのいじめ)と実践について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	道徳教育の実際 ④		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3	復習	思想・良心(宗教)と道徳との関係について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	道徳教育の実際 ⑤		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3	復習	思想・良心(政治)と道徳との関係について整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	国際比較からみた日本の道徳教育		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	2,3	復習	諸外国の道徳教育(シティズンシップ教育等)を整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	道徳教育の課題		
	該当する到達目標	予習	テキスト・資料を読み、概要を理解する。	1 時間
	1,2,3	復習	道徳教育における国際理解、異文化理解などを整理し、指示された課題に取り組む。	1.5 時間
備考	<p>オフィスアワー: 月曜 4 限、水曜 4 限、メールでの問い合わせ可。</p> <p>メールアドレス: fukami@takasaki-u.ac.jp</p> <p>研究室: 1 号館 307 室</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	教育課程・特別活動論(教職に関する科目)			NRT225	講義
担当教員	富岡 栄				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	学校教育には学習指導の他に特別活動の領域があり、ともに教育課程において児童・生徒の教育に重要な役割を果たしている。本講座では、学校教育において重要な位置を占めている特別活動を教育課程との関連において捉えた上で、特別活動の学習指導要領を踏まえ、学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の目標や内容、そして、これらの指導方法や学習指導案の書き方について学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校における特別活動の意義とその内容について理解できる。</li> <li>2. 特別活動の教育的意義、教育課程上の役割などについて、自分の言葉で説明することができる。</li> <li>3. 内容目標に照らして具体的な活動を自分なりにイメージできる。</li> <li>4. 特別活動の内容を具体化する実践的方法を身に付けることができる。</li> <li>5. 特別活動の学習指導案を作成することができる。</li> <li>6. 学校における教育活動全体の視点から特別活動の意義や目標具現化を目指そうとする見通しと意欲をもつことができる。</li> </ol>				
学位授与方針	✓	人間理解と倫理観			
との対応	✓	論理的思考力・問題解決力			
	✓	チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	評価は、授業中に行う2回の小テスト(約70%)、授業貢献度(発言、質問、授業中の態度など。約30%)、で行う。				
課題に対するフィードバック	小テストやリアクションペーパーにはコメントを付記し返却する。				
使用教材	毎回プリントを配付する。				
1	講義内容	オリエンテーション 教育課程と特別活動			
	該当する到達目標	予習	シラバスを確認し学習計画を立てる(0.5時間) 指定されたテキストのP1～P14を精読する。(1.5時間)		2時間
	1.2.	復習	配付されたプリントやテキストを読み返し、整理してまとめ、講義内容を理解する。(1時間)		1時間
2	講義内容	学習指導要領における特別活動			
	該当する到達目標	予習	指定されたテキストのP15～P31を精読する。(2時間)		2時間
	1.2.3.	復習	配付されたプリントやテキストを読み返し、整理してまとめ、講義内容を理解する。(1時間)		1時間
3	講義内容	学級活動と児童会・生徒会活動			
	該当する到達目標	予習	指定されたテキストのP32～P75を通読する。(1.5時間)		1.5時間
	1.2.3.4.	復習	配付されたプリントやテキストを読み返し、整理してまとめ、講義内容を理解する。(0.5時間) 小テストをするので復習をしておく。(1時間)		1.5時間
4	講義内容	学校行事 第1回小テスト			
	該当する到達目標	予習	指定されたテキストのP88～P103を精読する。(2時間)		2時間
	1.2.3.4.	復習	配付されたプリントやテキストを読み返し、整理してまとめ、講義内容を理解する。(1時間)		1時間
5	講義内容	クラブ・部活動			

	該当する到達目標	予習	指定されたテキストの P76～P87 を精読する。(1.5 時間)	1.5 時間
	1.2.3. 4.	復習	返却された小テストを確認する。(0.5 時間) 配付されたプリントやテキストを読み返し、整理してまとめ、講義内容を理解する。(1 時間)	1.5 時間
6	講義内容	学校保健・安全指導		
	該当する到達目標	予習	事前に配付されたプリントを読んでおく。(1 時間)	1 時間
	1.2.5.6.	復習	学習指導案を仕上げる。(1.5 時間) 配付されたプリントやテキストを読み返し、整理してまとめ、講義内容を理解する。(0.5 時間)	2 時間
7	講義内容	給食指導		
	該当する到達目標	予習	事前に配付されたプリントを読んでおく。(1 時間)	1 時間
	1.2.5. 6.	復習	学習指導案を仕上げる。(1.5 時間) 配付されたプリントやテキストを読み返し、整理してまとめ、講義内容を理解する。(0.5 時間)	2 時間
8	講義内容	本講座のまとめ 第 2 回小テスト		
	該当する到達目標	予習	事前に配付されたプリントを読んでおく。(1 時間) 小テストをしますので復習をしておく。(1 時間)	2 時間
	1.2.3. 4.6.	復習	講義全体のまとめをする。(1 時間)	1 時間
備考				

科目名	教育課程・方法論(教職に関する科目)			NRT226	講義
担当教員	栗原 幸正				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 1単位		
講義目標	学校教育における教育課程の意義を、学習指導要領総則編の読解や教育課程(教育内容)の変遷を知ることを通して理解すると共に、教育課程実施に係る現代的な教育的課題について深く考えながら、その重要性について理解する。特に次期学習指導要領の改訂点についての認識を深める。				
到達目標	1.教育課程とは何かについて具体的に理解し、設問等に解答し、記述することができる。 2.教育課程が不易な教育的内容の定着を図るためにあるのと同時に、社会からのニーズによって編成されていることを知り、変遷の過程を説明することができる。 3.教育課程編成の主体である学校組織について理解を深め、教育実習に向けての視点を明確にできる。 4.次期学習指導要領の改訂点についての認識を深め、説明することができる。 5.教育方法学の領域の広さについて理解すると共に、教員のファーストステップ方法論を習得することができる。				
学位授与方針との対応	✓	人間理解と倫理観			
	✓	論理的思考力・問題解決力			
	✓	チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	定期試験(小論文を含む)60% 日常の提出物(小テストや感想を含む)やプレゼンテーション(40%)				
課題に対するフィードバック	紙媒体については評価点の明記並びに評価コメント。 プレゼンテーション等については、テーマ設定・発表方法・発表時間・質疑等の評価規準を明確にして評価内容を伝える。				
使用教材	文部科学省小学校学習指導要領解説総則編(購入のこと 130円程度) 学校要覧(プリントして配付) その他講義に必要なプリントを随時配付する。				
1	講義内容	教育課程の意義とその変遷(戦後～現在)			
	該当する到達目標	1,2	予習	小学校学習指導要領解説総則編に目を通し、教育課程の概要についてつかんでおく。	1時間
			復習	社会的ニーズと教育課程の関連について、自分の考えを説明できる。	1時間
2	講義内容	教育課程の具体としての学校要覧Ⅰ(学校教育目標・学校経営案)			
	該当する到達目標	1,3	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所を目を通す。	1時間
			復習	教育課程を規定する関係法規や社会的ニーズと学校経営について理解する。	1時間
3	講義内容	教育課程の具体としての学校要覧Ⅱ(授業時数・日課表・校務分掌)			
	該当する到達目標	1,3	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所を目を通す。	1時間
			復習	教育課程を具現化するために機能する学校組織を理解する。	1時間
4	講義内容	教育課程の具体としての学校要覧Ⅲ(全体計画・年間計画と学校組織)			
	該当する到達目標	1,3	予習	貸与資料「学校要覧」の上記関係箇所を目を通す。	1時間
			復習	学習指導要領を基本とするカリキュラムマネジメントの意味を理解する。	1時間
5	講義内容	次期学習指導要領			
	該当する到達目標	4	予習	文部科学省ホームページの次期学習指導要領論点整理に目を通す。	1時間
			復習	アクティブラーニング・道徳教育・外国語活動について理解する。	1時間
6	講義内容	学級崩壊と教育方法			
	該当する到達目標	3,5	予習	自分の小中学校時代の経験に即し、学級崩壊の要因について考察する。	0.5時間
			復習	学級崩壊の要因について理解するとともに、学級経営に不可欠な教育方法の重	1時間

			要性について再確認し、ノートにまとめる。	
7	講義内容	教育方法における基礎的技術(有田和正実践の再現授業を通して学ぶ)		
	該当する到達目標 3,5	予習	小中高等学校の経験から、わかりやすい・楽しい教員の特徴をノートにメモしておく。	1 時間
		復習	板書・教材提示・資料・ICT・ワークシート等を駆使した教材研究について理解する。	1 時間
8	講義内容	日本の教科書給与システムと教育方法学的な視点から見た教科書		
	該当する到達目標 3,5	予習	小学校または中学校で用いた社会科の教科書一つに目を通し、講義に持参する。	1 時間
		復習	教科書の特性と日本の民主主義の土台となる教科書給与システムを理解すると共に、教科書の使い方について自分の考えをノートにまとめておく。	1 時間
備考	オフィスアワー:水曜日 2~3 限 メールアドレス:kurihara-y@kasaki-u.ac.jp 研究室:9 号館 305 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	生徒指導論(教職に関する科目)			NRT227	講義
担当教員	宮川 清				
学年・開講期	2年 前期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	教職を志す学生が、生徒に「自己指導力を付けさせる為の働きかけが生徒指導」である。生徒指導は学校教育の総ての領域・場面において行われる活動であり、それにかかわる理論は教育学・心理学・社会学などを始めとする広範な行動科学である。本講義においてはこれらの基礎基本にあたる総合的な知識・実践力を養成する。				
到達目標	講義の到達目標は教職現場で活用される「生徒指導の諸理論・諸技術」を身に付け、生徒一人ひとりにより良く現代社会に生きる自己教育力を発揮出来るよう適切な「自己指導力」を育む教員を養成する。 1.人間性の理解:特に人生の属性(唯一回性、不可逆性、適時性、歴史性ナド)が理解できる。 2.人間性を踏まえた自我の発達課題、適応問題、周辺問題、周辺構造を理解できる。 3.公教育、学校教育の構造や理義を理解して行動できる。 4.発達心理学的な知見を教育活動に活用できる。 5.教育学や社会学的な知見を学校教育に活用できる。				
学位授与方針	✓	人間理解と倫理観			
との対応	✓	論理的思考・問題解決力			
	✓	チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	日常の授業活動:小テスト・教育小論文など 50% 学期末テスト 50%の二本立て				
課題に対する フィードバック	日常の小テスト・教育小論文、レポートにはコメントを付けて返却する。 定期テストの後には「出題の意図」を解答例とともに提示する。				
使用教材	教科書『図解 心理学のすべて』(深堀元文著 実業の日本社) 新聞記事・コラム等				
1	講義内容	ガイダンス:何をガイドするか? 『少年事件』冤罪を生んだ証言・・・偽証ではなく『知覚心理』の問題			
	該当する到達目標	予習	教科書P42~43 48~49 50~51を予習しておき、理解・認識を深めておく。		0.5時間
	1,4,	復習	知覚心理が証言にどう影響し、裁判の芳香をどう導いたかを検証してみる。		0.5時間
2	講義内容	「本能と知能」:本能を中心に生きる動物と学習を積み理性的に生きる人間の相違点			
	該当する到達目標	予習	教科書P62~63を熟読して理解・認識を深めておく。動物の特性が必ずしも人よりも劣るわけではない哲学的な意味を考える。人との相違を考えておく。		1時間
	1,2,4	復習	教科書P58~59 60~61を読み、知能の発展に寄与する要素を考えておく。		0.5時間
3	講義内容	学習の心理 I「学習成立の原理」:条件反射説・試行錯誤説			
	該当する到達目標	予習	教科書P64~67 68~69を熟読しておき理解・認識を深めておく。		1時間
	1,2,4	復習	問題演習の解答例から「人と動物の違い」について考えてみる。		0.5時間
4	講義内容	学習の心理 II「学習成立の原理」:洞察説・模倣説			
	該当する到達目標	予習	教科書P70~73を熟読しておく		0.5時間
	1,2,3,4	復習	教科書P38~39及び其の前のページを読み、学習の定義について考えておく。演習問題を参考に、生徒への「躰け」の働きかけに学習原理の具体的な活用の仕方について考えてみる。		1時間
5	講義内容	「集団心理」:リンゲルマン効果・ピグマリオン効果・ハロー効果・ブーメラン効果など人間の集団生活から生まれた学習の傾向性について理解を深めて教職に臨む。			
	該当する到達目標	予習	教科書P178~179 184~185を熟読しておき、理解を深めておく。		1時間
	1,2,3	復習	演習問題の解答例から、学校や教室で起きやすい集団心理への対処を考えてみる。		1時間

6	講義内容	「発達段階と発達課題」:発達心理学からの生徒理解		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	教科書P118～128を熟読し、幼児期・児童期の意義を理解しておく。	1時間
		復習	「野生児」の問題演習から唯一回性・適時性を確かめておく	0.5時間
7	講義内容	「青年期の心理Ⅰ」:自我の目覚め・・・主我と客我の文化の意義		
	該当する到達目標 1,2,4	予習	教科書P124～125を熟読し、発達課題の理解を深める。	1時間
		復習	問題演習の事例から「失敗した人生」の要因を考える。	0.5時間
8	講義内容	「青年期の心理Ⅱ」:モトリアムの確立をめぐる心の病: モトリアム人間、ピーターパン・シンドローム 青い鳥シンドロームなど		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書P126～129 P238～239を熟読し、此の症例の背景を掴む	1時間
		復習	問題演習の「体育祭を中止せねば自殺する」との匿名の手紙に何をどう対処すべきか?中止・延期・実施のどれか?	1時間
9	講義内容	「欲求不満とストレスの問題」:社会の高度・複雑化とストレスの発生		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書P128～131 P84～87を熟読しておく	1時間
		復習	問題演習の事例研究を深めておく	1時間
10	講義内容	「耐性の育成とストレス対策」:家庭教育と学校教育の各役割と連携 幅広く機能する心身のホメオスタシス		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書P76～81を熟読し、理解を深めておく	1時間
		復習	人々の心身を支えるホメオスタシスを自ら確認する	1時間
11	講義内容	「教育相談と思春期クリニック」:ストレスの解消方法		
	該当する到達目標 2,3,5	予習	教科書P202～213を読んでおく	1時間
		復習	解決方法として、防衛機制・葛藤・要求水準の心理などを復習して問題演習に臨む	1時間
12	講義内容	「生徒指導の手法と事例研究Ⅰ」:ワーズシャワー“学校に在るもの” ワーズシャワーの手法を使い、クラス内で広い視野を醸成させる。		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	事前配布の“学校に在るもの”を配列させておく	0.5時間
		復習	同様にプリント“生徒指導部の仕事”を列記させて此の手法の活用を考えさせて見る	0.5時間
13	講義内容	「生徒指導の手法と事例研究Ⅱ」:事例研究「昼休み中、15人もの生徒が立て続けに友達のバイク死亡事故の葬儀のため早退を申告」・・・どう処理するか?		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	学校と言う公的機関の持つルールについて、校則などの拘束力や契約関係について、考えてみる	0.5時間
		復習	事例のプリントに、もう一度トライしてみる	0.5時間
14	講義内容	「生徒指導の手法と事例研究Ⅲ」 「訓育」校則などを活用した集団管理の理論 プレイとディベート		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	事前に配布された“ロールプレイの機能”・“問答法・弁証法の歴史”を熟読しておく	1時間
		復習	討議・検討グループ内で誰をどの役に当てるか等 適役を考えさせる。また、講演に向けて“台詞”なども考えさせる	1時間
15	講義内容	「ROLE・PULY」と「DEBATE」のグループ別対抗による講演		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	グループ別に検討会を実施し、本番に向け徹底させる	0.5時間
		復習	各自の演じた感想・評価を発表させ効果を確認する	0.5時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	教育相談(教職に関する科目)			NRT228	講義
担当教員	宮内 洋				
学年・開講期	2年 後期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	<p>本科目は、中等教育段階の学校の教員を目指す上で理解しておくべき、教育相談に関する基本的な知識と技能の理解・修得をめざす。</p> <p>まず、学校教育における教育相談の意義と位置づけ、進路指導や生徒指導とのかかわり、教育相談の基礎としてカウンセリング等の基本を学ぶ。続いて、具体的な相談事案としての不登校、いじめや非行などの「問題行動」や逸脱行動に対する理解や対応、保護者との教育相談、「障害」のある子どもの理解と支援の考え方や方法について学んでいく。</p> <p>この際には、密室に閉じた相談活動ではなく、学校、さらには地域に開かれた支援を視野に入れる。臨床発達心理士である講師としては、机上の空論や理想論ではなく、より現実的な内容に徹したい。</p>				
到達目標	<p>4. 生徒とその保護者等を対象とした相談活動に必要な基礎的事項を理解している。</p> <p>5. 生徒指導と教育相談の違いを理解している。</p> <p>6. カウンセリングに関する基礎的な知識を有している。</p> <p>7. 「発達障害」についての基礎的な事項を理解し、支援の正しいあり方を理解している。</p>				
学位授与方針	✓	人間理解と倫理観			
との対応	✓	論理的思考力・問題解決力			
	✓	チームの一員としての協調・協働			
		国際理解			
		生涯学習力			
評価方法	全講義終了後に実施される定期試験(85%)と、講義期間中に課せられる課題(10%)、講義に臨む態度・参加する姿勢(5%)によって、総合的に判断する。				
課題に対するフィードバック	講義終了時に可能な限り感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。				
使用教材	<p>教科書は指定しない。必要に応じて、資料を配付する。また、より知りたい・学びたい人のために、参考文献や映画やマンガ等の種々の作品を、講義の中で適宜紹介する。</p> <p>参考書・参考資料等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮内洋『体験と経験のフィールドワーク』北大路書房</li> <li>・宮内洋・好井裕明 編著『〈当事者〉をめぐる社会学—調査での出会いを通して』北大路書房</li> <li>・秋山千枝子・堀口寿広 監修『スクールカウンセリングマニュアル(第2版)』日本小児医事出版社</li> </ul>				
1	講義内容	オリエンテーション:受容と共感			
	該当する到達目標	1,3	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	7時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		
2	講義内容	他者との距離			
	該当する到達目標	1,3	予習	他者との距離に関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		
3	講義内容	「気づく」ということ			
	該当する到達目標	1,3	予習	自らの気づきに関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		
4	講義内容	教育相談とは何か			
	該当する到達目標	1,3	予習	これまでの講義から、教育相談とは何かについて考察できるように準備しておくこと。	1時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。		

5	講義内容	各自の枠組の相違の体験的理解		
	該当する到達目標	予習	なし	0時間
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
6	講義内容	コミュニケーションの困難性		
	該当する到達目標	予習	コミュニケーションの失敗に関する体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
7	講義内容	生徒の「性格」理解		
	該当する到達目標	予習	自らの性格について理解を深める。	1時間
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
8	講義内容	「発達障害」の理解と支援		
	該当する到達目標	予習	「発達障害」について調べておく。	1時間
	1,4	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
9	講義内容	いじめについて(1):映像から考える		
	該当する到達目標	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	6時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
10	講義内容	いじめについて(2):中学校におけるいじめの実態		
	該当する到達目標	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	6時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
11	講義内容	校内暴力について		
	該当する到達目標	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	6時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
12	講義内容	生徒指導と教育相談		
	該当する到達目標	予習	自らの中学・高校での体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
	1,2,3,	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
13	講義内容	教育相談のロール・プレイング(1):ロール・プレイングの実践		
	該当する到達目標	予習	ロール・プレイングについて調べておく。	1時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
14	講義内容	教育相談のロール・プレイング(2):ロール・プレイングの振り返り		
	該当する到達目標	予習	前回のロール・プレイングについて理解を深めておく。	3時間
	1,2,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
15	講義内容	緊急時・災害時・事後における教育相談		
	該当する到達目標	予習	緊急時の教育相談について客観的に考察できるように準備しておくこと。	1時間
	1,3	復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1時間
備考	<p>非常勤講師なのでオフィスアワーはありません。</p> <p>講義を妨害する者の受講は基本的に認めない。</p> <p>予習・復習については、試験前の学習で補完すること。</p>			

科目名	養護実習(教職に関する科目)			NRT421	実習
担当教員	青柳千春、水出房子				
学年・開講期	4年 前期	必修・単位数	必修 5単位		
講義目標	教育の現場において、児童生徒への理解を深め、養護教諭に必要な知識・技術・態度・実践力を養う				
到達目標	1. 学校の特性、組織、運営について理解することができる。 2. 学校保健全般について理解することができる。 3. 養護教諭の役割、保健室の機能を学び、技術を習得することができる。 4. 児童生徒の生活を理解し、発育発達段階に応じた保健教育、保健管理について理解することができる。				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
		5. 生涯学習力			
評価方法	事前・事後指導の学習参加態度(30%)、レポート(10%)、実習校における評価(50%)、実習報告会の成果(20%)				
課題に対するフィードバック	レポート及び実習記録にはコメントをつけて返却する 事前指導で作成した指導案および保健便りは冊子にして配布する 実習報告会に向けて作成した資料は資料集として配布する				
使用教材	新養護概説(第9版) 采女智津江編(小写真新聞社) 講義のスライドやワークシートを随時プリントして配布する				
1	講義内容	オリエンテーション、学校教育の中の養護教諭の役割			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1.5時間
	1.3	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する		1.5時間
2	講義内容	学校保健計画、安全計画と養護教諭の役割			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	2	復習	学校保健計画および学校安全計画作成の法的根拠と意義、作成手順及び留意事項、内容と評価について理解する		1.5時間
3	講義内容	学校保健委員会活動			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	2.3	復習	校内の学校保健組織、学校保健委員会の実際と養護教諭の役割を理解する		1.5時間
4	講義内容	学校の日課と健康観察			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1.4	復習	学校の一日の流れ、健康観察の目的、機会と内容を理解する		1.5時間
5	講義内容	保健教育の法的根拠・内容・機会			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1.3.4	復習	保健教育の法的根拠・内容・機会について理解する		1.5時間
6	講義内容	保健教育指導案の作成の手順及び留意点			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1.3.4	復習	保健教育指導案の作成の手順及び留意点について理解する		1.5時間
7	講義内容	保健室の執務の実際			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通し、演習問題に取り組んでおく		1.5時間
	1.3.4	復習	保健室来室者の対応、けがの手当て		1.5時間
8	講義内容	危機管理			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通し、演習問題に取り組んでおく		1.5時間

	1. 3. 4	復習	救急体制、学校安全、危機管理について理解するとともに、演習で行った応急手当及び心肺蘇生が実践できるようにする	1.5時間
9	講義内容	学校環境衛生		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通し、環境検査の方法を理解しておく	1.5時間
	1. 3. 4	復習	学校環境衛生の目的、関係法令、日常点検と措置を理解し、水質検査・照度検査・二酸化炭素測定ができるようにする	1.5時間
10	講義内容	感染症、食中毒発生時の対応		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通し、演習問題に取り組んでおく	1.5時間
	1. 3. 4	復習	学校感染症の種類と平時・発生時・事後の対応を理解するとともに、演習で行った吐物処理が実践できるようにする	1.5時間
11	講義内容	健康診断の意義と目的、計画の立て方と実施の流れ		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通し、検査の方法を理解しておく	1.5時間
	1. 3. 4	復習	健康診断の意義と目的、計画の立て方と実施の流れを理解する	1.5時間
12	講義内容	健康診断の実施と事後措置		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5時間
	1. 3. 4	復習	健康診断の事後措置について理解する	1.5時間
13	講義内容	健康診断（演習）		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5時間
	1. 3. 4	復習	健康診断の諸検査について正しい方法で実践できるようにする	1.5時間
	講義内容	<p>学内実習1週間及び実習校での実習3週間を合わせ、4週間の実習を受講することで、実習目標①～④を達成する</p> <p>①学校の特性、組織運営について理解する。</p> <p>②学校保健全般について理解する。</p> <p>③養護教諭の役割と具体的活動を理解し、養護教諭の指導のもとで実践する。</p> <p>④児童・生徒の生活状況を理解し、発達・発育段階に応じた保健管理・保健教育を実施する。</p> <p>1.学内実習</p> <p>事前学内実習において、保健室来室者対応及び環境検査等の演習を行う。保健指導、健康教育の指導案を作成し、保健教育の授業を学内で実施する。</p> <p>2.学外実習</p> <p>実習は実習校の学校長の管理下、指導・監督のもとに行う。指導は学校長、教頭、教務主任、保健主事、養護教諭その他の関係職員に委嘱する。主たる指導者は実習校の養護教諭とし、実習校の計画のもとに実施する。</p>		
	該当する到達目標	予習	事前指導の中で学んだことを再確認し、整理をして実習の準備をする	1.5時間
	1. 2. 3. 4	復習	実習先で学んだことを振り返り、レポートにまとめる	1.5時間
14	講義内容	養護実習の報告		
	該当する到達目標	予習	配布されたワークシートに必要事項を記入し持参する	1.5時間
	1. 2. 3. 4	復習	養護実習報告会へ向け、発表の準備をする	1.5時間
15	講義内容	養護実習の発表・振り返り		
	該当する到達目標	予習	配布されたワークシートに必要事項を記入し持参する	1.5時間
	1. 2. 3. 4	復習	養護実習報告会へ向け、発表の準備をする	1.5時間
備考	<p>(青柳)オフィスアワー:水曜日及び金曜日の1限、 メールアドレス:<a href="mailto:aoyagi@takasaki-u.ac.jp">aoyagi@takasaki-u.ac.jp</a> 研究室:3号館 2階 207</p> <p>(水出)オフィスアワー:後日連絡 メールアドレス:<a href="mailto:mizuide@takasaki-u.ac.jp">mizuide@takasaki-u.ac.jp</a> 研究室:4号館 2階 保健室</p>			

科目名	教職実践演習(養護教諭)(教職必修)			NRT422	演習
担当教員	小西尚之・青柳千春・水出房子				
学年・開講期	4年 後期	必修・単位数	必修 2単位		
講義目標	これまでの教職課程における学びを振り返ることで、養護教諭になるために必要な能力を身につけ、学校組織の一員として自覚し、教師として豊かな感性や人間関係を高めようとする事ができる。				
到達目標	1. 養護教諭としての使命感や責任感をもつことができる 2. 児童生徒を理解し、保健室経営を行うことができる 3. 社会性や対人関係能力等を備え、児童生徒と関わったり、教職員と協働したりすることができる				
学位授与方針との対応	✓	1. 人間理解と倫理観			
	✓	2. 論理的思考・問題解決力			
	✓	3. チームの一員としての協調・協働			
		4. 国際理解			
	✓	5. 生涯学習力			
評価方法	授業(演習)への参加態度(20%)、提出物(指導案・保健便り・掲示物)(30%)、レポート(50%)				
課題に対するフィードバック	レポート及びワークシートにはコメントをつけて返却する				
使用教材	講義のスライドやワークシートを随時プリントして配布する				
1	講義内容	オリエンテーション、学校教育と養護教諭			
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1.5時間
	1	復習	講義の意義、学校教育における様々な健康課題について考え、養護教諭に求められる資質について自己課題を発見する		1.5時間
2	講義内容	保健教育 (1. 授業構想)			
	該当する到達目標	予習	養護実習で実践した保健教育(保健学習・保健指導)の課題を基に、指導案の修正案を考える		1.5時間
	2	復習	グループでの協議を基に、指導案を修正・作成する		1.5時間
3	講義内容	保健教育 (2. 模擬授業)			
	該当する到達目標	予習	修正・作成した指導案を基に、模擬授業の準備をする		1.5時間
	2	復習	模擬授業を行い、改善点を協議する		1.5時間
4	講義内容	保健教育 (3. 保健だより・掲示物の構想)			
	該当する到達目標	予習	養護実習で実践した保健教育(保健学習・保健指導)の課題を基に、保健だより・掲示物のアイデアスケッチをする		1.5時間
	2	復習	グループでの協議を基に、保健だより、掲示物を作成する		1.5時間
5	講義内容	保健教育 (4. 保健便り・掲示物の発表)			
	該当する到達目標	予習	作成した保健便り、掲示物の目的や工夫点についてまとめる		1.5時間
	2	復習	グループでの協議を基に、保健だより、掲示物を作成する上での留意点を理解する		1.5時間
6	講義内容	教育目標を達成するための学校保健計画の検討			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	1.2	復習	学校保健計画を作成する際の手順、養護教諭の役割、留意点を理解する		1.5時間
7	講義内容	子どもの抱える成長・心の問題(1. 学校事故)			
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す		1.5時間
	2.3	復習	学校事故に際しての、養護教諭の役割や関係者・関係機関との連携のありかたについて考察する		1.5時間

8	講義内容	子どもの抱える成長・心の問題(2. 発達障害)		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	2.3	復習	発達障害の児童生徒への対応における養護教諭の役割や関係者・関係機関との連携の在り方について考察する	1.5 時間
9	講義内容	子どもの抱える成長・心の問題(3. 不登校・保健室登校)		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	2.3	復習	不登校・保健室登校の児童生徒への対応における養護教諭の役割や関係者・関係機関との連携の在り方について考察する	1.5 時間
10	講義内容	保健室経営計画の検討		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントに目を通す	1.5 時間
	1.2.3	復習	保健室経営計画を作成する際の手順及び留意点を理解する	1.5 時間
11	講義内容	学校保健における養護教諭の役割、校内教職員との連携		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1.2.3	復習	資料を読んで、講義内容を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	保護者・地域との連携と養護教諭の社会性、人間性		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1.2.3	復習	資料を読んで、講義内容を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	子供理解と子供に対する教育的愛		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2	復習	資料を読んで、講義内容を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	外国籍の子供についての理解		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2	復習	資料を読んで、講義内容を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	自分なりの考えをまとめて発表できるように準備をしておく	1.5 時間
	1.2.3	復習	養護教諭として必要な資質・能力を理解し、自分と照らし合わせて、今後の課題を明確にする	1.5 時間
備考	<p>(小西)オフィスアワー:後日連絡 メールアドレス:konishi@takasaki-u.ac.jp 研究室:8号館4階409号室</p> <p>(青柳)オフィスアワー:水曜日及び金曜日の1限、 メールアドレス:aoyagi@takasaki-u.ac.jp 研究室:3号館2階207</p> <p>(水出)オフィスアワー:後日連絡 メールアドレス:mizuide@takasaki-u.ac.jp 研究室:4号館2階保健室</p>			